名前	実父 実母	続柄	順	姓名	字・幼名・号他	役職・家業	給禄	藩主	享年	生年月日 没年月日	屋敷・居住地 備考	墓地	出典
相川家	伊藤市右衛門直信 新見七右衛門直重女	長男	①	相川 直葉	荻右衛門 清左衛門 市平次	中小姓	25	3~6	87	1762 宝暦12年12月26日	遠藤興助跡東端町西側自北6番 富海相川居住相川改姓/元禄6年出仕/宝暦3年隠居		[譜][註4]
	相川直葉 藤本四郎兵衛女	長男	②	相川 直堅	荻右衛門 新蔵 清七 太仲 平右衛門	中小姓	25	5~7	75	1786 天明6年7月12日	宝暦3年家督/天明4年隠居		[譜]
	相川清左衛門直葉 藤本四郎兵衛女	二男	—	相川 直旨	→福間直旨			5			元文元年養子/延享元年家督/延享4年断絶		[譜][福間家家譜]
	相川直堅 新見喜右衛門雅宴長女	長男	③	相川 直文	清弥	中小姓	25	7~8	67	1823 文政6年3月23日	天明4年家督		[譜][註4]
	相川荻右衛門直堅 新見雅宴女	二男	—	相川 雅清	→新見雅清	中小姓	43	7	21	1790 寛政2年4月20日	天明3年新見雅堅家督		[譜]
	相川荻右衛門直堅 新見雅宴女	三男	—	相川 雅英	→新見雅英	中小姓	43	7	22	1796 寛政8年6月17日	寛政3年兄新見雅清家督		[譜]
	相川直文 鹿野村商民原田弥左衛門妹	二男	④	相川 直方	荻右衛門 新蔵 真次郎	中小姓	25	8~9	69	1860 安政7年2月5日	文化5年嫡子願/文政6年家督		[譜]
	相川直方 坂保親妹	長男	⑤	相川 直正 ☆	格太郎 要	中小姓後中士下等	25→10.2(M4)	9		(明治4年42歳 分限帳)	一番丁 嘉永2年家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	相川直方 坂保親女	二男	—	相川 直庸 ☆	→古志直庸	献功隊		9	37	1869 明治2年5月11日	文久2年養子/函館戦争渡島国上山村戦死/墓碑黒神直民撰	徳山・福田寺(R3)永源山	[譜][註4][註5][註10] [山崎隊日記]
	相川直正 荻家来河内傅吉則政妹	長男	⑥	相川 千賀之丞				9		(明治4年15歳 分限帳)	一番丁		
	相川直正	二男	—	相川 壽雄	盛雄			9		(明治4年9歳 分限帳)	一番丁		
	相川直正	三男	—	相川 秀記				—		(明治4年3歳 分限帳)	一番丁		
相本家			①	相本 亀之進		藩士	1.8(明治4年)	9		(明治4年 分限帳)	西豊井村		
相本家			①	相本 柳左衛門		政務局支配	1.8(明治4年)	9		(明治4年53歳 分限帳)	久保市		
	相本柳左衛門	長男	○	相本 嘉市				9		(明治3年12歳 人員録)	久保市		
	相本柳左衛門	二男	—	相本 秀吉				9		(明治4年10歳 分限帳)	久保市		
	相本柳左衛門	三男	—	相本 武之丞				—		(明治3年4歳 人員録)	久保市		
(河松家) 青木家	某女		①	河松 忠明	新右衛門	徒士	20	1		1671 寛文11年10月12日	東中丁西側自北10番 天和3年河松名乗る		[譜]
	河松忠明 某女	長男	②	青木 忠房	新右衛門 弥七 宗董	徒士	20/銀三枚拝領	1~4	53	1702 元禄15年6月29日	元禄14年青木改姓		[譜]
	青木忠房 某女	長男	③	青木 忠真	藤兵衛	馬廻/御館普請検使役	50/銀五枚拝領	3~5	66	1741 寛保元年5月11日	元禄15年家督/各地検見都合役		[譜][註4]
	青木新右衛門忠房 某女	二男	—	青木 知章	→中嶋知章	馬廻	80	3~5		1724 ＊享保9年8月22日	元禄4年出仕後正徳5年養子	徳山・福田寺(R3)無縁墓	[譜] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	青木新右衛門忠房 某女	三男	—	青木 直時	→吉田直時	馬役	十五扶持	3			宝永6年出仕後宝永8年養子後断絶		[譜]
	青木忠真 磯部善左衛門斯親女	長男	④	青木 忠方	新兵衛 清助	馬廻/大阪御見附役	50	5~7	66	1778 安永7年8月13日	寛保元年家督/寛延3年隠居		[譜]
	井村可倫庸親 青木忠真女	＊長男	⑤	青木 忠栄	新右衛門 一甫 藤兵衛	馬廻	50	5	26	1757 宝暦7年9月12日	寛延3年家督		[譜]
	長沼惣左衛門貞頭 三木善兵衛孝春女	＊三男	⑥	青木 節	源蔵 仲助 和卿 葵園	馬廻/文学者/鳴鳳館教授 江戸御見附役	50	6~7	31	1777 安永6年7月2日江戸死	麻布教運寺/遣髪八正寺/泉原共同墓地(H30)碑文南冥 宝暦8年家督/亀井南冥・本城紫巌師事/『葵園遺稿』		[譜][註1][註5][註8][註9][註11] [註16][註5,11 没安永7年]
	江村忠清 大向村長嶺平右衛門女	＊二男	⑦	青木 熙	俊蔵 忠虎 縫之進	馬廻/学館教授役 代官/両人役	50	7~8	53	1810 文化7年12月10日	安永6年養子家督		[譜][註4]
	青木熙 青木節女	長男	⑧	青木 忠景	三蔵 才三郎	馬廻/目附役兼両人役 大阪蔵屋敷留守居役	50	8~9	50	1839 天保10年10月8日	文化8年家督/天保5年咎隠居		[譜][註4]
	青木忠景 長沼文次郎簡長女	二男	⑨	青木 忠良	俊司 盛衛 辰弥 良懐 ＊妻大野太衛門直定女文久4年卒	馬廻/武具方都合役 鳴鳳館訓導/釈菜方	50	9			二番丁 天保5年家督/嘉永5年鳴鳳館訓導/詩文『瀟洒会』同人		[譜][註1][註4][註8][註16] ＊[御在城日記文久4年]
	青木忠景 長沼文次郎簡長女	四男	⑩	青木 拳	三郎兵衛 兵衛 恒祐 忠蔵 子服 作壽 籌 西峰(一時光井兌衛門養子)	献功隊参謀[註8]/漢学教師 徳山中学初代校長(M13～19)	75→14.1(M4年)	9	65	1827 文政10年3月21日 1891 明治24年1月19日	泉原共同墓地(H30)竹塢撰 安積艮斎師事/戸田安整井上梯斎墓碑文撰他/村会議員		[譜][註1][註4][註5][註8][註9] [註11][註14][註16]M3譜録提出
	青木忠良 大野太衛門直定女	＊嫡子	⑪	青木 忠一	蒼樹院忠誉一實居士	町会議員 大正7年議事録あり		9			泉原共同墓地(H30)		[註4][註5][註8]
	青木拳 (光井鎮成女)	嫡子	—	青木 精太郎	精之丞 (碑文に子無し。早逝か)			9		(明治4年9歳 分限帳)			
青木家			①	青木 精一		藩士	4.36(明治4年)	9		(明治5年26歳 分限帳)	徳山村新町		

青木家	青木精一	嫡子	○	青木 太市				—			徳山村新町		
										(明治5年2歳 分限帳)			
青木家			①	青木 廣吉				9			徳山村新町		
										(明治5年50歳 分限帳)			
	青木廣吉	嫡子	②	青木 亀吉		藩士	4.36(明治4年)	9			徳山村新町		
										(明治5年21歳 分限帳)			
青木家			○	青木 永作		都濃郡第15区副戸長 (明治4年士族)		9			末武下村		[註4]
赤穴家			○	赤穴 三立	生信	医師		5頃			生野村		[奥田/河田家譜録]
											娘享保年中奥田家養女後河田政勝嫁		
	渡邉緩硝	＊二男	○	赤穴 三立	代々三立を名乗る 河田政頼家養育	医師		9		1839 天保10年1月1日	明治10年末武転居		[註1][註13]
										(明治3年35歳 人員録)	第二次長州征伐時、野戦病院勤務[註1]/年齢相違[註13]		
	赤穴三立 先代三立長女	嫡子	○	赤穴 員之助				9					
赤尾家			○	赤尾 惣右衛門		遠石祭市押役(宝暦2年)		5					[註4]
											遠石祭市覚[徳山毛利文庫]		
赤尾家			①	赤尾 吉五郎		船手組		9					
										(明治4年54歳 分限帳)			
	赤尾吉五郎	嫡子	○	赤尾 喜代造				9					
										(明治4年22歳 分限帳)			
	赤尾吉五郎	嫡子	—	赤尾 卯三郎				—					
										(明治4年4歳 分限帳)			
			—	赤尾 助次郎	赤尾吉五郎弟			9					
										(明治3年20歳 人員録)			
赤河家断			断絶	赤河 喜左衛門		藩士	25	1					[註4]
明石家断	明石但馬宗徳入道	嗣子	○	明石 宗壽	善左衛門尉			—					[譜]
	明石宗壽	嗣子	○	明石 徳右衛門				—					[譜]
	明石徳右衛門	嗣子	○	明石 善右衛門				—					[譜]
	明石善右衛門	嗣子	①	明石 則昌	東助 十次郎	徒士	20	8					[譜][註4]
											文化3年出仕/文化12年譜録提出		
	明石則昌 徳山町山田吉兵衛女	嗣子	②	明石 某	(四男あり)			9					[譜]
明石家			○	明石 宇兵衛	卯兵衛	目代		7~8			徳山村		[註4]
											寛政4年～天保5年[註4名前頻出]遠石町人数書取(天保5年)		
明石家			①	明石 治右衛門		岩崎幾太郎組上等	4.7(明治4年)	9			徳山村代々小路		
										(明治5年48歳 分限帳)			
	明石治右衛門	長男	○	明石 秀一郎				9			徳山村代々小路		
										(明治5年18歳 分限帳)			
	明石治右衛門	二男	—	明石 新作				9			徳山村代々小路		
										(明治5年10歳 分限帳)			
	明石治右衛門	三男	—	明石 房吉				—			徳山村代々小路		
										(明治5年5歳 分限帳)			
明石家			①	明石 善吉		河合組上等	4.36(明治4年)	9			徳山村田町		
										(明治5年44歳 分限帳)			
	明石善吉	長男	○	明石 浦吉				9			徳山村田町		
										(明治5年15歳 分限帳)			
	明石善吉	二男	—	明石 弥吉				9			徳山村田町		
										(明治5年9歳 分限帳)			
明石家			①	明石 直吉		藩士	4.36(明治4年)	9			徳山村辻		
										(明治5年20歳 分限帳)			
明石家			①	明石 照順		町方医(M9帰農)		9		1850 嘉永3年8月15日			[註13]
	明石照順 浅海文珪二女	嗣子	②	明石 一郎		医師		—		1879 明治12年1月22日	遠石開業後須々万		[註13]
明石家			○	明石 七右衛門	(女→花田園助妻)	町人		8頃					[花田家譜録]
明石屋			○	明石 三左衛門		町年寄役/開作吟味方	苗字	7			徳山本町		[註4]
											献納並び御賞美(寛政年間記載)町人数書取(寛政4年)		[御領町人御仕成]
			○	明石 新助		町人	苗字	8			徳山本町		[註4]
											献納並び御賞美(寛政年間記載)		[御領町人御仕成]
明石屋			○	明石 吉郎右衛門	先祖孫太郎	町人	苗字(正徳5年) 孫太郎代	3			徳山遠石町		[註4]
											献納並び御賞美(正徳年間記載)		[御領町人御仕成]

明石屋			○	明石屋 兵左衛門		町人/遠石祭市		7							[註4]
												安永年間			
			○	明石屋 五右衛門		町人/遠石祭市入札		7							[註4]
												寛政年間			
			○	明石屋 治兵衛		町人/遠石祭市入札		8							[註4]
												文化年間			
			○	明石屋 金蔵		町人/遠石祭市入札		8							[註4]
												文化年間			
			○	明石屋 長五郎		町人/遠石祭市入札		8							[註4]
												文化年間			
			○	明石屋 惣右衛門		町人/遠石祭市入札		8							[註4]
												文化年間			
明石屋			○	明石屋 重吉		地山方		8							[註4]
												栄谷杉地開発検地(文政4年)			
赤松家			○	赤松 玄龍	(医師赤松龍雄の名有り[譜]他)	医師		9						無量寺[註8]	[註8]
赤松家			○	赤松 良雄		医師		9							[註池田家譜録]
			○	赤松 専茂	→池田好安	医師		9							[註池田家譜録]
												嘉永元年池田家養子			
赤松家			○	赤松 圓心				—							[註8]
			①	宗覚法印	明石兵部左衛門[註8] 赤松圓心末葉[註8]	徳応寺開基		1				播州明石			[註8]
										1608	慶長13年3月1日	本寺は富田善宗寺			[防長寺社由来7]
			②	宗雲律師	［ふるさとメモリアルシリーズ］ 記入なし	徳応寺二世		1							
															[防長寺社由来7]
			③	宗徳法印	［ふるさとメモリアルシリーズ］ ②	徳応寺三世		1							
															[防長寺社由来7]
			④	宗善法師	［ふるさとメモリアルシリーズ］ ③	徳応寺四世		1							[註8]
										1634	寛永11年	本山より号徳応寺賜る[註8]			[防長寺社由来7]
	石州法専寺		⑤	宗与法印	［ふるさとメモリアルシリーズ］ ④	徳応寺五世									
															[防長寺社由来7]
			⑥	石水律師	［ふるさとメモリアルシリーズ］ ⑤	徳応寺六世									
															[防長寺社由来7]
			⑦	泰順法印	［ふるさとメモリアルシリーズ］ ⑥	徳応寺七世									
															[防長寺社由来7]
	石州明善寺	＊	⑧	智端律師	［ふるさとメモリアルシリーズ］ ⑦	徳応寺八世		~7							[註8]
										1747	延享4年	妻三吉親雨長女[三吉家譜録]/寛保2年寺社由来提出			[防長寺社由来7]
			—	義康法師	智端律師の弟子[註8]			7				都濃郡山田村			[註8]
										1788	天明8年3月15日	本堂再建に尽力/義康の松（当時境内老松）			
	智端律師 泰順法印女	嗣子	⑧	正哲（徹）		徳応寺八世									[ふるさとメモリアルシリーズ]
	智端律師 某女	＊	⑨	順了		徳応寺九世									[ふるさとメモリアルシリーズ]
	智端律師 泰順法印女	＊	⑩	智信	妻粟屋家より	徳応寺十世									[ふるさとメモリアルシリーズ]
	芸州江湯島海宝寺		⑪	慈遠	妻智信女	徳応寺十一世									[ふるさとメモリアルシリーズ]
	芸州江湯島海宝寺		⑫	遊深	慈遠甥 妻慈遠女	徳応寺十二世									[ふるさとメモリアルシリーズ]
	遊深 某女	嗣子	⑬	寛応	妻珉子	徳応寺十三世									[ふるさとメモリアルシリーズ]
	遊深 伊保庄円勝寺女	＊	⑭	真成		徳応寺十四世									[ふるさとメモリアルシリーズ]
		＊	⑮	赤松 連城	竹園 （文久3年⑬寛応娘千代野と結婚）	徳応寺十五世		9	79	1841	天保12年1月17日	金沢市生まれ	徳山・徳応寺		[註5][註9][註10][註11][註14]
										1919	大正8年7月20日	欧州留学/宗門改革、宗派の近代化に尽力			[翰墨一架]
	赤松連城 赤松千代野	長女	—	赤松 安子	湘筠 （夫与謝野禮厳二男照憧）	京都府女学校卒/教育者 白蓮女学校（徳山女学校）設立		—	49	1865 1913	慶応元年4月1日 大正2年2月2日10:06	下御弓丁 石村貞一井上良彊師事/絵画安野華嶺等師事	上田平[註8]/徳山・徳応寺		[註5][註8][註9][註11][註14] （京都大学医院病舎にて死去）
	与謝野禮厳尚綱 山崎某女初枝	＊二男	⑯	赤松 照憧	龍麿 尚白 （与謝野鉄幹は弟[註1P729]）	徳応寺十六世/歌人 温知会設立/明月会会員		9	60	1862 1921	文久2年11月10日 大正10年8月24日	1854？京都岡崎生れ 実父浄土真宗本願寺派願成寺住職/山口県積善会雑誌創刊	徳山・徳応寺		[註1][註4][註5][註9][註10][註11] [註14]
	以下、出典は主に菊地暁氏の京都大学「赤松智城論ノオト：徳応寺所蔵資料を中心」による														
	赤松照憧 赤松安子	長男	⑰	赤松 智城	智麿 円融院釈真教智城法師 （妻森チヨ/岡山藤田家より千代）	徳応寺十七世 徳山中3期/京都帝国大学院	正四位勲三等	—		1886 1906	明治19年12月23日 明治39年2月11日	徳山生まれ 下御弓丁 京城帝国大教授、京都帝国他講師/『尚白斎詩集』智城編	徳山・徳応寺		[ふるさとメモリアルシリーズ] 赤松智城の宗教学散策-全京秀
	赤松照憧 赤松安子	二男	—	赤松 信麿		医学者 徳山中8期/京都帝国大学		—	35	1889 1923	明治22年9月16日 大正12年1月23日	ベルリンにて死去			

	赤松照憧 赤松安子	三男	—	赤松 義麿		法学士[註8] 徳山中10期/東京帝国大学		—	55	1892 1946	明治25年3月10日 昭和21年5月31日		金沢工業大学教授	
	赤松照憧 赤松安子	四男	—	赤松 克麿	（妻政治家吉野作造二女明子）	社会主義運動家衆議院議員 徳山中12期/三高/東京帝国大		—	62	1894 1955	明治27年12月4日 昭和30年12月13日		『日本社会運動史』他著書多数/吉野作造記念館に展示あり	[府君原田三郎とその周辺]
	赤松照憧 赤松安子	長女	—	赤松 常子		参議院議員/厚生政務次官 徳山高女1期/京都女子専門学校		—	69	1897 1965	明治30年8月11日 昭和40年7月21日		「赤松革新3姉弟」労働運動家	
	赤松照憧 赤松安子	五男	—	赤松 五百麿		労働運動家 徳山中17期/京都帝国大		—	35	1900 1934	明治33年2月19日 昭和9年		「赤松革新3姉弟」	
	赤松照憧 赤松安子	六男	—	赤松 廉麿		徳応寺		—	74	1901 1974	明治34年 昭和49年		「赤松革新3姉弟」「淳朴な一念仏行者としての一生」	
	赤松義麿 赤松寔	＊三男	⑱	赤松 尚爾	妻安芸明慶寺娘蕙　長女湘子	徳応寺十八世		—		1988	昭和63年		＊妻蕙俳人句集『子菩薩』『天女』『赤松蕙子集』俳人協会評議員	＊[山口県風土記] [ふるさとメモリアルシリーズ]
	岡山県観音寺	＊	⑲	赤松 泰城	妻湘子	徳応寺十九世		—		1955	昭和30年			[ふるさとメモリアルシリーズ]
上り家断			断絶	上り 八兵衛		藩士	20	1						[註4]
上り家			○	上り 與平	上理 （長女カツ弘化4年5月生藤田武平妻）			9					都濃郡東豊井村	[藤田家資料]
秋月家			①	秋月 時太郎		藩士	1.8（明治4年）	9			（明治4年 分限帳）		徳山村西沖原	
（秋元家） 秋本家			○	秋元 養侘		医師		宗藩					萩領久米村 養侘妹吉村(後河村)幸正(徳山藩初代御代)嫁ぐ	[吉村家譜録]
			○	秋本 松伯	久信 秋元（粟屋正敬妻松伯養女寛政）	医師		宗藩					萩領久米村 文化元年養女玉井盛胤女渡邉直嫁	[水木/渡邉/粟屋家譜録]
	小野包清 東豊井村武居清兵衛女	＊三男	○	秋本 源三郎				宗藩					萩領久米村 寛政8年7月5日秋本松伯養子	[小野家譜録]
	水木師行 小野源左衛門信貞女	＊二男	○	秋本 正徳	昌庵 重徳 良哲 忠吾	医師		宗藩	89ヵ 99ヵ	1804	文化元年3月25日		萩領久米村 正徳幼年某年久米医師秋本松伯養子/寛政8年12月離縁	[水木家譜録]
	水木師文 岩国町藤田孫左衛門女	＊三男	○	秋本 正良	喜三郎	医師		宗藩					萩領久米村 文化2年7月24日秋本正徳養子/文化6年水木改姓	[水木家譜録]
			○	秋本 謙麟		医師		宗藩					萩領久米村 天保5年4月17日山縣雅蔵、謙麟養子天保14年離縁	[山縣家譜録]
秋本家			①	秋本 義利	喜一郎 遺族：甥秋本庄作福川町[註4]	山崎隊	3.6（明治4年）	9	19	1869	明治2年4月11日		福川村 函館戦争茂草村の役戦死	桧山護国神社・永源山	[註4][註5][註8][18歳没註10] [山崎隊日記]
秋本家			①	秋本 仙太郎		藩士	1.8（明治4年）	9			（明治4年 分限帳）		徳山村西沖原	
浅井家	浅井金右衛門茂之	嗣子	○	浅井 直貞	平兵衛			輝元					萩20石召仕	[譜]
	浅井直貞 某女	長男	①	浅井 喜忠	市兵衛	中小姓	25	1	50余	1646	正保3年2月6日		東端町西側自北14番 元和年代萩より御供出仕	[譜][註4]
	浅井喜忠 某女	長男	②	浅井 茂興	平兵衛 左治兵衛 浅宗院深誉貞説/妻信行院専誉妙順	中小姓	25	~2	60余	1689	元禄2年7月11日		正保3年家督/徳山藩再興五烈士戸田茂貞・吉弘直信実父	＊大成寺	[譜][註1] ＊[徳山市の社寺文化財]
	浅井茂興 国冨惣左衛門連久女	長男	—	浅井 直信	→吉弘直信	馬廻 貞享年中暇宝永5年帰参	50	3~5		1726	享保11年7月13日		徳山藩再興最大級功労者/元次二女小見川藩主夫人家来	＊徳山・無量寺 [註8]	[譜][註1][註4][註8][註14] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	浅井平兵衛茂興 国富総左衛門連久女	二男	—	浅井 茂貞	→戸田茂貞	中小姓	25	2~5	78	1746	延享3年正月5日		下東横町北側自西1番 宗藩より追放、脱走、徳山藩再興最大級功労者五烈士		[譜][註1][註4][註14]
	浅井茂興 国冨惣左衛門連久女	三男	③	浅井 茂久	平兵衛 平八 金太夫	中小姓	25	~5	70余	1743	寛保3年3月27日		元禄2年家督/寛保2年11月隠居	徳山・大成寺(R5)	[譜][註4]
	藤村政勝 長濱弥太夫實房女	＊三男	④	浅井 茂直	平兵衛 惣右衛門	中小姓	25	~7	74	1780	安永9年8月14日		元文5年養子/寛保2年家督/安永7年隠居	妻徳山・大成寺(R5)	[譜]
	浅井茂直 中村源七貞春女	長男	⑤	浅井 茂文	金蔵 平蔵	中小姓	25	~8	66	1814	文化11年10月6日		安永7年家督/文化9年隠居	徳山・大成寺(R5)	[譜]
	坂傳兵衛経美 河内村清木七蔵女	＊三男	⑥	浅井 茂昌	平兵衛 要次郎 七五郎	中小姓	25	~9	61	1841	天保12年正月23日		寛政8年養子/文化9年家督/天保11年隠居	徳山・大成寺(R5)	[譜][註4]
	浅井茂昌 大道理村能美作右衛門女	長男	⑦	浅井 茂虎	虎太 謹太夫 ＊濟太夫	組外馬廻/御密用掛 興譲館師範役	50	9			（明治4年65歳 分限帳）		一番丁 興譲館算術並測量授方（文久3~慶応2年廃止まで）	徳山・大成寺(R5)	[譜][註1][註4][註5][註16] ＊[御在城日記文久3年]
	浅井平兵衛茂昌 大道理村能美作右衛門女	二男	—	浅井 重充	→中川頼保	組外馬廻	50	~9					徳山村新丁 文政9年中川助次郎宜安家督		[譜][註4]
	浅井茂虎 高橋時蔵	二男	⑧	浅井 茂勲　☆	嘉蔵 忠紀	中士上等	50→14.1（M4）	9			（明治4年27歳 分限帳）		一番丁 明治3年譜録提出		[譜][註4] [御在城日記文久3年]
浅井家断			断絶	浅井 佐兵衛		藩士	20	1						[註4]
浅尾家			①	浅尾 源左衛門		船手組		9			（明治4年76歳 分限帳） （明治3年73歳 人員録）				
	浅尾源左衛門	嫡子	②	浅尾 藤次郎		藩士	4.7（明治4年）	9			（明治4年36歳 分限帳）				

	浅尾源左衛門	嫡子	—	浅尾 久米蔵				9						
										（明治4年28歳 分限帳）				
浅岡家			①	浅岡 吉次郎		上士粟屋宗人家来		9						
										（明治3年25歳 人員録）				
朝倉家	野上内膳正盛春	嗣子	○	鳥野 是義	野上和泉守多々良隆実 仁左衛門尉 釈了西信士 妻釋妙了信女			—						[譜] [朝倉家文書]
	兒玉東市助	＊二男	○	鳥野 義勝	仁左衛門尉 市若 釈良（了）斉居士 妻井上豊後守就正女妙了信女			—		1663	寛文3年11月9日	妻延宝3年5月12日卒	萩妙圓寺葬	[譜] [朝倉家文書]
	桜井助右衛門尉元通 渡邊四郎右衛門女	＊二男	○	鳥野 是定	市若 甚兵衛 安左衛門 一安利将信士/尾和市左衛門幸政女	作事方/表具師	13二扶持	1~3	80	1633 1712	寛永10年 正徳2年5月晦日	外横町北側自西3番 後妻内藤亦右衛門久明女正徳6年5月18日卒	徳山・徳応寺（朝倉家譜）	[譜] [朝倉家文書]
	鳥野是定 萩内藤又右衛門久明女	長男	①	朝倉 繁経	等収 安左衛門 享 恕雪軒等収繁経大徳/妻秋山妙収大姉	細工人/絵師 貞享2年出仕/享保16年隠居	15二扶持	2~5	74	1668 1741	寛文8年 寛保元年5月29日(墓	馬場外町東側自北1番 享保5年改姓/雲谷等恕に師事/領内大絵図作成/妻享保20.8.20卒	興元寺→泉原共同墓地（R4）	[譜][註4] [朝倉家文書]
	朝倉繁経 阿武善之丞晴之女	長男	②	朝倉 友信	等月 甚七 左五郎 興門 記内 雪笘軒萬渓等月大徳/妻天室性運大姉	細工人/絵師 断絶後桜井仁左衛門		3~6	61	1700 1760	元禄13年 宝暦10年6月11日	櫛ケ浜死去 妻寛政11年卒/雲谷等全に師事/宝暦8年二男忠次咎断絶	泉原共同墓地（R4）	[譜] [朝倉家文書]
	朝倉友信 八代村徳永瀬左衛門女	長男	③	朝倉 友明	等泉 等栄 甚八 助右衛門 山水軒常菴等栄大徳	細工人/絵師 桜井春祥(浪人)再興朝倉姓	三扶持	5~7	31	1737 1767	元文2年 明和4年7月11日	櫛ケ浜 雲谷等徴に師事/明和13年再興	泉原共同墓地（R4）	[譜][註1][註9] [朝倉家文書]
	朝倉友信 八代村徳永瀬左衛門女	二男	断絶	朝倉 忠次				5		1743	寛保3年	御咎野島遠島/一族住居櫛ケ浜へ宝暦7年3月		[朝倉家文書]
	朝倉友信 八代村徳永瀬左衛門女	長女	—	朝倉 栄(エイ)	原屋浜部利三郎妻 東林慧旭信女	原屋（商人）		5~8	79	1738 1816	元文3年 文化13年10月12日	櫛ケ浜		[朝倉家文書]
	朝倉友信 八代村徳永瀬左衛門女	二女	—	朝倉 清(キヨ)	岩国中野甚左衛門妻後富永清八妻 宝口（草冠に身為）妙艶善女			5~7	25	1746 1770	延享3年 明和7年10月12日			[朝倉家文書]
	朝倉友信 八代村徳永瀬左衛門女	三女	—	朝倉 久仁(クニ)	眞光妙慧信女			5~7	21	1748 1768	寛延元年 明和15年4月2日			[朝倉家文書]
	阿武六郎左衛門晴俊 今宿村野上市左衛門女	＊長男	④	朝倉 南陵	阿武槌 湖内 光世 等圭 済甫 等遠 銀之丞 江雪 宗林軒南陵等圭居士	永代中小姓/絵師 明和4年家督	25	6~9	88	1756 1843	宝暦6年12月8日 天保14年11月20日	東町東側自北6番勝屋正直跡 雲谷等竺、岩井江雲に師事/徳山藩領内絵図作成	泉原共同墓地（R4）妻墓碑有	[譜][註1][註4][註5][註8][註9] [註11][註14][註15]
	朝倉南陵 朝倉友信四女	長男	—	朝倉 嵩	右仲 丹助 栄次郎 南皐朝嵩居士			7~8	18	1785 1802	天明5年 享和2年12月29日		泉原共同墓地（R4）	[譜] [朝倉家文書]
	朝倉南陵 朝倉友信四女	長女	—	朝倉 道(子)	→原田静宗（妻） 喜勢（結婚後改名）	（結婚媒酌小貫唯七則應）		7~8	39	1779 1817	安永8年 文化14年2月28日	寛政5年12月27日嫁[宗林軒遺書拾集]寛政6年婚姻詳細		[譜] [宗林軒様御控物抜書]
	朝倉南陵 朝倉友信四女	二男	—	朝倉 喜次郎	→小貫言訓 義順院釈道圓居士/妻心明院安政6卒	中小姓	25	8~9	65	1789 1853	寛政元年 嘉永6年9月21日	寛政12年2月15日小貫唯七則應養子[宗林軒遺書拾集]		[譜][註4] [宗林軒様御控物抜書]
	朝倉南陵 朝倉友信四女	二女	—	朝倉 登美	錦章童女			7~8	9	1792 1800	寛政4年 寛政12年8月14日		泉原共同墓地（R4）	[譜] [朝倉家文書]
	朝倉南陵 朝倉友信四女	三男	⑤	朝倉 震陵	直逞 牧太 震山 三郎 喜作 八代吉 奇石軒震陵等璃居士 妻嘉永2卒41	中小姓/絵師 [牧太譜録]に詳細	25	8~9	74	1798 1871	寛政10年12月28日 明治4年11月29日	三番丁 谷文晁師事『献功隊奥羽蝦夷地出張中風説記』『巷説小記』	泉原共同墓地（R4）妻墓碑有	[譜][註1][註4][註5][註8][註9] [註11][註15][郷土史7号]
	小貫言訓（朝倉喜次郎） 渡邊竫女	＊二男	—	朝倉 光直	震陵養子 又吉 虎之助 臺陵道高居士			8~9	23	1841	天保12年4月8日	天保6年縁組（朝倉直逞震陵文久4年譜録提出）	泉原共同墓地（R4）	[譜] [朝倉家文書]
	朝倉直逞震陵 藤井道之助常恭女	長男	⑥	朝倉 瑚内 ☆	光業(ミツコト) 練治 鎚吉 晴霞 子精 南峰 晩香軒南峯等樹居士	中士下等 堺町御門警衛（文久3年）	25→10.2(M4)	9	61	1842 1902	天保13年9月3日 明治35(6)年5月9日	徳山667番屋敷 妻林諒益政順女シケ心空明智大姉明治8年5月29日卒28歳	泉原共同墓地（R4）妻墓碑有	[譜][註4][註16]元治元年家督 (明治4年30歳分限帳)
	朝倉直逞震陵 藤井道之助常恭女	長女	—	朝倉 瀧	三木杢之介貞縄妻			8~9		1826	文政9年11月14日	天保8年2月15日縁組天保13年正月3日嫁		[譜] [朝倉家文書]
	朝倉直逞震陵 藤井道之助常恭女	二女	—	朝倉 登志	大野直應妻 清操院仙質容大姉 大野家墓碑福田寺(童子墓碑2基)			8~9	55	1829 1883	文政12年12月25日 明治16年10月28日	天保14年正月15日縁組弘化3年正月20日嫁	東京	[譜] [朝倉家文書]
	朝倉直逞震陵 藤井道之助常恭女	三女	—	朝倉 萬佐	吉弘愛之輔質直妻			8~9		1832	天保3年11月10日	嘉永元年10月18日嫁		[譜] [朝倉家文書]
	朝倉直逞震陵 藤井道之助常恭女	四女	—	朝倉 萬津	医師松岡珙英妻珙英死去 室積医師一城玄孝倅顕輔（通欽）妻			8~9	25	1835 1859	天保6年9月朔日 安政6年8月3日	嘉永4年松岡嫁後安政2年12月14日再婚/翠雲院		[譜] [朝倉家文書]
	朝倉直逞震陵 藤井道之助常恭女	五女	—	朝倉 利喜	信田徽胤作太夫妻後秋山光貞妻 作太夫殉難後慶応2年実家引取願			8~9		1839	天保10年9月27日	万延元年9月13日信田嫁/明治3年4月6日山口藩秋山再婚		[譜] [朝倉家文書]
	朝倉瑚内 林諒益政順女茂	長女	—	朝倉 登世	吉田乙雄妻			—		1867	慶応3年12月12日	明治20年4月縁組		[朝倉家文書]
	朝倉瑚内 林諒益政順女茂	長男	⑦	朝倉 喜代熊	妻三丘村士族山脇延衛三女ヨシ			—		1870 1945	明治3年7月8日 昭和20年3月8日	二番町（667番屋敷 徳山4078） 妻温容院實證妙芳大姉昭和14年8月29日卒		[朝倉家文書] (明治4年2歳 分限帳)
	朝倉瑚内 熊毛友田正次長女ヒナ	二男	—	朝倉 秀蔵	鳥野真之丞養子離縁後牟礼安村家			—		1881	明治14年3月22日	母瑚内後妻ヒナ嘉永5年生/淨心院眞室貞光大姉大正3年卒63歳		[朝倉家文書]
	朝倉喜代熊 山脇延衛三女ヨシ	長男	⑧	朝倉 太郎	禅定院天外獨朗居士			—	38	1895 1932	明治28年7月1日 昭和7年8月6日	二番町（667番屋敷 徳山4078） 朝鮮全羅南道羅州郡榮山電気発電所にて毒ガス死去	泉原共同墓地（R4）	[朝倉家文書]
	朝倉喜代熊 山脇延衛三女ヨシ	二男	—	朝倉 武熊	→朝倉武熊			—		1901	明治34年6月10日旧			[朝倉家文書]
	朝倉喜代熊 山脇延衛三女ヨシ	三男	—	朝倉 直三	→朝倉直三			—		1904	明治37年1月5日	朝鮮江東郡勝湖里鉄道官舎		[朝倉家文書]
	朝倉喜代熊 山脇延衛三女ヨシ	四男	—	朝倉 隆	有馬堅隆（原江寺）養子明治41年			—		1907	明治40年12月15日			[朝倉家文書]
	朝倉太郎 彌富六郎ヒデ二女ススズ	長男	⑨	朝倉 喜作		みやま写場（光市）		—		1924	大正13年4月19日	二番町（667番屋敷）/光市 昭和57年1月建立泉原共同墓地（R4）		[朝倉家文書]

	朝倉喜作 田村剛長女陽子	長女	—	朝倉 真理子	小松敏雄に嫁ぐ	みやま写場（光市）		—		1959	昭和34年8月13日	光市		
朝倉家	朝倉喜代熊 朝倉ヨシ	二男	①	朝倉 武熊	妻鳥井角造長女スエノ			—		1901	明治34年6月10日旧			[朝倉家文書]
	朝倉武熊 朝倉スエノ	長男	②	朝倉 昇				—		1937	昭和12年1月16日			[朝倉家文書]
朝倉家	朝倉喜代熊 朝倉ヨシ	三男	①	朝倉 直三	妻有馬堅隆（原江寺）長女多喜子			—		1904	明治37年1月5日	朝鮮江東郡勝湖里鉄道官舎		[朝倉家文書]
	朝倉直三 有馬堅隆トラ長女多喜子	長男	②	朝倉 正祐				—		1931	昭和16年1月28日	同上勝湖里鉄道官舎出生		[朝倉家文書]
	朝倉直三 有馬多喜子	二男	—	朝倉 貫之				—		1932	昭和17年11月29日	朝鮮漢頭里鉄道官舎出生		[朝倉家文書]
	朝倉直三 有馬多喜子	三男	—	朝倉 敏雄				—		1938	昭和13年1月19日			[朝倉家文書]
	朝倉直三 有馬多喜子	四男	—	朝倉 康夫	マンガ太郎 太慶院夏嶽康涼居士	漫画家/芸人 東京演芸協会副会長		—	74	1941 2014	昭和16年8月10日 平成26年8月5日	鉄道官舎出生/東京幡ヶ谷 春田美樹師事	東京都	[朝倉家文書]
浅田家	徳山町商民 某女		①	浅田 信之	新之丞 ＊到岸涼地	蔵本付	15	3	57	 1732	 享保17年5月26日	馬場外町西側自上2番 元禄11年出仕	＊徳山・無量寺	[譜][註4] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	浅田信之 鳥野甚兵衛是定女	長男	②	浅田 盛之	金左衛門	蔵本付	切15	~7	57	 1767	 明和4年11月27日	 享保17年家督		[譜]
	浅田信之 鳥野甚兵衛是定女	二男	—	浅田 信茂	→①浅田信茂	新知別家/祐筆	20二扶持	5~6	47	 1760	 宝暦10年6月5日	東中町西側自北17番東向 享保12年7月陣僧出仕		[譜]
	浅田信之 鳥野甚兵衛是定女	三男	—	浅田 信利	→①浅田信利	新知別家/陣僧	11	3~5		 1739	 元文4年10月25日	新町東側自上6番 某年陣僧出仕		[譜]
	浅田信之 鳥野甚兵衛是定女	四男	—	浅田 信勾	→①浅田信勾	新知別家/茶道	現米5三扶持	5	39	 1762	 宝暦12年4月11日	 元文5年7月陣僧出仕		[譜]
	浅田信之 鳥野甚兵衛是定女	五男	—	浅田 信清	→①浅田信清	新知別家/蔵本付/弓師	二扶持	5~7	61	 1789	 寛政元年11月20日	 延享5年6月弓師出仕		[譜]
	浅田盛之 渡邉林可範喜女	長男	—	浅田 茂健	→浅田茂健	祐筆	20二扶持	6~7	28	 1776	 安永5年6月28日	 宝暦8年浅田信茂養子		[譜]
	浅田盛之 渡邉林賀範喜女	二男	③	浅田 信栄	良蔵 八十八	蔵本付	15	7	25	 1776	 安永5年7月6日	 明和5年家督		[譜]
	西豊井村相本惣右衛門 河内村四郎兵衛女	＊三男	④	浅田 光顕	茂兵衛 與平治 茂平次	蔵本付/算用役(寛政/文化)	15	7~8	79	 1823	 文政6年4月22日	松井立三跡外片側町自上4番 安永5年家督/文化12年隠居		[譜][註4]
	浅田光顕 河内村磯部清右衛門女	長男	⑤	浅田 顕行	重次郎	蔵本付	15	8~9	72	 1852	 嘉永5年正月4日	 文化12年家督/文政3年隠居		[譜]
	弘中正助尚賢 上村重国宇平次女	＊三男	⑥	浅田 信貫	五郎右衛門 幸四郎	蔵本付	15	8~9				 文政2年養子同3年家督/元治元年譜録提出		[譜][註4]
	浅田信貫 藤岡與一左衛門盛恒妹	二男	⑦	浅田 信義	澄平 利左衛門 平作	下士下等	15→4.7(M4)	9		 （明治4年46歳 分限帳）		 嘉永2年見習出仕		[譜][註4]
	浅田信貫 藤岡與一左衛門盛恒妹	三男	—	浅田 盛裕 ☆	→杉原盛裕☆			9		 （明治4年43歳 分限帳）		 嘉永元年杉原盛好養子/浅田栄次伯父	徳山・福田寺無縁墓(H30)	[譜][註4]
	浅田信義 浅田すみ	長男	⑧	浅田 栄次	（堀田馬三と『徳山の両田』）	英語学者/従四位勲五等 藩校興譲館現徳山小学校卒		9	50	1865 1914	慶応元年5月22日 大正3年11月10日	徳山生まれ 広島中、青山学院、工部、理科大、シカゴ大初の博士号	多摩霊園	[註8][註11]
	浅田信義	二男	—	浅田 宗七				—		 （明治4年3歳 分限帳）				
	浅田信義	三男	—	浅田 仁介				—		 （明治4年1歳 分限帳）				
	浅田栄次 浅田みか子	長男	○	浅田 恒彦	妻幾代 長女婿浅田厚			—						
	浅田栄次 浅田みか子	二男	—	浅田 斐彦	妻寿美子 長男直彦			—						
	浅田栄次 浅田みか子	三男	—	浅田 光彦	妻志げ子 長男公彦			—						
浅田家	浅田信之 鳥野甚兵衛是定女	二男	①	浅田 信茂	十蔵 祖閑	祐筆	20二扶持	5~6	47	 1760	 宝暦10年6月5日	東中町西側自北17番東向 享保12年出仕		[譜]
	浅田盛之 渡邉林可範喜女	＊長男	②	浅田 茂健	教助 和泰 新之丞	祐筆	20二扶持	6~7	28	 1776	 安永5年6月28日	 宝暦8年養子同10年家督		[譜]
	福根常久 西村清蔵善征妹	＊二男	③	浅田 恵	良健 本次郎 與助 福根孝右衛門常至弟	祐筆	20二扶持	7~8				 安永5年10月朔日家督/文化2年隠居		[譜]
	棟居伊成 松浦三省女	＊二男	④	浅田 親武	信次郎 棟居小兵衛弟	祐筆	20二扶持	8		 1808	 文化5年正月21日	 文化元年養子/文化2年家督	徳山・無量寺(H30)	[譜]
	河内美喬 河内由清女	＊四男	⑤	浅田 信明	冨三郎 明	祐筆	20二扶持	8	40余	 1825	 文政8年正月5日	 文化5年家督	徳山・無量寺(R1)	[譜][註4]
	福根基右衛門常時 長嶺六郎右衛門女	＊二男	⑥	浅田 昌邵	哲五郎 辨蔵	祐筆後中士下等	25→7.1(M4)	9		 （明治4年62歳 分限帳）		二番丁 文政8年家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]

	浅田昌邵 杉原弥左衛門盛好女	長男	⑦	浅田 昌香	道兵衛 熊吉 本之介 留之介 道輔	藩知事時代廳掌		9			（明治4年38歳 分限帳）	二番丁		[譜]
浅田家	浅田信之 鳥野甚兵衛是定女	三男	①	浅田 信利	可雲	陣僧	11	3~5		1739	元文4年10月25日	新町東側自上6番 某年出仕		[譜]
	浅田信利 藤岡與一左衛門妹	七男	②	浅田 信美	一斎	陣僧	11	5		1753	宝暦3年3月13日		元文4年家督	[譜]
	徳山村文左衛門 某女	＊四男	③	浅田 長秀	十七 祖閑	陣僧	11	5~7	38	1778	安永7年11月9日		宝暦3年家督	[譜]
	藤林忠兵衛 花河原村渡邉與三女	＊	④	浅田 昌政	良三 忠友 養三 石川弥右衛門忠美育弟	陣僧	11	7~8	59	1811	文化8年5月4日	浅田宗仙屋敷跡 外横町北側自西7番南向	安永8年家督	[譜]
	渡邉小平太操 遠石町宮崎與一郎女	＊二男	⑤	浅田 知意	栄泉 養三	陣僧	11	8~9	61	1858	安政5年2月29日		文化7年養子同8年家督	[譜][註4]
	浅田知意 渡邉岡右衛門方尚女	長男	⑥	浅田 著英	良三 知雅 喜雲	藩士	4.7(明治4年)	9			（明治4年44歳 分限帳）		弘化4年家督/明治3年譜録提出	[譜][註4]
	浅田著英 伊藤源五郎景信女	長男	⑦	浅田 文作				9			（明治4年19歳 分限帳）			
	浅田著英	二男	—	浅田 為蔵	仙三郎			9			（明治4年7歳 分限帳）			
浅田家	浅田信之 鳥野甚兵衛是定女	四男	①	浅田 信勾	仙斎 祖閑	茶道	現米5三扶持	5~6	39	1762	宝暦12年4月11日		元文5年7月陣僧出仕	[譜]
	浅田玄格信行 某女	＊長男	②	浅田 信章	松斎 十之進 (信勾甥)	茶道	現米5三扶持	6~7	26	1784	天明4年3月7日	浅田長秀跡外横町北側自西7番	宝暦12年家督	[譜]
	浅田玄格信行 某女	＊四男	③	浅田 信成	古斎 留吉 宗仙 (妻嘉永5年8月29日卒)	茶道	現米5三扶持	7~9	72	1841	天保12年正月23日		徳山・無量寺(H30) 天明6年家督/天保9年隠居/7代就馴公エピソードあり[註9]	[譜][註4][註9]
	浅田信成 徳山町岩崎三左衛門女	長男	④	浅田 信久	宗活 信永 己之助	茶道	現米5三扶持	9	42	1812 1853	年令から逆算 嘉永6年2月25日	壱番町西側北自壱番	天保9年家督	[譜]
	浅田宗仙信成 徳山町岩崎三左衛門女	二男	—	浅田 信定	→①浅田哲顕	新知別家/組外馬廻 藩医/内治外科医	50	9				安政2年新知出仕/種痘御用掛/第二次長州征伐時野戦病院本営		[譜][註1][註3][註4][註13] [註14]
	浅田宗仙信成 徳山町岩崎三左衛門女	三男	—	浅田 愿	愿叔	医師		9		1844	弘化元年4月20日		天保15年神本源太左衛門育	[譜]
		男	—	浅田 直光	玄迪	医師		宗藩				浅江村		[譜]
	浅江村医師浅田玄迪直光 浅田某女	＊長男	⑤	浅田 信好	宗栄 琢磨 (4代信久は伯父/妻信苞姉しすM15卒)	茶道/内治外科[註1] 中士下等/藩医後廃業	25→10.2(M4)	9	57	1828 1884	年令から逆算 明治17年5月22日	徳山村一番丁 嘉永6年家督/文久3年譜録提出(宗栄跡明治3年譜録提出)	徳山・無量寺(H30)	[譜][註1][註4] (明治4年44歳 分限帳)
浅田家	浅田宗仙信成 徳山町岩崎三左衛門女	二男	①	浅田 哲顕	杏伯 文厚 信定 小源治 (緒方洪庵門弟)	組外馬廻 藩医/内治外科医	50	9				安政2年新知出仕/種痘御用掛/第二次長州征伐時野戦病院本営		[譜][註1][註3][註4][註13] [註14]
	岡常敬 高崎平太安章長女	＊三男	②	浅田 顕瑞	→林 顕			9	90	1848 1937	嘉永元年11月2日 昭和12年5月29日	桜馬場外→三番丁 河田佳蔵姉婿/万延元年養子/明治3年譜録提出		[譜][註4][註10][註16]
浅田家	浅田信之 鳥野甚兵衛是定女	五男	①	浅田 信清	俊蔵 信義 文蔵 次右衛門 久蔵	蔵本付/弓細工	二扶持	5~7	61	1789	寛政元年11月20日		延享5年6月出仕	[譜]
	河内村清木七兵衛 末武村田中重郎右衛門女	＊	②	浅田 信正	祐次郎 繁蔵 佐吉 祐左衛門	祐筆	20二扶持	7~9					天明2年養子/寛政2年家督/天保11年隠居	[譜][註4]
	浅田信正	二男	—	浅田 信近	繁次郎	見習/御雇(文化年間)	二扶持	8				文政2年病身に付嫡子退身		[譜]
	浅田祐次郎信正 増見伊左衛門道英女	三男	—	浅田 直皓	→①岡直皓	中小姓	35	7~8		1833	天保4年8月14日	文化11年岡栄之助直道養子		[譜]
	浅田信正 河内村磯部弥四郎女	四男	③	浅田 信敦	新之丞 八之進 久(九)左衛門	祐筆	20二扶持	9	50	1855	安政2年8月13日		天保11年家督	[譜]
	浅田信敦 浅田宗仙信成女	長男	④	浅田 信苞	俊次郎	祐筆後中士下等	25→7.1(M4)	9			（明治4年26歳 分限帳）		安政2年家督/明治3年譜録提出	[譜][註4]
浅田家	柏村左近兵衛勝全	嗣子	○	柏村 高治	勘平			宗藩					萩堅田家付属	[譜]
	柏村高治	嗣子	○	柏村 正綱	六兵衛			宗藩					萩堅田家付属	[譜]
	柏村正綱	嗣子	○	浅田 正喬	勘平			宗藩					延享年中浅田改姓	[譜]
	浅田正喬 徳山町井垣某女	四男	①	浅田 宅行	伴右衛門 権蔵	徒士	20	5~7	61	1797	寛政9年7月6日	戸田村出生	寛延3年杉山長兵衛家臣/宝暦6年出仕	[譜]
	寺田源太夫景休 東豊井村橋本某女	＊二男	②	浅田 宅格	伴七 金右衛門 小十郎	徒士/算用役 下代役『地山方日記』	20	7~8	66	1838	天保9年12月6日	西新町東側自北10番西向 天明6年養子/寛政9年家督/御借銀方惣高並己巳暮利且御払辻		[譜][註4] [徳山毛利文庫]
	浅田宅格 浅田宅行二女	長男	③	浅田 宅善	権蔵 伴次郎	徒士	20	8~9	52	1850	嘉永3年6月29日		天保7年父隠居に付家督翌8年咎め隠居	[譜]
	柳五郎左衛門直斯 徳山町山田加賀吉姉	＊三男	④	浅田 宅彰	伴右衛門 仁右衛門 亮治	徒士後下士上等 藩知事時代正権少属	20→5.7(M4)	9			（明治4年61歳 分限帳）	新丁 天保9年家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	浅田宅彰 難波要之進通恒妹	長男	⑤	浅田 宅晙	晙之進			9			（明治4年18歳 分限帳）	新丁		[譜]

浅田家			①	浅田 種衛門		河合組上等	4.7(明治4年)	9				徳山村橋本町		
											(明治5年40歳 分限帳)			
	浅田種衛門	長男	○	浅田 儀助				9			(明治5年14歳 分限帳)	徳山村橋本町		
	浅田種衛門	二男	—	浅田 弥太郎				—			(明治5年5歳 分限帳)	徳山村橋本町		
浅田家			①	浅田 辰衛門		政務局支配	4.7(明治4年)	9			(明治5年53歳 分限帳)	徳山村今宿		
	浅田辰衛門	長男	○	浅田 安吉				9			(明治5年14歳 分限帳)	徳山村今宿		
	浅田辰衛門	二男	—	浅田 和市	嘉市			9			(明治5年9歳 分限帳)	徳山村今宿		
浅田家			①	浅田 喜久蔵		河合組下等	3.35(明治4年)	9			(明治5年36歳 分限帳)	徳山村今宿		
浅田家			○	浅田 昌延	友右衛門	酒場浅田屋		7		1784	天明4年3月7日	小沢丁抱屋敷(酒場) 献納並び御賞美(安永年間記載)	無量寺無縁墓(H30)	[註1][註4] [御領町人御仕成]
			○	浅田 祐延	友右衛門	酒場浅田屋		7		1792	寛政4年□月3日	献納並び御賞美(安永年間記載)	無量寺無縁墓(H30)	[註1][註4] [御領町人御仕成]
			○	浅田 良助	(祖父浅田友右衛門宝暦6年)	浅田屋		8				徳山船町 献納並び御賞美(享保～明和年間記載)		[註1][註4] [御領町人御仕成]
			①	浅田 友右衛門		煮方	3.35(明治4年)	9			(明治5年44歳 分限帳)	徳山村辻		
			—	浅田 秀吉	浅田友右衛門伯父			9			(明治5年62歳 分限帳)	徳山村辻		
浅田家			○	浅田 孫兵衛	通称浅孫 (浅田義一郎の祖[註9])	書林浅田屋 大阪取引人[註8]	苗字・上下着用	7				徳山村橋本町 7代就馴公貸本にせよと賜えり[註9]/明治期洋服裁縫所・書籍		[註1][註4][註8][註9]
			○	浅田 義一郎	敬厚 子礼 蘭池 光雲院釈義山蘭池居士	共栄汽船創立(副頭取) 初代村会議員	町年寄(文久元年)	9	77	1837 1913	天保8年2月25日 大正5年2月21日	徳山村橋本町 トンボビール醸造/商法会所頭取/金融機関公共社設立委員		[註1][註4][註5][註9][註14]
浅田家			○	浅田 久兵衛		町人						徳山糀町 娘明治11年生まれイワ玉井延一妻		[玉井家略系図/玉井伸昌]
	浅田久兵衛 浅田アサ	嗣子	○	浅田 孝太郎						1876	明治9年	徳山糀町		[玉井家略系図/玉井伸昌]
	浅田孝太郎 村井金作女カツ	嗣子	○	浅田 敏亮	娘愛子医師千治松弥太郎妻	徳中16期/長崎医科専門								[玉井家略系図/玉井伸昌]
	浅田孝太郎 村井金作女カツ	嗣子	○	浅田 暉雄	→玉井暉雄	徳中24期			79	1905 1983	明治38年 昭和58年			[玉井家略系図/玉井伸昌]
浅田家			①	浅田 真一		藩士	1.8(明治4年)	9			(明治4年 分限帳)	福川村		
浅田家			①	浅田 友之丞		藩士	1.8(明治4年)	9			(明治4年 分限帳)	福川村		
浅田家			①	浅田 幸蔵		藩士	1.8(明治4年)	9			(明治4年 分限帳)	徳山村辻		
浅田家			①	浅田 善七		政務局支配 徳山村人民総代村会議員	1.8(明治4年)	9			(明治4年51歳 分限帳)	徳山村辻		[註1]
	浅田善七	嫡子	○	浅田 徳右衛門				9			(明治4年7歳 分限帳)	徳山村辻		
	浅田善七	二男	—	浅田 寅次郎				9			(明治3年5歳 人員録)	徳山村辻		
	浅田善七	三男	—	浅田 武蔵				—			(明治3年3歳 人員録)	徳山村辻		
浅田家			○	浅田 正右衛門	＊然説郭音信士			—		1721	＊享保6年7月17日		＊徳山・無量寺	＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
浅田家			○	浅田 長左衛門	＊諦誉祐真居士			—		1725	＊享保10年8月3日	＊妻諦誉妙真信女享保18年.6.4	＊徳山・無量寺	＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
浅田家			○	浅田 長左衛門	實誉祐玄居士			—				妻實誉妙玄	徳山・無量寺	
浅野家			①	浅野 弥吉		藩士	1.8(明治4年)	9			(明治4年 分限帳)	福川村		
朝日家			①	朝日 宮次郎		藩士/山崎隊	3.6(明治4年)	9			(明治5年26歳 分限帳)	四熊村		[註4] [山崎隊日記]
	浅海通秀	嗣子	○	浅海 通慶				—						[譜]
	浅海通慶	嗣子	○	浅海 隆通	三郎兵衛			—						[譜]
	浅海隆通	二男	○	浅海 通孝	善兵衛			—						[譜]

浅海家	浅海善兵衛通孝 岩崎助左衛門重房女	長男	①	浅海 通意	甚兵衛	徒士	20	3~5	70余	1738	元文3年11月22日	東中町東側自北7番南向 末武村出生浪人/元禄7年出仕/元文元年隠居		[譜][註4]
	種田武兵衛真貞 徳山町釘屋市郎兵衛女	＊三男	②	浅海 直常	甚兵衛 鶴蔵 吉左衛門	中小姓	25	5~7	65	1773	安永2年11月1日	元文元年家督		[譜]
	浅海直常 浅海通意女	長男	③	浅海 直好	忠右衛門 市太郎 直義 義甫	中小姓	25	7	41	1778	安永7年10月17日	安永3年正月家督		[譜]
	遠藤孫左衛門将方 相川清左衛門直葉女	＊二男	④	浅海 将盛	八郎	中小姓	25	7	30	1783	天明3年正月8日	安永7年家督		[譜]
	浅見正諧 八代村医師藤本玄省女	＊三男	⑤	浅海 常忠	平吾 甚助 →浅見正保	中小姓	25	7				天明3年家督/寛政9年浅海家退身		[譜]
	浅海将盛 京都岩田弥左衛門貞春女	＊長男	⑥	浅海 直教	善平 富次郎	中小姓	25	8	47	1826	文政9年12月18日			[譜][註4]
	山縣孫左衛門久煥 山本四郎左衛門正勝妹	＊三男	⑦	浅海 通為	直覚 国衛 浪平 糺輔 浪衛門	中小姓/目付役	25	8~9			(明治4年56歳 分限帳)	二番丁 文政10年家督/江戸藩邸没収時幽囚		[譜][註4][註16]
	浅海通為 粟屋浪江正義妹	二男	⑧	浅海 通直 ☆	他熊 義衛 (妻田中虎次郎秀成女)	中士下等/海軍大尉	25→10.2(M4)	9		1840 (明治4年32歳 分限帳)	天保11年6月	明治3年譜録提出/江戸藩邸没収時幽囚/町会議員(M33年)		[譜][註4][註16] [児玉源太郎/長田昇著]
浅海家			○	浅海 三郎右衛門				8				御借銀方惣高並己巳暮利且御払辻[徳山毛利文庫]		[註4]
浅海家		＊	①	浅海 元安	(浅見)文安 歩哉 濡月庵	町方医		宗藩	67	1832	天保3年11月	長穂村 初め筑前亀井道戴に入門/俳人		
	安藤養玄	＊長男	②	浅海 文珪		町方医		宗藩	73	1809 1881	文化6年3月10日 明治14年	長穂村		[註1]
	浅海文珪 浅海元安二女ふし	嫡子	③	浅海 濤雄	竹窓	町方医 寺小屋(読書算術習字)		宗藩	80余	1834	天保5年2月18日	長穂村 四境戦争時小瀬川病院出仕/明治2年~5年家塾男38女12		[翰墨一架][徳山市教育の歩み]
浅海家 (銭屋)			○	銭屋 好右衛門		下松好右衛門(新)開作		7				徳山町 安永元年(1772)下松好右衛門(新)開作		[註1]
			○	浅海 小兵衛	演誉慈栄居士 (女天明元年山田正明嫁/小兵衛女死亡に付正明享和元年再婚)	銭屋		7		1782	天明2年	徳山町 孫山田正貞		[山田家譜録]
			○	浅海 新蔵	明誉實性居士 妻禎誉壽口大姉享和3年8月卒	銭屋 平野屋高橋治助内(文化10年)	上下着用	7~8		1815	文化12年4月7日	徳山本町 献納並御賞美(享和、文化年間)後妻天誉素明大姉文化5年5月卒	徳山八正寺(R5)	[註4] [御領町人御仕成]
			○	浅海 小兵衛	銭屋小兵衛/唱誉浄學居士 (妻曜誉明照大姉天保7年9月卒)	銭屋 産物吟味方用掛/年寄格	上下着用御免	8~9		1853	嘉永6年11月27日	徳山町 天保2年7月吟味方任命/天保5年献納並び御賞美一件	徳山八正寺(R5)	[註4][註14]
			○	浅海 政熊		銭屋		8~9		1843	天保14年	徳山町	徳山八正寺(R5)	[墓碑]
			○	浅海 弥右衛門	顕誉猷宗居士	銭屋		8~9		1843	天保14年9月	徳山町 (妻誠誉至心大姉明治28年旧5月2日卒)	徳山八正寺(R5)	[墓碑]
			○	浅海 弥三郎	銭屋弥三郎 厚誉栄心居士/妻直誉貞廉大姉	銭屋	上下着用	8~9		1844	天保15年正月11日	徳山町 妻天保14年5月13日卒/天保5年(1834)献納並び賞美一件	徳山八正寺(R5)	[註4]
			○	浅海 藤助	真誉寥観居士	銭屋		8		1805	文化2年8月9日	徳山町	徳山八正寺(R5)傳蔵並記	[墓碑]
			○	浅海 傳蔵	通誉琳達居士	銭屋		8~9		1847	弘化4年9月	徳山町	徳山八正寺(R5)藤助並記	[墓碑]
			○	浅海 常蔵		銭屋		8~9		1846	弘化3年6月5日	徳山町 妻明治28年旧8月卒	徳山八正寺(R5)	[墓碑]
			○	浅海 與兵衛	浣誉濯全居士/妻浣誉明音大姉	銭屋		8~9		1845	弘化2年3月7日	徳山町 妻明治28年旧8月卒	徳山八正寺(R5)	[墓碑]
			○	銭屋 由助		銭屋		9				徳山町 御算用一紙、河内村酒場運上銀(嘉永2年)		[註4]
			○	浅海 勇				—				ぜにや浅海勇昭和53年9月吉日建立(墓碑より)	徳山八正寺(R5)	
浅見家	某女		①	浅見 徳正	平右衛門 無入	祐筆/書家	25	1~3	80余	1701	元禄14年2月2日	武州江戸出生 寛永頃江戸在身出仕/元禄5年隠居	徳山・興元寺	[譜][註1]
	近藤甚之丞	＊	②	浅見 正信	平助	祐筆	25	3~5	80余	1726	享保11年	東端町横町自西3番 元禄5年出仕/元禄14年隠居		[譜][註1]
	藤本四郎兵衛 藤山十左衛門女	＊長男	③	浅見(野原)澄平	丹右衛門 傳吉 利左衛門	祐筆	25	3~6	87	1759	宝暦9年正月21日	元禄14年養子家督/宝暦7年隠居		[譜]
	浅見澄平 塩川源左衛門常安妹	長男	④	浅見 正諧	左内 長澄	中小姓	37.97	5~7	60	1775	安永4年3月27日	宝暦7年家督		[譜]
	浅見正諧 八代村医師藤本玄省女	長男	⑤	浅見 正辰	周助 忠太 平右衛門	組外馬廻	50	7~8	69	1818	文政元年7月29日	安永4年家督/寛政3年譜録提出	徳山・興元寺	[譜][註1][註4]
	浅見正諧 八代村医師藤本玄省女	二男	—	浅見 簾	文孝			~8						[譜]
	浅見正諧 八代村医師藤本玄省女	三男	—	浅見 正保	→①浅見正保 (天明3年浅海家養子後退身)	中小姓	25	7~8	61	1825	文政8年7月19日	東町西側自北7番近藤跡 7代就馴公御納戸役エピソードあり[註9]	徳山・興元寺	[譜][註4][註9]
	浅見正辰 池田次郎兵衛規充女	長男	⑥	浅見 正敏	又兵衛 和平 権平 敏 子慎 蔚斎 巣雲	馬廻/書家 一刀流指南/学館訓導目附	50	8~9	75	1784 1858	天明4年 安政5年2月29日	文化13年家督/弘化4年隠居/書道の大家/役覧泉門下	徳山・興元寺/碑文安積艮斎	[譜][註1][註5][註8][註9][註11] [註14]

	浅見正敏 桜井雄教女浅見ミ子	長男	⑦	浅見 正祐	芳馬 宗之進 五十馬 芳雲院靖恭怡楽居士	馬廻後中士上等	50→14.1(M4)	9	77	(明治4年47歳 分限帳) 1901 明治34年11月14日	上御弓丁 弘化4年家督/文久2年譜録提出/夫婦の墓	大成寺共同墓地(H30)	[譜][註4]
	浅見正敏 桜井雄教女浅見ミ子	四女	—	浅見 スミエ	殉難七士本城清妻 本城寿美			9			弘化3年5月3日結婚/清、寿美宛て遺書元治元年11月		[譜][註1]
	浅見正祐 光井環直亮女	長男	⑧	浅見 津一郎	進 津	徳山町助役(明治36年) 軍人/明月会会員[清韻集]		9	71	(明治4年13歳 分限帳) 1929 昭和14年6月27日	舞車 祐綏神社石灯籠寄進/夫婦の墓・妻大正10年1月25日没	大成寺共同墓地(H30)	[譜][註4][註14] [翰墨一架]
	浅見津一郎		⑨	浅見 敏彦		軍人		—					
	浅見敏彦		⑩	浅見 正彦	妻美智子			—			二番町		
浅見家	浅見正諧 八代村医師藤本玄省女	三男	①	浅見 正保	甚助 實 常忠 勘助 平吾 修司 (天明3年浅海家養子後退身)	中小姓	25	7~8	61	1825 文政8年7月19日	東町西側自北7番近藤跡 寛政9年出仕/7代就馴公御納戸役エピソードあり[註9]	徳山・興元寺	[譜][註4][註9]
	浅見正保 児玉斎宮忠順女	長男	—	浅見 正包	→先山直包	馬廻	50	8~9	70	(明治4年55歳 分限帳) 1886 明治19年11月8日	三番丁 文久4年譜録提出	大迫田本正寺 (H30)	[譜][註4][註8]
	浅見正保 児玉斎宮忠順女	二男	—	浅見 正實	美之亟			8					[譜]
	浅見正保 児玉斎宮忠順女	三男	—	浅見 正澤	→①浅見正澤	新知別家	25→10.2(M4)	9	62	1823 文政6年10月22日 1884 明治17年1月18日	舞車 興譲館最後の第六代教授/『濱崎集』著/詩文『瀟洒会』同人	徳山・興元寺 飯田竹塢撰	[譜][註1][註4][註5][註8][註9] [註11][註14][註16]
	浅見正辰 池田次郎兵衛規充女	＊三男	②	浅見 正欽	栄三郎 自省斎	中小姓 検使船手都合役等歴任	25二扶持	8~9	85	1798 寛政10年7月18日 1882 明治15年12月15日	三番丁 役覧泉、長沼采石師事/唯心一刀流剣術師範	徳山・興元寺	[譜][註1][註4][註5][註8][註9] [註11][註16]
	浅見正欽 浅見常	長男	—	浅見 正虔	安之丞 虔之輔 伯恭 烟渓 煙渓	学館訓導役	従四位	9	33	1833 天保4年10月15日 1865 元治2年1月14日	三番丁 大島槍術指南役/文久3年堺町御門警衛/殉難七士	徳山・興元寺	[譜][註1][註4][註5][註8][註9] [註10][註11][註14]
	浅見正欽 浅見常	二男	—	浅見 忠炳	→児玉次郎彦			9			三番丁 安政5年児玉半九郎養子/徳山殉難七士		[譜]
	浅見正欽 浅見常	三男	③	浅見 正述 ☆	旦 端(はじめ) 述造	中士上等	50→14.1(M4)	9	69	(明治4年20歳 分限帳) 1920 大正9年2月9日	三番丁 明治3年譜録提出	興元寺隠居山(H30)	[譜][註4][註10]
	浅見述造 浅見信子		④	浅見 栄熊	徳巌道光居士 眞室貞操大姉(妻S48.5.9没)	児玉文庫主事		—		1945 昭和20年12月20日	三番丁 児玉文庫管理	興元寺隠居山(H30)	[譜]
	浅見栄熊 浅見ひな	長女	—	浅見 道子	浅見政一妻			—			三番丁/東京 講演多数(児玉文庫戦災について)		
	浅見栄熊 浅見ひな	二女	—	浅見 春子	→小嶋春子			—	87	2020 令和2年11月30日	三番丁/櫛ケ浜		
		＊	⑤	浅見 政一		徳山曹達株式会社		—			東京渋谷区		[註4史料提供]
	浅見政一 浅見道子(栄熊長女)	長男	⑥	浅見 哲		麹町納税貯蓄組合連合会長 税理士		—		1950 昭和25年7月4日	徳山/東京		
浅見家	浅見甚助正保 児玉斎宮忠順女	三男	①	浅見 正澤	修次 修 拙逸 子聿	藩主小姓/世子侍講/中士下等 漢学者/太古塾・山静塾経営M2~	25→10.2(M4)	9	62	1823 文政6年10月22日 1884 明治17年1月18日	舞車 興譲館最後の第六代教授/『濱崎集』著/詩文『瀟洒会』同人	徳山・興元寺 飯田竹塢撰	[譜][註1][註4][註5][註8][註9] [註11][註14][註16]
	浅見正澤 岩崎某女	長男	②	浅見 精一	(修次嫡子佼太郎明治3年2歳人員録)			—	70	(明治4年3歳 分限帳) 1938 昭和13年2月26日	舞車	泉原共同墓地(H30)	[註16]
	浅見精一 浅見正祐女	長男	③	浅見 豊				—					
浅見家			○	浅見 文安	歩哉 嘯月庵	町方医 (長穂村)		~8	67	1832 天保3年11月	長穂村		[註9][註11]
浅屋家			○	浅屋 平蔵		酒造業(天明年間)		7			徳山村		[註4]
阿曽沼家			○	阿曽沼 勝之進				3			徳山藩改易時、黒川三郎左衛門により傷を負う		[註1]
安達家			①	安達 紋次郎		藩士	2.7(明治4年)	9		(明治4年 分限帳)	大津島		
安達家			①	安達 臺助		藩士	1.8(明治4年)	9		(明治4年 分限帳)	大津島		
安達家			①	安達 関蔵		藩士	1.8(明治4年)	9		(明治4年 分限帳)	大津島		
安達家			①	安達 角次郎		藩士	1.8(明治4年)	9		(明治4年 分限帳)	大津島		
安達家			①	安達 儀兵衛		藩士	1.8(明治4年)	9		(明治4年 分限帳)	大津島		
			○	安達 喜兵衛				9		(明治4年 分限帳)	大津島		
安達家			○	安達 富蔵		大津島米改良組委員 (明治19年)		9			都濃郡大津島		[註4]
安達家			○	安達 伴次郎		都濃郡大津島戸長 (明治12年)		9			都濃郡大津島		[註4]
新屋家			○	新屋 久右衛門				3			佐波郡三田尻塩浜 奈古屋里人、元次に追放され一時身を引いた家		[註1]

穴蔵家			○	穴蔵 万兵衛	瓢斎 秋圃 李洞瓢因 壺中仙	俳人/提灯傘張 茶・華・書道教授		9	80		寺町 七草吟社五代目/＊喜寿祝賀句集『はつ涼』大正2年/句集『青瓢』		[註1][註9]＊七種吟社四世 [藻汐木][翰墨一架]
										1916 大正5年頃				
		嫡子	○	穴蔵 栄吉		提灯傘張		—			寺町		[註9]
油屋			○	油屋 権左衛門		町人		3.4			徳山 徳山藩再興に協力、運動資金提供		[註1]
			○	油屋 幾右衛門		町人/櫨蝋板場職		9			徳山 松屋五兵衛ら8名を藩の板場職に指定（嘉永3年1850）		[註1][註4]
天野家			①	天野 照三		藩士	1.8（明治4年）	9		（明治4年 分限帳）	富田村		
綾部家			○	綾部 一歩	→戸田佐右衛門茂貞			—					[註1]
荒川家			○	荒川 貞種	友益	医師		5頃			河内村		[原田家譜録]
			○	荒川 東庵	（東庵妹山田正泰嫁）	医師		5~7			河内村 明和4年7月27日東庵妹山田正泰嫁		[山田家譜録]
荒川家			①	荒川 幸蔵		政務局支配	1.8（明治4年）	9		（明治4年52歳 分限帳）	徳山村夕顔町		
	荒川幸蔵	嫡子	○	荒川 良蔵				9		（明治4年16歳 分限帳）	徳山村夕顔町		
	荒川幸蔵	二男	—	荒川 清助				9		（明治3年14歳 人員録）	徳山村夕顔町		
	荒川幸蔵	三男	—	荒川 又兵衛				9		（明治3年11歳 人員録）	徳山村夕顔町		
荒木家断			断絶	荒木 志摩		藩士	150	1					[註4]
嵐屋			○	嵐屋 吉右衛門		鋳物師（嘉永年間）		8~9			鋳物師職座分・運上銀取立御算用一紙（嘉永2年）		[註4]
嵐屋			○	嵐屋 半兵衛		五ヶ村紙見取（文政3~4年）		8			五ヶ村		[註4]
			○	嵐屋 与助		五ヶ村紙見取（文政5年）		8			五ヶ村		[註4]
嵐屋			○	嵐屋 三平		町人		9			元制産方金銭請払[明治7年谷城礼蔵 徳山毛利家文庫]		[註4]
有木家断			断絶	有木 久太郎		藩士	11	1					[註4]
有田家	農民八右衛門 羽賀村九郎兵衛女	二男	①	有田 保正	嶺右衛門	蔵本付	15	6~7	69	1777 安永6年8月25日	大井村母方有田姓 宝暦13年出仕/安永5年隠居		[譜][註4]
	萩白松六郎右衛門勝久 萩磯邊七郎右衛門女	＊二男	②	有田 為政	市郎右衛門 弥三治	蔵本付	15	7	60	1811 文化8年12月29日	安永5年家督/文化8年隠居		[譜]
	有田為政 萩重松吉兵衛範貞女	長男	③	有田 為之	仁助	蔵本付	15	8	30	1815 文化12年3月5日	文化8年家督		[譜]
	萩商民西村某 萩商民大林三郎右衛門女	＊	④	有田 辰得	善左衛門 西村新左衛門弟	蔵本付	15	8	69	1830 天保元年8月14日	文政元年家督		[譜]
	有田辰得 柿野村中郷弥十郎妹	長男	⑤	有田 幸正	寅之進 惣右衛門	蔵本付	15	8~9		（明治3年70歳 人員録）	隠居前萩門外ゟ上村居住 天保2年家督/嘉永4年隠居		[譜]
	長穂村藤井利右衛門 長穂村某女	＊	⑥	有田 為貞 ☆	芳之丞 芳之助	蔵本付後下士下等	切15後15	9		（明治4年49歳 分限帳）	上村農民 元治元年譜録提出		[譜][註4]
	有田為貞 上村某女	長男	○	有田 善照 ☆	幸之進			9					[譜][註4]
	有田為貞	嫡子	○	有田 精太郎		藩士	4.7（明治4年）	9		（明治4年21歳 分限帳）			
	有田為貞	嫡子	—	有田 保二郎				9		（明治4年17歳 分限帳）			
	有田為貞	嫡子	—	有田 和一郎	和市			9		（明治4年7歳 分限帳）			
	有田為貞	嫡子	—	有田 武吉				—		（明治4年3歳 分限帳）			
有田家			①	有田 鉄蔵		船手組		9		（明治4年70歳 分限帳）			
	有田鉄蔵	嫡子	—	有田 里次郎				9		（明治3年20歳 人員録）			
	有田鉄蔵	嫡子	②	有田 種次郎	（兄喜三郎M4年病死）	藩士	4.7（明治4年）	9		（明治4年18歳 分限帳）			
有田家			①	有田 茂次郎				9		（明治3年64歳 人員録）			

有田家	有田茂次郎	嗣子	②	有田 卯七		駕籠		9						
											(明治3年30歳 人員録)			
有田家			①	有田 幸治		藩士	1.8(明治4年)	9				河内村		
											(明治4年旧 人員録)			
(平賀家) (尾越家) 有福家	有福民部大輔元貞	嗣子	○	有福 貞茂	玄蕃允			—						[譜]
	有福貞茂	嗣子	○	尾越 元久	源助			—						[譜]
	尾越元久	嗣子	○	尾越 就郷	五郎兵衛			—						[譜]
	尾越就郷 萩平賀清兵衛元忠女	二男	①	平賀 郷益	道圓 松之介 玄増	馬廻/本道医師	十扶持	1~5		1709	宝永6年10月6日	寛文年中出仕/平賀玄順法眼門下		[譜]
	河合戸太夫宗勝 三吉道伯玄丹女	＊二男	②	尾越 郷長	忠七 玄桂 留之丞	馬廻/医業	150	3~5	69	1746	延享3年5月23日	横本町南側自東1番北向享保12年 郷益某年隠居ニ付家督/元文5年隠居		[譜]
	有福郷長 平賀郷益女	七男	③	有福 豊郷	茂左衛門 七三郎 鐵之助(丞) 宇源治 郷和 虎嘯軒黒山雄風居士	一代用人	150	5~7	68	1789	寛政元年7月6日	横本町南側自東1番北向 天明3年隠居/妻榮壽院貞室妙昌大姉寛政10年7月27日卒笠付	徳山・福田寺(R3)笠付	[譜]
	有福忠七郷長 有福某女	九男	—	有福 郷方	→①有福郷方	新知別家/中小姓	25	5~7	64	1795	寛政7年11月25日	上中ノ丁東側自南2番西向 天了院小姓幼髪剃出仕/寛保2年別家		[譜]
	有福郷長	＊十男	逝去	有福 久壽	→河合久壽			5		1757	宝暦7年11月27日	宝暦元年河合糺養子	徳山・八正寺(H30)	[譜]
	有福豊郷 末兼十左衛門延利女	長男	④	有福 郷清	合 五郎助 愛之助 四郎五郎	馬廻	150	7		1793	寛政5年2月9日	天明3年家督		[譜]
	有福豊郷 末兼十左衛門延利女	＊六男	⑤	有福 郷永	三郎太夫 鍋之丞 蔵太 沖見 七三郎 諦了院大乗義観居士/後妻原田静則女	馬廻	150	7~8	50	1811	文化8年正月4日	寛政5年家督/後妻覚了院本然妙性大姉文化6年2月2日卒26歳	徳山・福田寺(R3)	[譜]
	河田頼以 岩崎維敬女	＊二男	⑥	有福 郷信	八百蔵 三郎四郎 頼英 後妻文政9年4月17日卒20歳同拓華院花顔微咲大姉天保10年3月10日卒	馬廻	150	8~9				福間屋敷跡下本町西側自北7番 文化7年家督/後妻天保10年10月三木啓二女娶	後妻娘・徳山・福田寺(R3)	[譜][註4]
	有福郷信 有福郷永女	二男	⑦	有福 郷明	左源太 忠七郎	留守居後中士上等	150後70→19.4	9			(明治4年49歳 分限帳)	妻嶺樹院紅顔智英大姉嘉永2.9.21卒21歳/嘉永元.11.5家督	妻・徳山・福田寺(R3)	[譜][註4] (明治3年譜録提出)
	有福郷明 粟屋壽盛六女トメ	嫡子	○	有福 勇				9			(明治4年21歳 分限帳)	母粟屋トメ弘化3年郷明に嫁ぐ		
			—	有福 萬之丞	秀天智苗童子			9		1866	慶応2年12月24日		徳山・福田寺(R3)	
			—	有福 榮太郎	智榮童子			9		1848	嘉永元年5月21日		徳山・福田寺(R3)	
有福家			○	有福 郷実 ☆	慥爾			9						[註4]
有福家			○	有福 秀太郎		山崎隊		9						[註1] [防長回天史]
有福家	有福忠七郷長 有福某女	九男	①	有福 郷方	九八 繁之丞 一古	中小姓	25	5~7	64	1795	寛政7年11月25日	上中ノ丁東側自南2番西向 天了院小姓幼髪剃出仕/寛保2年出仕		[譜]
	増野縫右衛門政保 御座善右衛門季達女	＊二男	退身	有福 郷記	城之助 退身後→山田好古	中小姓	25	7~8				寛政8年3月25日家督/寛政10年退身		[譜]
	桜井宇右衛門雄好 温見村田村與一左衛門女	＊五男	②	有福 郷光	才助	中小姓	25	8~9	25	1843	天保14年3月晦日	寛政10年12月24日家督		[譜][註4]
	大海村中川半左衛門 大海村中川半兵衛央女	＊三男	③	有福 郷豫	権平 廉之丞	中小姓	25	9				天保4年養子同6年家督		[譜]
	渡邉修 寺田光助貞褒女	＊二男	④	有福 郷敏	三郎左衛門 三郎右衛門 郷義 (三男あり) →渡邊敏衛	中小姓後中士下等	25二扶持	9			(明治3年47歳 人員録)	天保14年家督/明治3年譜録提出		[譜][註4][註8]
	有福郷敏 今田操保光妹	長男	○	有福 郷愷 ☆	愷太郎 太郎 蕃愷 楽齋 福間蕃輔 →尾越蕃輔	両人役 藩知事時代正権大参事	130(明治2年) (分限帳明治2年)	9			(明治3年26歳 人員録)	＊妻たか安政6年2月28日生/二女つる(東京赤坂→徳山引越)		[譜][註4][註8][註16] ＊[毛利家文書願届控M30]
	有福郷敏 今田操保光妹	二男	—	有福 徹 ☆	二(次)郎 藤原徹 仲名(明)珉司 →山田徹(文久2年養子)	山崎隊		9	22	1847 1868	弘化4年 明治元年6月25日	ロンドンブルックウッド墓地/徳山・泉原共同墓地(R4碑文有) 元功公随行英国留学/山崎隊墓碑永源山にあり		[譜][註4][註8]
有馬家			①	有馬 直吉		上士鳥羽鎚之丞家来		9			(明治3年23歳 人員録)			
有馬家			○	有馬 堅隆	竹坡	洞庭山原江寺住職		—				久米 易学/詩文/絵画	久米原江寺	[翰墨一架 有吉鼠弟著]
	朝倉喜代熊 山脇延衛三女ヨシ	＊四男	○	有馬 隆		洞庭山原江寺住職		—		1907	明治40年12月15日	久米 明治41年有馬堅隆(原江寺)養子		[朝倉家家譜]
			○	有馬 実成		洞庭山原江寺住職		—	65	1936 2000	昭和11年3月7日 平成12年9月18日	久米 NGO(国際協力NGOセンター副代表)の有馬		
有馬家			○	有馬 丈助		庄屋(文化10年)		8				須万村		[有馬家文書]
			○	有馬 喜一郎		庄屋(嘉永4年)		9				須万村		[有馬家文書]
			○	有馬 要左衛門		庄屋(万延元年)	永代苗字	9				須万村		[有馬家文書]

			○	有馬 登士輔		須万村村会議員(昭和15年)		—				須万村		[有馬家文書]
有馬家	有馬政純(宍戸家臣)	七代孫	○	有馬 基宗	長男宗次他三男あり	宍戸家臣		宗藩				熊毛三丘村		[幽蘭略記] [大涛君墓誌銘(三丘)]
	有馬基宗 西村武兵衛二女智恵	二男	○	有馬 幸次	武之進 彦次郎 勇 宍戸弥四郎 大涛綏(おおなみゆるべ)幸次	宍戸家臣/奇兵隊		宗藩	28	1843 1870	天保14年3月3日 明治3年3月5日	熊毛三丘村 尊王攘夷派/自刃(妻→小嶋千嘉後追自害)	大涛君墓誌銘(三丘)	[幽蘭略記] [大涛君墓誌銘(三丘)]
	小嶋良則	三女	—	有馬 チカ	有馬幸次妻　→小嶋チカ 千嘉(温厚華顔美麗緑髪ナリ)			宗藩		1870	明治3年4月殉死	辞世の句/世を去りて吾も逝くこそ嬉しけれ清き心を主にならひて		幸次烈伝『幽蘭略記』宝迫繁勝著 [小嶋家]
有馬家	宍戸家臣美濃派宗匠某	嫡子	○	有馬 貢	草々子 光城 (現当主有馬正)	徳山中学/三丘村長/熊毛町長 俳人/写真家		—	73	1897 1969	明治30年 昭和44年	熊毛町三丘 句集『青眼鏡』『炭馬抄』『雪光抄』『野鳴頌』他		[翰墨一架][兼崎地橙孫顕彰会]
有馬家			○	有馬 哺雪	広島屋嘉右衛門 哺雪仙 一化房(一荷坊)	俳人/広島屋		9		1853	嘉永6年	鼓吟社二代目可律坊の四天王のひとり[註1]	無量寺[註8]	[註1][註8]
有馬家			○	有馬 貞吉	箭城	熊毛町八代助役/農業		—				熊毛町八代		[翰墨一架]
有吉家			①	有吉 利吉		上士粟屋家人家来		9			(明治3年63歳 人員録)			
	有吉利吉	嫡子	○	有吉 政吉				9			(明治3年22歳 人員録)			
有吉家			①	有吉 雅之輔		藩士	1.8(明治4年)	9			(明治4年 分限帳)	須万村		
有吉家			①	有吉 庄三郎		箱		9			(明治3年40歳 人員録)			
	有吉庄三郎	嫡子	○	有吉 文助				9			(明治3年20歳 人員録)			
	有吉庄三郎	嫡子	—	有吉 初蔵				9			(明治3年14歳 人員録)			
	有吉庄三郎	嫡子	—	有吉 庄吉				9			(明治3年7歳 人員録)			
	有吉庄三郎	嫡子	—	有吉 辰吉				—			(明治3年3歳 人員録)			
有吉家	在原隼人正 陶晴賢妹	嫡子	○	有吉 利正	淡路守 有吉院殿休誉利正居士	神社再建 東光寺建立(須万村)		輝元				山代広瀬(2歳~15歳)/須万 父自決/輝元に須万の地を賜る/有吉祭(朴地区行事)		『翰墨一架』[有吉家譜]
	有吉利正	孫	○	有吉 景利	善右衛門尉			1				富田政所(慶安3年)居住	善宗寺門徒	『翰墨一架』[有吉家譜]
			①	有吉 長七		畔頭/庄屋		~7		1789	寛政元年8月29日	富田村		『翰墨一架』[有吉家譜]
	有吉長七	嗣子	②	有吉 長七		畔頭/庄屋		7~9		1844	天保15年1月10日	富田村		『翰墨一架』[有吉家譜]
	有吉長七	嗣子	③	有吉 宇兵衛	卯(宇)平	大庄屋		8~9		1841	天保12年12月3日	富田村		『翰墨一架』[有吉家譜]
	有吉宇兵衛	嗣子	④	有吉 民蔵		富田村戸長/村会議員/村長 綿屋/醤油醸造業		9		1887	明治20年12月29日	富田村 山崎八幡宮造営尽力	善宗寺総代留守居	『翰墨一架』[有吉家譜]
	有吉民蔵	嗣子	⑤	有吉 熊蔵				—		1916	大正5年10月6日	富田村		『翰墨一架』[有吉家譜]
	有吉熊蔵	嗣子	⑥	有吉 太吉	鼠弟 梅村	印章彫刻士/俳人 徳山印判業組合長		—		1970	(昭和37年77歳) 昭和45年1月23日	都濃郡徳山町1127番屋敷 明治42年創業/『翰墨一架』『藻汐木』著		『翰墨一架』[有吉家譜]
	有吉太吉 有吉せき	二男	⑦	有吉 民雄		印章彫刻士		—		1936	昭和11年2月14日	周南市新町/有吉有文堂		『翰墨一架』[有吉家譜]
	有吉民雄	嫡子	⑧	有吉 英治		徳山高校/東京大学卒		—						
有吉家			○	有吉 三郎太		酒造業		宗藩				末武村		[UAG美術家研究所]他
	有吉三郎太	二男	—	有吉 秀太	永地秀太	洋画家/旧制徳山中学 東京高等工芸学校教授		—	69	1873 1942	明治6年7月15日 昭和17年12月14日	末武村/東京 吉敷郡永地三郎娘結婚婿入		[UAG美術家研究所]他
有好家			①	有好 良右衛門		河合組上等		9			(明治3年48歳 人員録)			
粟屋家萩	毛利広豊5代藩主	＊二一男	○	粟屋 清平	猪之助 入家後主殿 清栄 房清 (妻益田頼母房実女)			7~8	67	1760 1826	宝暦10年12月12日 文政9年7月12日	奈古屋蔵人子分後宗藩粟屋清通養子		[註1]
			○	粟屋 元信	助四郎			毛利				戦功により元就より感状		[譜] [近世防長諸家系図総覧]
	粟屋伊豆守元好	＊三男	○	粟屋 元重	次郎右衛門			毛利						[譜] [近世防長諸家系図総覧]
	粟屋元重	嗣子	○	粟屋 就方	杢允 豊後守 圓海就方大居士			毛利		1592	文禄元年4月10日			[譜] [近世防長諸家系図総覧]
	粟屋就方 某女	長男	①	粟屋 元相	肥前守 豊後守 杢允 左太郎 梅庵宗香/松林院秀誉梅庵宗香居士	家老	500	1	75	1630	寛永7年5月14日	本町東側下角南後西向 萩より御供最初の家老、就隆2歳御守り年寄/元和6年隠居	萩にて死亡/妻は徳山没	[譜][註1][註4] [近世防長諸家系図総覧]

	粟屋就方 某女	二男	一	粟屋 五兵衛		新知別家/萩家来		宗藩						[近世防長諸家系図総覧]
	粟屋就方 某女	三男	一	粟屋 重次	杢之丞 月閑宗樹信士	新知別家/萩家来		宗藩		1615	元和元年8月29日			[譜]
	粟屋元相 岩国東左京女	長男	②	粟屋 隆方	之良 内匠 左太郎 主膳正 監物 東水隆方居士	家老/当職	700	1	72	1675	延宝3年6月23日	元和6年家督/寛文6年隠居	徳山・興元寺(R4)	[譜][註1][註4] [徳山市社寺文化財調査(S59)]
	粟屋元相 岩国東左京女	二男	一	粟屋 元智	半次郎 勘兵衛 隼人 左京 鉄心宗賢居士	萩家来		宗藩	63	1669	寛文9年10月7日	父元相萩仕官隠居に付萩本家筋相続		[譜] [近世防長諸家系図総覧]
	粟屋元相 岩国東左京女	三男	一	粟屋 清右衛門	伝次郎	萩家来		宗藩				一時元相養子、後分家		[譜]
	粟屋元相 萩家来蔵田豊後守女	四男	一	粟屋 隆良	→馬場①粟屋隆良	新知別家	200	1~3	72	1696	元禄9年5月3日	下東横町西側自西2番 寛永6年出仕		[譜] [近世防長諸家系図総覧]
	粟屋元相 萩家来蔵田豊後守女	五男	一	粟屋 正兵衛	→①粟屋政宣	新知別家		1~						[譜] [近世防長諸家系図総覧]
	粟屋隆方 萩家来桂大隅女	長男	③	粟屋 隆長	杢 萬吉 助之進 監物 栄吉 織部助 法山宗輪居士	家老/当職	600	1~3	64	1694	元禄7年4月11日	寛文6年家督	徳山・興元寺(R4)	[譜][註1][註4] [徳山市社寺文化財調査(S59)]
	粟屋隆方 萩家来桂大隅女	二男	一	粟屋 次門	瀬兵衛 与三 新平 →断絶	組外馬廻	150	1				本町東側自北7番屋敷 後、正徳4年谷祐倫住居	寛文6年出仕	[譜][註4]
	粟屋隆方 萩家来桂大隅女	三男	一	粟屋 方正	與一左衛門 小四郎 本徹了源信士 →断絶	新知別家	35	1~2		1684	貞享元年2月19日	延宝6年出仕/天和2年断絶		[譜]
	粟屋隆長 萩家来清水長左衛門女	長男	④	粟屋 隆勝	助之進 佐太郎 隼人 心光相無居士	家老	600	1~3	39	1694	元禄7年5月17日	元禄7年家督	徳山・福田寺(R4)	[譜] [徳山市社寺文化財調査(S59)]
	粟屋隆長 萩家来清水長左衛門女	二男	一	粟屋 長正	→木梨長正	馬廻	59.479	2~4	51	1721	享保6年8月5日	元禄2年木梨勝則家督/堅室明剛信士	徳山・福田寺(R4)	[譜][註4] [徳山市社寺文化財調査(S59)]
	粟屋隆長 萩家来清水長左衛門女	三男	一	粟屋 方房	→西ノ丁①粟屋方房	新知別家	35	2~4	46	1720	享保5年5月6日	西丁東側自北6番 元禄2年出仕/不関静生信士	徳山・福田寺(R4)	[譜][註4] [徳山市社寺文化財調査(S59)]
	粟屋隆勝 福間彦兵衛隆信女	長男	⑤	粟屋 次興	内匠 佐太郎 源太郎 蔵人 泰心院徹山浄雄居士	家老	600	3~5	56	1739	元文4年8月30日	元禄7年9月家督/徳山藩改易時家老・相島流罪	徳山・福田寺(R4)娘千代石仏	[譜][註1][註4]
（下） 粟屋家	粟屋隆勝 福間彦兵衛隆信女	二男	一	粟屋 次尚	→福間次遥	家老	600	3~7	84	1693 1776	元禄6年7月1日 安永5年2月17日	再興後今宿下屋敷後富田 宝永4年養子/徳山藩改易時阿武町沖大島流罪/後開放隠居	（福間一族富田善宗寺）	[譜][註1]
	粟屋次興 萩家来小幡助左衛門就十女	長男	⑥	粟屋 尭知	杢 佐太郎 喜平次 助之進 流謳 清浄院一源流謳居士	家老	600	4~5	74	1781	天明元年10月25日	享保4年家督同17年隠居/妻梅琴院冷容清薫大姉寛延3.11.29卒	徳山・福田寺(R4)	[譜]
	粟屋内匠次興 萩家来小幡助右衛門就十女	二男	一	粟屋 尭義	→福間尭義	家老	一時断絶	5~7	83	1706 1788	宝永3年 天明8年7月15日	享保4年養子家督時幼少に付次遥後見/家譜調査作成		[譜][註4]
	粟屋尭知 萩家来清水長左衛門就治女	長男	⑦	粟屋 佐太郎	夢覚一炊童子 (早逝)	家老	断絶新知300	5	3	1733	享保18年10月10日	享保17年6月23日家督	徳山・福田寺(R4)	[譜]
	粟屋尭知 萩家来清水長左衛門就治女	二男	一	粟屋 信成	隼人 澄江軒孤月了圓居士 萩粟屋木工信與養子	萩寄組		宗藩	31	1764	明和元年8月13日	延享元年養子/妻周布吉兵衛兼道女/伯父豊躬育子分		[譜] 成信[近世防長諸家系図総覧]
	粟屋尭知 萩家来清水長左衛門就治女	三男	一	粟屋 直皓	萩門田三郎右衛門儀定養子(安永8年)	萩家来		宗藩				明和6年熊谷半弥直縄養子後安永7年離縁		[譜]
	粟屋尭知 萩家来清水長左衛門就治女	四男	一	粟屋 兼保	萩水津太郎右衛門養子(寛政5年)	萩家来		宗藩				天明3年萩家来内藤右平次養子後天明6年離縁		[譜]
	粟屋次興 萩家来小幡助左衛門就十女	＊三男	⑧	粟屋 豊躬	蔵主 源太郎 治郎右衛門 浮木 直行 海樹院香水浮木居士	家老/当職	435 二男正郁15石分知	5~7	79	1788	天明8年2月10日	享保19年家督/明和8年隠居/父次興の記念碑建立福田寺(R3)	大迫田金剛寺→福田寺(R5)	[譜][註1]
	粟屋豊躬 中川轉豊方女	長男	⑨	粟屋 寛正	亘 久之進 伊織 尚清 寛正軒湛應量海居士/智光院真相妙慧	家老/当職	435	7~8	64	1810	(妻文化14.9.11卒) 文化7年3月23日	明和8年家督/文化5年隠居/奈古屋蔵人を助け鳴風館設立に尽力	徳山・福田寺(R4)	[譜][註1][註4]
	粟屋蔵主豊躬 中川轉豊方女	二男	一	粟屋 勇	→一番丁①粟屋正郁	新知別家	50	7~8				黒川宰太郎屋敷跡 東端町東側自北17番	妻福田寺(R4) 明和2年出仕	[譜][註1]
	粟屋豊躬 中川轉豊方女	三男	一	粟屋 兼門	→生田兼門	馬廻	50	7~8	74	1831	天保2年12月4日	天明6年8月5日生田喜三郎知範養子		[譜][註10]
	粟屋豊躬 中川豊方女	四男	一	粟屋 兼湛	→大野直由	馬廻	130	7~8	48	1815	文化12年9月11日	寛政6年萩赤川養子離縁後文化7年大野伴吾直宝養子	徳山・興元寺(R2)	[譜][註4]
	福間五郎兵衛豊宣 粟屋内蔵次当女	＊四男	⑩	粟屋 壽盛	図書 小三郎 左織 節廉 主水 多炊 清標院巌道義格居士/陽光院梅國英春	家老/当職	435	8~9	72	1779 1850	安永8年12月13日 嘉永3年8月6日	(文化5年家督文政10年隠居) 妻文化15.2.6卒/後妻頌光院誠心貞従大姉安政3.9.11卒	徳山・福田寺(R4)	[譜][註1][註4] 文化14年譜録提出
	粟屋壽盛 箱嶋相序二女	長男	早逝	粟屋 助之進	玉質露光童子			8		1807	文化4年9月2日		大迫田金剛寺→福田寺(R5)	[譜]
	粟屋壽盛 河田族頼以女	三男	⑪	粟屋 鎮城	主水 昌蔵 宰次郎 采人 索人 多炊 鎮綏(しげつね)香艸院仁風鎮城居士	家老/当職後上士	435後150→41.5	9	66	1821 1886	文政4年11月26日 明治19年8月6日	本丁 文政10年家督/後室蓮華院安政4卒/後室萬世	徳山・福田寺(R4)	[譜][註1][註4][註16] (明治4年52歳 分限帳)
	粟屋壽盛 河田族頼以女	四男	一	粟屋 正良	→⑦粟屋正良	中士上等	50→14.1(M4) (100明治2年)	9		(明治4年45歳 分限帳)		文久元年6月3日家督/益田右衛門切腹時警備御目付(元治元年)		[譜][註4] (明治3年譜録提出)
	福間五郎兵衛壽昭 粟屋壽盛五女光	＊二男	⑫	粟屋 蕃穂	友七郎 内匠 采(宰)人 寶樹院春暉蕃穂居士	先鋒隊長(慶応元年)[註16] 養蚕製糸伝習場取締(明治19年)		9	47	1842 1888	天保13年2月5日 明治21年11月22日	安政元年養子	徳山・福田寺(R4)	[譜][註1][註4][註16] [明治4年分限帳]
	粟屋鎮城 京都村井甚助長女萬世	＊三男	⑬	粟屋 穂波	百合之進 宰治郎 瑞豊院徳風穂波居士/浄相院霊屋貞壽			9	46	1862 1907	文久2年正月26日 明治40年	明治22年義兄蕃穂死後家督相続/妻明治35.4.25卒	徳山・福田寺(R4)	[譜] (明治4年10歳 分限帳)
	徳山毛利家10代元功 有馬道純女鉦子	＊六男	⑭	粟屋 武虎	毛利元秀弟 秀峰院威武虎巌居士			—	59	1886 1944	明治19年12月24日 昭和19年7月19日	妻アサノ昭和49年1月4日卒83歳/嫡子武弘S34.4.8卒2歳	徳山・福田寺(R5)	

	粟屋武虎 片山アサノ	嫡子	⑮	粟屋 能武	(よしたけ)(妻テルコ)			—	81	1914 1994	大正3年9月17日 平成6年2月6日		粟屋家之墓(R4) 粟屋家之墓平成元年11月吉日建立		
	内藤善夫 山野井佐紀子	＊二男	⑯	粟屋 孝紀				—				下松市 下粟屋一族家譜作成、墓所(福田寺)改葬に努める			
	粟屋孝紀 常森裕子	長男	⑰	粟屋 秀隆				—				下松市			
	粟屋孝紀 常森裕子	二男	—	粟屋 和樹				—				下松市			
粟屋家			○	粟屋 蕃彦		蚕種製造鴻之峰組 (明治8年)		9							[註1]
粟屋家断			断絶	粟屋 小左衛門		藩士	100	1							[註4]
（上） 粟屋家	粟屋伊豆守元好	二男	○	粟屋 元方	土佐守允 与二 左馬之丞			—							[譜] [近世防長諸家系図総覧]
	粟屋元方	長男	○	粟屋 元種	但馬守 与十郎 内蔵允 元宣			毛利	82	1605	慶長10年2月7日				[譜] [近世防長諸家系図総覧]
	粟屋元種	三男	○	粟屋 景行	少輔六郎 新見勘解由左衛門景実に養子			毛利		1610	慶長15年5月16日				[譜] [近世防長諸家系図総覧]
	粟屋少輔六郎景行 某女	長男	①	粟屋 隆宜	市蔵 内蔵允 與一兵衛	馬廻	100	1		1654	承応3年4月14日	承応元年隠居			[譜][註4] [近世防長諸家系図総覧]
	粟屋隆宜 某女	長男	②	粟屋 隆房	丹宮 七郎右衛門 心了院節山源忠居士	家老	400	1~2		1684	貞享元年11月2日	承応元年家督			[譜] [都濃郡誌全七郎左衛門]
	粟屋隆房 富山兵部隆明女	長男	③	粟屋 隆室	丹宮 万作 七郎右衛門 點境院鐵叟成金居士	家老	400 改易後萩寄組450	1~3		1719	享保4年4月18日	本丁東側自北一番(宝永2年 徳山藩改易時家老・相島流罪/妻智法院浄室恵光大姉	夫婦とも徳山・興元寺(R4)		[譜][註1][註4] (貞享元年家督)
	粟屋隆房 富山兵部隆明女	二男	—	粟屋 忠直	→①粟屋忠直	別家新知/中小姓	35	1~5				延宝5年4月出仕			[譜]
	粟屋隆室 奈古屋主水隆充女	長男	④	粟屋 次當	内蔵 頼母 次房 壽量院徳翁賢明居士 妻知眼院明山慧鏡大姉天明6.9.4卒	藩再興時家老/当職	500	4~7	83	1773	安永2年3月12日	享保4年家督/宝暦12年隠居/母の墓碑建立(興元寺)	徳山・福田寺(R3)		[譜][註1]
	粟屋次當 三吉宗三親雨三女	長男	⑤	粟屋 豊章	房清 靭負 慈容院忍顔慧光居士 妻素光院圓室慈照大姉文化15.3.27卒	家老/当職	485	6~8		1808	文化5年6月19日	本丁 宝暦12年家督/奈古屋蔵人を助け鳴鳳館設立に尽力	徳山・福田寺(R3)		[譜][註1]
	粟屋次當 三吉宗三親雨三女	二男	—	粟屋 房郷	→①粟屋房郷	新知別家/馬廻	50	5~8	61	1801	享和元年6月24日	鐘楼丁西側自北6番 宝暦7年12月出仕			[譜]
	粟屋豊章 杉山丹下豊俊姉	二男	⑥	粟屋 馴郷	義郷 常之進 但見 隼人 丹宮 直槌 廓應院通心達道居士	家老		~8		1819	文政2年8月2日	妻福間豊宣女天保7年8月14日卒/文化5年譜録提出	徳山・福田寺(R3)		[譜][註4]
	粟屋靭負豊章 杉山丹下豊俊姉(実母)?	三男	—	粟屋 政直	→増野貞直	馬廻/目付役(天保2年)	80	~8	68	1834	天保5年7月4日	浜崎浦開作御手築立一件(天保2年)文化5、13年譜録提出			[譜][註1][註4] (一部資料により相違あり)
	粟屋豊章 杉山丹下豊俊姉	四男	—	粟屋 馴正	仁三郎 忠貫 實明院徹心道清居士			~8		1836	天保7年9月29日	奈古屋蔵人養子(天明6年12月～寛政5年10月)	徳山・福田寺(R3)		[譜] (一部資料により相違あり)
	粟屋豊章 杉山丹下豊俊姉	五男	—	粟屋 壽候	頼母 月泉院心源徹照居士 (妻富山馴正長女文化4年娶[譜])	天保百姓一揆取締[註4]		~8		1833	天保4年7月29日		徳山・福田寺(R3)		[註4] (一部資料により相違あり)
	富山勘解由馴正 富山豊實女	長女	—	粟屋 操子	采雄母 智鏡院慧覚貞操大姉	歌人		9	85	1874	明治7年11月29日	桜井魁園の送別歌集『花勝間』に収められている	徳山・福田寺(R3)		[註1][明治歌人註8][註9][註16]
	粟屋壽候 粟屋操子	嫡子	⑦	粟屋 采雄	瑄之丞 直之進 靭負 壽温 采風院温厚直道居士(妻堀田篤蔚女	家老(加判) 当職(天保6年～弘化元年)	535	9	76	(明治3年62歳 人員録) 1884	明治17年7月12日	被差出候御役人(天保2年百姓一揆の折)/妻永晶院	徳山・福田寺(R3)		[註1][註4][註16]
	粟屋壽候 粟屋操子	嫡子	⑧	粟屋 記礼	宰人 精 謙光院春月柳坡居士 妻浄光院澄心玉暎大姉明治41.9.23卒	家老 当職(嘉永6年～安政3年)	535	9		1859	安政6年2月18日	藩主元蕃の当職/粟屋隆宜一族墓地にあり	徳山・福田寺(R3)		[註1][註16]
	粟屋壽候 富山勘解由馴正女	嫡子	—	粟屋 孫次郎	→森鎮脩	用人	250	9	36	1847	弘化4年12月4日	横本町南側自東1番北向 騎射名人/墓碑文佐々木敏雄選	徳山・大成寺 [註8]		[譜][註1][註8][註16]
	粟屋壽候 富山勘解由馴正女	嫡子	—	粟屋 優馬	→増野政義	馬廻後中士上等	80後50→14.1	9		(明治4年57歳 分限帳)		二番丁 嘉永2年、明治3年譜録提出			[譜][註4][註16]
	粟屋壽候 富山勘解由馴正女	嫡子	—	粟屋 新十郎	→奈古屋蕃暇	家老/当職	500	9	76	(明治4年54歳 分限帳) 1893	明治26年12月30日	本丁 遠石八幡宮石灯籠/嘉永2年譜録提出	徳山・無量寺(H30)		[譜][註1][註4][註16]
	粟屋壽候 富山勘解由馴正女	嫡子	—	粟屋 女	(岡平馬宗甫妻)			9							[註16]
	粟屋采雄		⑨	粟屋 瑄太郎		上士	530→150	9		(明治3年24歳 人員録)		安政6年3月3日家督			[註4][分限帳明治2年]
	粟屋キクエ		⑩	粟屋 良輔	(母京都下京区東海民弥長女)			9		1902	明治35年7月22日	徳山町4035 死亡につき母キクエ家督相続			
	京都下京区東海民弥長女		中継	粟屋 キクエ				9		1854	安政元年10月28日	徳山町4035 良輔死亡につき母キクエ家督相続後養子直良相続			
	毛利元功 有馬道純女鈺子	＊七男	⑪	粟屋 直良	和平院信念直良居士			9	57	1889 1945	明治22年5月4日 昭和20年10月19日	粟屋キクエ養子大正8年9月27日同年12月15日家督相続			
粟屋家			—	粟屋 七之助	＊紅林幻葉童子			3		1700	元禄13年9月22日	上記粟屋隆宜一族墓地付近にあり	徳山・福田寺(R3)		＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
			—	粟屋 励三郎	秀苗童子			9		1857	安政4年4月21日	上記粟屋隆宜一族墓地付近にあり	徳山・福田寺(R3)		

			—	粟屋 彦麿	彦岳琢磨童子			—					徳山・福田寺(R3)	
										1885	明治18年5月10日	上記粟屋隆宜一族墓地付近にあり		
（馬場）粟屋家	粟屋元相	四男	①	粟屋 隆良	三郎右衛門 新之助 宮治郎	藩士	200	1~3	72			下東横町西側自西2番(元禄		[譜]
	萩家来蔵田豊後守女				圓宗院法誉良器居士					1696	元禄9年5月3日	寛永6年出仕/父没後母同居		[近世防長諸家系図総覧]
	粟屋隆良	長男	②	粟屋 宗温	儀右衛門 治左衛門	馬廻	100	2~5	84					[譜][註4]
	岩崎助左衛門重政女									1740	元文5年11月18日	某年家督元文5年隠居		
	粟屋宗温	長男	③	粟屋 良包	治左衛門	馬廻	100	5	36			横東町北側自西2番		[譜]
	光井祐秀女									1741	寛保元年8月13日	元文5年家督		
	粟屋良包	長男	④	粟屋 良房	良生 小平太 八郎左衛門 儀右衛門	馬廻	100	5~7	53					[譜]
	石田某女				才兵衛 宮之丞					1784	天明4年4月9日	寛保元年家督		
	粟屋良房	長男	⑤	粟屋 兼近	幸次郎 良亮 修	馬廻	100	7~8						[譜][註4]
	堀田正良女											天明4年家督/文化13年咎隠居		
	光井相宣	＊二男	退身	粟屋 義一	良菫 旗之助 熊祐 祐作 三郎右衛門	馬廻	100	8~9				岡部権左衛門屋敷跡馬場町北側自西4番(天保12)		[譜][註4]
	荘原一郎兵衛信勝女				休連 金祐					1860	万延元年9月11日	文政3年-天保11年粟屋家		
	福間壽昌	＊二男	⑥	粟屋 昌英	間 清之進 琢之助 造酒蔵 饒	組外馬廻	100	9	50	1812	文化9年	桜馬場居住(粟屋饒)		[譜][註4]
	福間治郎兵衛政景女				(妻杉原盛緝七女)					1861	文久元年4月8日	天保12年家督/粟屋饒嘉永2年譜録		
	粟屋壽盛	＊四男	⑦	粟屋 正良	與四郎 健之助	中士上等	50→14.1(M4)	9						[譜][註4]
	河田族頼以女				粟屋多炊鎮綏弟(貞良 俊之丞[譜])		(100明治2年)				(明治4年45歳 分限帳)	文久元年6月3日家督/益田右衛門切腹時警備御目付(元治元年)		(明治3年譜録提出)
	粟屋正良	嫡子	○	粟屋 真一郎				9						
											(明治4年17歳 分限帳)			
粟屋家	粟屋元相	五男	①	粟屋 政宣	正兵衛 宰六 夕雲			1~						[譜]
	萩家来蔵田豊後守女													[近世防長諸家系図総覧]
	粟屋政宣	嗣子	②	粟屋 宣勝				不明						
														[粟屋家家譜]
	粟屋宣勝	嗣子	③	粟屋 友信				不明						
														[粟屋家家譜]
	粟屋友信	嗣子	④	粟屋 宣親				不明						
														[粟屋家家譜]
粟屋家	井上為造	＊四男	○	粟屋 登吉	→井上登吉			9						
	高﨑安章女ミキ				(妻松野チヨ・長女コマ松野喜十妻)						(明治3年7歳 人員録)	桜馬場粟屋家		[松野家家譜]
（一番丁）粟屋家	粟屋蔵主豊躬	二男	①	粟屋 正郁	忠躬 勇 才治 清行 智量院清安	馬廻/連歌師	50	7~8				黒川宰太郎屋敷跡	妻福田寺(R4)	[譜][註1]
	中川轉豊方女				妻玄中院慧達妙機大姉文化12.1.28							東端町東側自北17番	明和2年出仕	
	粟屋正郁	長男	②	粟屋 正直	新之助 郁憲 小太郎 小一郎	馬廻	50	8	50					[譜][註4]
	長沼直行女									1826	文政9年2月7日	文化6年家督		
	粟屋正直	長男	③	粟屋 正倩	織人 勇次郎	馬廻	50	8~9				一番丁		[譜][註4]
	萩家来竹下長因女										(明治4年57歳 分限帳)	文政9年家督/文久3年譜録提出		
	粟屋正直	三男	—	粟屋 豫蔵				宗藩						[譜]
	萩家来竹下長因女											萩堅田家家来竹下文仲脊天保14年正月		
	粟屋正倩	長男	④	粟屋 正義 ☆	謹一郎	中士上等	50→14.1(M4)	9				一番丁		[譜][註4]
	嶋田村柱田茂右衛門女				精一郎						(明治4年26歳 分限帳)			
	粟屋正倩	二男	—	粟屋 信義 ☆	才次	中尉		9		1849	嘉永2年2月	一番丁		[譜][註4]
	嶋田村柱田茂右衛門女										(明治4年23歳 分限帳)	西南の役戦死		[児玉源太郎/長田昇著]
			○	粟屋 安之進				—					累世之墓福田寺(R4)	
												粟屋家累世之墓建立昭和6年		
粟屋家断	粟屋隆房	二男	①	粟屋 忠直	権太夫 右直	別家新知/中小姓	35	1~5						[譜]
	富山兵部隆明女											延宝5年4月出仕/享保19年隠居		
	粟屋忠直	長男	②	粟屋 直種	権太夫	馬廻	50	5						[譜][註4]
	末次吉良右衛門女											押込隠居後宝暦6年断絶		
	粟屋忠直	二男	—	粟屋 智恒	與七			5						[譜]
	末次吉良右衛門女											元文2年重月弁右衛門尭智養子		
	粟屋次當	＊二男	③	粟屋 房郷	右仲 嘉傳次	馬廻	50	5	61					[譜]
	三吉宗三親雨女									1801	享和元年6月24日	宝暦3年家督/義父直種断絶に付宝暦6年実家へ差戻		
粟屋家	粟屋次當	二男	①	粟屋 房郷(フサノリ)	右仲 源蔵 衛守 栄次郎 栄彜 房忠	馬廻	50	5~8	61			鐘楼丁西側自北6番		[譜]
	三吉宗三親雨女				當見 嘉傳次					1801	享和元年6月24日	宝暦7年12月新知		
	粟屋房郷	長男	②	粟屋 當彜	廉太 栄次郎 白渓 伯威 直彜	馬廻	75	8~9	64				徳山・無量寺(H30)	[譜][註4][註16]
	安田七兵衛保郷二女					大殿様都合役/御居間物頭				1848	嘉永元年10月21日	享和元年家督/弘化3年隠居/祐綏神社石灯籠寄進		
	粟屋當彜	長男	③	粟屋 當宜	毅 源蔵 美次郎	組外馬廻	75	9				鐘楼堂丁		[譜][註4]
	松野力信交女										(明治4年49歳 分限帳)	弘化3年家督		
	粟屋當宜	長男	④	粟屋 當郁 ☆	彰太郎 多米允	中士上等	50→14.1(M4)	9						[譜][註4]
	宍戸忠欽女						(75明治2年)				(明治4年21歳 分限帳)	明治3年譜録提出		
	粟屋當宜	嫡子	—	粟屋 栄次郎				9						
					粟屋當郁弟						(明治4年14歳 分限帳)			
	粟屋杢隆長	三男	①	粟屋 方房	市左衛門 萬吉 八之進	中小姓	35	2~4	46			西丁東側自北6番	徳山・福田寺無縁墓(R3)	[譜][註4]
	萩家来清水長左衛門女				不関静生信士					1720	享保5年5月6日	元禄2年出仕		[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	粟屋方房	長男	②	粟屋 房雄	與一郎	中小姓	35	~5	16				徳山・福田寺無縁墓(R3)	[譜]
	飯田與三兵衛妹				徹峯霜雄信士					1724	享保9年10月5日			[徳山市社寺文化財調査(S59)]

（西ノ丁） 粟屋家	粟屋方房 飯田興三兵衛妹	＊二男	③	粟屋 直通	忠左衛門 亀松 八之進 安哉 本了	中小姓	35	5~8	80	1799	寛政11年12月3日	享保9年出仕/天明4年隠居/妻本源□□文化12年卒	徳山・福田寺無縁墓（R3）	[譜]
	粟屋直通 大向村長嶺十兵衛妹	二男	④	粟屋 直格	市左衛門 力五郎 七郎	中小姓	35	7	42	1796	寛政8年12月26日	天明4年家督/寛政4年隠居		[譜]
	粟屋直通 大向村長嶺十兵衛妹	＊三男	⑤	粟屋 正敬	哲蔵 義聿 大助 周景	中小姓	35	7~8	44	1811	文化8年9月12日	寛政4年家督		[譜]
	粟屋正敬 井上彦平敬茂女	長男	—	粟屋 直次郎		興元寺弟子(文政元年)		8						
	関清方 櫛ヶ浜中山左次兵衛女	＊二男	中継	粟屋 清直	彦次郎 直次 弥助 源蔵 新右衛門 清徴 義章	中小姓	35	8				文化9年家督/妻の墓碑あり(無量寺R1)		[譜][註4]
	山田光種 谷野与一郎光基女	＊二男	⑦	粟屋 光憲	官兵衛 光弼 友之助	中小姓	35	9		1846	弘化3年9月16日	天保13年養子	徳山・無量寺（R1）	[譜]
		＊	⑧	粟屋 権平		中小姓	35	9				嘉永2年譜録提出	西ノ丁	[譜]
	三吉武平保璋 牧弼将芳妹	＊三男	—	粟屋 道教 ☆	→三吉道教☆	中小姓後中士下等	35	9				嘉永元年粟屋官兵衛光憲養子[三吉家譜録]		[譜][註4]
粟屋家	粟屋土佐守元恒	嗣子	○	粟屋 元貞	土佐守			—				元祖建保年中相模国鎌倉郡粟屋邑在		[譜]
	粟屋元貞	嗣子	○	粟屋 就正	土佐守			—						[譜]
	粟屋就正	嗣子	○	粟屋 元真	土佐守			輝元						[譜]
	粟屋元真 萩家来桜井某女	長男	①	粟屋 就之	土佐守 四郎三郎 四郎右衛門			1	60余	1621	元和7年12月7日	元和年中萩より	隠居後萩にて死去	[譜]
	粟屋就之 快楽院出仕生国不明	長男	—	粟屋 元信	五郎右衛門 新三郎			1				萩粟屋家本家家督		[譜]
	粟屋就之 快楽院出仕生国不明	二男	②	粟屋 就信	四郎右衛門 四郎三郎	膳部	30	1	30	1628	寛永5年3月晦日	元和年中家督	江戸在番中死去	[譜]
	粟屋就之 快楽院出仕生国不明	＊三男	③	粟屋 正重	久左衛門 小四郎 四郎右衛門	膳部	30	1	59	1671	寛文11年10月8日	寛永年中家督	東町東側自北3番（慶安年中）	[譜]
	粟屋正重 近藤某女	長男	④	粟屋 親宜	徳兵衛 馬之助 辰之助	膳部	30四扶持	1~3	63	1704	宝永元年8月23日	寛文11年家督		[譜]
	粟屋正重 近藤某女	二男	—	粟屋 親光	久兵衛 小四郎			1~3				某年服部某養子		[譜]
	粟屋親宜 常岡隆茂女	長男	⑤	粟屋 親行	徳兵衛 左平太 猪之助	膳部	30四扶持	3	44	1714	正徳4年11月12日	宝永元年家督		[譜]
	粟屋親行 坂田源太夫忠直妹	長男	⑥	粟屋 正武	徳兵衛 四郎三郎 四郎右衛門	膳部	30四扶持	3~6	53	1762	宝暦12年12月16日	正徳5年家督		[譜]
	粟屋正武 四熊村医師近間翁軒妹	長男	⑦	粟屋 正常	恵茂助 梅熊 才助 徳兵衛	膳部	30四扶持	6~8	73	1818	文政元年8月3日	宝暦13年家督/文化4年隠居		[譜]
	藤村忠左衛門正栄 諫羽村山本興一左衛門女	＊二男	⑧	粟屋 正倫	治兵衛 喜代三郎 吉三郎	膳部	30二扶持 正常咎め減少	8~9	57	1843	天保14年5月2日	文化4年家督/当粟屋家以外の粟屋家とは無縁[譜]		[譜][註4]
	粟屋正倫 粟屋正常女	長男	⑨	粟屋 正義	波江 馬之助 治郎左衛門	膳部 御臺所都合役	30四扶持	8~9			(明治4年64歳 分限帳)	正倫天保4年隠居ニ付同年家督	三番丁	[譜][註4]
	粟屋正義 入江源助義雅女	長男	⑩	粟屋 正純 ☆	佐太郎 佐熊 金十郎	膳部後中士下等	25十五俵→11.3	9			(明治4年25歳 分限帳)	明治3年譜録提出	三番丁	[譜][註4]
	粟屋正純	嫡子	○	粟屋 真一郎				—			(明治4年1歳 分限帳)		三番丁	
粟屋家			○	粟屋 利次郎		藩士	10.2(明治4年)	9			(明治4年37歳 分限帳)			
粟屋家			○	粟屋 利助	高秀院武徳正儀居士			—		1922	大正11年2月17日	墓碑妻戒名卒年刻印無し	徳山・福田寺無縁墓（R4）	[註4]
粟屋家			○	粟屋 鉄次郎		徳山町長（大正元~3年）		—						[註4]
粟屋家			○	粟屋 呉雪		画家/四条派		7頃						[註1]
粟屋家断			断絶	粟屋 仁兵衛		藩士	25	1						[註4]
	不明		阿武①	外傳宗雲	俗名不明			1		1656	明暦2年4月25日	妻心月妙悟大姉寛永20年(1643)8月10日卒	興元寺/弟五輪建立/安野家墓誌	[朝倉家・阿武家過去帳]
	不明		—	笑峯守三和尚	笑峰芯蒭（万治2年） 外傳宗雲弟	竜文21世興元寺5世住職		1		1675	延宝3年8月3日	明治7年二百回忌		[寺社由来7 P103~104] [朝倉家文書]
	外傳宗雲 不明	嗣子	阿武②	天中松青	俗名不明 天中松青信士			1		1666	寛文6年10月26日	妻善岳妙入大姉(某年3月19日卒詳細不明)	安野家墓誌	[朝倉家・阿武家・興元寺過去帳]
	天中松青 善岳妙入大姉	嗣子	阿武③	阿武 晴之	安野善之丞 禅察宗林信士 (娘は河村幸成の妻)	持弓/浦究役 下松切戸川橋御掛(延宝元年)	15	1~3	68	1639 1706	寛永16年 ＊宝永3年6月20日	上御弓丁西側自上2番 元禄年中阿武改名[過去帳]/寛文年中出仕/元禄10年8月26日隠居	＊徳山・興元寺/妻泉原墓地	[註4][阿武家過去帳] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]

	阿武善之丞晴之 野村平右衛門信直女	長男	○	阿武 平七	観應浄心信士			1~3		1702	元禄15年正月13日	母(晴之妻)一道良心信女享保3年4月18日卒70余歳	泉原共同墓地石祠内(R4)	[朝倉家・阿武家過去帳]
	阿武善之丞晴之 野村平右衛門信直女	嫡子	○	萬映和尚	妙心一座萬映和尚禅師	大成寺万休和尚弟子		~5		1726	享保11年5月15日	伊勢山田にて遷化/百年忌文政8年		[朝倉家過去帳]
	阿武善之丞晴之 野村平右衛門信直女	嫡女	—	阿武 某女	富田南野近間新右衛門妻			5頃						[朝倉家過去帳]
	阿武善之丞晴之 野村平右衛門信直女	嫡女	—	阿武 某女	→朝倉繁経妻 秋山妙収大姉			5頃		1735	享保20年8月20日	馬場外町東側自北1番	泉原共同墓地(R4)	[朝倉家過去帳]
	阿武善之丞晴之 野村平右衛門信直女	嫡女	—	阿武 某女	法雲妙性信女 徳山藩士河村平左衛門幸行(幸成)妻			3		1710	宝永7年3月20日			[朝倉家過去帳]
	阿武善之丞晴之 野村平右衛門信直女	二男	阿武④	阿武 晴兼	長兵衛 性水一浥居士 妻桂林一枝大姉安永2年7月4日卒87歳	持弓	15	3~5	72	1673 1744	延宝元年(4年) 延享元年9月20日	阿武改名[善平譜録]/元禄10年家督/徳山藩改易後流浪断絶	安野家墓誌(R4)	[譜] [朝倉家・阿武家過去帳]
	阿武晴兼 大藤谷村藤井六左衛門女	二男	阿武⑤	阿武 晴俊	六郎左衛門 天然自徳信士			5~7	75	1785	天明5年2月23日	舞車 妻心華妙薫信女寛政11年12月23日卒75歳	泉原共同墓地(R4) 泉原墓地(R4)	[譜] [朝倉家・阿武家過去帳]
	阿武晴兼 大藤谷村藤井六左衛門女	嫡女	—	阿武 某女	桜井新兵衛妻 宝林院釈妙樹大姉			7		1783	天明3年9月25日			[朝倉家過去帳]
	阿武晴兼 大藤谷村藤井六左衛門女	末女	—	阿武 某女	蔵田市郎兵衛妻 釈尼妙性			7		1794	寛政6年4月15日			[朝倉家過去帳]
	阿武晴兼 大藤谷村藤井六左衛門女	嫡子	—	亘天寮鼻首座		興元寺10世大屋弟子		5~6	47	1761	宝暦11年8月17日			[朝倉家過去帳]
	阿武六郎左衛門晴俊 今宿村野上市左衛門女	長男	—	阿武 光世	→朝倉南陵	宝暦11年櫛ケ浜より阿武本宅帰6歳家督後朝倉家養子		7~9	88	1756 1843	宝暦6年 天保14年11月20日	東町東側自北6番勝屋正直跡 雲谷等竺、岩井江雲に師事/徳山藩領内絵図作成	泉原共同墓地(R4)	[譜][註1][註4][註5][註8][註9] [註11][註14][註15]
	阿武六郎左衛門晴俊 今宿村野上市左衛門女	三男	○	阿武 章鄰	良策 里次郎 南渓章鄰居士(墓誌)			7~8	51	1767 1817	明和14年9月 文化14年9月3日	舞車 母今宿野上六右衛門[安野家過去帳]	安野家墓誌(R4)	[譜] [朝倉・阿武家過去帳]
	阿武章鄰 末武村内富孫四郎朝定女	長男	①	阿武 敬美	丹蔵 士徽 徴 才次郎 阿武慎 西陵敬美居士 烏野甚吉育[敬美日記]	一代蔵本付/絵師	三扶持	7~8	34	1795 1828	寛政7年6月22日 文政11年4月16日		泉原共同墓地(R4) 文化9年9月絵図方役所手伝出仕後蔵本付	[譜] [朝倉・阿武家過去帳]
	阿武敬美 徳山今宿福谷磯助女	長男	②	安野 晴充	善平 太吉 幽谷晴充居士 (天保8年安野改名[譜録])	一代蔵本付/絵図方 巡見上使御用掛天保9年	切米15	8~9	35	1853	嘉永6年10月16日	妻廣尚方女蓮臺嘉永2年29歳/後妻藤井信好女花山明治13年58歳	安野家墓誌(R4)	[譜] [安野家過去帳]
	長西甚平正親 徳山村勘右衛門女	＊二男	③	安野 晴秋/華嶺	保五郎 助五郎 乙二 男列(おづら) 烈 華嶺風月居士 (妻利衛端照院華山妙月大姉S19 96歳)	蔵本付後下士下等/絵図方 藩知事時代正権少属 画家	切15後15→4.7	9	76	1842 (明治4年30歳 分限帳)	天保13年	舞車 安政2年7月23日家督/文久3年8月阿米碑制作恩賞 舞車	泉原共同墓地(R4) 泉原共同墓地(R4)	[譜][註4](明治3年譜録提出) [安野家過去帳] [註1][註9]
										1917	大正6年4月2日	大庭学僊師事/兼崎橙堂画像[註1]/自宅で絵画教室		[安野家過去帳]
	長西信順	＊二男	退身	安野 春次	安野晴秋実兄の子 明治13年養子野上屋彦右衛門媒介			—		(明治4年2歳 分限帳)		安野家養子後良弼誕生により退身後福山市千村家養子		[安野家過去帳]
	安野晴秋 三牧好右衛門二女利衛	長男	④	安野 良弼	顕徳院清香良弼居士 (妻貞子慈徳院温質妙貞大姉)			—	78	1963	昭和38年4月3日	舞車 妻山口市信国貞子昭和34年10月28日卒70歳	安野家墓誌(R4)	[安野家過去帳]
	安野良弼 安野貞子	長男	⑤	安野 英夫	清徹院大道英心居士 (妻豊慈温院詠海豊咲大姉)	＊徳中29期/陸軍大学/中佐		—	76	1987	昭和62年12月19日	舞車 妻群馬県山川忠夫長女平成24年10月17日卒93歳	安野家墓誌(R4)	[安野家過去帳]＊[徳高物語]
	安野英夫 安野豊	二男	⑥	安野英昭	(妻高田洋子)			—				舞車		
阿武家断			断絶	阿武 七兵衛		持弓	15	1						[註4]
安藤家断			断絶	安藤 太左衛門		藩士	20	1						[註4]
飯嶋家断			断絶	飯嶋 政右衛門		中小姓	25四扶持	3頃						[註4]
飯嶋家			○	飯嶋 政右衛門	正右衛門[註8]	飯島霊尊(本正寺)		3		1717		江戸生まれ/徳山に立ち寄る 小鼓名手/毛利藩士に音曲教授/本正寺13世に教示を仰ぐ	本正寺境内	[註8] [徳山の思い出/前田麦二]
	飯田與五郎正能	嗣子	○	飯田 正之	瀬兵衛			石州				石州濱田 石州城主古田兵部少輔属古田断絶奥方に付添相州鎌倉		[譜]
	瀬兵衛正之 某氏	長男	①	飯田 以正	與一右衛門 正定 平左衛門	馬廻	40二五扶持	1~3	70	1699	元禄12年8月16日		大迫田本正寺一族あり 寛文7年出仕	[譜]
	飯田以正 山下数馬隆重女	長男	—	飯田 秀仙	玄固 一正 玄琳			不明						[譜]
	松岡玄寿休意 津田市左衛門直信女	＊四男	②	飯田 尭與	瀬衛兵 正盛 正賀 萬助	馬廻	220	2~5	61	1722	享保7年7月14日	貞享元年5月23日養子某年家督	大迫田本正寺一族あり	[譜][註4]
	飯田尭與 飯田以正女	二男	③	飯田 正雨	瀬衛兵 正親 正奥 四郎 與一右衛門 自醉軒[註8]	馬廻	220	5~7	72	1769	明和16年3月24日	本町東側自北六番 享保7年家督/宝暦9年隠居/弓術/国学[註16]	大迫田本正寺[註16]	[譜][註1][註8][註16]
	飯田瀬兵衛尭與 飯田以正女	三男	—	飯田 正方	→飯田正方	新知出仕/中小姓	30	5~7	69	1770	明和7年9月18日	東町西側北自八番 享保6年出仕		[譜]
	飯田正雨 防府大塚法輪寺御遠女	二男	④	飯田 正號	瀬衛兵 正憲 源吾 子先 政名 百合之進 鹿之允 與一右衛門	馬廻/弓隊長 日置流大蔵派射術指南	220	6~8	74	1812	文化9年2月14日	宝暦9年家督/天明7年隠居/有栖川家学統和歌に長ず	本正寺 [摩滅シ難読 註8]	[譜][註1][註5][註8][註11]
	飯田正雨 防府大塚法輪寺即遠女	三男	—	飯田 範正	→①飯田範正	新知出仕(明和2年)/中小姓	25	7~8	61	1802	享和2年9月18日	下六番町西側自南2番 就隆、元次の詩文歌類編集 [註1]『連歌小補抄』著	本正寺(R2)碑文黒神景美	[譜][註1][註5][註8][註11][註14]
	飯田正雨 防府大塚法輪寺即遠女	四男	—	飯田 敏之	通卓 通記 與平次 與次兵衛 小四郎 (萩家来津野甚右衛門貞之養子)	萩家来		宗藩				山口 明和7年萩家来津野甚右衛門貞之養子		[譜]

(阿武家)
安野家

飯田家	飯田正號 木梨又助光忠妹	長男	⑤	飯田 壽臣	代次郎 是正 治郎 浮休 君山 君柱 正臣 大心院湛道無著居士	一代用人	220	7~8	65		1831 天保2年11月15日	大迫田本正寺(H30) 天明7年家督/文政4年隠居		[譜][註4][註8]
	飯田正號 木梨恒高女	二男	一	飯田 為貞	→木梨為貞	馬廻 両人役(天保2年)	59.479	7~9	66		1836 天保7年8月10日	徳山・福田寺(R3) 安永8年木梨光忠養子		[譜][註4]
	飯田正號 木梨恒高女	三男	一	飯田 経徳	才三郎 (萩家来静間政十郎経孝養子)	萩家来		宗藩				山口 天明6年8月養子		[譜]
	飯田正號 木梨又助光忠妹	六男	一	飯田 正式	→望月智式	馬廻 日置流大蔵派射術指南方	130	8~9	61		1840 天保11年4月5日	徳山・無量寺(R1) 享和元年養子/文化2年家督/天保9年隠居		[譜][註4][註5][註8] (文化12年譜録提出)
	佐藤紀内寿足 東五郎左衛門温光女	＊三男	⑥	飯田 篤宗	與一右衛門 義質 宗正 舎 嘉蔵 信解院寂宗如正居士	一代用人	235	8~9			1864 元治元年5月26日	大迫田本正寺(R2) 文政3養子同4年家督/詩文『崇蘭会』同人 [註1]		[譜][註1][註8]
	飯田篤宗 飯田壽臣三女	長男	⑦	飯田 以直	與兵衛 織衛 與一郎 (妻富山要人妹 妹厚蔵妻)	馬廻	150	9	32		1859 安政6年10月4日	本丁 嘉永2年家督/義孝院以直観□居士	大迫田本正寺(H30)	[譜][註16]
	黒川光武 飯田代次郎壽臣長女	＊二男	⑧	飯田 厚蔵	市馬 端 子厚 厚郷(卿)方強 春瀬 民司 平九郎 春瀬院端正厚郷居士	馬廻後中士上等 西洋流砲術師範/漢学者	180後70	9	52	1829 文政12年 1880 明治13年6月27日獄死		本丁 殉難七士調役/明治9年萩の乱捕縛/M3年譜録提出/瀟洒会	大迫田本正寺(R2)	[譜][註1][註4][註5][註8没49歳] [註9][註11][註14][註16]
	飯田厚蔵 飯田篤宗女	長男	⑨	飯田 市馬		藩士	19.4(明治4年) (150明治2年)	9		(明治4年11歳 分限帳)		慶応3年10月10日家督(分限帳明治2年)	大迫田本正寺一族あり	[譜]
	飯田厚蔵 飯田篤宗女	二男	一	飯田 音馬				9		(明治4年7歳 分限帳)			大迫田本正寺一族あり	
			○	飯田 三朗				—				飯田家之墓昭和58年建立大迫田本正寺(H30)	大迫田本正寺一族あり	
飯田家	飯田正雨 防府大塚法輪寺即遠女	三男	①	飯田 範正	弁之助 正前 正樹 織江 周原 與三 與一左衛門 四郎五郎 岡範正[註1]	中小姓(明和2年)/連歌宗匠 小笠原流礼方指南	25	7~8	61	1802 享和2年9月18日		下六番町西側自南2番 就隆、元次の詩文歌類編集 [註1]『連歌小補抄』著	本正寺(R2)碑文黒神景美	[譜][註1][註5][註8][註11][註14]
	飯田範正 奈古屋維章女百合	長男	②	飯田 正輔(まさすけ)	竹舎 波津之進 惟徳 正故 佐十郎 一(市)郎	中小姓/徳山藩連歌宗匠祖 元就250年忌追悼連歌[註1]	25一扶持	8~9	66	1838 天保9年8月3日		西下町西側自北3番 享和元年家督/小笠原流礼方指南/碑文安芸吉村晋選	大迫田本正寺 無縁墓(H30)	[譜][註1][註4][註5][註8][註9] [註11]
	飯田辨之助範正 奈古屋常右衛門維章女	二男	一	飯田 兼敬	→鈴木兼敬	馬廻/医師	75	8				文化元年鈴木周伯養子		[譜][註4][註16]
	飯田正輔 一城玄壽道榮女	長男	③	飯田 俊輔	竹塢 民衛 喜太郎 蕃俊 子乂(介) 喜一郎 基兵衛 一郎左衛門 竹島	組外馬廻/用人/大参事 興譲館第二代教授	50 (130明治2年)	9	82	1812 文化9年9月13日 1893 明治26年12月30日		二番丁北横丁自西二番・譲羽村 廃藩後毛利家家令/釈菜の制/『興譲館新廟記』/崇蘭会同人	東京・青山 碑文大野太衛	[譜][註1][註4][註5][註8][註9] [人員録][註11][註14][註16]
	飯田正輔 宇多中務治綱女	＊二男	④	飯田 範信	信	中士上等/献功堂会議所詰 藩知事時代正権大属	50	9		(明治3年44歳 人員録)		八軒丁(西下町) 詩文『瀟洒会』同人[註4]/幕末伊予へ派遣		[譜][註1][註4][註8] 明治3年譜録提出
	飯田範信 山下順庵泰妹	長男	⑤	飯田 與三				9		(明治3年13歳 人員録)				[註8]
飯田家	飯田瀬兵衛尭與 飯田以正女	三男	①	飯田 正方	平左衛門 弥五兵衛 妻本城恒光女深達院妙相日淨	中小姓	30	5~7	69	1770 明和7年9月18日		東町西側北自八番 享保6年出仕/明和3年隠居/妻寛延4年4月9日卒30	霊山院常□日聰	[譜][本城家家譜]
	萩別府庄右衛門 某女	＊末男	②	飯田 正芳	新吾	中小姓	30	7		1763 宝暦13年6月8日		明和3年家督		[譜]
	飯田正芳 飯田正方女	長男	③	飯田 正路	正倫 茂八郎 松五郎	中小姓	25	7		1797 寛政9年1月27日		天明2年御屋/寛政3年譜録提出		[譜]
	飯田正路	嫡子	○	飯田 左市郎				8						
飯田家			○	飯田 忠直	謙介			—				河内八尾郷士		
	飯田忠直	長男	○	飯田 弥五郎				—						
	生田(里見)十蔵兼門 大家忠伍公説姉	＊二男	離縁	飯田 忠彦	持直 子邦 環山 黙叟 夷浜釣叟 左馬 璠吾 恒裕 要人 刑部 →松尾恒憲	勤王歴史家 著書『大日本野史』291巻他	従四位	8~9	62	1799 寛政10年旧12月18日 1860 万延元年5月27日自刃		徳山生まれ 志信院黙叟理現居士/徳山動物園内石碑大野太衛撰	京都・龍源寺	[註1][註5][註9][註10][註11] [註14]
	飯田忠彦 飯田忠直女キホ	嫡子	○	中田 半助	娘コトは松尾七右衛門妻			9						
	長島文華	＊三男	○	飯田 文彦				—						
	飯田文彦	嗣子	○	飯田 芳郎				—						
飯田家			①	飯田 宗兵衛	米屋宗兵衛 仙慶院義峰良壽居士	町人	苗字(慶応4年)	9		1905 明治38年3月15日		妻ムラ仙林院柏岩貞操大姉慶応元年11月9日卒	徳山・福田寺(R3)	[古文書]
		嗣子	②	飯田 友吉	清光院徳翁昌友居士	河合組下等	切米10石	9	63	(明治3年19歳 人員録) 1914 大正3年10月3日		妻多喜鏡照院天眞知明大姉明治29年5月6日卒	徳山・福田寺(R3)	[古文書]
飯田家			①	飯田 玄仙	(杏仙『医学館一事記』文政6年)	町方医(下松)		8						[註13]
	飯田玄仙	嗣子	②	飯田 元敬		町方医(下松)		~9						[註13]
	飯田元敬	長男	③	飯田 栄平		町方医(下松)		~9	50余			適々塾塾頭		[註13]
	飯田元敬	二男	一	飯田 秀輔				9				嘉永3年適々塾入門		[註13]
	飯田元敬	三男	一	飯田 硝三	碩造[註1][註4]	町方医(下松)		9			四境戦争後死亡	第二次長州征伐時、野戦病院勤務[註1]		[註1][註13]

		＊	④	飯田 栄平(二代目)	飯田硝三妹サダの養子	町方医(下松)		9				豊井村		[註13]
	飯田栄平(二代目)	嫡子	○	飯田 正熊				—				禅僧南天棒に私淑 師の居る西宮へ転居		[註13]
飯田家			○	飯田 熊允		養蚕製糸技術習得者 士族の子弟(明治18年)		—						[註1]
飯田家断			○	飯田 源左衛門		藩士	150	1						[註4]
			○	飯田 源助		馬廻	100	~3						[註4]
伊賀崎家	伊賀崎通晴 下松町石田某女	長男	①	伊賀崎 知善	五郎右衛門 五左衛門 伊ヶ崎五右衛門[註4]	蔵本付	15	3	70	1712	正徳2年正月22日	西新丁西側自北6番東向 元禄6年出仕		[譜][註4]
	伊賀崎和善 玉井弥兵衛政親妹	長男	②	伊賀崎 通明	五左衛門	徒士	20	3~5	70余	1754	宝暦4年12月28日	正徳2年家督/寛延元年隠居		[譜]
	伊賀崎通明 福川町福本某女	長男	③	伊賀崎 通全	甚左衛門 左弥七	徒士	20	5~6	27	1762	宝暦12年7月10日	寛延元年家督		[譜]
	徳留林右衛門 某女	＊	④	伊賀崎 知真	林蔵 武助 甚平 正(庄)八	徒士/下代役(天明3年)	20	6~7	55	1791	寛政3年3月10日	宝暦12年家督/『地山方日記』		[譜][註4]
	伊賀崎知真 亀谷忠左衛門知之女	長男	⑤	伊賀崎 通董	彦二郎 五蔵 伊ヶ崎彦次郎[註4]	徒士	20	7~9	62	1838	天保9年11月12日	寛政3年家督		[譜][註4]
	伊賀崎通董 徳山町佐々木清四郎女	長男	⑥	伊賀崎 通彰	儀之助 善衛門	徒士	20	9	37	1842	天保13年正月17日	天保10年家督		[譜]
	伊賀崎通彰 徳山町山上□三郎姉	二男	—	伊賀崎 五蔵		本正寺弟子		9				嘉永3年12月28日本正寺へ		[譜]
	伊賀崎通董 末武村藤井甚兵衛女	＊三男	⑦	伊賀崎 通宜 ☆	茂吉郎 隼之進 隼之助 (妻松尾市左衛門彰常女)	徒士	20	9				新丁 天保13年家督		[譜][註4]
	伊賀崎通宜	嗣子	⑧	伊賀崎 健一郎		下士上等	20→5.7(M4)	9			(明治4年22歳 分限帳)	明治3年譜録提出		[譜][註4]
伊賀崎家			①	伊賀崎 浦右衛門		船手組	4.7(明治4年)	9			(明治4年48歳 分限帳)			
	伊賀崎浦右衛門	長男	○	伊賀崎 泰吉				9			(明治4年14歳 分限帳)			
	伊賀崎浦右衛門	二男	—	伊賀崎 辰次郎				9			(明治4年9歳 分限帳)			
	伊賀崎浦右衛門	三男	—	伊賀崎 茂一郎				—			(明治4年4歳 分限帳)			
伊賀崎家			①	伊賀崎 岩蔵		船手組		9			(明治4年74歳 分限帳)			
	伊賀崎岩蔵	嗣子	②	伊賀崎 卯三郎		藩士	4.7(明治4年)	9			(明治4年17歳 分限帳)			
伊賀崎家			①	伊賀崎 玉吉		船手組	3.35(明治4年)	9			(明治5年21歳 分限帳)	徳山村横浜		
伊賀崎家			①	伊賀崎 傅吉		藩士	3.0(明治4年)	9			(明治5年47歳 分限帳)	徳山村西浜崎		
	伊賀崎傅吉	嫡子	○	伊賀崎 孫吉	伊ヶ崎孫吉[註1]			9			(明治5年12歳 分限帳)	徳山村西浜崎 岐陽尋常小学校改築工事請負(明治26年)[註1]		[註1]
伊賀崎家			○	伊賀崎 好右衛門		町年寄格	苗字・上下着用	8				徳山町 献納並び賞美一件(天保5年)		[註4]
伊ヶ崎家			①	伊ヶ崎 磯衛門		河合組上等	4.36(明治4年)	9			(明治5年42歳 分限帳)	徳山村間ノ町		
	伊ヶ崎磯衛門	嫡子	○	伊ヶ崎 弥一郎				9			(明治5年12歳 分限帳)	徳山村間ノ町		
伊ヶ崎家			○	伊ヶ崎 半次郎		久米村長		—						[註1][註4]
	河村隠岐守勝秀	嗣子	○	河村 知明	與三右衛門		150	輝元				富田弥地		[譜]
	河村知明	嗣子	○	河村 知安	清右衛門			輝元						[譜]
	河村知安 井上武兵衛女	嫡子	①	生田 隆利	新左衛門 利左衛門 平次郎	馬廻	50	1	60余	1667	寛文7年10月9日	東中町東側自北13番 元和御代萩より		[譜]
	生田隆利 三田尻河村作左衛門秀知女	四男	②	生田 知陳	伊太夫 半十郎	馬廻	50	1~5	70余	1734	享保19年正月29日	寛文7年家督/享保12年隠居		[譜][註4]
	木梨六郎長正 京都並川源兵衛女	＊二男	③	生田 知純	九郎兵衛 万槌 伊平次	馬廻	50	5~7	74	1784	天明4年正月23日	享保13年家督/天明元年隠居		[譜][註4]
	生田知純 松岡玄寿行斎女	三男	④	生田 知範	喜三郎 丹治 平蔵 寅之進	馬廻	50	7~8				天明元年家督/天明6年隠居		[譜]

生田家	粟屋蔵主豊躬 中川轉豊方女	＊三男	⑤	生田 兼門	十蔵 儀十郎 喜三郎 里見儀十郎[註10]	馬廻	50	7~8	74						[譜][註4][註10]
										1831	天保2年12月4日	天明6年家督/文政3年隠居			
	生田兼門 大家伊兵衛公久五女	長男	⑥	生田 知慎	教 忠之進	馬廻	50	8	30						[譜]
										1825	文政8年6月22日	文政3年家督			
	生田兼門 大家忠伍公説姉	＊二男	離縁	生田 恒裕	→飯田忠彦 松尾恒貞養子(文化9年-文政2年)	勤王歴史家	従四位	8~9	62	1799	寛政11年12月18日	徳山生まれ	京都・龍源寺		[註1][註5][註9][註10][註11]
										1860	万延元年5月27日自刃	著書『大日本野史』291巻他/徳山動物園石碑大野太衛撰			[註14]
	岩崎定右衛門貞方 岩崎貞昌女	＊三男	⑦	生田 知温	潤 義三郎 直輔 貞義	馬廻	50	8	22						[譜]
										1828	文政11年7月朔日	文政8年家督			
	児玉小十郎忠盛 粟屋衛守房郷三女	＊長男	退身	生田 道祇	小左衛門 小三郎 坂田爾惟愷育弟分(義父坂田忠友)	馬廻	50	8~9							[譜]
												文政12年生田家養子/天保13年退身			
	生田道祇 生田兼門女ツネ	長男	—	清崖	生田森衛知穀弟(異父) 慧覚 大成寺で得度当時蔵主恵淳	宇和島龍華山等覚寺住職		—							[註1]
												天保13年12月15日大成寺弟子/幕末宇和島藩周旋役徳山藩へ			
	生田知温 生田兼門女ツネ	長男	⑧	生田 知穀	森衛 一郎 知仗 稼村 稼軒 子嶌[註16]	馬廻後中士上等 権少参事/戊辰戦争功	50	9	45	1827		二番丁/徳山・慶万山墓地 徳山・大成寺 [註8]			[譜][註1][註4][註8][註9][註11]
										1871	明治4年10月13日	天保13年家督/騎射奉納嘉永7年山崎八幡宮/崇蘭会同人			[註16](M3譜録提出)
	生田知穀 渡邉邊敏女	長男	⑨	生田 春樹	知一 (＊妻シモ文久3年12月生)		14.1(明治4年)	9		1855	＊安政2年10月	＊徳山村614番地/二番丁			
											(明治4年17歳 分限帳)	明治4年12月家續/＊芝区高輪南毛利元功邸より復籍			＊[願届控東京毛利家文書]
	生田知穀 渡邉邊敏女	＊二男	⑩	生田 東作郎	東作			9				二番丁/＊一番丁			[註8]
											(明治4年11歳 分限帳)				[有田民雄蔵画帳/＊翰墨一架]
	生田知穀 渡邉邊敏女	三男	—	生田 武熊				9				二番丁			
											(明治4年8歳 分限帳)				
	生田知穀 渡邉邊敏女	四男	—	生田 猪助				—		1869	＊明治2年9月	二番丁			
											(明治4年4歳 分限帳)				＊[願届控東京毛利家文書]
	岩崎慎行 江村純一郎忠純女	＊五男	⑪	生田 寅雄		陸軍少将		—							
生田家			○	生田 牧太				不明				西ノ丁(橙堂遺稿)			
															[註16]
生村家			○	生村 浅之進		戸田村湯野村米改良組委員 (明治19年)		9							[註4]
池家断			断絶	池 五郎右衛門		藩士	150	1							[註4]
池田家断			①	池田 専祐	権右衛門 清潤良雲居士	馬廻	53.4244	1					徳山・福田寺(R3)		[譜]
	某女									1680	延宝8年2月27日	發性院御代出仕/延宝7年隠居/妻清機良全信女			＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	井上九左衛門隆政 某女	＊二男	②	池田 専遊	権兵衛 源治郎 ＊一窓円明信士	馬廻	53.4244	2~3	68				徳山・福田寺(R3)		[譜]
										1713	正徳3年正月27日	宝永4年隠居/先妻専祐二女梅峯妙寒信女延宝8年11月15日卒			＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	池田専遊 萩原田平左衛門延利女	長男	③	池田 専英	権右衛門 権七 治太夫 儀助(断絶[註4])	馬廻	75	3~5	70			東町自北4番	徳山・福田寺無縁墓(R3)		[譜][註4]
										1755	宝暦5年3月27日	宝永4年家督/寛延元年隠居			
	池田専遊 萩原田平左衛門延利女	二男	—	池田 之峯	→井上之峯	新知出仕後養子		3~5				東町自北4番			[譜]
												宝永2年中小姓出仕/正徳5年井上之光家督			
	池田専英	長男	—	池田 専冬	造酒之助	別家/御雇小姓(享保11年)		5~				東町自北4番			[譜]
	池田専英	二男	—	池田 祐和	左仲	別家/中小姓(元文3年)		5~				東町自北4番			[譜]
	池田専英 坂七右衛門経之女	三男	④	池田 専常	左内			5~8				東町自北4番			[譜]
												寛延元年家督			
	池田専英 坂七右衛門経之女	四男	—	池田 専方	道伯	別家/須万村医師(某年)		5~				東町自北4番/須万村			[譜]
	池田専英 坂七右衛門経之女	五男	—	池田 一信	玄昌	別家/光井村医師(某年)		5~				東町自北4番/光井村			[譜]
	池田道伯専方	＊	⑤	池田 専喜	権右衛門 治太夫 誠諦院實道永真居士	江戸表方御雇(天明5年)		7					徳山・福田寺(R3)		[譜]
										1818	文政元年1月27日	明和8年7月養子/妻實性院貞顔妙相大姉/文化6年譜録提出			
	池田専喜 庄原一郎兵衛信勝二女	嫡子	断絶	池田 専秀	徹次郎 祐秀 池田専龍兄			8~9							[譜]
										1845	弘化2年7月12日	専喜文化9年永暇専秀死後断絶			
	池田専喜 庄原一郎兵衛信勝二女	五男	—	池田 専龍	耕亭 音五郎 →新池田家初代専龍	中小姓/医師		9							[譜]
池田家	池田専喜 庄原一郎兵衛信勝二女	五男	①	池田 専龍	耕亭 音五郎 庄原一郎兵衛育徹次郎弟	中小姓/医師内治外科	25	9	40				徳山・福田寺(R3)		[譜][註13]
										1846	弘化3年4月15日	天保15年家督/墓碑に池田道謙英敏の名有り			
			—	池田 道謙	英敏 楽貧齋道謙恵譲居士			9					徳山・福田寺(R3)		
												墓碑池田専龍耕亭並記			
	医赤松良雄(龍雄[註3]) 某女	＊長男	②	池田専茂/好安	好安 準策 温斎 活生軒養道好安居士 (妻有馬善左衛門宗忠女 [譜録])	一代馬廻/中士上等 藩医内治外科	50→14.1(M4)	9	54			近藤次郎跡上中ノ丁東側2番	徳山・福田寺(R3)		[譜][註1][註4][註5][註8][註9]
										1823	文政6年6月4日	江戸伊藤玄朴門下/医学館蘭医学教授/ 慶応3年種痘御用掛			[註11][註13][註14]
										1876	明治9年7月16日	嘉永元年家督			
												明治3年譜録提出			
	伊ヶ崎台助 [註3]	＊二男	③	池田 修民	(妻賀屋武亮長女やす [註13]) 良策 [註13]			9		1854	安政元年7月25日	中ノ丁開業			[註13]
										(明治4年25歳 分限帳)		(資料により相違多数)			
池田家			○	池田 専邑	権右衛門 (郷山了本信士元禄13年9月20日卒福田寺墓碑有 専邑特定できず)			3頃							
												＊専邑妻丹鳳院了山貞信女享保4.9.28福田寺(R3)			＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]

池田家			②	池田 十郎左衛門				—				[この池田家項 池田梁蔵研究家三浦孝夫氏提供]		
	池田十郎左衛門	嗣子	③	池田 平右衛門				—						
	池田平右衛門	嗣子	④	池田 七郎右衛門		奈古村畔頭		~9		1861	文久元年7月17日	徳山藩領奈古村	奈古・大覚寺	
	池田七郎右衛門	長男	⑤	池田 梁蔵	克信 青波 寿作 (寿作克信妻安政6年5月11日卒)	中士下等 [大令録]	25	9	38	1833 1870	天保4年 明治3年11月6日	徳山藩領奈古村 明治初頭上海、英国へ/大井川洋式架橋設計建議	奈古・大覚寺	[註4][註11][註16] [阿武郡誌]
	池田七郎右衛門	*	⑥	池田 耕之丞	池田梁蔵弟			9		(明治3年26歳 人員録)		徳山藩領奈古村 [明治4年10月21日付池田家史料31歳]		
	池田耕之丞	長男	⑦	池田 健熊	(妻奈古浦西村文作長女幸子)			9			明治13年頃			
	男爵岩村高俊三男仙彌 池田健熊三女美須子	*	⑧	池田 俊彌	(妻和子)			—				東京渋谷区		
池田家			①	池田 益五郎		藩士	3.6(明治4年)	9		(明治5年34歳 分限帳)		富田村平野町		
池田家			○	池田 桝太郎	範光兄			9				北海道		[註4]
			○	池田 範光	満之進	山崎隊/農民		9	24	1869	明治2年4月11日	富田村 戊辰戦争渡島国茂草野にて戦死	青森柳町/三田尻桑の山/永源山	[註4][註5][註8][註10] [山崎隊日記]
生駒家	某女		①	生駒 長	傳右衛門	中小姓	五扶持銀五枚	1	50余	1678	延宝6年10月4日	奉公以前丹波国 浪人京都葉室家勤仕/寛文年中出仕		[譜]
	生駒長 京都小河原某女	三男	②	生駒 政明	傳左衛門	中小姓	37	1~5	81	1743	寛保3年11月15日	粟屋与一郎屋敷跡 鐘楼丁東側自南3番	延宝6年家督/元文3年隠居	[譜]
	梅地藤右衛門相英 京都小河原某女	*三男	③	生駒 政吉	新助	中小姓	37	5	68	1747	延享4年5月17日	元文3年家督		[譜]
	福山□七平房 譲羽村某女	*二男	④	生駒 政顕	三平 源右衛門 傳左衛門 要助 傳蔵	中小姓	37	5~7	47	1781	天明元年5月15日	岡権八跡西町西側自北12番 延享4年家督/安永9年隠居		[譜][註4]
	生駒政顕 三代政吉女	長男	⑤	生駒 政純	牧太 金五郎 三郎左衛門	中小姓	37	7~8	56	1810	文化7年2月11日	安永9年家督		[譜][註4]
	生駒政純 岡伴次郎敬和妹	長男	⑥	生駒 長逞	政方 芳助 吉三郎 牧太 巌兵衛	中小姓	37	8~9		1853	嘉永6年11月17日	文化7年家督		[譜][註4]
	生駒長逞 谷善十郎道包女	長男	⑦	生駒 政利	敬太郎 *妻中村一郎姉(書道家春秀娘)	中小姓	37	9		(明治3年33歳 人員録)		安政元年家督		[譜][註4] *[御在城日記文久3年]
		*	⑧	生駒 達衛		中士下等	37	9		(明治4年55歳 分限帳)		明治3年譜録提出		[譜][註4]
		嗣子	○	生駒 芳雄	生駒達衛弟とあり(敬太郎の子か)	藩士	10.4(明治4年)	9		(明治4年7歳 分限帳)				
井米屋			○	井米屋 条助		酒造業		7				富海村		[註4]
井米屋			○	井米屋 友助		町人		9				酒場運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		[註4]
伊澤家			○	伊沢 里右衛門	久助	足軽/山見廻役		3		1717	享保2年2月6日	正徳5年万役山事件、久米村の百姓殺害/宗藩にて斬罪		[註1][註3][註9] [徳山御環附一件]
石井家			○	石井 忠左衛門	亮簡院暁譽祖閑居士			3		1701	元禄14年2月25日	娘/教勇院香譽蓮智大姉元禄13年2月2日卒		[石井家]
	石井忠左衛門	嗣子	○	石井 五左衛門	初代五左衛門 亮施院相譽圓宅居士			3~5		1755	宝暦5年8月23日	妻/成杶院相譽妙頓大姉寛延3年5月19日卒		[石井家]
	初代石井五左衛門		—	石井 某	情正院専譽楽法居士			5~7		1790	寛政2年11月28日			[石井家]
	初代石井五左衛門	嗣子	○	石井 五左衛門	二代目五左衛門 香卓院洞譽照雲居士			5~7		1791	寛政3年12月22日	妻/成煥院音譽迎楽大姉寛政3年7月23日卒		[石井家]
			—	石井 伊與助	誠勇院大譽智観居士			8		1830	天保元年12月15日			[石井家]
	二代目石井五左衛門	嗣子	○	石井 伊三郎	教讃院成譽暁□居士			7~9		1852	嘉永5年4月5日	母/恬示院廣譽智察大姉天保11年2月25日卒		[石井家]
	石井伊三郎	嗣子	○	石井 栄作	秀道院順譽栄昌居士 妻/柔順院随譽貞昌大姉S11.1.9 81歳	船手組	4.7(明治4年)	9	62	(明治4年30歳 分限帳) 1903	明治36年2月11日	母/修光院繁譽妙栄大姉明治20年8月24日卒	吉祥院(栗屋)	[石井/小嶋家][徳山藩分限帳]
	石井栄作 小嶋タエ(M12.2嫁ぐ)	長男	早世	石井 某	玉雲童子			—		1879	明治12年12月12日	母タエの小嶋家は徳山殉難七士浅見一族浅見春子嫁先		[石井家]
			○	石井 唯一	(峰彦兄とあり)/父母記入なし) 謙光院恭譽良温居士			—		1906	明治39年9月16日			[石井家]
	石井栄作 小嶋タエ	二男	○	石井 峰彦	頑柔院任譽峯領居士			—	73	1957	昭和32年3月2日	大牟田へ		[石井/小嶋家]
			—	石井 竹乃	峰彦妻/梅光院松譽竹林大姉	甘木山学園初代理事長			102	1991	平成3年6月20日	昭和31年10月学園設立/『潮騒の記』著昭和53年発行		[石井/小嶋家]

	石井栄作 小嶋タエ	三男	—	石井 民治	正覚院□譽励心居士			—		1957	昭和32年7月19日	大牟田		[石井/小嶋家]
	石井栄作 小嶋タエ	四男	—	石井 義美	真光院義譽締道居士			—	56	1951	昭和26年6月9日	大牟田		[石井家]
	石井峰彦 石井竹乃	長男	○	石井 幹夫	淨照院光譽幹道居士			—		1985	昭和60年3月11日	大牟田		[石井家]
	石井峰彦 石井竹乃	嗣子	○	石井 定		甘木山学園三代目理事長		—				大牟田 妻元/慈願院恵譽元香大姉平成13年5月11日68歳		[石井/小嶋家]
	石井定 石井元	嗣子	○	石井 竹彦		甘木山学園四代目理事長		—				大牟田 amagiyama.or.jp		[石井/小嶋家]
石井家			①	石井 喜三郎				9			(明治5年70歳 分限帳)			
	石井喜三郎	嗣子	②	石井 泉作	泉蔵	藩士	3.35(明治4年)	9			(明治5年32歳 分限帳)	徳山村西町		
石井家			①	石井 福蔵		船手組	3.35(明治4年)	9			(明治5年34歳 分限帳)	徳山村今宿		
石井家			①	石井 久吉		藩士	3.35(明治4年)	9			(明治5年32歳 分限帳)	徳山村北山		
石井家			①	石井 米蔵		政務局支配/厩役	1.8(明治4年)	9			(明治5年54歳 分限帳)	徳山村北山 元治元年江戸藩邸没収時幽囚		[註16]
石井家			①	石井 林左衛門		政務局支配	1.8(明治4年)	9			(明治5年54歳 分限帳)	徳山村辻		
石川家			①	石川 平三郎		持弓	15	3						[註4]
			○	石川 右平次		持弓	15	8						[註4]
			○	石川 雄左衛門		持弓後中士上等	20→5.7(M4)	9			(明治4年58歳 分限帳)			[註4]
			○	石川 荒之丞	雄左衛門養育			9			(明治4年21歳 分限帳)			
石川家			①	石川 瀬兵衛		上士福間蕃雄家来		9			(明治3年45歳 人員録)			
	石川瀬兵衛	長男	○	石川 栄作				9			(明治3年7歳 人員録)			
	石川瀬兵衛	二男	—	石川 廣一				9			(明治3年4歳 人員録)			
石川家			①	石川 吉兵衛		藩士	1.8(明治4年)	9			(明治5年21歳 分限帳)	徳山村遠石町		
石川家			○	石川 忠好 ☆	弥九郎			9						[註4]
石川家			○	石川 弥左衛門				5				遠石祭市覚[徳山毛利文庫]宝暦3年6月覚		[註4]
石川家			○	石川 藤一郎		國廣一郎左衛門座	一代15	9						[分限帳明治2年]
石川家断			断絶	石川 藤九郎		持弓	15	3				徳山藩再興功労者 [註1]土佐国へ以後不明『徳山御還付一件』		[註1][註4]
			—	石田 茂	紋兵衛 善徳院壽性□脱居士 (妻 善厚院 寛政10年10月14日没)			~8		1804	文化元年8月28日		大迫田本正寺(H30)	[譜]
	石田紋兵衛茂	嗣子	—	石田 平右衛門				~8		1829	文政12年正月10日		大迫田本正寺(H30)	[譜]
	中村平助直政 平野町小川屋助左衛門女	*	①	石田 方道	十七 文助 持宝院	次一代蔵本付	切15	9	77	1862	文久2年正月9日	徳山村 安政2年出仕(奉公以前召仕)	大迫田本正寺(H30)	[譜][註4]
	石田文助方道 石田平右衛門女モム	長女	—	石田 某女	(→商民中屋藤右衛門嫁)			9				遠石町 弘化3年12月13日遠石町商民中屋藤右衛門嫁		[譜]
	石田文助方道 石田平右衛門女モム	二女	—	石田 某女	(→商民灰屋新右衛門嫁)			9				富田新町 嘉永4年2月21日富田新町商民灰屋新右衛門嫁		[譜]
	石田文助方道 石田平右衛門女モム	三女	—	石田 某女	(→山田幸兵衛素行嫁)			9				安政3年正月15日山田幸兵衛素行嫁		[譜]
	石田文助方道 石田平右衛門女モム	四女	—	石田 某女	(→山田宗兵衛信明嫁)妹二人あり			9				安政5年11月15日山田宗兵衛信明嫁		[譜]
	石田文助方道 石田平右衛門女モム	長男	退身	石田 万嘉	紋平 受法院得證日妙居士 (病身につき退身)	次一代蔵本付	切15	9		1860	万延元年正月13日	徳山村 万嘉病身に付安政4年退身倅幸光嫡子願	大迫田本正寺(H30)	[譜]
石田家	石田万嘉 福川町鏈子屋茂吉女ウタ	長男	②	石田 幸光 ☆	栄三郎 方正 (父若死妹あり明治4年分限帳に名前無)	次一代蔵本付	切15	9				徳山村 文久2年家督/元治元年譜録提出		[譜][註4]
				石田 仙治	義仙院源光日芳居士 (幸光同一人物 地図に仙治方正署名)	下士下等 安野保五郎と藩内地図製作	15→4.7(M4)	9	27	1877	(明治4年21歳 分限帳) 明治10年7月18日	徳山村 明治3年祖母伯母妹と同居/明治3年譜録提出	大迫田本正寺(H30)	[譜][註4] [明治3年人員録][安野家文書]

	福本三輪右衛門詮苞	＊三男	③	石田 安之丞	洌達院安楹日亮居士 →福本安之丞	初代徳山村会議員(M22)		9	59	1856	安政3年正月27日	徳山村(町)	北山共同墓地(R1)	[註1][註14]
										1914	大正5年6月11日	養祖母モム/明治13年家督/妻ツ子[安政4.12.1-]		(明治4年16歳分限帳福本家)
	石田安之丞	長男	④	石田 省三	妻(三丘村中山平蔵孫)貞助二女ユク			—	71	1888	明治21年3月20日	徳山村(町/市)/門司		
	石田万嘉長女ツ子									1958	昭和33年4月28日	大正5年家督/妻ユク[M28.10.12-]/長女禎子[T5.2.25-]		
	石田省三	三男	—	石田 房三				—		1935	昭和10年11月20日	門司		
	石田ユク													
	石田安之丞	長女	⑤	石田 チヨ	(本多喜平/藤谷登元妻)			—		1883	明治16年3月6日	徳山村(町)		
	石田万嘉長女ツ子											母ツ子死亡後大正8年3月家督		
	石田安之丞	二女	—	石田 スエ		旅館松政支店		—		1885	明治18年12月13日			
	石田万嘉長女ツ子											明治39年10月29日都濃郡富岡村宇多房太郎結婚		[山口県商工人名録明治43年]
	石田安之丞	三女	—	石田 モヨ				—		1891	明治24年12月6日			
	石田万嘉長女ツ子											大正2年1月15日佐波郡中関村田島福本真一結婚		
	石田安之丞	四女	—	石田 トモ				—		1896	明治29年5月27日			
	石田万嘉長女ツ子											大正7年2月24日都濃郡須金村松原実蔵結婚		
	石田安之丞	二男	—	石田 東一	→①石田東一	大正5年7月分家		—						
	石田万嘉長女ツ子													
石田家	石田安之丞	二男	①	石田 東一	(妻父平右衛門は山口菊屋家、母ナミ)			—	60	1893	明治26年11月8日	徳山町6149分家/転居5920	石田家之墓大迫田本正寺	
	石田万嘉長女ツ子									1952	昭和27年12月20日	大正7年結婚/妻千代[M28.4.8-S17.2.27]		
	石田東一	長男	②	石田 勉				—				徳山町(市)	大迫田本正寺(H30)	
	津守平右衛門長女千代											石田家之墓昭和30年建立		
	石田東一	四男	③	石田 正夫	(子息元一千葉在住)			—				周南市(旧徳山市)		
	津守平右衛門長女千代													
石田家	石田彦右衛門直忠	嗣子	○	石田 直喜	甚右衛門 (名前の直は真もあり[譜])			—						[譜]
	石田直喜	嗣子	○	石田 時實	惣左衛門			—						[譜]
	石田時實	嗣子	○	石田 直久	卯右衛門			—						[譜]
	石田卯右衛門直久	二男	①	石田 維清	忠右衛門 源右衛門	小膳部	15	7	75					[譜]
	川曲村重国源左衛門女									1784	天明4年5月17日	明和2年出仕/安永8年隠居		
	石田維清	長男	②	石田 方清	忠助 直右衛門 卯七	小膳部	15	7~8	79					[譜][註4]
	上村高杉半兵衛女									1832	天保3年正月8日	安永8年家督/文政元年隠居		
	石田維清	二男	—	石田 惟清	→①石田惟清	新知別家/小膳部	15	8						[譜][註4]
	上村高杉半兵衛女									1840	天保11年3月13日	寛政9年出仕/天保5年隠居		
	石田方清	長男	③	石田 正清	蔵太	蔵本付	切15	8~9	69					[譜][註4]
	重増雲平正真妹									1862	文久2年9月4日	文政元年家督/文久2年隠居		
	石田方清	二男	—	石田 信清	□次郎			8~9						[譜]
	重増雲平正真妹													
	石田正清	長男	—	石田 正信	太吉郎			8~9						[譜]
	石川右平次忠記妹									1844	天保15年10月28日			
	石田正清	二男	④	石田 正幸 ☆	直蔵	下士下等	15→4.7(M4)	9						[譜][註4]
	石川右平次忠記妹									(明治4年45歳 分限帳)		文久2年家督/元治元年譜録提出		
	石田正清	三男	—	石田 正道	正之輔 (萩家来中嶋甲右衛門養)			宗藩						[譜]
	石川右平次忠記妹											安政5年萩清水美作家来中嶋甲右衛門養子		
	石田正清	四男	—	石田 正孝	量之進 直蔵弟	藩士	4.7(明治4年)	9						[譜]
	石川右平次忠記妹									(明治4年32歳 分限帳)				
石田家	石田維清	二男	①	石田 惟清	源蔵 雄清	小膳部	15	8~9						[譜][註4]
	上村高杉半兵衛女									1840	天保11年3月13日	寛政9年出仕/天保5年隠居		
	石田惟清	長男	②	石田 惟次	又五郎 栄蔵	小膳部後同準士	切15後15	8~9						[譜][註4][註16]
	鹿野村原田弥左衛門女									(明治3年60歳 人員録)		天保5年家督/江戸藩邸没収時幽囚/明治3年譜録提出		
	石田惟清	三男	—	石田 惟正	要三郎 鹿野村原田冨左衛門に養子			9						[譜]
	鹿野村原田弥左衛門女											嘉永6年11月7日養子		
	石田惟次	嫡子	○	石田 克三郎		藩士	4.7(明治4年)	9						
										(明治4年22歳 分限帳)				
			○	石田 惟一		徳山小学校6代校長		—						
												明治5年家督/岐陽(現徳山)小学校校長明治17年～明治23年		[徳山小学校史]
石田家			①	石田 龍蔵		船手組	4.7(明治4年)	9						
										(明治4年53歳 分限帳)				
	石田龍蔵	嫡子	○	石田 栄吉				9						
										(明治4年8歳 分限帳)				
石田家			①	石田 堅作		河合組上等	4.36(明治4年)	9				徳山村辻		
										(明治5年39歳 分限帳)				
石田家			○	石田 堅輔				—					福田寺(R3)	[墓碑]
					歓喜光釈明了求念居士					1910	明治43年5月10日	妻不断光釈貞照妙全大姉/卒年刻印無し		
石田家			①	石田 伊作		河合組上等	4.36(明治4年)	9				徳山村鐘撞堂丁		
										(明治5年29歳 分限帳)				

石田家			①	石田 幸蔵		政務局支配		9						
										（明治4年69歳 分限帳）				
	石田幸蔵	嫡子	②	石田 熊蔵	久満蔵	藩士	4.7（明治4年）	9						[註4]
										（明治4年30歳 分限帳）	元制産方金銭請払[明治7年谷城礼蔵 徳山毛利家文庫]			
	石田熊蔵	嫡子	○	石田 孝治				—						
										（明治5年1歳 分限帳）				
石田家			①	石田 熊蔵		河合組上等	4.36（明治4年）	9			徳山村辻			
										（明治5年27歳 分限帳）				
石田家			①	石田 又造	又蔵	河合組下等	3.35（明治4年）	9			徳山村油屋町			
										（明治5年32歳 分限帳）				
	石田又蔵	長男	○	石田 千代蔵				9			徳山村油屋町			
										（明治5年6歳 分限帳）				
	石田又蔵	二男	—	石田 清吉				9			徳山村油屋町			
										（明治5年2歳 分限帳）				
石田家			①	石田 栄助		岩崎幾太郎組下等	3.35（明治4年）	9			徳山村辻			
										（明治5年35歳 分限帳）				
	石田栄助	嫡子	○	石田 米蔵				—			徳山村辻			
										（明治5年4歳 分限帳）				
石田家			①	石田 三寿蔵		山崎隊	2.7（明治4年）	9			大津島			[註4]
										（明治5年27歳 分限帳）				[山崎隊日記]
石田家			①	石田 弥五郎		藩士	1.8（明治4年）	9			大津島			
										（明治5年28歳 分限帳）				
石田家			①	石田 治郎三		藩士	1.8（明治4年）	9			大津島			
										（明治5年25歳 分限帳）				
石田家			①	石田 小野右衛門	小野平(足軽・舞車)	政務局支配	1.8（明治4年）	9			徳山村舞車			[明治2年安野保五郎制作地図]
										（明治5年58歳 分限帳）				[田畠向諸願控]
石田家			○	石田 九郎兵衛		富田古市開作		3						[註1]
											元禄14年（1701）河村弥三右衛門、田畑作左衛門と開作			
石田家			○	石田 亭助	石田屋	町人		8			富田川崎町			[註4]
											百姓一揆にて打ち壊される（天保2年）			
石田家	石田惣左衛門	嗣子	①	石田 弥左衛門				8			富田川崎			
					（死後弟義陳家督）									[生活と祈り 新南陽市教育委員会]
	石田惣左衛門	＊末子	②	石田 義陳	方助 （妻田中氏二男三女あり）	庄屋（文化11年）	銀賜（文政2年）	8~9	76		富田川崎	富田川崎・万福寺/川崎観音		
										1854 嘉永7年11月4日	文化8年家督/藍泉師事/墓碑文浅見巣雲敏撰書			[生活と祈り 新南陽市教育委員会]
	石田義陳	長男	③	石田 安蔵				9			富田川崎			
					（弟道蔵、産を析ちて薬舗となる）									[生活と祈り 新南陽市教育委員会]
石田家			○	石田 順作		奇兵隊/山崎隊/薬種商		9			富田村			[註4][註11]
											勤王志士、資産投じる/本藩毛利氏褒賞す			
石田家			○	石田 治郎兵衛		町人/目代		8			徳山村徳山町			[註4]
											町人数書取(寛政4年)			
石田家			○	石田 好吉		大津島米改良組頭取 （明治19年）		9			大津島			[註4]
石田家			○	石田 利吉		大津島戸長 （明治15年）		9			大津島			[註4]
石田家			○	石田 春蔵		都濃郡第15区戸長 （明治4年士族）		9			末武村			[註4]
石田家			○	石田 治左衛門	種重[新見家譜録]	都濃郡大島村戸長 （明治12年）		9			都濃郡大島村			[註4]
											弘化3年治左衛門女新見新伍嫁			
石田家			○	石田 栄		第7大区第8小区徳山村 戸長（明治10年）		9						[註1]
石田家			○	石田 万七		都濃郡第8区副戸長 （明治4年住農）		9			須万村			[註4]
石田家			○	石田 秀太郎		町方医		9						[註1]
											第二次長州征伐時、第二病院勤務[註1]			
石田家			○	石田 治三郎		徳山村議員		—						[註1]
石田家			○	石田 利兵衛		徳山村議員		—						[註1]
石田家			○	石田 増右衛門				—				福田寺（R3）		[墓碑]
					戒岳明光禅定門					1908 明治41年5月19日	妻去林妙遊禅定門/卒年刻印無し			
石田家			○	石田 玉雄				—				福田寺（R3）		[墓碑]
					眞實院釋玉圓居士					1909 明治42年3月9日				
	照明院	嗣子	①	石田 甚右衛門				—						
					石田家本家初代甚右衛門									[私達と遠石]
	石田甚右衛門	嗣子	②	石田 善兵衛				—						
														[私達と遠石]

石田家	石田善兵衛	嗣子	③	石田 甚右衛門	二代甚右衛門			—						[私達と遠石]
	石田甚右衛門	嗣子	?	石田 甚右衛門	④⑤⑥代々甚右衛門	初代徳山村会議員(M22)		—						[註1][註14] [私達と遠石]
	五代甚右衛門	嗣子	⑦	石田 勝三				—						[私達と遠石]
	石田勝三	嗣子	⑧	石田 保平				—						[私達と遠石]
	石田保平	嗣子	⑨	石田 貞夫				—						[私達と遠石]
石田家	二代目甚右衛門	嫡男	①	石田 清兵衛				9						[私達と遠石]
	石田清兵衛	嗣子	②	石田 宇三郎		藩士	1.8(明治4年)	9		(明治5年30歳 分限帳)	富田村古市町	徳山・岩黒共同墓地		[註8] [私達と遠石]
	石田清兵衛	嫡男	—	石田 作四郎	→①石田作四郎	別家		—						[私達と遠石]
	石田宇三郎	嗣子	③	石田 三代助		鋳物場(鍋釜鍬製作)		—			遠石(鋳物場)			[註8] [私達と遠石]
	石田宇三郎	嫡男	—	石田 清次	→①石田清次	別家		—						[私達と遠石]
	石田三代助	嗣子	④	石田 清	嫡子幸子、益偉			—						[私達と遠石]
石田家	石田宇三郎	嫡男	①	石田 清次				9						[私達と遠石]
	石田清次	長男	②	石田 馨	(長男朗/二男雄東大教授)	徳中4期/内務省神社局長 神奈川他県知事/警視総監		—	75	1885 1959	明治18年5月4日 昭和34年1月26日	徳山遠石		[府君原田三郎とその周辺] [私達と遠石]
	石田馨	長男	③	石田 朗				—						[私達と遠石]
石田家	石田清兵衛	嫡男	①	石田 作四郎				—						[私達と遠石]
	石田作四郎	嗣子	②	石田 亀四郎				—						[私達と遠石]
	石田宇三郎	嗣子	③	石田 清一				—						[私達と遠石]
石田家	二代目甚右衛門	嫡男	①	石田 金兵衛	金兵衛四女コト豊島二代嘉兵衛妻			—						[府君原田三郎とその周辺] [私達と遠石]
	石田金兵衛	嗣子	②	石田 利兵衛				—						[私達と遠石]
	石田金兵衛	嫡男	—	石田 順蔵	→①石田順蔵	別家		—						[私達と遠石]
	石田利兵衛	嗣子	③	石田 六郎				—						[私達と遠石]
	石田六郎	嗣子	④	石田 信次				—						[私達と遠石]
	石田六郎	嫡男	—	石田 俊雄	嫡男裕	酒造家(石田俊夫) 初紅葉酒造取締(昭和29)		—						[府君原田三郎とその周辺] [私達と遠石]
	石田六郎	嫡男	—	石田 孝三	妻河内村磯部輪一女カネ/嫡男篤造	徳中/北海道帝大 北海道農商務省		—			後年徳山			[府君原田三郎とその周辺] [私達と遠石]
		嗣子	⑤	石田 喜久雄		板場		—						[私達と遠石]
石田家	石田金兵衛	嫡男	①	石田 順蔵		別家		—						[私達と遠石]
	石田順蔵	嗣子	②	石田 鐵助	妻河内村磯部増光女マト	吉田屋醤油		—						[私達と遠石]
	石田順蔵	嫡男	—	石田 金作	→①石田金作	別家		—						[私達と遠石]
	石田鐵助 河内村磯部増光女マト	嗣子	③	石田 利助	嫡女順子	徳中/東京高等商船学校 鋳物工場経営		—						[府君原田三郎とその周辺] [私達と遠石]
	石田鐵助 河内村磯部増光女マト	嫡男	—	石田 壮太	嫡女明子	醤油		—						[私達と遠石]
	石田鐵助 河内村磯部増光女マト	嫡男	—	石田 栄	嫡男康二	重工業		—						[私達と遠石]
石田家	石田順蔵	嫡男	①	石田 金作				—						[私達と遠石]
	石田金作	嗣子	②	石田 治一				—						[私達と遠石]

	石田金作	嗣子	③	石田 丞治		呉服屋		—						[私達と遠石]
石田家	初代石田甚右衛門	嗣子	①	石田 サヨ				—						[私達と遠石]
	石田サヨ	嗣子	②	石田 善五郎	初代善五郎			—						[私達と遠石]
	石田初代善五郎	嗣子	③	石田 善五郎	二代善五郎			—						[私達と遠石]
	石田二代善五郎	嗣子	④	石田 善五郎	三代善五郎			—						[私達と遠石]
	石田二代善五郎	嫡男	○	石田 常次郎				—						[私達と遠石]
	石田常次郎	嗣子	○	石田 幸太郎				—						[私達と遠石]
	石田幸太郎	嗣子	○	石田 幸恵		麹屋		—						[私達と遠石]
石田家			○	石田 正教	(まどみちおの祖父) (妻セイ大正4年10月6日卒54歳)	＊士族		9	79	1846 1924	弘化3年頃 大正13年8月9日	娘ヨネ明治31年3月6日卒1歳	福田寺石田家之墓/誌(R3)	＊[阪田寛夫著「まどさん」] [墓碑]
	石田正教 石田セイ	嫡子	早逝	石田 正雄				—	13	1884 1896	明治17年頃 明治29年3月27日		徳山・福田寺無縁墓(R3)	＊[阪田寛夫著「まどさん」] [墓碑]
	＊小川桶屋	＊	○	石田 清作	(まどみちおの父)	＊台北警察電話責任者		—	98	1887 1984	明治20年頃 昭和59年2月14日	妻シカ昭和52年2月14日卒91歳	福田寺石田家之墓/誌(R3)	＊[阪田寛夫著「まどさん」] [墓碑]
	石田清作 石田シカ	嫡子	○	石田 守槌	(まどみちおの兄)			—	55	1907 1962	明治40年頃 昭和37年7月20日		福田寺石田家之墓/誌(R3)	＊[阪田寛夫著「まどさん」] [墓碑]
	石田清作 石田シカ	嫡子	○	石田 道雄	まどみちお (妻寿美/妹春江)	詩人/作家		—	105	1909 2014	明治42年11月16日 平成26年2月28日	都濃郡徳山町西辻/川崎市 「ぞうさん」「一年生になったら」他/国際アンデルセン賞他	東京都稲城市没	＊[阪田寛夫著「まどさん」]
石津家			○	石津 武兵衛	(女半田宗五郎先利嫁)	農民		7~8				瀬戸村 文化13年2月25日女半田宗五郎先利嫁		[半田家譜録]
石津家			①	石津 健司	(4女あり)	上士福間蕃雄家来		9			(明治3年 人員録)			
石津家			①	石津 悟一	増野松伯育 (姉あり)	中士		9			(明治3年 人員録)			
石津家			①	石津 丑次郎		藩士	1.8(明治4年)	9			(明治5年24歳 分限帳)	瀬戸村		
石津家			①	石津 信次郎		藩士	1.8(明治4年)	9			(明治5年26歳 分限帳)	瀬戸村		
石津家			①	石津 六郎		藩士	1.8(明治4年)	9			(明治5年28歳 分限帳)	瀬戸村		
	石津□郎	嫡子	○	石津 久一				9			(明治5年7歳 分限帳)	瀬戸村		
石津家			①	石津 房一		藩士	1.8(明治4年)	9			(明治5年35歳 分限帳)	瀬戸村		
	石津房一	嫡子	○	石津 幾太				9			(明治5年2歳 分限帳)	瀬戸村		
石津家			①	石津 秀之進		藩士	1.8(明治4年)	9			(明治5年39歳 分限帳)	瀬戸村		
	石津秀之進	嫡子	○	石津 惣一				9			(明治5年11歳 分限帳)	瀬戸村		
石津家			○	石津 太助		農業/県会議員		—				下松・米川		[翰墨一架 有吉鼠弟著]
石津家			○	石津 孝式	娘山本正量天保5年3月嫁	医師		宗藩				鹿野村		[山本正量譜録]
			○	石津 文明	山本正量娘安政2年養女山本政清妻	医師		宗藩				鹿野村		[山本正量譜録]
石津家			○	石津 周伯	可律坊 杏林園索舟 女鳥羽陳定嫁その二男山本正勝	町方医/俳人		~8		1821	文政4年	徳山町 徳山美濃派鼓吟社二代目	無量寺[註16]	[註1][註9][註16]
			—	石津 周伯姉	→重増雲平正真妻			8						
		＊	○	石津 琢磨	(妻ます文政7年4月15日生)	町方医		8~9	4□	1821	文政4年 明治初年	寺町or油屋町 [註13]		[註1][註4][註13]
	石津琢磨 石津周伯長女ます	嗣子	○	石津 範治		医師		9		1856	安政3年12月10日	大日本私立衛生会都濃代表/元治元年6月家督		
石津家	波多野		○	石津 文斎	波多野勝利	第二奇兵隊軍医 石津医院		宗藩	77	1920	大正9年	光・塩田村 長女マス/曾孫琉球大名誉教授石津宏(浅江医師)		
		＊	○	石津 順二		石津医院		—				光・塩田村 嗣子石津坂一(光市浅江産婦人科)、その子宏		

石丸家			①	石丸 良蔵		河合組上等	4.7(明治4年)	9					
										(明治4年47歳 分限帳)			
	石丸良蔵	長男	○	石丸 鉄蔵	磯之助			9					
										(明治4年16歳 分限帳)			
	石丸良蔵	二男	—	石丸 岩吉				9					
										(明治4年12歳 分限帳)			
石丸家			①	石丸 琢治		河合組上等	4.36(明治4年)	9			徳山村辻		
										(明治5年38歳 分限帳)			
	石丸琢治	長男	○	石丸 猪蔵				—			徳山村辻		
										(明治5年5歳 分限帳)			
	石丸琢治	二男	—	石丸 玉造				—			徳山村辻		
										(明治5年2歳 分限帳)			
石丸家			①	石丸 峯吉		船手組	4.7(明治4年)	9					
										(明治4年30歳 分限帳)			
	石丸峯吉	嫡子	○	石丸 瀧作				—					
										(明治4年1歳 分限帳)			
			—	石丸 直吉	石丸峯吉弟			9					
										(明治4年23歳 分限帳)			
石丸家			①	石丸 亀次郎		船手組	4.7(明治4年)	9					
										(明治4年36歳 分限帳)			
	石丸亀次郎	嫡子	○	石丸 幾蔵				9					
										(明治4年5歳 分限帳)			
石丸家			①	石丸 與七		船手組		9			徳山村横浜		
										(明治5年61歳 分限帳)			
	石丸與七	嫡子	○	石丸 林吉				9			徳山村横浜		
										(明治5年27歳 分限帳)			
	石丸與七	嫡子	○	石丸 梅次郎	梅吉	藩士	3.35(明治4年)	9			徳山村横浜		
										(明治5年20歳 分限帳)			
石丸家			①	石丸 幸蔵		船手組		9			徳山村横浜		
										(明治5年53歳 分限帳)			
	石丸幸蔵	嫡子	②	石丸 卯之助			3.35(明治4年)	9			徳山村横浜		
										(明治5年20歳 分限帳)			
	石丸幸蔵	嫡子	—	石丸 房蔵				9			徳山村横浜		
										(明治5年9歳 分限帳)			
伊豆倉家			○	伊豆倉 安右衛門		庄屋	苗字・上下	8			徳山村		[註4]
											献納並び賞美一件(天保5年)		
			○	伊豆倉 与次右衛門	(女中村延栄母[中村家譜録])	庄屋	苗字・上下 四扶持	8			徳山村		[註4]
											献納並び賞美一件(天保5年)		[田畠向諸願控]
			○	伊豆倉 与左衛門		都濃郡第11区副戸長 (明治4年住農)		9			徳山村		[註1][註4]
			○	伊豆倉 房四郎		第7大区第8小区徳山村 戸長(明治8年) 村議員		9					[註1]
											徳山町商人		
泉原家			○	泉原 淇範		医師		5頃					[三戸家譜録]
											某年淇範女三戸清信嫁後離縁		
泉原家			○	泉原 宗壽	→杉原重英	中小姓25石		~7				徳山・福田寺(R3)	
										1777 安永6年正月19日	実母浄覚随順信女宝暦4年10月20日卒福田寺(R3)		
泉屋			○	泉屋 弥八郎	泉崑壽清禅定門	町人		1				徳山・福田寺(R3)	
										1661 寛文元年7月20日	安山岩製方形墓碑(分限者)		[徳山市社寺文化財調査(S59)]
泉屋			○	泉屋 半兵衛		櫨蝋板場職		9					[註1]
											松屋五兵衛ら8名を藩の板場職に指定(嘉永3年1850)		
和泉屋			○	和泉屋 儀兵衛		富田和泉屋開作 天明5年(1785)		7					[註1]
和泉屋			○	和泉屋 半蔵			上下着用	8			下上村		[註4]
											献納並び賞美一件(天保5年)		
和泉屋			○	和泉屋 治兵衛		石工職		8~9			西浜崎		[註1][註4]
											和泉屋伊兵衛ら6名細工石注文10ヶ年許可(文化8年)		
和泉屋			○	和泉屋 伊兵衛		石工職		8~9			東浜崎		[註1][註4][註14]
										文化8年に続き頭取とし3ヶ年細工石の領外輸出を許可される(天保3年)			
和泉屋			○	和泉屋 喜三郎		石工職		8~9					[註4]
											細工石運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		
和泉屋			○	和泉屋 幸左衛門		石工職		8~9					[註4]
											細工石運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		
和泉屋			○	和泉屋 七兵衛		石工職		8~9					[註4]
											細工石運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		
伊豆屋			○	伊豆屋 権六郎		町人		8~9					[註1]
											藩へ上納銀、借銀の債主として記載あり(天保末年現在)		

伊豆屋			○	伊豆屋 五郎右衛門		酒造業		7				豊井村		[註4]
伊勢屋			○	伊勢屋 三右衛門			上下着用	8				徳山町 献納並び賞美一件(天保5年)		[註4]
磯部家断			断絶	磯部 孫六		持弓	15	不明						[註4]
磯部家	野見修理亮成宗	嗣子	○	野見 成寛	左馬丞			—		1488	長享2年正月17日	日向国武家		[譜][磯部家家譜]
	野見成寛	嗣子	○	野見 成章	修理亮			—				日向国武家		[譜]
	野見成章	嗣子	○	野見 常宗	兵部之丞 美作守			—		1557	弘治3年4月27日	日向国武家		[譜][磯部家家譜]
	野見常宗 日州奈津田将監常守女	十男	①	磯部 宗安	九郎 操庵 上総介 長松院鶴與壽算宗安居士			—	57	1591	天正19年5月15日	文禄年中日州地名野見を磯部改姓		[譜][磯部家家譜]
	磯部宗安 日州土持左衛門尉親祝女	長男	—	磯部 宗祥	太郎					1578	天正6年3月	日州松尾城中にて討死		[譜][磯部家家譜]
	磯部宗安 日州土持左衛門尉親祝女	二男	②	磯部 常安	九郎右衛門 九郎 是頓 欽壽院西譽常安自昌居士			1	76	1564 1639	永禄7年 寛永16年5月17日	父宗安共下松へ浪人/某年浄西寺に隠居/妻喜覚院慶安4年卒	下松・浄西寺	[譜][磯部家家譜]
	磯部宗安 日州土持左衛門尉親祝女	三男	—	磯部 某/世頓	遁世し世頓と改め 清誉是頓大徳	下松浄西寺開基		1		1635	寛永12年11月10日	元和元年光照山浄西寺開基/浄蓮社清譽光照是頓比丘	下松・浄西寺	[譜][磯部家家譜]
	磯部常安 某女	長男	③	磯部 常林	吉左衛門 吉太郎 法雲院却譽淨林清眞居士			1	75	1597 1671	慶長2年 寛文11年3月26日	某年家督同隠居/妻寶樹院却譽妙林貞照大姉延宝6年12月3日卒		[譜][磯部家家譜]
	磯部常安 某女	二男	—	磯部 林喬	勘三郎			1						[譜]
	磯部常林 三戸四郎兵衛女	長男	—	磯部 道運	八郎左衛門 助吉(郎) 戴譽道運信士	慶安年中別家/播磨屋		1~3		1623 1681	元和9年 天和元年4月20日			[譜][磯部家家譜]
	磯部常林 三戸某女	二男	—	磯部 某		出家/周慶寺		1~3						[譜]
	磯部常林 三戸某女	三男	④	磯部 榮香	吉右(左)衛門 長三郎 圓生院西譽以鏡感徹居士			1~3	67	1639 1705	寛永16年 宝永2年2月26日	某年家督同隠居		[譜][磯部家家譜]
	磯部常林 三戸某女	四男	—	磯部 道完	弥兵衛 弥五郎 権太夫 光譽道泉信士	寛文年中別家/磯部屋		1~3	66	1643 1708	寛永20年 宝永5年4月卒			[譜][磯部家家譜]
	磯部榮香 下松有吉嘉兵衛女	長男	⑤	磯部 時増	好助 虎之助 善太郎	宮洲屋初代/製塩業 (元禄・磯部開作/宮ノ洲開作)		1~5	60	1722	享保7年7月19日	某年家督/享保5年隠居/別荘覧海軒 [註1]		[譜][註1]
	磯部時増 下松磯部弥兵衛女	長男	—	磯部 栄之	→○磯部香之	別家								[譜]
	磯部時増 下松磯部弥兵衛女	二男	⑥	磯部 増寿	好兵衛 百合松 好五郎	帯刀後蔵本付 宮洲屋二代	三扶持	4~5	47	1749	寛延2年5月26日	享保5年家督		[譜]
	磯部栄之(時増の長男) 不明	＊三男	⑦	磯部 増英	好太郎 時栄	馬廻 宮洲屋三代	75	5~7	51	1773	安永2年9月8日	寛延2年家督/藩へ上納銀、借銀の債主として記載あり(宝暦10年)		[譜][註1]
	磯部増英 磯部増寿女	長男	⑧	磯部 増章	際右衛門 好蔵 増良 相章	馬廻 宮洲屋四代	75	7~8	63	1813	文化10年9月6日	安永3年家督/『宮ノ洲開発地石室覚』著		[譜]
	磯部増英 磯部増寿女	二男	—	磯部 増之	為之助 庄蔵 民平 咲之助			7				天明8年芸州深川橘彦右衛門養子		[譜]
	磯部増英 磯部増寿女	三男	—	磯部 忠国	新蔵 富蔵 軍蔵			7				明和7年赤間関佐甲傳兵衛養子		[譜]
	磯部増章 芸州石田雅八品泰女	長男	⑨	磯部 増邑	吉十郎 栄蔵 好助 宮洲屋幸吉	馬廻/開作製塩業 宮洲屋五代/用達商人	75	8	47	1822	文政5年9月18日	文化10年家督/文化元年宮浦開作、同2年新崎開作/藩札発行		[譜][註1]
	磯部増章 芸州石田雅八品泰女	二男	—	磯部 迪恂	→楢崎誠美	中小姓/歌人	25	8~9		(明治3年77歳 人員録)		東中町西側自北6番 文化14年楢崎小文治正章養子	徳山・八正寺 [註8]	[譜][註1][註8][註9][註11][註14]
	磯部増邑 柳井長谷川総左衛門栄壽女	長男	⑩	磯部 増常	要左衛門 喜作	馬廻	75	8~9		(明治4年68歳 分限帳)		文政5年家督/天保6年隠居		[譜][註4]
	磯部増邑 柳井長谷川総左衛門栄壽女	＊二男	⑪	磯部 増繁	好次郎 荘平 二郎	馬廻	60	9				天保6年家督/嘉永2年譜録提出		[譜]
	磯部増邑 柳井長谷川総左衛門栄壽女	三男	—	磯部 惟弼	太吉									[譜]
	磯部増邑 柳井長谷川総左衛門栄壽女	四男	—	磯部 惟彰	平吉									[譜]
			○	磯部 廣左衛門	＊廣左衛門子無く養子虎之進		7.1(明治4年)	9		(明治4年53歳 分限帳)				＊[御在城日記文久4年]
	磯部要左衛門	＊嫡子	○	磯部 虎之進				9		(明治4年21歳 分限帳)				
	磯部		—	磯部 久喜				9		(明治4年6歳 分限帳)				
	磯部		—	磯部 浦司				—		(明治4年4歳 分限帳)				

	礒部		—	礒部 可喜留				—						
										(明治4年3歳 分限帳)				
			○	礒部 敏祐	宮洲屋幸吉			9						
											塩田磯部家最後の当主/明治7年祐綏神社に鳥居奉納			
礒部家	礒部時増	長男	○	礒部 香之	好右衛門 弥七郎 栄之			—						[譜]
	下松磯部弥兵衛女													
	礒辺好右衛門香之	長男	○	礒部 増昌	善太郎			—						[譜]
	礒辺好右衛門香之	二男	—	礒部 九郎右衛門				—						[譜]
	礒辺好右衛門香之	三男	—	礒部 好太郎	→⑦磯部増英	馬廻 宮洲屋三代	75	5~7	51	1773	安永2年9月8日	寛延2年家督/藩へ上納銀、借銀の債主として記載あり(宝暦10年)		[譜][註1]
	礒部増昌	嗣子	○	礒部 増清	九郎右衛門	帯刀(宝暦7年)		5~						[譜]
	礒部増清	嗣子	○	礒部 張茂	才五郎	藩士	3	8						[譜]
	礒部張茂	二男	①	礒部 安禎	九郎左衛門 (妻宮洲屋五代目増邑長女)	徒士後下士上等	10	9				下松浦農家出生		[譜]
	福川町原田弥兵衛女											天保9年出仕/嘉永2年譜録提出		
	礒部張茂	＊三男	②	礒部 寛美	佐兵衛 (妻宮洲屋五代目増邑四女)			9						[譜]
	福川町原田弥兵衛女											天保10年養子		
磯部家			○	磯部 常林	吉左衛門 吉太郎 法雲院却譽淨林清眞居士			1	75	1597	慶長2年			[譜][礒部家家譜]
										1671	寛文11年3月26日	某年家督同隠居		
	礒部常林	(五男)	①	磯部 林久(しげひさ)	四郎兵衛 久内 慈眠院法誉良観専察居士			1~5	83	1648	慶安元年	河内村	下松磯部家墓所(R5)	[礒部家家譜]
	三戸四郎兵衛女									1730	享保15年9月15日	河内村磯部家始祖/妻浄慧院釈尼寂應妙悟信女享保18卒		
	磯部林久	長男	—	磯部 長太郎				—	3	1691	元禄4年	河内村		[礒部家家譜]
	兼重某女									1693	元禄6年11月9日			
	磯部林久	二男	—	磯部 光慶	善右衛門 義誉天立信士	別家		3~5	53	1694	元禄7年	河内村	下松磯部家墓所(R5)	[礒部家家譜]
	兼重某女									1746	延享3年8月10日	正徳年中河内村別家		
	磯部林久	三男	②	磯部 増利	彌右衛門 至教院實誉誠正覚心居士			3~7	83	1698	元禄11年	河内村	下松磯部家墓所(R5)	[礒部家家譜]
	兼重某女									1780	安永9年6月19日	妻知教院釋尼至操妙心大姉寛政2年卒		
	磯部増利	長男	—	磯部 清右衛門	専修院照誉念攝浄光居士 妻浄岑院松誉本壽貞玄大姉			5~6	35	1729	享保14年10月13日		下松磯部家墓所(R5)	[礒部家家譜]
	兼重貞右衛門女									1763	宝暦13年正月25日	河内村別家田畠三分の一惣領故に本家と号す		
	磯部増利	二男	—	磯部 彌四郎	徳壽院願誉眼晴了安居士			6~		1741	寛保元年3月14日			[礒部家家譜]
	武藤隆吉											河内村別家田畠三分の一下屋敷		
	磯部増利	三男	③	磯部 増久	吉左衛門 清三郎 修善院繁誉壽正静栄居士		永代苗字(寛政11年)	5~8	70	1747	延享4年2月14日	河内村	下松磯部家墓所(R5)	[礒部家家譜]
	兼重貞右衛門女									1816	文化13年11月13日	三男にて新宅/妻修光院繁誉貞正妙栄大姉天保10.7.14卒		
	磯部増久	長男	④	磯部 増徳	忠右衛門 孫四郎 捜雲 南薫舎其風 義峯院忠誉英倫自正居士	産物吟味方宮ノ洲開立(天保2年) 塩田業/蔵本付	＊賞美切米5(天保8) 永代帯刀	8~9	67	1789	寛政元年8月朔日	河内村	下松磯部家墓所(R5)	[註4][礒部家家譜]
	下松内山某女									1855	安政2年6月9日	妻磯部彌四郎女ツネ明治6年卒/妹→岩崎三左衛門妻		＊[中山家文書]
	磯部増徳	長男	⑤	磯部 増清	四郎左衛門 嘉三郎 顕示院明誉慧岳正道居士			8~9	60	1812	文化9年2月29日	河内村	下松磯部家墓所(R5)	[礒部家家譜]
	磯部彌四郎女ツネ									1871	明治4年11月16日	妻マサ英珠院鏡誉明節貞心大姉明治41年9月8日卒		[妻中山家所蔵国広家系図]
	磯部増徳	二男	—	磯部 増茂	→宮崎新三郎 妻温良院恭譽智讓梅峯大姉M43.3.23卒			9	79	1824	文政7年正月18日		徳山・無量寺(R5)句あり	[礒部家家譜]
	磯部彌四郎女ツネ									1899	明治32年2月17日	探譽搜学梅盧居士(家譜)/積功院探譽西翁梅樹居士(墓碑)		
	磯部増徳	五女	—	磯部 某女	→玉井修蔵政貞妻					1826	文政9年5月23日			[礒部家家譜]
	磯部彌四郎女ツネ													
	磯部増清	長男	⑥	磯部 増光	源之丞(允) 十蔵 釼章院攝誉増光十翁居士	山崎隊/県会議員/衆議院議員 都濃郡第17区戸長(明治4年)	蔵本付/下士下等 切米5	9	69	1837	天保8年7月28日	河内村	下松磯部家墓所(R5)	[註4][註11]
	國廣喜左衛門女マサ									1905	明治38年5月24日	防長米改良第五回内国勧業博覧会受賞/妻壽光院大正13年卒		[礒部家家譜]
	磯部増清	二男	—	磯部 茂作	平作			9		1839	天保10年5月3日	河内村		[礒部家家譜]
	國廣喜左衛門女マサ											明治年中河内村分家号梅ヶ枝		
	磯部増清	四男	—	磯部 昌作	→山縣憲公			9		1849	嘉永2年12月6日	河内村		[礒部家家譜]
	國廣喜左衛門女マサ													
	磯部増清	五男	—	磯部 友之進	武一 城南村藤田家養子			9				河内村		[礒部家家譜]
	國廣喜左衛門女マサ													
	磯部増光	長男	⑦	磯部 輪一	和一郎 興隆院紹誉憲道法輪居士	大津・厚狭・熊毛・豊浦郡長 日本赤十字社山口主事	正六位 勲五等瑞宝章	9	73	1864	元治元年6月10日	久保村生まれ	下松磯部家墓所(R5)	[礒部家家譜]
	夜市原田市良左衛門女									1936	昭和11年12月2日	妻紹隆院法誉光室妙照大姉/真鏡院圓誉貞節妙操大姉		
	磯部輪一	長男	⑧	磯部 増一	宝池院對誉増上縁善居士 妻熊毛周防村守田彦三郎三女			—	65	1895	明治28年8月30日	山口生まれ	下松磯部家墓所(R5)	[礒部家家譜]
	今井知貞三女ヨシト									1959	昭和34年3月27日	妻増上院寶誉室妙富大姉		
	磯部輪一	二男	—	磯部 厚彦				—						[礒部家家譜]
	今井知貞三女ヨシト									1963	昭和38年1月30日	二男一女あり		
	磯部輪一	二女	—	磯部 カネ	→石田孝三妻			—						[礒部家家譜]
	今井知貞三女ヨシト									1986	昭和61年6月22日			
	磯部増一	長男	⑨	磯部 良三				—		1927	昭和2年6月13日			[礒部家家譜]
	守田彦三郎三女											三男あり		
	磯部増一	二男	—	磯部 好之				—		1932	昭和7年5月22日	下松市		[礒部家家譜]
	守田彦三郎三女											一男二女あり		
	富田村		①	磯部 斯忠	十左衛門	藩士	20	1~2	80余			東中町西側自北12番		[譜]
	某女									1686	貞享3年6月28日	御奉公前富田村出生/寛永18年出仕		

磯部家	磯部斯忠 平野町藤井権兵衛女	長男	②	磯部 斯親	善左衛門	中小姓	25	2~5	83	1734	享保19年2月13日		某年家督		[譜][註4]
	磯部斯親 平野町藤井権九郎女	長男	③	磯部 斯貞	善左衛門 善助 元文	中小姓	25二扶持	5	65	1752	宝暦2年10月26日		享保19年家督		[譜]
	磯部斯貞 棟居庄左衛門親義女	長男	④	磯部 斯儔	哲左衛門 雄蔵 十左衛門 万之助 清七	中小姓	25	5~8					宝暦2年家督/文化5年譜録提出		[譜][註4]
	磯部斯貞 棟居庄左衛門親義女	二男	—	磯部 玄庵	→①磯部玄庵	新知別家	25	5~					宝暦7年二人扶持鍼術為江戸/宝暦10年出仕		[譜]
	磯部斯儔 医師分部宗寿三信女		⑤	磯部 斯猷	善左衛門 伯毅 崑崙 雄蔵[註16]	組外馬廻	50	8~9	72	1849	嘉永2年7月22日				[譜][註4][註16]
	磯部斯猷 浅田祐次郎信正女	二男	⑥	磯部 斯韞	嘉助 善太 韞 柳邨	中小姓/教授役座取計	25	8~9	45	1851	嘉永4年5月19日		二番丁 詩文『崇蘭会』同人 [註1]		[譜][註1][註5][註16]
	楢崎翠嶺誠美 磯部張茂女	＊三男	⑦	磯部 斯久 ☆	半蔵 貢 定司 幾之介 (妻藤井角右衛門忠好女)	中小姓後中士下等	25→10.2(M4)	9		(明治4年41歳 分限帳)			嘉永4年家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]
磯部家	磯部斯貞 棟居庄左衛門親義女	二男	①	磯部 玄庵	章	中小姓/鍼術師	25	5~					宝暦7年二人扶持鍼術為江戸/宝暦10年出仕		[譜]
	山田正信 四熊村喜右衛門女	＊四男	—	磯部 正道	勘吾			7					安永2年2月15日養子		[山田家譜録]
磯部家			○	磯部 徳右衛門		福間嘉織家来		8							[藤村家譜録]
	磯部徳右衛門 福川村田中甚四郎女	三男	—	藤村 栄久	→藤村栄久	徒士/下代(文政7年)	20	8~9	68	1856	安政3年10月6日		文化12年譜録提出	徳山・福田寺(R3)一族	[譜][註4]
磯部家			○	磯部 善右衛門	＊春誉宗慶 鶴誉林正(夫婦)			~3		1705	＊左側面 宝永2年正月25日 右側面 元禄2年正月2日			＊徳山・無量寺	＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
			○	磯部 五兵衛	＊清誉浄岸 安誉清心(夫婦)			~5		1731	＊享保16年11月2日			＊徳山・無量寺	＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
磯部家			①	磯部 三左衛門	(娘は本城紫巌妻)			7~8							[本城家家譜]
	磯部三左衛門	嗣子	②	磯部 太四郎				7~8							[本城家家譜]
	磯部太四郎	長男	③	磯部 又四郎	屋号磯部屋 (妻縫寛政2年正月20日娶)	町人	上下着用	7~8		1823	文政6年4月	徳山・本町 献納並び御賞美(寛政、文化年間記載)		徳山・無量寺(H30)	[註4][本城家家譜] [御領町人御仕成]
	磯部又四郎 本城紫巌長女縫	長男	④	磯部 又五郎	乙三郎			8~				母深誉禎猷大姉文化10年卒		徳山・無量寺(R1)↓?	[本城家家譜]
磯部家			○	磯部 又五郎	＊真誉浄帰信士			5頃		1733	＊享保18年4月13日			＊徳山・無量寺	＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
磯部家			○	磯部 又五郎		磯又旅館		明治				徳山幸町 大衆的旅館/徳山駅開通の頃磯又旅館客の集いし			[翰墨一架]
磯部家			①	磯部 良右衛門		上士奈古屋裕家来		9		(明治3年32歳 人員録)					
磯部家			①	磯部 亀之進		上士奈古屋裕家来		9		(明治3年28歳 人員録)					
磯部家			①	磯部 萬吉		河合組下等		9		(明治3年18歳 人員録)					
磯部家			①	磯部 松太郎		藩士	1.8(明治4年)	9		(明治5年24歳 人員録)		下松町			
磯部家			○	磯部 治兵衛		磯部屋		7				徳山佐渡町 男児三つ子誕生(明和4年1767)			[註14]
磯部家			○	磯部 治兵衛	稱誉単道居士			9		1897	明治30年5月12日	妻来誉智迎大姉明治34年1月4日卒		福田寺(R3)	[墓碑]
磯辺家			○	磯辺 伊兵衛				~3				＊法誉良心信尼霊位正徳5年2月3日没墓碑施主		＊徳山・無量寺	＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
礒松屋			○	礒松屋 清七		町人/板場職(文化14年)		8				徳山本町			[註4]
磯村家			①	磯村 友吉		船手組	4.7(明治4年)	9		(明治4年37歳 分限帳)		制産社より融資(制産社金銭請払帳・明治7年)[註1]			[註1]
	磯村友吉	嗣子	○	磯村 四郎吉				9		(明治4年10歳 分限帳)					
磯村家			①	磯村 儀一郎		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9		(明治5年19歳 分限帳)		徳山村油屋町			
磯村家			①	磯村 栄作			1.8(明治4年)	9		(明治5年22歳 分限帳)		徳山村田町			
磯村家			○	磯村 彦右衛門		町人		5~				遠石町 遠石祭市請方指名(宝暦6年)町人数書取(天保5年付)			[註4]
			○	磯村 彦一		町人		7				遠石町 遠石祭市請方指名(安永3年)			[註4]

磯村家			○	磯村 速水		町方医		9						[註1]
												第二次長州征伐時、第四病院勤務[註1]		
磯村家			○	磯村 義一	遲日庵花雪	俳人		9		1894	明治27年	公羽仙後七代目/花雪没後跡絶つ[註1]		[註1]
磯村家			○	磯村 善兵衛				~5					＊徳山・無量寺	
					＊載誉了運信士					1733	＊享保18年9月14日			＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
			○	磯村 文七				~5					＊徳山・無量寺	
					＊円誉一随信士					1734	＊享保19年4月10日			＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
磯屋			○	磯屋 久右衛門		町人	上下着用	8				徳山町		[註4]
												献納並び賞美一件(天保5年)		
磯屋			○	磯屋 吉兵衛		町人		8						[註4]
												百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		
板野家			①	板野 與右衛門		政務局支配		9						
										(明治4年56歳 分限帳)				
	板野與右衛門	嫡子	②	板野 猪兵衛		河合組下等	4.7(明治4年)	9						
										(明治4年28歳 分限帳)				
板野家			①	板野 左兵衛		岩崎幾太郎組上等	4.36(明治4年)	9				徳山村今宿		
										(明治5年38歳 分限帳)				
	板野左兵衛	嫡子	○	板野 與一郎				9				徳山村今宿		
										(明治5年7歳 分限帳)				
板野家			①	板野 三輪蔵		岩崎幾太郎組上等	4.36(明治4年)	9				徳山村今宿		
										(明治526歳 分限帳)				
板野家			①	板野 甚九郎		藩士	1.8(明治4年)	9				徳山村代々小路		
										(明治5年27歳 分限帳)				
板村家			①	板村 精治		藩士	1.8(明治4年)	9				山田村		
										(明治5年25歳 分限帳)				
板村家			①	板村 信義				9				山田村		
										(明治9年32歳)		明治9年萩の乱参加自首後放免		
板村屋			○	板村屋 豊治		町人		8				富田川崎		[註4]
												百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		
一城家			○	一城 通任	昌伯 (奈古屋維章娘養女に)	医師(明和前後)		萩				熊毛郡室津海(室積)		[奈古屋家譜録]
	一城通任	＊	○	一城 道榮	玄寿	医師(安永~文化年間頃)		萩				熊毛郡室津海(室積)		[奈古屋家譜録]
	一城道榮	長男	○	一城 昌伯	→桂道則	中小姓/本道兼鍼医師	40	8~9	71			三番丁	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4]
										1859	安政6年3月21日	文化5年家督/後妻定香院戒室貞薫大姉明治34年7月23日94歳卒		
伊藤家	阿武郡佐波出生		①	伊藤 道意	又右衛門 十右衛門	徒士	20	1				東端町北自14番		[譜]
	某女									1686	貞享3年7月22日	某年出仕		
	伊藤道意	長男	―	伊藤 直信	→①伊藤直信	新知別家/徒士	20	1	55			東端町西側自北9番東向		[譜]
	萩山本源五衛門盛武女									1694	元禄7年5月10日	(万治年中)		
	伊藤道意	三男	―	伊藤 亮廉	→①伊藤亮廉	新知別家/中小姓	25	1~5	78			遠藤九右衛門古屋敷		[譜][註4]
	山本四郎左衛門正成姉									1727	享保12年10月27日	東端町東側北自二番	寛文年中出仕	
	伊藤道意	四男	②	伊藤 信辰	市兵衛 増之助 治右衛門	中小姓	25	1~5	93					[譜][註4]
	山本四郎左衛門正成姉									1743	寛保3年3月10日	某年家督/享保19年隠居		
	伊藤信辰	二男	③	伊藤 信武	市兵衛 又右衛門	中小姓	25	3~5	61					[譜]
	山本四郎左衛門正成女									1756	宝暦6年11月11日	享保19年家督		
	伊藤信辰	三男	―	伊藤 武太夫	為七 (妻富田村社家渡部近□女)	馬役		5						[譜]
	山本四郎左衛門正成女											元文3年7月26日断絶		
	中村久右衛門春忠	＊二男	④	伊藤 信栓	市兵衛	中小姓	25	5~6						[譜]
	中村治兵衛親春女									1761	宝暦11年10月29日	宝暦7年家督		
	林郷政	＊三男	⑤	伊藤 方恒	平右衛門 麻(浅)之進	中小姓	25	7						[譜]
	亀谷小兵衛之敵女											宝暦12年家督/明和7年隠居/安永6年8月6日病身付退身		
	山本四郎左衛門正伸	＊二男	⑥	伊藤 信直	丹七	中小姓	25	7~8	88					[譜]
	山本六太夫正範女									1826	文政9年6月23日	明和7年9月家督/文化6年隠居		
	伊藤信直	長男	⑦	伊藤 信近	才左衛門 栄衛	中小姓	25	8	61					[譜][註4]
	岩国上山肥後妹									1834	天保5年10月24日	文化6年家督/天保3年隠居		
	伊藤信近	長男	⑧	伊藤 信慰	伊兵衛 市兵衛 才之進 盛衛	中小姓後中士下等	25	9				一番丁		[譜][註4]
	廣瀬村隅四郎右衛門女									(明治4年53歳 分限帳)		天保3年家督/明治3年譜録提出		
	伊藤信慰	長男	○	伊藤 喜久衛		藩士	10.2(明治4年)	9						
	富海村社人佐伯守雄祐之女									(明治4年11歳 分限帳)				
	伊藤信慰	二男	―	伊藤 権次郎				9						
										(明治4年7歳 分限帳)				
	伊藤道意	長男	①	伊藤 直信	又右衛門 市右衛門	徒士	20	1~3	55			東端町西側自北9番東向		[譜]
	萩山本源五衛門盛武女									1694	元禄7年5月10日	(万治年中)	明暦年中出仕	
	伊藤直信	二男	②	伊藤 直儀	市左衛門 唯右衛門 弐平次	徒士	20	3~5	68					[譜][註4]
	新見七右衛門直重女									1742	寛保2年12月20日	元禄7年家督/享保12年隠居		

伊藤家	片野善太夫 萩領新畑村某女	＊	③	伊藤 忠家	市右衛門 友右衛門	徒士	20	5~7	86	1774	安永3年11月晦日	享保12年家督/明和2年隠居		[譜]
	安沢武兵衛 神田忠兵衛女	＊	④	伊藤 直容	五郎右衛門 忠英	徒士/目付(天明7年)	20	7~8	65	1802	享和2年11月18日	明和2年家督/寛政5年隠居/＊花岡櫛ケ浜江鯔網代掛合		[譜][註4] ＊[徳山毛利文庫]
	伊藤直容 伊藤忠家女	二男	⑤	伊藤 直清	平四郎	徒士	20	7~8	57	1828	文政11年6月20日	寛政5年家督/文化7年12月20日御咎隠居		[譜]
	藤岡盛時 下松町笹田弥左衛門女	＊	⑥	伊藤 景信	源五郎 景照 藤岡與市左衛門盛恒弟	徒士	20	8~9	66	1859	安政6年6月28日	一番丁 文化8年7月家督		[譜][註4]
	伊藤景信 富田村社人渡邉河内姉	二男	⑦	伊藤 直温	荘作 (妻藤岡雅次郎盛俊妹)	徒士後下士上等	20→5.7(M4)	9		(明治4年38歳 分限帳)		安政2年家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	伊藤直温 	長男	○	伊藤 琢之介		藩士	5.7(明治4年)	9		(明治4年16歳 分限帳)				
	伊藤直温 	二男	—	伊藤 茂里樹				—		(明治4年4歳 分限帳)				
	伊藤直温 	三男	—	伊藤 太喜三				—		(明治4年3歳 分限帳)				
伊藤家	伊藤道意 山本四郎左衛門正成姉	三男	①	伊藤 亮廉	十(重)右衛門 清九郎 清大夫	中小姓	25	1~5	78	1727	享保12年10月27日	遠藤九右衛門古屋敷 東端町東側北自二番	寛文年中出仕	[譜][註4]
	伊藤亮廉 大多和七郎兵衛忠明女	長男	②	伊藤 亮泰	甚右衛門 又市 十助 十右衛門	中小姓	25	3~5	67	1753	宝暦3年9月27日	享保12年家督		[譜]
	伊藤亮廉 大多和七郎兵衛忠明女	二男	—	伊藤 亮喜	→①伊藤亮喜	新知別家/徒士	20	3~6	78	1769	明和6年10月8日	西新町西側屋敷 正徳2年出仕		[譜]
	伊藤亮泰 種田善兵衛直治妹	二男	③	伊藤 亮嗣	十之進 清九郎 虎松	馬廻	50	5~8				宝暦3年家督/享和2年隠居		[譜][註4]
	伊藤亮泰 種田善兵衛直治妹	三男	—	伊藤 公甫	→大家公久	馬廻	50	5~7		1789	寛政元年8月10日	宝暦6年大家公春養子		[譜]
	伊藤亮嗣 徳山町村尾市郎右衛門女	長男	④	伊藤 亮倫	十(重)助 岩次郎 幾松 十三郎	馬廻	50	8~9	64	1840	天保11年2月12日	享和2年家督/天保7年隠居		[譜][註4]
	伊藤亮倫 奈古屋忠助栄将女	長男	⑤	伊藤 亮恭	十次郎 才之助	馬廻	50	8	35	1837	天保8年7月23日	天保7年家督		[譜]
	鹿野村斉藤某 	＊	断絶	伊藤 要人	(斉藤泰順弟)			8				天保9年家督同10年2月16日咎断絶/嗣喜翌日再興		[譜]
	伊藤亮恭 山縣蔵太惟相女	長男	⑥	伊藤 嗣喜	喜代之進 準太 十助 準輔 (種田流槍術、起倒流柔術)	中小姓後中士下等	25→10.2(M4)	9		(M4安右衛門分限帳) (明治4年38歳 分限帳)		一番丁 天保10年再興相続/文久4年譜録提出		[譜][註4]
伊藤家	伊藤亮廉 大多和七郎兵衛忠明女	二男	①	伊藤 亮喜	十七 重七 又六 源八 (妻山田因信長女)	徒士	20	3~6	78	1769	明和6年10月8日	西新町西側屋敷 正徳2年出仕/宝暦9年隠居		[譜]
	大神医師末次原仲見□ 上村重国某女	＊	②	伊藤 亮昌	宇右衛門	徒士	20	7	44	1778	安永7年10月9日	片側町自北2番東向 宝暦9年家督		[譜]
	伊藤亮昌 伊藤亮喜女	長男	③	伊藤 亮明	亮成 泰助 幾之進 十七	中小姓	25	7~8	77	1840	天保11年7月3日	片側町自北2番東向 天保2年藩営浜崎浦開作築立掛、3年道源開作沖埋立掛		[譜][註4][註14]
	伊藤亮昌 伊藤亮喜女	二男	—	伊藤 某		周慶寺住職		7				安永6年5月18日出家		[譜]
	伊藤亮明 大多和如助脩妹	長男	早世	伊藤 亮言	峯之亟	御雇		8	19	1808	文化5年7月26日	片側町自北2番東向 文化5年4月御雇江戸出勤		[譜]
	伊藤泰助亮明 大多和如助脩妹	二男	—	伊藤 常演	→宇賀常演	祐筆	20二扶持	8~9				文政7年宇賀常訓養子/元治元年江戸藩邸没収時幽囚		[譜][註4][註16]
	伊藤亮明 大多和如助脩妹	三男	④	伊藤 亮宣	三郎治 観水軒月心宗玉居士	中小姓後中士下等	25	8~9	77	1877	明治10年7月14日	御弓丁(同上・明治4年) 亮明天保7年隠居により家督/明治3年譜録提出	大成寺共同墓地(H30)	[譜][註4]
	伊藤亮宣 江村忠韶女ツネ	長男	⑤	伊藤 亮節 ☆	節亮 要之進 節蔵 要之輔 浄心院堪誉九如居士	伊勢小笠原流師範	10.2(明治4年)	9	74	1835 1908	天保6年7月27日 明治41年12月4日	御弓丁 明月会会員	大成寺共同墓地(H30)	[譜][註4]
	伊藤亮宣 江村忠韶女ツネ	二男	—	伊藤 湊	矢嶋作郎と改名 桂城 泰之進 桃渓 →矢嶋作郎	東京電力前身東京電燈設立初代社長	家職局雇 (明治2年)	9	73	1839 1911	天保10年 明治44年11月7日	御弓丁後東京後下松 江戸藩邸没収時幽囚	港区南麻布・光林禅寺(H30)	[註1][註4][註8][註13]
	伊藤亮節 奈古屋某女ユリ	長男	⑥	伊藤 虎雄		徳山町収入役		—	67	1873 1939	明治6年11月6日 昭和14年10月3日	御弓丁	大成寺共同墓地(H30)	[註1][註4]
	伊藤亮節 奈古屋某女ユリ	二男	—	伊藤 駿馬	純心院東萬眞剣居士	徳山実業実践学校初代校長		—	55	1877 1931	明治10年7月31日 昭和6年6月3日	御弓丁	大成寺共同墓地(H30)	
	伊藤駿馬 本城幾馬二女ミツ	長男	—	伊藤 教清				—	86	1912 1997	明治45年1月7日 平成9年5月24日	御弓丁		
	伊藤駿馬 本城幾馬二女ミツ	二男	—	伊藤 清治	中村重安(軍人/村長)の養子			—		1915	大正4年6月16日	御弓丁・熊毛清尾		
	伊藤駿馬 本城幾馬二女ミツ	三男	—	伊藤 雪三		徳山曹達株式会社		—	95	1920 2014	大正9年9月9日 平成26年2月19日	御弓丁		
	伊藤虎雄 伊藤イシ	五男	⑦	伊藤 守孝				—		1922	大正11年4月1日	御弓丁		
伊藤家			①	伊藤 安右衛門		準士	15→4.7(M4)	9		(明治4年38歳 人員録)				[家来分限帳]

伊藤家	伊藤十郎右衛門祐豊	嗣子	断絶	伊藤 祐次	十太夫 (嫡男恒治郎祐光その後断絶)	徒士		宗藩							[譜]
	伊藤祐次	三男	○	伊藤 祐家	八郎右衛門			宗藩							[譜]
	萩領下谷村伊藤祐家	嗣子	○	伊藤 成忠	小左衛門 ＊小左衛門成行 方圓融孔居士			浪人			1732	＊享保17年2月6日		徳山・福田寺無縁墓(R3)	[譜] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	瀬戸村内山某	嫡子	中継	伊藤 正次	四郎右衛門 四良衛門(墓碑) (成久幼少に付中継)			浪人					＊娘 春山妙花大姉 延享4年2.6福田寺	徳山・福田寺無縁墓(R3)	[譜] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	徳山伊藤成忠 栗屋村温品新左衛門女	二男	①	伊藤 成久	八郎右衛門 雲峯了徹	永名/大工	13二扶持	7	52		1778	安永7年6月27日	馬場外建丁東側自北1番西向 明和7年仕官/妻文化13年8月卒	徳山・福田寺無縁墓(R3)	[譜]
	伊藤成久 栗屋村温品常右門女	長男	②	伊藤 督悦	弥五郎 兵吉 常助	一代蔵本付/大工	13三扶持	7~8	52		1812	文化9年12月4日	安永7年家督		[譜][註4]
	伊藤成久 栗屋村温品常右門女	三男	—	伊藤 順之	→杉浦順之	徒士	20	7~8	71	1766 1836	明和3年 天保7年3月23日		馬場外片側丁自北7番東向 天明6年養子/扱心流柔術門人五百に及ぶ	徳山・無量寺/碑文黒神直民	[譜][註1][註4][註5][註11][註14] [註16][都濃郡誌]
	伊藤善治成祐 徳山村秋里治兵衛女	＊	③	伊藤 成美	文治	蔵本付/大工	13二扶持	8					一番丁東側自北3番西向 文化9年家督/天保11年隠居		[譜]
	伊藤成美 伊藤督悦女	長男	④	伊藤 督業	郡蔵 恒助	蔵本付/大工	13二扶持	9			1848	嘉永元年4月4日	天保11年家督		[譜]
	徳山東町弘屋氏 某女	＊二男	⑤	伊藤 成近	勘助 喜代蔵	蔵本付/大工	切13二扶持	9			1860	万延元年9月14日	一番丁 嘉永元年家督		[譜]
	伊藤成近 伊藤成美長女	長男	⑥	伊藤 久豊 ☆	弥一郎	営作舎支配準士	13二扶持	9			(明治3年18歳 人員録)		文久2年家督/文久4年譜録提出		[譜][註4]
伊藤家			①	伊藤 郡太		上士毛利彰一郎家来		9			(明治3年37歳 人員録)				
伊藤家			①	伊藤 嶋七		藩士	4.36(明治4年)	9			(明治5年25歳 分限帳)		徳山村辻		
伊藤家			①	伊藤 伊助		藩士	4.36(明治4年)	9			(明治5年22歳 分限帳)		徳山村辻		
伊藤家			①	伊藤 由助		藩士	1.8(明治4年)	9			(明治5年21歳 分限帳)		富田村政所		
伊藤家			①	伊藤 精一		藩士	1.8(明治4年)	9			(明治5年18歳 分限帳)		徳山村西沖原		
			—	伊藤 初次郎	伊藤精一兄			9			(明治5年20歳 分限帳)		徳山村西沖原		
伊藤家			○	伊藤 小左衛門		庄屋(文化5年)		8					都濃郡大島村[註16] 花岡櫛ケ浜江鰯網代掛合[徳山毛利文庫]		[註4]
伊藤家			○	伊藤 孫左衛門		酒造業(天明8年)		7					奈古村		[註4]
			○	伊藤 孫左衛門		大年寄格	賞美切米5 永代苗字帯刀	~9					奈古村		[中山家文書天保13年]
伊藤家			○	伊藤 貞兵衛			賞美米下賜	9					奈古村		[中山家文書嘉永6年]
伊藤家			○	伊藤 権左衛門		酒造業		7					大井村		[註4]
伊藤家			○	伊藤 民次郎		庄屋	賞美米下賜	9					大井村		[中山家文書嘉永7年]
伊藤家			○	伊藤 武兵衛				8					御借銀方惣高並己巳暮利且御払辻[徳山毛利文庫]		[註4]
伊藤家			○	伊藤 照政	心月自照居士	大向大道理村戸長(明治18年) 村会議員書記(明治22年)	藩士	9			1906	明治39年9月9日	妻・照賢明鏡大姉明治30年正月4日卒	徳山・福田寺(R3)	[註1][註4] [我が郷土/弓屋雄介]
			○	伊藤 國政	良岳明政居士			9				墓碑刻印無し	妻・圓室自香大姉明治35年5月10日卒	徳山・福田寺(R3)	
			○	伊藤 安栄	徳翁好安居士		藩士	9			1902	明治35年10月4日	妻・黄室智梅大姉明治18年/空華自薫大姉明治15年卒	徳山・福田寺(R3)	
伊藤家			○	伊藤 昭政		養種製造業認可(明治23年)		9							[註1]
伊藤家			○	伊藤 安吉		米改良組合委員(明治20年)	藩士	9							[註1]
伊藤家			○	伊藤 幸兵衛		石工		9					徳山浜崎 明治14年山本三左衛門義明(児慱軒)墓碑建立		[生活と祈り 新南陽市教育委員会]
伊藤家断			断絶	伊藤 市助		藩士	25	1							[註4]
伊藤家断			断絶	伊藤 源右衛門		藩士	20	1							[註4]
伊藤家断			断絶	伊藤 神右衛門		藩士	20	1							[註4]

伊藤家断			断絶	伊藤 弥兵衛		藩士	20	1							[註4]
稲垣家断			断絶	稲垣 義左衛門		馬廻	80	1							[註4]
稲垣家断	岡部宗信	二男	○	稲垣 政明	六左衛門 後→岡部政明	中小姓	25	2~5							[註1][註4]
	岡部政明	嫡子	断絶	稲垣 忠政	六七 後→岡部忠政 林勘七	中小姓	30	3~5					宗家に随身せず追放されるも徳山藩再興に尽力、五烈士		[註1][註14]
稲見家断			断絶	稲見 半兵衛		徒士	25	不明							[註4]
井上家	井上豊後守有景	嗣子	○	井上 元有	與三右衛門			—					（井上姓掃部助頼季信州高井郡井上邑）		[譜]
	井上元有	嗣子	○	井上 就正	豊後守 椿扯房			元就	88	1525 1612	大永5年 慶長17年	雲州 芸州吉田にて首2級、元就より感状			[譜] [朝倉家文書]
	井上就正	嗣子	○	井上 元正	孫兵衛			輝元							[譜]
	井上元正 某女	二男	①	井上 家正	九左衛門 九右衛門 彦七 杢允	馬廻	150	1		1653	承応2年9月3日	上西横町南側西角 元和年中出仕			[譜][註4]
	井上家正 朝枝因幡高明女	長男	②	井上 隆政	九左衛門 六郎 弥太郎 弥右衛門	馬廻	150	1		1675	延宝3年4月24日	某年家督			[譜]
	井上隆政 某女	長男	③	井上 之続	弥右衛門	馬廻	150	1				某年家督/延宝4年6月行跡宜しからず永暇			[譜]
	井上九左衛門隆政 某女	二男	—	井上 権兵衛	→池田専遊	馬廻	53.4244	2~3	68	1713	正徳3年正月27日	宝永4年隠居/先妻専祐二女梅峯妙寒信女延宝8年11月15日卒		徳山・福田寺(R3)	[譜] *[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	井上隆政 某女	*四男	④	椿 之光	井上平左衛門 平八 (正徳5年押込隠居)	馬廻/目付役	十五扶持	1~5		1723	享保8年7月11日	徳山藩再興功労者/奈古屋玄蕃等と御仕置義銀制度発案			[譜][註1][註4]
	池田権兵衛専遊 萩原田延利女	*二男	⑤	井上 之峯	音右衛門 清助 九左衛門	馬廻	75	3~5		1748	延享5年4月3日	宝永2年中小姓出仕/正徳5年井上之光咎隠居為家督			[譜]
	井上之峯 福間茂左衛門尭明女	長男	⑥	井上 之澄	平左衛門 弥三郎 音右衛門	馬廻	75	5~7	62	1786	天明6年4月7日	延享5年家督			[譜]
	井上之峯 福間茂左衛門尭明女	二男	—	井上 正明	→山田正明	中小姓/山地頭	25	7~9	64	1808	文化5年10月25日	宝暦11年11月山田忠英養子			[譜][註4]
	山田仁右衛門正明 渡部孫右衛門範倶女	*長男	⑦	井上 之孝	喜次郎 亀槌 凞 (実父山田正明は之澄弟)	馬廻	75	7~8	34	1804	文化元年9月11日	安永2年7月養子/天明6年家督			[譜]
	岩内相将 岩内長芳女	*長男	⑧	井上 之祐	協 栄 彦太郎 辰之進 珂(阿)兵衛 清兵衛 祺兵衛 作太郎	馬廻	75	8~9	55	1839	天保10年6月7日	文化5年西町 文化2年家督			[譜][註4]
	井上之祐 井上之孝女	長男	⑨	井上 光弼	弥太郎 有克 長吉 菊坡 総之助 快雪 翠雨 愷之進 甘漂泊他多数	馬廻/評定役代官/大目付	75	9	75	1811 1885	文化8年 明治18年4月19(18日	西ノ丁 漢学者/俗論唱見島遠島/崇蘭会同人/妻島田常子M12卒	泉原島田家墓所(H30)		[譜][註1][註4][註8][註9][註11] [註16]
	井上之祐 井上之孝女	*三男	⑩	井上 孝廉 ☆	達次(郎) 孝義 直之丞 弥作 光 棣斎 (妻河谷氏子無	中士上等	50→14.1(M4) (75明治2年)	9	61	1887	明治20年12月4日	安政5年御雇/神道無念・明智流剣術/碑文青木忠蔵撰		徳山・福田寺(R3)	[譜][註1][註4][註5][註8][註9] [註11][註14][註16]
井上家	吉川家仕官森脇市兵衛	嗣子	○	森脇 柾右衛門	市兵衛弟			—				市兵衛広家公御国替御供由宇討入時御付役			[譜]
	森脇柾右衛門	嗣子	○	森脇 七兵衛				—							[譜]
	森脇七兵衛	嗣子	○	森脇 善五郎				—							[譜]
	森脇善五郎 某女	二男	①	井上 政茂	和田右衛門 林雪 (森脇、藤井後井上改姓)	陣僧	11	3~7	90	1786	天明6年10月9日	廣六兵衛屋敷跡 片側町自北2番東向	正徳年中出仕/安永7年隠居		[譜]
	安澤氏 神田忠兵衛女	*	②	井上 敬茂	儀左衛門 平左衛門 彦平 (福谷平左衛門)	徒士	20	7~8	70	1810	文化7年正月17日	友安平六屋敷跡 東端町西側自北16番東向	安永7年家督		[譜][註4]
	重増雲平正真 徳山町医師石津周伯姉	*二男	③	井上 栄尚	敬満 九郎左(右)衛門 喜七郎 兵蔵 正之	徒士 五ケ村算用役(文政年間)	20	8~9	?3	1849	嘉永2年7月14日	片側町自北2番江村北隣 文化7年家督			[譜][註1][註4]
	井上栄尚 二代敬茂女	長男	④	井上 政和 ☆	政次 定常 倉之丞 新平 音之介 左織 和田右衛門(伊織和靖[註1])	徒士 藩知事時代正権少属	20	9			(明治3年52歳 人員録)	明治4年新丁 嘉永2年家督/文久4年譜録提出			[譜][註1][註4]
	井上栄尚 二代敬茂女	五男	—	井上 敏雄 ☆	→佐々木敏雄☆	中士下等/歌人 国学者/国書授方	35→10.2(M4)	9	64	1894	明治27年5月18日	弘化4年連歌師佐々木愷護に養子	徳山・福田寺(H30)		[譜][註1][註4][註5][註8][註11] [註14]
	井上栄尚 二代敬茂女	*六男	⑤	井上 和暢	政英 和彦 郡太 喜一郎 雪崖 安祐 荒之進 彦太郎 藤太郎 唯一	徒士	20	9	23	1864	元治元年10月24日	新丁 嘉永5年養子/徳山殉難七士	徳山・八正寺 [註8][註10]		[譜][註1][註4][註8][註9] [註10][註11][註14]
	井上栄尚 松岡茂平直道女	七男	—	某	*2、3、4男早逝			9				井上渉人『家職方日記』兄唯一とありM12.6.19			[譜]
	井上政和	*長男	⑥	井上 健治		下士上等	10.2(明治4年)	9			(明治4年20歳 分限帳)	新丁			
			○	井上 寅一				—				昭和11年和暢(唯一)の遺族として名あり(徳山市役所)			贈従四位井上唯一の 遺族井上ツチ[註10]
	沼三右衛門浄貞 某女	四男	①	井上 忠久	藤右衛門 三四郎 沼藤右衛門[註4]	徒士	20	2~5		1731	享保16年6月5日	東中町自北9番西向 貞享元年出仕/元禄年中井上筑後守縁井上改姓			[譜][註4]

井上家	黒川孫兵衛通俊 岩崎浦右衛門重房女	＊二男	②	井上 忠昌	八郎左衛門 右衛門七	徒士	20	5	38	1741	寛保元年9月27日	享保16年家督		[譜]
	井上忠昌 嶋田村山本某女	長男	③	井上 忠知	藤右衛門 三之進 八兵衛 彦助	徒士	20	5~8	71	1802	享和2年12月28日	寛保元年家督		[譜]
	井上藤右衛門忠知 譲羽村山本与兵衛女	長男	—	井上 通種	→黒川通種(東泉)	徒士	20	7	27	1794	寛政6年11月1日	安永3年7月養子/墓碑の碑文は長沼采石による[註8]	大迫田本正寺無縁墓(H30)	[譜][註8]
	井上忠知 譲羽村山本与兵衛女	二男	④	井上 忠秀	助治郎 源吾	徒士	20	8	67	1833	天保4年正月19日	享和3年家督		[譜][註4]
	井上忠秀 富田村末次清左衛門妹	二男	⑤	井上 忠勝	常三郎 熹志祖父孫左衛門(士族人員録)	蔵本付	15	8~9		(明治4年53歳 分限帳)		外片側町南隅河内 天保4年家督/天保10年永暇		[譜]
	伊藤某 徳山村木原三左衛門女	＊	⑤	井上 忠明	好助 藤右衛門 木原好助	徒士	20	8~9		(明治4年71歳 分限帳)		外片側町南隅河内 天保9年家督/嘉永2年押込隠居		[譜]
	井上忠明 徳山村木原善左衛門女	長男	⑥	井上 熹志	唯右衛門 喜一郎	蔵本付後下士下等 藩知事時代正権少属	切15後15	9		(明治4年37歳 分限帳)		外片側町南隅河内 嘉永2年家督/元治元年譜録提出		[譜][註4]
	井上熹志 花田源左衛門郷章女	長男	○	井上 信太郎		藩士	4.7(明治4年)	9		(明治4年9歳 分限帳)		外片側町南隅河内		
	井上熹志 花田源左衛門郷章女	二男	—	井上 喜次郎				9		(明治4年7歳 分限帳)		外片側町南隅河内		
	井上熹志 花田源左衛門郷章女	三男	—	井上 朋三郎		徳山小学校9代校長 ＊岩井商店相談役		—		(明治4年4歳 分限帳)		外片側町南隅河内 岐陽(現徳山)小学校校長明治31年4月～明治34年12月		[徳山小学校史] ＊[我が郷土/弓屋雄介]
			—	井上 辨四郎	井上熹志叔父			—		(明治4年22歳 分限帳)		外片側町南隅河内		
(玉野家) 井上家	井上與三右衛門兼時	嗣子	○	井上 兼光	佐渡守			—						[譜]
	井上佐渡守兼光 玉野勘解由左衛門女	嗣子	○	玉野 兼成	小右衛門			—						[譜]
	玉野小右衛門兼成 伊藤又右衛門女	二男	①	玉野 光利	又左衛門	蔵本付	三扶持	5	86	1749	寛延2年5月18日	享保19年出仕/元文2年隠居		[譜]
	玉野光利 富田村医師四熊休庵女	長男	—	玉野 保實	→東保實	中小姓	25	5~7	76	1777	安永6年正月4日	享保11年養子/延享5年朝鮮使節団の所用を弁ずる為乗船	徳山・福田寺(R4)	[譜]
	玉野光利 富田村医師四熊休庵女	二男	②	井上 利友	佐兵衛 大吉 藤左衛門	蔵本付	三扶持	5~8	90	1801	享和元年4月29日	元文2年家督/宝暦8年隠居		[譜]
	玉野清左衛門 初代光利女	＊長男	③	井上 利紀	又左衛門 喜太郎 卯兵衛 権兵衛	徒士	20	6~8	67	1805	文化2年正月21日	福谷□助建家共 西新丁西側自上1番	宝暦8年家督	[譜]
	井上利紀 徳山町明石三左衛門女	長男	④	井上 利親	又左衛門 甚七	中小姓	25	8				西新丁西側自上3番 文化2年家督/天保2浜崎浦開作築立掛、同3道源開作沖埋立掛	大成寺共同墓地無縁墓(R1)	[譜][註4][註14]
	井上利紀 徳山町明石三左衛門女	二男	—	井上 清次	→信田盛諄	中小姓	25	8~9				二番丁 文政3年信田周蔵直清養子	大成寺墓地信田家之墓	[譜][註1][註4]
	井上利親 平野町小川十右衛門女	長男	⑤	井上 為造	為之進 利済 致遠 紫淵[註8] 為右衛門 巨源[註8]	中小姓後中士上等	50	8~9	62	1821 1882	文政4年 明治15年11月9日	新丁 天保14年譜録提出/詩文[瀟洒会]文章会]同人[註1]	利済室幹女無縁墓大成寺(R1)	[譜][註1][註4][註8] [人員録][井上家文書]
	井上利親 平野町小川十右衛門女	二男	—	井上 三平☆	→林 佳甫 ☆	馬廻	50	9	65	(明治4年49歳 分限帳) 1987	明治20年6月11日	中ノ丁 天保13年養子	大迫田本正寺無縁墓(H30)	[譜][註4]
	井上為造 高﨑安章女ミキ	長男	—	井上 太郎作☆	利器 佐市 陽坡 (妻松岡氏娘シツ岩崎蕃郁倅左輔嫁)			9	33	(明治3年25歳 人員録) 1878	明治11年6月17日	明治4年新丁 墓碑文井上利済(父)	駒込・浄心寺(遺髪大成寺埋)	[註1][註4][註16] [御在城日記文久3年]
	井上為造 高﨑安章女ミキ	二男	⑥	井上 達己		徳山村第三代村長		9	38	(明治3年13歳 人員録) 1895	明治28年7月8日	米改良組合/金融機関公共社設立委員	大成寺共同墓地(H30)	[註1][註4][註14] [井上家文書]
	井上為造 高﨑安章女ミキ	三男	—	井上 健三郎	宮本秀治？[井上家文書]	下松銀行常務		9		(明治3年10歳 人員録)				
	井上為造 高﨑安章女ミキ	四男	—	井上 登吉	→粟屋登吉			9		(明治3年7歳 人員録)				
	井上 達己	嗣子	⑦	井上 利宣		第10代徳山町長/下松銀行頭取		—	37	1885 1921	明治18年5月19日 大正10年12月8日		大成寺共同墓地(H30)	[註4] [井上家文書]
		嗣子	⑧	井上 隆一	普門院顕誉永隆孝戒居士	第12代徳山町長	従四位勲三等	—	92	1980	昭和55年11月25日	新丁 防長交通社長	大成寺共同墓地墓誌(H30)	[註4]
			—	谷城 玄輔	→谷城玄輔(井上隆一弟)	帝国製鉄東京出張所次長 防長バス/防長産業取締役		—	62	1891 1952	明治24年1月18日 昭和27年11月29日	新丁3957 大成寺井上家墓所石灯籠建立	谷城家之墓大成寺共同墓地	[徳山地区人物名鑑1951]
	久米村井上直一信任	嗣子	○	井上 信全	清左衛門 (父直一以前八木姓)			—				久米村		[譜]
	久米村井上信全 渡邉五右衛門女	長男	—	井上 一忠	→①井上一忠	新知別家/徒士	20	3~5	61	1733	享保18年4月23日	渡邉五右衛門屋敷跡 横東丁自西3番南向	元禄14年出仕	[譜][註4]
	井上清左衛門信全 渡邉五右衛門女	二男	①	井上 信道	七太夫	徒士	20	3~5	79	1755	宝暦5年12月25日	正徳4年出仕/宝暦2年隠居		[譜][註4]
	井上一忠 久米村井上十郎左衛門女	＊二男	②	井上 信貞	七郎左衛門 廓應院泰道了然居士	徒士	20	5~7	52	1783	天明3年5月13日	宝暦2年家督/寂照院幽山玄明信女享和2年10月3日卒	徳山・福田寺(R3)	[譜]
	井上信貞 徳山風呂迫福重某女	二男	③	井上 信知	平蔵 彦右衛門 本光院寥山宗廓居士	徒士 五ケ村算用役(享和2年)	20	7~8	43	1814	文化11年4月16日	桜馬場外横町北側自西8番 天明3年家督/嘉永5年隠居/妻延壽院恵通妙廓大姉	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4]

井上家	河村弥市幸嗣 河村良助幸良養女	＊二男	④	井上 信友	源内 信房 丈吉 市左衛門 始覚院隻山道通居士	徒士	20	8~9	58	1853	嘉永6年4月10日	外片側町(外横町) 嘉永5年家督/妻錦緝院羅山貞樹大姉天保11年9月29日卒	徳山・福田寺(R3)	[譜]
	井上信友 津田栄次郎昌守女	二男	⑤	井上 信文	浄七 壮助 逸右衛門 (妻種田平兵衛直方女)	徒士	20	9			(明治4年38歳 分限帳)			[譜][註4]
		＊	⑥	井上 明知 ☆	永之丞	下士上等	20→5.7(M4)	9			(明治4年35歳 分限帳)	明治3年譜録提出		[譜][註4]
	井上信文	嫡子	—	井上 瀧熊	井上明知弟			9			(明治4年2歳 分限帳)			
	井上明知	長男	⑦	井上 省次		藩士	5.7(明治4年)	9			(明治4年11歳 分限帳)			
	井上明知	二男	—	井上 恒之丞				—			(明治4年2歳 分限帳)			
井上家断	久米村井上信全 渡邉五右衛門女	長男	①	井上 一忠	八太夫 九太夫	新知別家/徒士	20	3~5	61	1733	享保18年4月23日	渡邉五右衛門屋敷跡 横東丁自西3番南向	元禄14年出仕	[譜][註4]
	井上一忠 久米村井上十郎左衛門女	長男	②	井上 一行	九太夫 九之助 高臺院空澤宗真居士	徒士	20	5~7	70	1798	寛政10年6月10日	享保18年家督/天明8年咎隠居/妻壽光院祖林貞心大姉	徳山・福田寺(R3)	[譜]
	井上一忠 久米村井上十郎左衛門女	二男	—	井上 信貞	→②井上信貞	徒士	20	5~7	52	1783	天明3年5月13日	井上信道養子宝暦元年/寂照院幽山玄明信女享和2年10月3日卒	徳山・福田寺(R3)	[譜]
	井上一行 久米村年光甚之丞女	二男	③	井上 此行	音治郎 養壽院徹翁大堅居士	徒士/下代役 五ケ村算用役(文化年間)	20	7~9	75	1840	天保11年正月6日	天明8年家督/天保9年隠居/妻松樹鶴仙貞壽大姉	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4]
	井上此行 信田周蔵直清妹	三男	断絶	井上 行雅	高輔 (妻三吉嘉兵衛経定妹)	徒士	20	9		1850	嘉永3年11月13日	二番丁 天保9年家督/天保13年常祷院遷化無住付法事締寺番人		[譜][註4] (嘉永2年譜録提出)
	山田正雄 三吉光蔵女	＊三男	—	井上 益吉				9				嘉永4年4月11日養子		[山田正雄譜録]
井上家			○	井上 武右衛門		役人(元禄13年)		3				開作御証拠物控[徳山毛利文庫]		[註4]
	林政章 富田新町村山宗味妹	＊二男	○	井上 政直	久左衛門 庄兵衛(本家林次章弟)			3				元禄年間林政直として出仕		[林家譜録]
井上家			○	井上 又右衛門		五ケ村御用懸り (天保10年)		9				五ケ村御仕入紙全録[徳山毛利文庫]		[註4]
井上家			①	井上 謙吉		上士福間蕃雄家来		9			(明治3年22歳 人員録)			
井上家			○	井上 謙吉		都濃郡下上村戸長 (明治12年)		9				都濃郡下上村		[註4]
井上家			①	井上 市蔵		河合組下等	3.35(明治4年)	9			(明治5年44歳 分限帳)	徳山村辻		
	井上市蔵	長男	○	井上 小吉		初代村会書記(明治22年)		9			(明治5年17歳 分限帳)	徳山村辻		[註1]
	井上市蔵	二男	—	井上 與市				9			(明治5年8歳 分限帳)	徳山村辻		
井上家			①	井上 善平				9			(明治5年58歳 分限帳)	徳山村幸町		
	井上善平	嗣子	②	井上 幸治		河合組下等	3.35(明治4年)	9			(明治5年28歳 分限帳)	徳山村幸町		
	井上善平	嫡子	—	井上 多助				9			(明治5年25歳 分限帳)	徳山村幸町		
	井上善平	嫡子	—	井上 三助				9			(明治5年21歳 分限帳)	徳山村幸町		
井上家			○	井上 源治郎	一乗良喜居士			8		1819	文政2年8月29日		徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
井上家			①	井上 源蔵		岩崎幾太郎組上等		9			(明治3年24歳 人員録)			
井上家			○	井上 文左衛門		徒士/算用役(明和元年) 町奉行下役(寛政年間)		6~8						[註4]
井上家			○	井上 権左衛門		庄屋(享保4年)		3~5				四熊村御物成御米銀高一紙(享保4年)防長地下上申(元文5年)		[註4] [菊川のむかしむかし]
井上家			○	井上 清助		共栄社取締役(明治21年)		~9						[註1]
井上家			○	井上 唯輔		初代村会書記(明治22年)		~9						[註1]
井上家			○	井上 光蔵		庄屋	苗字	8				下上村 献納並び賞美一件(天保5年)		[註4]
井上家断			断絶	井上 孫右衛門		藩士	200	1						[註4]
井上家断			断絶	井上 七郎右衛門		藩士	25	1						[註4]

井上家断			断絶	井上 治郎右衛門		藩士	25	1						[註4]
井上家断			断絶	井上 新五左衛門		藩士	15	1						[註4]
井原家			○	井原 孫左衛門		江戸家老		4			再興時毛利吉元が指名/百次郎を補佐/享保8年萩へ戻る			[註1]
井原家			○	井原 次良左衛門				1			＊松月浄永信士 養学童子 寛文9年3月13日無量寺			＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
今井家断			断絶	今井 三郎右衛門		藩士	20	1						[註4]
今枝家			○	今枝 武右衛門	→井上家今枝隆豊	大阪蔵屋敷留主居(元禄8年)	80	~3		1709	宝永6年4月26日			[註4]
（山縣家）（井上家）（今枝家）今田家	今田上総介光頼	嗣子	○	山縣 隆正	次郎左衛門（弟頼豊）			元就			今田上総介光頼芸州今田生まれ今田姓			[譜]
	山縣隆正	嗣子	○	山縣 頼隆	丹宮			隆元						[譜]
	山縣丹宮頼高	長男	①	井上 光任	雅楽丞	藩士	50	1			萩より			[譜][註4]
	井上光任	長男	②	山縣 光高	平兵衛	藩士	50	1		1651	慶安4年10月7日			[譜]
	山縣光高	長男	③	山縣 光政	小左衛門	藩士	50	1		1680	延宝8年8月7日			[譜]
	山縣光政	長男	④	今枝 隆豊	武右衛門	馬廻 大阪蔵屋敷留主居(元禄8年)	80	2~3		1709	宝永6年4月26日			[譜][註4]
	山縣光政	二男	—	山縣 某		八正寺二世住職 雲廓和尚(防長寺社由来)		2~3						[譜]
	林與一兵衛	＊末子	⑤	井上 隆壽	武右衛門 久左衛門 要作 久作	馬廻	80	3~5		1724	享保9年7月29日	元禄17年養子/元禄13年公命により井上改姓/宝永2年同今田改姓		[譜][註4]
	河合伴蔵宗實	＊六男	⑥	今田 政成	久左衛門 大十郎 成記	馬廻	105	4~6		1779	安永8年9月17日	享保4年養子同9年家督/宝暦10年12月隠居		[譜]
	今田政成	長男	⑦	今田 政秀	武右衛門 熊蔵 左源治	馬廻	80	6				宝暦11年咎隠居		[譜]
	今田政秀	長男	⑧	今田 壽之進		中小姓	35	6		1764	明和元年9月11日	宝暦11年家督	大迫田徳応寺一族あり	[譜]
	林良庵	＊二男	⑨	今田 頼好	九郎右衛門	中小姓	35	7		1782	天明2年5月24日	明和元年家督	大迫田徳応寺(R4)	[譜]
	今田頼好	長男	⑩	今田 光當	頼完 勝治 幸助 幾蔵	組外馬廻	50	7~8	54	1830	天保元年2月4日	天明2年12月家督	大迫田徳応寺(R4)	[譜][註4]
	今田光當	長男	⑪	今田 誠司 ☆	保光 光保 常吉 操	中小姓後中士下等 御流儀小笠原流騎射世話役	35	8~9		（明治3年46歳 人員録）		中ノ丁居住後山田村 天保2年3月家督/藩知事時代正権少属/明治9年萩の乱捕縛		[譜][註1][註4][註5] (文久3年譜録草案)
	今田誠司	三男	⑫	今田 光金 ☆	浪江(明治4年分限帳) 鉄三郎 金太郎(譜録)	前原(一誠)党	10.2(明治4年)	9	26	1852 （明治3年19歳 人員録）	嘉永5年2月16日	山田村 明治9年萩の乱花岡組首謀者自首/病没		[譜][註1][註4][註11][註14]
今津家	有森作左衛門	嫡子	①	今津 保信	和助	徒士	20	3~5	61	1726	享保11年8月24日	東端町東側自北12番 元禄10年出仕		[譜]
	今津保信	長男	②	今津 政信	惣兵衛 惣七	徒士	20	5~7	62	1772	安永元年2月10日	河村又七屋敷跡 外片側町自北7番	享保11年家督	[譜]
	井本好右衛門親儀	＊二男	③	今津 親信	喜右衛門	徒士	20	5	35	1750	寛延3年10月16日	政信寛延2年隠居に付同年家督		[譜]
	宗像徳左衛門光信	＊二男	④	今津 由信	平八 文蔵 平助 芳八 武七 惣左衛門[磯部家家譜]	中小姓	25	5~8	79	1818	文政元年10月16日	児玉小十郎屋敷跡 西町西側自北3番	妻徳応寺[磯部家家譜] 宝暦2年家督/文化6年隠居	[譜]
	今津由信	長男	⑤	今津 庸信	惣三郎 留吉 友二郎 定助	中小姓	25	8	45	1833	天保4年9月13日	岡常助屋敷跡 東町西側自北12番	文化6年家督	[譜]
	小田陳連	＊四男	⑥	今津 信彬	薫 八十槌 武七郎 津 砌	組外馬廻後中士上等	50	8~9		（明治4年49歳 分限帳）		三番丁 天保4年家督/文久4年譜録提出		[譜][註4]
	今津信彬	長男	⑦	今津 芳雄		藩士	14.1(明治4年)	9		（明治4年17歳 分限帳）		三番丁		
	今津信彬	二男	—	今津 健次				9		（明治4年15歳 分限帳）		三番丁		
	今津信彬	三男	—	今津 彦之丞				9		（明治4年13歳 分限帳）		三番丁		
			○	井村 清左衛門		持弓		1			寛永15年島原の乱出兵			[註3]
			○	井村 番右衛門		持弓	15	2			断絶			[註4]
			○	井村 正俊	清左衛門	下士下等	15→4.7(M4)	9		（明治4年42歳 分限帳）	再興			[註4]

井村家	井村正俊	長男	○	井村 麟一郎		藩士	4.7(明治4年)	9						
										(明治4年19歳 分限帳)				
	井村正俊	二男	—	井村 風次郎				9						
										(明治4年17歳 分限帳)				
	井村正俊	三男	—	井村 亀三郎				9						
										(明治4年10歳 分限帳)				
	井村正俊	四男	—	井村 龍四郎				9						
										(明治4年6歳 分限帳)				
井村家			○	井村 正恭 ☆	友之進	大向大道理村戸長 (明治19年)		9						[註4]
井村家	井村與左衛門正忠	三男	①	井村 庸親	可倫	茶道	現米5三扶持	3~7	82		楢崎小右衛門屋敷跡	大成寺共同墓地累代墓あり		[譜][註4]
	梅地藤右衛門相英女									1778 安永7年2月26日	東中町西側自北9番	正徳4年出仕/安永5年隠居		
	井村可倫庸親	長男	—	井村 庸定	→青木忠栄	馬廻	50	5	26					[譜]
	青木忠真女									1757 宝暦7年9月12日	寛延2年青木忠方養子			
	井村庸親	二男	—	井村 親教	→①井村庸保	新知別家/徒士	20	6~7	70					[譜]
	青木藤兵衛忠真女									1805 文化2年5月24日	宝暦12年御雇明和7年出仕			
	藤岡盛光	＊三男	②	井村 親友	宗三 鐵八	茶道	現米5三扶持	7~8	68			大成寺共同墓地累代墓あり		[譜]
	浜崎町友沢喜右衛門女									1824 文政7年11月17日	安永5年家督/文化元年隠居			
	井村親友	三男	③	井村 信敬	宗倫 宗碩 親貞(中村直郁の項)	茶道	現米5三扶持	8~9	62			大成寺共同墓地(H30)		[譜][註4]
	初代庸親女									1848 嘉永元年2月14日	文化元年家督/弘化4年隠居			
	井村親友	四男	—	井村 直郁	→中村直郁	中小姓	25	8~9	68					[譜][註4]
	初代庸親女									1858 安政5年正月6日	文化3年中村直行養子			
	井村信敬	長男	④	井村 庸英	宗達 英司 十兵衛 (十兵衛庸道墓碑あり)	茶道後中士下等	25七俵→7.1	9			二番丁	大成寺共同墓地累代墓あり		[譜][註4]
	小畑村佐古藤兵衛女									(明治4年44歳 分限帳)	弘化4年家督/明治3年譜録提出			
	井村庸英	長男	—	井村 庸挙	英司 堅司			9				大成寺共同墓地累代墓あり		[譜]
	井村熊蔵忠右伯母													
	井村庸英	嫡子	⑤	井村 其介	民男	藩士	7.1(明治4年)	9				大成寺共同墓地累代墓あり		
	井村熊蔵忠右伯母									(明治4年20歳 分限帳)				
	井村庸英	嫡子	—	井村 和三郎				9				大成寺共同墓地累代墓あり		
	井村熊蔵忠右伯母									(明治4年13歳 分限帳)				
	井村庸英	嫡子	—	井村 治				9				大成寺共同墓地累代墓あり		
	井村熊蔵忠右伯母									(明治4年12歳 分限帳)				
井村家	井村庸親	二男	①	井村 庸保	親教 宗哲 壽碩 條八	徒士	20	7~8	70					[譜]
	青木藤兵衛忠真女									1805 文化2年5月24日	宝暦12年御雇明和7年出仕/天明3年隠居			
	大島村藤井勘右衛門	＊二男	②	井村 信行	與一 為右衛門	徒士	20	7~8						[譜]
	花岡町中村嘉兵衛女										天明3年2月24日家督			
	井村信行	長男	③	井村 信義	為助 茂十郎	徒士	20	8						[譜]
	浅田宅行長女										享和元年7月晦日家督/文化元年隠居			
	富田平野小川喜左衛門	＊	④	井村 義忠	八十之丞 金左衛門 清格	徒士	20	8	46			大迫田(R1)		[譜][註4]
	富田平野小川十右衛門女									1829 文政12年12月21日	文化元年家督			
	井村義忠	長男	⑤	井村 忠貫	弥七郎	徒士	20	8	29		粟屋屋敷跡の内表11間半	大迫田(R1)		[譜]
	寺田光助貞褒女									1837 天保8年5月11日	二番丁北横丁自西1番南向	文政13年3月家督		
	井村義忠	二男	—	井村 景行	→佐伯景行	徒士	20	9	47					[譜]
	寺田光助貞褒女									1859 安政6年10月16日	天保10年10月23日佐伯門慶養子			
	井村義忠	＊三男	⑥	井村 忠右	熊蔵 宇吉	徒士	20	9	33		三番丁			[譜]
	寺田光助貞褒女									1853 嘉永6年12月19日	天保8年家督			
	井村義忠	＊四男	⑦	井村 忠晴	信好 疇左衛門 正輔 順輔	徒士後下士上等	20→5.7(M4)	9						[譜][註4]
	寺田光助貞褒女									(明治4年47歳 分限帳)	安政2年家督/明治3年譜録提出			
	井村忠晴	長男	⑧	井村 亀之進	亀之丞	藩士	5.7(明治4年)	9						
	夜市村清吉女									(明治4年14歳 分限帳)				
	井村忠晴	二男	—	井村 龍治				9						
	夜市村清吉女									(明治4年8歳 分限帳)				
	井村忠晴	三男	—	井村 芳馬				—						
	夜市村清吉女									(明治4年1歳 分限帳)				
井村家断			断絶	井村 与七		徒士	25	不明						[註4]
伊村家			①	伊村 千賀助		岩崎幾太郎組上等		9						
										(明治3年30歳 人員録)				
	伊村千賀助	嫡子	○	伊村 粂太郎				—						
										(明治3年2歳 人員録)				
伊村家			①	伊村 勘助		岩崎幾太郎組上等		9						
										(明治3年27歳 人員録)				
			—	伊村 嘉蔵	伊村勘助弟			9						
										(明治3年23歳 人員録)				
伊村家			○	伊村 才助		岩崎幾太郎組上等		9						
										(明治3年21歳 人員録)				

井本家	福川銭谷助右衛門		○	銭谷 新右衛門		富田新町商民		3				福川/富田新町		[譜]
	銭谷新右衛門 富田新町青木市郎右衛門女	二男	①	銭谷 豫如	徳右衛門	藩士	3	5	49	1755	宝暦5年7月3日	富田新町		[譜]
	銭谷豫如 富田新町藤井重郎右衛門女	長男	②	井本 忠儀	喜兵衛 徳右衛門 忠吉	徒士	3	5~7	59	1788	天明8年2月29日	宝暦5年家督同7年井本改姓/天明3年隠居		[譜]
	井本忠儀 三田尻河口藤右衛門女	長男	③	井本 忠尚	荘蔵	徒士	3	7~8	72	1836	天保7年8月8日	天明3年家督/天保5年隠居		[譜]
	井本忠尚 富田新町中村荘兵衛女	長男	④	井本 正興	仁吉 時之丞 忠左衛門	徒士	3	8~9	49	1856	安政3年正月7日	天保5年家督		[譜]
	防府井本喜兵衛	＊	⑤	井本 信道	麟太郎 儀一郎	下士下等	15→4.7(M4)	9			(明治4年27歳 分限帳)	安政3年家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]
井本家			①	井本 好左衛門		上士粟屋宗人家来		9			(明治4年52歳 分限帳)			
	井本好左衛門	嫡子	②	井本 彦蔵		一代準士	15→4.7(M4)	9			(明治4年23歳 分限帳)			
	井本好左衛門	嫡子	—	井本 熊雄	熊太			9			(明治4年10歳 分限帳)			
井本家			①	井本 真十郎		藩士	1.8(明治4年)	9			(明治5年25歳 分限帳)	富田村新町		
伊予屋			○	伊予屋 儀兵衛		売出石船積方 船持(文政10年~)		8				西船町		[註4]
入江家			○	入江 喜右衛門		製塩業		7				下松西豊井・入江開作(安永7年1778)		[註1]
入江家			○	入江 弥十郎			賞美切米9(天保12) 一扶持・苗字(同5)	8~9				富海町		[中山家文書]
	入江弥十郎	嫡子	○	入江 石泉	靖 碧 弥源太 撫松	士族授産制産社副社長(M5) 三代目徳山郵便局長	中士/従六位	9	72	1825 1896	文政8年6月4日 明治29年1月28日	徳山藩領佐波郡富海村 温知会歌人/私塾、道場設立/勤王志士七士の遺稿を伝える	富海共同墓地	[註1][註4][註9][註10][註11] [註14][翰墨一架]
	入江弥十郎	嫡子	○	入江 弥太郎	秋坡 勝盈 純 金卿 (石泉弟)			9	57	1886	明治19年10月8日	詩画の余技あり		[註11]
	入江石泉	嫡子	○	入江 弥作		四代目徳山郵便局長		9				佐渡町 「徳山夜学校」自宅に開設、後無量寺西に校舎新築		[註1][註11][註14]
入江家			○	入江 礒七		飛船問屋入本屋		9				徳山藩領佐波郡富海村		
入江家			①	入江 初蔵		船手組		9			(明治5年62歳 分限帳)	徳山村横浜		
	入江初蔵	嫡子	②	入江 佐太郎		藩士	3.35(明治4年)	9			(明治5年16歳 分限帳)	徳山村横浜		
入澤家			○	杉原 盛重	杉原播磨守盛重系先祖代々墓とある。後の榮昌了□が建てたものと思われる 榮昌了□居士寛永4年(1627)8月晦日妻養岳妙保大姉寛文4年(1664)2月13日卒			元就		1581	天正9年12月25日[譜]	備後国/伯州泉山・八橋 伯州八橋(やばせ)にて病死	徳山・福田寺(R3)	[譜]
	杉原播磨守盛重	嗣子	○	杉原 重宗	右京太夫			—						[譜]
	杉原重宗	嗣子	○	入澤 重村	新右衛門			—				杉原重村備後国入澤庄入澤改姓		[譜]
	入澤新右衛門重村 吉田與三兵衛女	二男	—	入澤 重家	→杉原家①入澤重家	新知別家/徒士	20	1~2	72	1687	貞享4年正月20日	横東町北側自西4番南向 妻華月妙空信女元禄11年3月7日卒	徳山・福田寺(R3)	[譜] [徳山市社寺文化財調査(S59)]
	入澤新右衛門重村	＊	断絶	大原 傳吉		長府藩		—				櫛ケ浜 杉原重村備後国入澤庄入澤改姓(→杉原)		[譜]
	大原傳吉 入澤新右衛門重村女	二男	①	入澤 重親	助右衛門 重勝 與左衛門 ＊明岳清伍朱居士	徒士	20	~3		1697	元禄10年9月29日	妻＊端瀛自的禅定尼貞享4年8月20日卒/娘祖応浄心信女	徳山・福田寺無縁墓(R4)	[譜] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	佐波郡右田脇茂右衛門 某女	＊二男	②	入澤 重常	五左衛門	徒士	20	~3				重親元禄元年隠居塢付同年家督/元禄6年追放		[譜]
	東豊井村岩田六郎兵衛 某女	＊	③	入澤 重之	権七 ＊梅岩常雨信士	徒士	20	3		1698	元禄11年5月13日	元禄6年家督＊江戸において死(重親墓碑に刻印)	徳山・福田寺無縁墓(R4)	[譜] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	豊村某 某女	＊	④	入澤 重兼	久助 源之丞 貞右衛門 (豊村左助弟) 法界平眼信士	徒士	20	3	45	1714	正徳4年8月晦日	元禄12年家督	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4] [徳山市社寺文化財調査(S59)]
	徳山町岩崎清兵衛 重岡某女	＊五男	⑤	入澤 重信	助右衛門 源兵衛 小右衛門	徒士	20	3~7	84	1778	安永7年7月19日	西新町東側自北15番西向 正徳4年家督/宝暦8年隠居		[譜]
	入澤重信 難波直正女	長男	⑥	入澤 恭連	源右衛門 源蔵 義八	徒士	20	5~8	74	1806	文化3年11月16日	宝暦8年家督/寛政12年隠居		[譜]
	入澤恭連 上村徳原友右衛門女	二男	⑦	入澤 義雅	重國 孝之助 辰三郎 辰之進 源助 盛國女桜井魁園妻[桜井家譜録]	徒士	20	7~9	72	1846	弘化3年11月16日	寛政12年家督		[譜][註4]
	入澤義雅 柳治右衛門直具女	長男	⑧	入澤 義彦	源右衛門 源兵衛 義輔 黙案? 亥三郎 清太夫 蝸牛井[註8]	中小姓後中士上等/俳人	25後27	9			(明治4年69歳 分限帳)	弘化4年家督/公羽仙後三代目 [註1]/明治3年譜録提出	先妻・男女墓碑福田寺(R3)	[譜][註1][註4][註8]
	堀直候 上村井上治右衛門女	＊六男	⑨	入澤 義温 ☆	小文次 俊輔(M4分限帳) 喜重 梁四郎 梁之介	藩知事時代史生	10.2(明治4年)	9			＊天保 (明治4年31歳 分限帳)	安政5年養子	妻墓碑福田寺(R3)	[譜][註4] ＊[願届控東京毛利家文書]

	入澤義温	長男	○	入澤 茂麿	重麿	関東洲民政署 [徳友](明治40年)		—			明治			[願届控東京毛利家文書]
												入澤義温妻子名前あり		
入澤家			①	入澤 利兵衛				8~9						
											(明治4年75歳 分限帳)			
	入澤利兵衛	嗣子	②	入澤 利作		船手組	4.7(明治4年)	9						
											(明治4年35歳 分限帳)			
	入澤利作	嫡子	○	入澤 傳助	善助			—						
											(明治4年3歳 分限帳)			
	入澤利兵衛		—	入澤 澤之助	入澤利作弟			9						
											(明治3年35歳 人員録)			
入澤家断	渡邉庄兵衛	嫡子	断絶	入澤 文七		作事方/大工	20二扶持	3						[譜][註4]
	入澤助右衛門重親女											享保9年永暇		
入澤家			○	杉原 盛重	榮昌了□居士 杉原播磨守盛重(墓碑)			—					徳山・福田寺(R3)	[譜]
										1627	寛永4年8月晦日	妻養岳妙保大姉寛文4年2月13日卒		
	杉原播磨守盛重	嗣子	○	杉原 重宗	右京太夫			—						[譜]
	杉原重宗	嗣子	○	入澤 重村	新右衛門			—						[譜]
												杉原重村備後国入澤庄入澤改姓		
	入澤重村	二男	①	入澤 重家	與三兵衛 四郎兵衛 八郎左衛門 重直 庄左衛門 澤柳玄彭居士	徒士	20	1~2	72			横東町北側自西4番南向	徳山・福田寺(R3)	[譜]
	吉田與三兵衛女									1687	貞享4年正月20日	妻華月妙空信女元禄11年3月7日没		[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	入澤重家	三男	②	入沢 與三兵衛	次郎太夫義重 松之助 以下杉原家→杉原義重(享保年中改姓)	徒士	20	3~5	73				妻子徳山・福田寺(R3)	[譜][註4]
	清水五郎右衛門女									1737	元文2年3月23日	娘寒林童女享保14.12.4/妻金屋妙剛信女宝永5.11.10没		[徳山市社寺文化財調査(S59)]
入野屋			○	入野屋 友平		櫨蝋板場職		9						[註1]
												古屋九兵衛ら8名を藩の板場職に指定(嘉永3年1850)		
入桝屋			○	入桝屋 友平		町人		9						[註4]
												櫨板場半面木運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		
岩内家	岩内壱岐守實直	嗣子	○	岩内 長明	平治左衛門			—						[譜]
	岩内長明	嗣子	○	岩内 元辰	新左衛門			輝元						[譜]
												備後国三原にて忠死		
	岩内元辰	三男	①	岩内 辰之	三右衛門 亦	馬廻	100	1	50			上西横町北側自東2番	大迫田金剛寺一族あり	[譜][註4]
	白倉伊豆守女									1651	慶安4年7月2日	元和年中萩より		
	岩内辰之	長男	②	岩内 相全	平右衛門 萬槌 三五郎 壽計	馬廻	100	1~3	87				大迫田金剛寺一族あり	[譜][註4]
	小野某女									1716	享保元年7月22日	某年家督同隠居		
	岩内辰之	＊二男	③	岩内 相久	弥右衛門 七郎兵衛	馬廻	100	1~5	93				大迫田金剛寺一族あり	[譜]
	小野某女									1724	享保9年2月2日	某年家督同隠居		
	岩内相久	長男	④	岩内 相光	平右衛門 平七 七郎左衛門	馬廻	120	1~5	74				大迫田金剛寺(H30)	[譜]
	中村六兵衛直次女									1748	寛延元年9月23日	某年家督同隠居/享保19年加増		
	玉井弥右衛門方敬	＊二男	⑤	岩内 相胤	六郎右衛門 弥八	馬廻	120	5	32				大迫田金剛寺(H30)	[譜]
	玉井嘉兵衛方殷女									1755	宝暦5年2月29日	寛延元年家督		
	岩内六郎右衛門相胤	長男	⑥	岩内 長芳	市之介 弥平 弁蔵	馬廻	120	5~7					大迫田金剛寺一族あり	[譜]
	奈古屋弥市兵衛栄淑長女									1778	安永7年7月17日	宝暦5年家督		
	岩内六郎右衛門相胤	二男	—	岩内 常昌	→藤井常昌	中小姓	30	7~8						[譜][註4]
	奈古屋弥一兵衛栄淑女											安永元年藤井常春養子同3年正月家督		
	福間良清	＊五男	中継	岩内 相将	正作 繁蔵 定次郎 民次郎 全保淨操居士	馬廻	120	7~8	47	1756	宝暦6年12月4日		大迫田金剛寺(H30)	[譜]
	萩村上市郎左衛門女									1802	享和2年4月23日	安永7年家督(長芳長男幼年の為中継)		
	岩内相将	長男	—	岩内 之祐	→井上之祐	馬廻	75	8~9	55			文化5年西町		[譜][註4]
	岩内長芳女									1839	天保10年6月7日	文化2年井上之孝養子		
	岩内相将[岩内家譜録]	二男	—	岩内 長恒	→松野壽恒	一代用人	150	8	53					[譜][註4]
	岩内長芳女									1841	天保12年11月4日	文化3年松野良哉養子		
	岩内長芳	長男	⑦	岩内 長格	平左衛門 八十吉 助四郎	馬廻	120	8	48				大迫田金剛寺(H30)	[譜][註4]
	河合三郎右衛門宗寅妹									1825	文政8年4月20日	享和2年家督		
	岩内長格	長男	⑧	岩内 格禧	長義 玄次郎 虎之丞 宇吉 左門	馬廻	120	8~9				西ノ丁	大迫田金剛寺一族あり	[譜][註4]
	松田道介郷道女											文政8年家督		
	岩内長格	四男	—	岩内 景碩	→棟居景碩	馬廻	100	8~9				西ノ丁	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4]
	壽明寺秀瑞女									1870	明治3年3月23日	天保5年棟居景敏養子/妻梅窓院貞顔自薫大姉嘉永2年正月卒		(天保14年譜録提出)
	岩内格禧	長男	⑨	岩内 相如 ☆	勇記 勇紀 凌雲斎直節相如居士	中士上等	50→14.1(M4) (120明治2年)	9	74	(明治4年38歳 分限帳)			大成寺共同墓地(H30)	[譜][註4]
	棟居幸左衛門景敏妹									1907	明治40年11月29日	殉難七士調役/慶応元年6月11日家督/明治3年譜録提出		
	岩内相如	嫡子	⑩	岩内 平太郎				—						
										(明治4年3歳 分限帳)				
岩川家			○	岩川 金作	たるみや (妻93歳大正中頃没)	刀工		9				土井		
												射的の名手/長男一郎昭和21年80歳没		[翰墨一架]
	岩崎彦三郎重直	嗣子	○	岩崎 重正	清兵衛 法号淨金 平次郎 (三男あり)			元就	80余			富田	富田古市・称名寺	[譜]
										1626	寛永3年12月7日	天正年中備中国窪屋郡岩崎の地侍		[生活と祈り/新南陽市教育委員会]
	岩崎清兵衛重正	長男	○	岩崎 重清	平左衛門			—						[譜]

岩崎家	岩崎清兵衛重正	嫡子	—	岩崎 重貞	→○岩崎重貞 （岩崎想右衛門父）			—				富田村		[譜]
												天正年中備中国窪屋郡岩崎の地侍		
	岩崎重清	嗣子	○	岩崎 重久	清兵衛			—						[譜]
	岩崎重久	二男	①	岩崎 昌行	治兵衛	馬廻/＊郡代(貞享2年) 在所役人(貞享5年)[註4]	100	1	80			富田出生/西横町北側自東2番		[譜][註4]
	山田孫右衛門光致妹									1704	宝永元年5月27日	慶安2年出仕/元禄14年隠居		＊[防長寺社由来]
	岩崎昌行	嫡子	—	岩崎 昌純	仁左衛門 傳十郎	馬廻	100	1~3				東町東側自北6番		[譜][註4]
	富田村郷士河村新左衛門勝長女									1695	元禄8年12月8日	性雲院様御部屋都合役父老衰為代役/無家督死去[譜]		
	岩崎昌純	長男	②	岩崎 重義	藤右衛門 六之助	馬廻	100	3~4	35			勢屯西町自東2番		[譜][註1][註4]
	河村作左衛門正長女									1721	享保6年5月5日	元禄14年家督/徳山藩再興功労者［註1］		
	岩崎昌純	＊二男	③	岩崎 知方	仁左衛門 任重 安之助 大三郎 正徳 糺	馬廻	120	5~7	84					[譜][註1]
	河村作左衛門正長女									1773	安永2年6月29日	享保6年家督/宝暦8年隠居/徳山藩再興功労者［註1］		
	岩崎知方	長男	④	岩崎 維敬	次郎右衛門 義比 治平 左仲 (維敬長男不明)	馬廻	120	6~7	68					[譜]
	松岡惣左衛門政直女									1796	寛政8年4月24日	宝暦8年家督		
	岩崎知方	二男	—	岩崎 篤方	平十郎 才蔵 長谷川春恭			5~						[譜]
	松岡惣左衛門政直女											宝暦7年他国仕度永暇願被許之		
	岩崎知方	三男	—	岩崎 盛周	→杉原盛周	馬廻/御居間物頭	100	5~8	86				徳山・福田寺(R3)	[譜][註9]
	松岡惣左衛門政直女									1825	文政8年正月5日	宝暦6年勇左衛門跡家督/7代就馴公の御伝役エピソードあり[註9]		
	岩崎維敬	長男	⑤	岩崎 昌継	仁左衛門 清兵衛 栄之進 平三郎 （五人目の妻福間政述妹ナミ）	馬廻/日置流大蔵派射術指南 甲冑着用並故実授方(文久3~)	130	7~8			（寛政5年初名改め）	勢屯		[譜][註1][註4][註5]
	河田武左衛門政周女											寛政8年家督/文政11年發性院150回忌精進揚酒等賜る 於江戸		(文化15年譜録提出)
	福間政榮	七女	—	岩崎 ナミ	岩崎昌継五人目の妻 文政5年嫁ぐ天保13年6月26日離婚			8		1800	寛政12年3月6日			[福間家家譜]
	福間彦兵衛尭義女サチ													
	岩崎維敬	二男	—	岩崎 重遠	弥十郎 茂次郎	御雇出仕 学館訓導役(文政2年)	定三扶持	8						[譜]
	坂本左内正芳女									1819	文政2年4月7日	学館句読授方後九州遊学(文化9年)		
	宍戸忠彦	＊長男	⑥	岩崎 信恭	紱(治郎) 次兵衛 反求斎 清兵衛 宍戸忠欽義弟 仁左衛門 鞍馬	馬廻/評定役 日置流射術、中島流砲術指南役	130	9	48		（文政12年養子願）	勢屯	徳山・福田寺 ［註8］	[譜][註1][註4][註8][註11][註16]
	望月二百五郎智式妹									1867	慶応3年7月21日	興譲館甲冑着法故実方師範/嘉永7年山崎八幡宮にて騎射奉納		(嘉永4年譜録提出)[在城日記]
	岩崎昌継か		—	岩崎 謙同	環 點(点)二 田中點二 伊沢弓弦 信恭義弟幾太郎叔父	寄兵隊/山崎隊総監 医学/旧藩養蚕所都合役		9	48	1829	文政12年12月20日	徳山生まれ		[註1][註2][註4][註5][註8][註11]
	岩崎ナミか									1876	明治9年9月16日	勤王志士(投獄釈放)/学館文学寮長/玖珂廣瀬学校教授		[註16]『都濃郡誌』
	岩崎信恭	長男	⑦	岩崎 蕃郁	幾太郎 三辰 信胤 源介 （岩崎左金吾慶応3.9.18家督M2分限帳）	藩知事時代正権大属/町会議員 山陽鉄道敷設水利委員(M29年)	70→19.4(M4)	9						[譜][註1][註4][註8][註14][註16]
	大野太右衛門直定女										（明治4年28歳 分限帳）	毛利家財産部掛/私立徳山英学校設立/徳山中学校長		
	岩崎信恭	二男	—	岩崎 周太郎	→杉原周太郎	中士上等	50→14.1(M4)	9	69	1852	嘉永5年2月15日	徳山町4092番地居住	徳山・福田寺(R3)	[註4][註8][註10]
	大野太右衛門直定女									1920	大正9年2月19日	（姉ソノ福間敏輔妻毛利家教育係）		[旧士族分限帳]
	岩崎信恭	三男	—	岩崎 真三郎				9	早逝					[註8]
	大野太右衛門直定女										（明治3年16歳 人員録）			
	岩崎蕃郁	長男	⑧	岩崎 左輔	（三女田鶴子福間敏嫁ぐ）	徳山瓦斯取締役		—	46	1873	明治6年7月10日			
	井上為造長女ツル									1918	大正7年11月13日			
	岩崎左輔	長男	⑨	岩崎 格	（妻小郡町田中雅一二女テル子）			—	33	1903	明治36年8月16日			
	井上太郎作長女シツ									1935	昭和10年12月2日			
	岩崎左輔	二男	—	岩崎 博	藤本博			—						
	井上太郎作長女シツ													
	岩崎左輔	三男	—	岩崎 信	中谷信			—						
	井上太郎作長女シツ													
	岩崎左輔	四男	⑩	岩崎 要				—		1909	明治42年11月23日			
	井上太郎作長女シツ													
	岩崎要	長男	⑪	岩崎 郁彦	（弟克彦）			—						
	田原林八三女操									1939	昭和14年11月22日			
岩崎家			○	岩崎 昌郁 ☆	嘉門 蕃郁？			9						[註4]
岩崎家	岩崎清兵衛重正	嫡子	○	岩崎 重貞	助右衛門			—				富田村		[譜]
												天正年中備中国窪屋郡岩崎の地侍		
	岩崎重貞	嗣子	断絶	岩崎 重房	助左衛門	徒士	20	—						[譜]
												某年断絶		
	岩崎重房	二男	①	岩崎 重行	道仙 玄庵	医業	十扶持	3~5				長濱家跡西町東側自北7番		[譜]
	藤井某女									1726	享保11年1月2日	元禄16年出仕/正徳4年隠居/奉公以前より徳山町医業		
	岩崎重行	長男	②	岩崎 重誠	意仙 以仙[註4]	馬廻/医業	50	3~5						[譜][註4]
	渡部五右衛門女									1731	享保16年12月21日	正徳4年家督		
	河内村松村小七郎	＊二男	③	岩崎 敏之	玄碩	馬廻/医業	50	5	55					[譜]
	生野屋村医師弘中道意女									1752	宝暦2年2月24日	享保17年家督/寛延元年隠居		
	岩崎敏之	長男	④	岩崎 貞昌	藤太 茂兵衛 次郎三郎	馬廻/医業	50	5~7	50					[譜]
	神代八郎左衛門常弘女									1795	寛政7年4月13日	寛延元年家督/安永8年8月隠居		
	岩崎敏之	二男	—	岩崎 貞之	→亀谷貞通	一代医師	50	7	34					[譜]
	神代八郎右衛門常弘女									1782	天明2年10月16日	安永元年亀谷之敵養子		
	岩崎貞昌	二男	—	岩崎 之謙	→亀谷之謙	馬廻	50	8						[譜][註4][註16]
	亀谷之敵女											享和元年亀谷時定養子		
	櫻井宇右衛門雄好	＊二男	⑤	岩崎 貞方	定右衛門 四郎 才治郎	馬廻/両人役(寛政)	50	7~8	45					[譜][註4]
	温見村田村与一左衛門女									1811	文化8年8月15日	安永9年2月家督		[周南風土記]

	岩崎貞方 岩崎貞昌女	長男	⑥	岩崎 貞直	定吉 駒一郎	馬廻	50	8	30	1828	文政11年12月25日	文化8年家督		[譜][註4]
	岩崎貞方 岩崎貞昌女	*四男	⑦	岩崎 巌	助左衛門 薫孝 貞長 四郎 助四郎	馬廻	50	8~9	52	1862	文久2年7月18日	文政12年家督		[譜][註4][註16]
	岩崎巌 今田誠司保光姉	長男	⑧	岩崎 慎行 ☆	七郎太郎	中士上等	50→14.1(M4)	9			(明治4年29歳 分限帳)	西ノ丁 文久2年家督/銃陣師範/製糸事業に尽力		[譜][註1][註4][註16] (明治3年譜録提出)
	岩崎巌 今田誠司保光姉	嫡子	—	岩崎 詮次郎☆	→江村忠精 ☆			9			(明治3年22歳 人員録)			[註4]
	岩崎巌 今田誠司保光姉	嫡子	—	岩崎 季武 ☆	季三郎 (岩崎慎行弟)			9			(明治4年18歳 分限帳)	西ノ丁		[註4]
岩崎家			①	岩崎 嶋右衛門		河合組上等	4.36(明治4年)	9			(明治5年41歳 分限帳)	徳山村下河原		
	岩崎嶋右衛門	嫡子	○	岩崎 幸次郎				9			(明治5年14歳 分限帳)	徳山村下河原		
岩崎家			①	岩崎 角内		河合組上等	4.36(明治4年)	9			(明治5年37歳 分限帳)	徳山村代々小路		
			—	岩崎 七蔵	(岩崎角内弟)			9			(明治5年17歳 分限帳)	徳山村代々小路		
岩崎家			①	岩崎 段七		河合組上等	4.36(明治4年)	9			(明治5年33歳 分限帳)	徳山村代々小路		
岩崎家			①	岩崎 勝蔵		河合組上等	4.36(明治4年)	9			(明治5年26歳 分限帳)	徳山村代々小路		
岩崎家			①	岩崎 政右衛門				9			(明治5年59歳 分限帳)	徳山村北山		
	岩崎政右衛門	嗣子	②	岩崎 坂蔵		河合組上等	4.36(明治4年)	9			(明治5年23歳 分限帳)	徳山村北山		
岩崎家			①	岩崎 林右衛門		岩崎幾太郎組上等	4.7(明治4年)	9			(明治4年50歳 分限帳)			
	岩崎林右衛門	嫡子	②	岩崎 武吉		岩崎幾太郎組上等		9			(明治4年21歳 分限帳)			
岩崎家			①	岩崎 近之進		藩士	1.8(明治4年)	9			(明治5年21歳 分限帳)	福川町		
岩崎家			①	岩崎 房吉		藩士	1.8(明治4年)	9			(明治5年25歳 分限帳)	徳山村寺町		
岩崎家			①	岩崎 槙次郎		藩士	1.8(明治4年)	9			(明治5年28歳 分限帳)	富田村政所		
岩崎家			①	岩崎 惣吉		政務局支配	1.8(明治4年)	9			(明治5年16歳 分限帳)	徳山村辻		
岩崎家			○	岩崎 総太郎				9				本城清・江村らと『文章会』同人(安政末年～文久年間)		[註1]
岩崎家			○	岩崎 藤七		庄屋(享保4年)		3~5				徳山村 徳山村御物成御米銀高一紙(享保4年)		[註4]
岩崎家			①	岩崎 三左衛門		櫨蝋板場職	苗字帯刀	7~8					大迫田金剛寺(H30) 寛政11年七人扶持・永代年寄格	[註4] [徳山毛利家文書]
	岩崎三左衛門 礒部忠衛門増徳妹	嗣子	②	岩崎 藤助		磯松屋/櫨蝋板場	苗字帯刀	8~9				幸丁(元松下百貨店の地) 永代長老格/藩営櫨蝋板場事業請け負う(文化6年)	大迫田金剛寺(H30)	[註1][註4][註14] [徳山毛利家文書]
	岩崎藤助	嗣子	③	岩崎 三四郎		制産社製油方司事 第二代徳山郵便局長		9				一番丁 墓碑に宮崎新三郎(梅樹坊)の句(明治28年建立)	大迫田金剛寺(H30)	[註1][註4] [徳山毛利家文書]
	岩崎百合蔵	*	④	岩崎 眞治郎		岩崎酒造場(大正10年) *礒松屋		—		1875	明治8年9月4日	一番丁 *ラムネ製造/菓子商		*[翰墨一架]
	岩崎眞治郎 山崎タメ	長男	⑤	岩崎 寛一	(妻輝明治38年1月20日出生)	徳中/慶応大学/医師		—	90	1898 1987	明治31年10月25日 昭和62年1月1日	一番丁・東京豊島区	東京	[註10]
	岩崎眞治郎 山崎タメ	二男	—	岩崎 英二				—						
	岩崎眞治郎 神田キミ	三男	—	岩崎 繁		酒造場経営(S10一番丁) 中国南寧殲滅戦中戦死		—	28	1939	昭和14年12月24日	一番丁 日本酒「霊鷹」製造販売/墓碑に碑文あり(眞治郎建立)	大迫田金剛寺(H30)	[昭和10年徳山市街明細図] [註14]
	岩崎寛一 堀田輝(堀田馬三四女)	長男	⑥	岩崎 寛和	(妻西田敬三女令子昭和10年出生)	東京大学/医師 筑波大学名誉教授		—	79	1928 2006	昭和3年5月10日 平成18年10月17日	東京	東京	[註10]
	岩崎寛一 堀田輝(堀田馬三四女)	長女	—	岩崎 温子	(埼玉医師丸山正義の妻 プロダンサーSAM正温の母)	学習院大学英文科		—		1934	昭和19年9月1日	東京・埼玉 岩崎家NHK『ファミリーヒストリー』放送(2018)		[註10]
岩崎家			○	岩崎 庄左衛門		町人/庄屋	切米高5	9				富田政所 富田隊の賄方(慶応元年4月)		[註4] [中山家文書嘉永7年]
岩崎家			○	岩崎 荘左衛門	百梅庵	俳人		—						[註16]
	祖 岩崎忠直		○	岩崎 重正	平次郎			—				富田村 岩崎忠直富田移住(毛利氏仕官後帰農)[ふるさとの記憶(下)]		

岩﨑家	岩﨑重正	嫡子	断絶	岩﨑 重貞	助右衛門			—				富田村		[ふるさとの記憶(下)]
	岩﨑重貞	長男	①	岩﨑 想左衛門	重友 (鹿野村田村善兵衛養子後岩﨑家再興)	農業/潮音洞完成		1	65	1598 1662	慶長3年 寛文2年8月18日	都濃郡富田村/鹿野村 渋川の水を鹿野村に引く		[註11]
岩﨑家			○	岩﨑 惣輔		都濃郡第7区戸長 (明治4年庄屋)		9				鹿野上村		[註4]
	岩﨑惣輔	長男	○	岩﨑 寅之進				9				都濃郡鹿野町		[菊川のむかしむかし]
	岩﨑惣輔	＊二男	—	岩﨑 権治	→道源権治	道源銀行経営/道源開作 村長/県議/貴族院議員		—	89	1869 1957	明治2年1月16日 昭和32年12月7日	都濃郡鹿野町/富田政所 明治28年道源岩太郎養子32年7月家督/富田村1540番地		[翰墨一架][菊川のむかしむかし]
岩﨑家			○	岩﨑 重忠	天涯	薬商 超世丸本舗		—				都濃郡鹿野町		[翰墨一架]
岩﨑家			○	岩﨑 茂助	遊羽仙	俳人		—				一派を立てり		[註16]
岩崎家			○	岩崎屋 七郎右衛門		町人(天保年間)	一代上下着用	8				徳山町 献納並び賞美一件(天保5年)		[註4]
岩崎屋			○	岩崎屋 与次右衛門	(若崎屋与次右衛門居り)	石工職		8~9				細工石運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		[註4]
岩佐屋			○	岩佐屋 幸左衛門		石工職		8~9				西浜崎 和泉屋伊兵衛ら6名細工石注文10ヶ年許可(文化8年)		[註1][註4]
石見屋			○	石見屋 嘉右衛門		対馬貿易用達(中関)		8~9				天保の一揆の事の起こり三田尻の一揆[註1P688]		[註1]
岩本家			○	岩本 清兵衛		大工		1				慶安元年11月野上邸普請斧初式奉ず		
			○	岩本 勘右衛門		大工		2~3				大道理村↓ 貞享年三島大明神/貞享2年西照寺/正徳2年竜豊寺上梁記		[防長寺社由来]
岩本家			○	岩本 伊三郎		是迄仕成無し	米2俵	8~9				栗屋村 献納並び賞美一件(天保5年)		[註4]
岩本家			①	岩本 泉左衛門		岩崎幾太郎組上等	4.36(明治4年)	9			(明治5年45歳 分限帳)	栗屋村		
	岩本泉左衛門	嫡子	○	岩本 良吉				9			(明治5年16歳 分限帳)	栗屋村		
岩本家			①	岩本 亀之進		山崎隊	2.7(明治4年)	9			(明治5年28歳 分限帳)	徳山村遠石町		[註4] [山崎隊日記]
	岩本亀之進	嫡子	○	岩本 浪平				—			(明治5年2歳 分限帳)	徳山村遠石町		
岩本家			①	岩本 近之進		山崎隊	1.8(明治4年)	9			(明治5年27歳 分限帳)	徳山村遠石町		[註4] [山崎隊日記]
岩本家			○	岩本 歓兵衛	観兵衛	初代徳山村会議員(M22)		—					徳山・岩黒共同墓地(H30)	[註1][註14]
			○	岩本 道五郎		徳山村議員		—					徳山・岩黒共同墓地(H30)	[註1]
岩本家			○	岩本 甚六		町人		8				遠石町 遠石町人数書取(寛政4年)		[註4]
岩本家			○	岩本 治郎右衛門	屋号福原屋	年寄役	上下(文化8年)	8				遠石町 遠石祭市関連頻出/献納並び賞美一件(文化8年)		[註4] [御領町人御仕成]
岩本家			○	岩本 沢七				—					妻娘徳山・福田寺(R3) 妻貞教信女慶応3年8月9日卒/娘智月童女慶応4年6月7日卒	[墓碑]
			○	岩本 正久	徳功院正運自久居士			—			1906	明治39年6月26日	徳山・福田寺(R3)	[墓碑]
岩屋			○	岩屋 清右衛門		町人/遠石祭市世話人		8						[註4]
岩山家			○	岩山 源左衛門		町人		8~9				藩へ上納銀、借銀の債主として記載あり(天保末年現在)		[註1]
(野村家) 引頭家 (イントウ)	某女		①	野村 貞正	神左衛門 市左衛門 神四郎	作事方/大工	20	1	60余	1660	万治3年6月20日	東横町北側自西5番東向 先祖源左衛門引頭改姓貞正寛政年中野村改姓/元和年中萩より		[譜]
	野村貞正 萩椎見清右衛門女	長男	②	引頭 常兼	市左衛門 治兵衛 七左衛門	作事方/大工	20	1~3	72	1706	宝永3年2月5日	元禄年中曹源院様により引頭改姓/寛永2年隠居		[譜]
	村上某 某女	＊	③	引頭 常時	嘉兵衛 治兵衛 花岡八幡神職村上兵庫弟	作事方/大工	20	1~3	42	1717	享保2年2月11日	寛永2年家督		[譜][註4]
	花岡八幡神職村上兵庫 某女	＊	退身	引頭 安道	紋四郎	作事方/大工	20	3~4				享保2年2月29日家督		[譜]
	富田村棟梁属瀬兵衛 某女	＊	中継	引頭 直房	甚左衛門 清七	作事方/大工	20二扶持	5~7	87	1776	安永5年正月21日	享保6年家督		[譜]
	徳山村大工伊藤忠右衛門 藤井某女	＊	⑥	引頭 常房	七左衛門 小左衛門	作事方/大工/棟梁役	20二扶持	5~7	69	1788	天明8年2月10日	東横町北側自西5番南向 宝暦6年家督		[譜]

	徳山村宮崎畦右衛門 伊藤某女	＊	⑦	引頭 常慧	市左衛門	作事方/大工	20二扶持	7~8	40	1798	寛政10年7月20日	天明8年家督		[譜]
	引頭常慧 引頭常房女	長男	⑧	引頭 有常	清七	作事方/大工	20三扶持	8~9	71	1854	安政元年7月22日	二番丁 寛政10年家督/嘉永5年隠居		[譜][註4]
	引頭有常 玉井弥之助盛次妹	長男	—	引頭 常善	孝之助 琢兵衛			9				弘化3年欠落		[譜]
	引頭有常 田中賢治信言女	二男	⑨	引頭 常彰	常右衛門 喜治郎 (妻夜市村山田好五郎女)	同上後営作舎支配	20三扶持	9		（明治4年38歳 分限帳）		嘉永5年家督/元治元年譜録提出		[譜][註4]
引頭家			早逝	引頭 弥吉				8		1824	文政7年2月5日		徳山・福田寺(R5)	
引頭家			○	引頭 常助		綿木綿請渡綿店(明治8年)		9				明月会会員		[註1][註4]
植木家			○	植木 利三郎		藩士	1.8(明治5年)	9		（明治5年21歳 分限帳）		大津島		
上田家			○	上田 田単	李壮之 北竹山人	絵師		9		1830	天保元年	徳山に住む 田能村竹田師事/門人に津本柳瑳、藤本木田	大迫田無縁塔(R1)	[UAG美術家研究所]
上野家			○	上野 弥助		藩士	3.35(明治5年)	9		（明治5年24歳 分限帳）		徳山村野上町		
宇賀家	宇賀清左衛門慶房 加州菅沼某女	長男	①	宇賀 慶信	清助	細工人/左官	15二扶持	1~2	78	1689	元禄2年6月13日	馬場外横町北側自西7番 延宝5年出仕		[譜]
	宇賀慶信 下松町石田某女	長男	②	宇賀 信之	藤左衛門 清太夫	細工人/左官	15二扶持	2~5	73	1725	享保10年12月3日	西新町東側自北6番 元禄2年家督/享保10年隠居		[譜][註4]
	宇賀信之 富田新町花田某女	長男	③	宇賀 慶直	彌左衛門 弥左衛門 弥太夫	細工人/左官	15二扶持	5	64	1755	宝暦5年2月24日	享保10年家督/宝暦5年隠居		[譜]
	宇賀藤左衛門信之 富田新町花田某女	二男	—	宇賀 信正	→①宇賀信正	新知別家/陣僧	11	5		1742	寛保2年10月10日	享保12年7月20日出仕		[譜]
	宇賀慶直 重増某女	長男	④	宇賀 慶之	彌一左衛門 藤右衛門	細工人/左官	15二扶持	5~8	80	1810	文化7年3月8日	宝暦5年家督/文化元年隠居		[譜]
	夜市村松田善右衛門 夜市村忠右衛門女	＊長男	⑤	宇賀 之信	清助 善次郎	細工人/左官	15二扶持	8~9	66	1838	天保9年2月22日	文化元年家督		[譜][註4]
	宇賀之信 平野文左衛門光忠女	長男	⑥	宇賀 之彦	弥左衛門 長三郎 謙蔵	藩士	15二扶持	9				新丁 天保9年家督		[譜][註4]
	宇賀之信 平野文左衛門光忠女	二男	—	宇賀 政佐				9				弘化2年欠落		[譜]
	宇賀之彦 瀬戸村内山宇右衛門妹	長男	⑦	宇賀 武之進		営作舎支配準士	15二扶持→4.7	9		（明治4年12歳 分限帳）		明治3年譜録提出		[譜][註4]
宇賀家	宇賀藤左衛門信之 富田新町花田某女	二男	①	宇賀 信正	宗益 清助 利直	陣僧	11	5		1742	寛保2年10月10日	享保12年7月20日出仕[本家譜]/享保20年隠居		[譜]
	徳山村中村文右衛門 下松町又右衛門女	＊	②	宇賀 正常	忠兵衛 靄五郎 閑雪	祐筆	20二扶持	5~7				大西軍蔵屋敷跡 西下町西側自北4番	享保20年家督/天明4年隠居	[譜]
	徳山村中村喜左衛門 遠石蓮性寺泰冷女	＊	③	宇賀 常邦	忠治 常保 仲助	祐筆/連歌師	20二扶持	7~8	56	1808	文化5年6月9日	天明4年家督/文化元年隠居		[譜][註1]
	宇賀常邦 二代正常女	三男	④	宇賀 常訓	欣次郎 忠徳 亀之助 左忠太	祐筆	20二扶持	8	39	1822	文政5年11月21日	文化元年家督		[譜][註4]
	伊藤泰助亮明 大多和如助脩妹	＊二男	⑤	宇賀 常演	才次郎 忠兵衛 宇兵衛	祐筆	20二扶持	9				文政6年家督/天保10年隠居/元治元年江戸藩邸没収時幽囚		[譜][註4][註16]
	宇賀常訓 伊藤泰助亮明長女	＊長男	⑥	宇賀 宣博	左忠太 完之丞 丹次郎 常誠 修治？	中士下等(左忠太跡)	25	9				西ノ丁(丹次郎) 天保10年家督/嘉永2年譜録提出		[譜][註4]
	宇賀左忠太	嗣子	⑦	宇賀 兵之助	兵之介	藩士	7.1(明治5年)	9		（明治4年4歳 分限帳）				
宇賀家			○	宇賀 厚彦		徳山町長(大正3~6)		—				祐綏神社石灯籠寄進		[註4][註14]
宇賀家			○	宇賀 宇兵衛	士族海軍軍属宇賀宇兵衛墓碑あり			—		1943	昭和18年12月24日	ソロモン群島方面にて戦死	北山共同墓地(H30)	
宇賀家			①	宇賀 軍治		河合組上等	4.36(明治5年)	9		（明治5年37歳旧 分限帳）		徳山村今宿		
宇賀家			①	宇賀 清蔵		岩崎幾太郎組上等	4.36(明治5年)	9		（明治5年43歳 分限帳）		徳山村今宿		
	宇賀清蔵	嫡子	○	宇賀 市造				—		（明治5年5歳 分限帳）		徳山村今宿		
宇賀家			①	宇賀 為蔵(造)		岩崎幾太郎組上等	4.36(明治5年)	9		（明治5年23歳 分限帳）		徳山村今宿		
宇賀家			①	宇賀 弥吉		藩士	4.36(明治5年)	9		（明治5年19歳 分限帳）		徳山村今宿		
			—	宇賀 多助	宇賀弥吉叔父			9		（明治5年33歳 分限帳）		徳山村今宿		

宇賀家			①	宇賀 東一右衛門		河合組下等	3.35(明治5年)	9			徳山村今宿		
										(明治5年46歳 分限帳)			
宇賀家			①	宇賀 文六				9			徳山村代々小路		
										(明治5年65歳 分限帳)			
	宇賀文六	嗣子	②	宇賀 新三郎		藩士	3.35(明治5年)	9			徳山村代々小路		
										(明治5年24歳 分限帳)			
宇賀家			①	宇賀 四郎吉		藩士	3.35(明治5年)	9			徳山村代々小路		
										(明治5年21歳 分限帳)			
宇賀家			①	宇賀 宅兵衛		藩士	1.8(明治5年)	9			徳山村今宿		
										(明治5年74歳 分限帳)			
臼杵家			○	臼杵 元安		町方医		8			下松		[譜]
											『医学館一事記』文政6年		
臼杵家			○	臼杵 鹿垣(ろくえん)	辰 子商 太仲	尾藩/長府藩学館教授		—	42		徳山生まれ		[註11]
										1813 文化10年6月27日	亀井南冥・細井平洲に従学		
	臼杵鹿垣	二男	○	臼杵 横波(おうは)	張 景張 駿平	長府藩藩校敬業館教授		—	53				[註11]
										1864 元治元年6月21日	小田南畝・古賀侗菴に従学		
宇田家断			断絶	宇田 治郎右衛門		藩士	200	1					[註4]
宇田家	橋本九郎満直詮	嗣子	○	橋本 直種	太兵衛			—					[譜]
											橋本九郎満直詮慶長年中赤間関より野上へ		
	橋本直種	嗣子	○	橋本 太郎左衛門				—					[譜]
	橋本太郎左衛門	嗣子	○	橋本 太郎兵衛				—					[譜]
	橋本太郎兵衛	二男	①	宇田 種吉	村右衛門	徒士	20	3~5	75		小林善右衛門屋敷跡		[譜]
	某女									1755 宝暦5年10月18日	西新丁西側自北9番東向	享保17年出仕/宝暦4年隠居	
	宇田種吉	長男	②	宇田 知直	伊兵衛 源太郎	徒士	20	5~8	72				[譜]
	萩藤田久左衛門女									1802 享和2年6月12日	宝暦4年家督/寛政11年隠居		
	種田武兵衛直久	＊長男	③	宇田 直貢	又右衛門 直定 新七	徒士	20	7~8	67				[譜][註4]
	種田直治女									1827 文政10年12月20日	天明8年養子/寛政11年家督		
	宇田直貢	二男	④	宇田 直歴	直温 茂右衛門 新三郎 織之助	徒士	20	8~9	37				[譜]
	石川弥右衛門忠美女									1849 嘉永2年7月18日	文政10年家督		
	宇田直歴	二男	⑤	宇田 直好 ☆	新三郎 音熊 寅蔵 秀之進	徒士/献功隊/山崎隊参謀	20	9	29	年令異説有	新丁	桧山護国神社・永源山	[譜][註4][註5][註8][註10]
	嶋田村河村清左衛門女									1871 明治2年5月8日	嘉永4年家督/函館戦争大川村の役戦死		[山崎隊日記](元治元年譜録提出)
			⑥	宇田 幾三郎	波穂[註8] →小林幾三郎[註16] (妻浅江村西福寺養女)	上士	5.7(明治5年)	9					[註4][註8][註16]
										(明治4年32歳 分限帳)			
			—	宇田 正穂	直好の甥			—					
											昭和11年直好の遺族として名あり(徳山市役所)		
宇田家			①	宇田 猪蔵		藩士	4.36(明治5年)	9			徳山村小野居住		
										(明治5年24歳 分限帳)			
宇田家			①	宇田 勝右衛門		岩崎幾太郎組上等		9					
										(明治3年30歳 人員録)			
			—	宇田 太輔	宇田勝右衛門兄			9					
										(明治3年31歳 人員録)			
宇田家			○	宇田 甚七	白相晴雲居士			9				福田寺(R3)	[墓碑]
										1889 明治22年9月17日	妻・白室妙雲大姉元治2年正月2日卒		
			○	宇田 幾右衛門				—				福田寺(R3)石室	
										明治26年石室造立/石室の中、童子4人童女1人の戒名が書かれた石板			
宇多家			○	宇多 石見		上野八幡宮神主		5			富田上村		[防長寺社由来]
											延享2年上野宮一宇由緒/棟札毛利輝元公元和5年～		
			○	宇多 越後		三島大明神外末社堂庵神主		8			川曲村		[防長寺社由来]
											文化3年書付		
			○	宇多 胤綱		上野八幡宮神主		9			岡上野		
											八幡霊松碑 天保9年5月		[菊川のむかしむかし]
			○	宇多 讃岐		上野八幡宮社人		9			富田上村		[有田家譜録]
											有田幸正養子有田為貞育/安政5年養女和田演常五女		
			○	宇多 左近		四熊嶽権現神主		不明					[防長寺社由来]
			○	宇多 内記		四熊嶽権現神主		不明			＊鷺大明神文化2年神主宇多中務(上野八幡宮石祠)		[防長寺社由来]
											＊片地鷺神社鳥居銘文「文化2年神主宇多内記源房矩」		＊[菊川のむかしむかし]
			○	宇多 主膳		四熊嶽権現神主		不明					[防長寺社由来]
			○	宇多 主炊		四熊嶽権現神主		不明					[防長寺社由来]
			○	宇多 市正		四熊嶽権現神主		不明					[防長寺社由来]

			○	宇多 外記		四熊嶽権現神主		不明				文化3年神名覚帳法令十八神道宇多内記私家筋代々記す		[防長寺社由来]
			○	宇多 雅弘		上野八幡宮宮司		—				岡上野 松魂碑 昭和47年4月石工入江春一		[菊川のむかしむかし]
宇多家			①	宇多 陽穂		藩士	4.7(明治5年)	9			（明治5年28歳 分限帳）	上村		
宇多家			①	宇多 弥吉		藩士	4.36(明治4年)	9			（明治5年19歳 分限帳）	徳山村今宿		
			—	宇多 多助	弥吉叔父			9			（明治5年33歳 分限帳）	徳山村今宿		
宇多村家			○	宇多村 金助			賞美切米高5石 永代苗字(天保9年)	8~9						[中山家文書]
内田家			○	内田 五郎		山崎隊		9						[註1][註4]
内田家	内田正勝 青山幸実女	長男	③	内田 正偏	信濃守 正室毛利元次二女百子	下野鹿沼藩主 後 下総小見川藩主		3~5		1693 1743	元禄6年 寛保3年2月29日			[註1]
内富家			○	内富 恒庵		町方医		9				第二次長州征伐時、野戦病院勤務[註1]		[註1][註13]
内富家			○	内富 敬治				—				米川		[註13]
内富家			○	内富 文吾				—						[註13]
内野家			①	内野 養安	揚安	町方医		8				下松豊井村 養子浅田愿弘化元年離縁死去		[浅田家譜録]
内野家	浅見献蔵	＊二男	②	内野 玄庵	（神本源太左衛門忠亮養育）	町方医		8~9	61	1820 1880	文政3年5月1日 明治13年5月11日	兵隊病院勤務[註1]/明治3年46歳士族人員録		[註1][註13]
内野家	内野玄庵 内野玄庵長女まさ	嫡子	③	内野 仙太郎		町方医(M10帰農)		9		1849	嘉永2年2月1日	第二次長州征伐時、兵隊病院勤務[註1]		[註1]
内野家	内野仙太郎 小林智光長女しえ	嫡子	④	内野 某		京大教授		—						
内山家断	内山西郎左衛門政弘		○	内山 政吉	作左衛門			—						[譜]
内山家断	内山作左衛門政吉 生野屋村近藤與一左衛門女	長男	①	内山 政方	作兵衛	蔵本付	15	5~7				宝暦2年出仕/安永7年隠居		[譜][註4]
内山家断	戸田村玉野五兵衛 某女	＊二男	②	内山 正利	藤蔵	蔵本付	15	7	41	1785	天明5年11月16日	安永7年家督	江戸勘場筆者役死去	[譜]
内山家断	福川村園右衛門 徳山村藤左衛門女	＊長男	中継	内山 安延	與助	蔵本付	15	7~8				天明6年4月6日家督		[譜]
内山家断	内山正利 初代政方女	長男	③	内山 正景	林蔵 虎八 慶助	蔵本付	15	8~9	60	1841	天保12年9月26日	田中又平屋敷跡 西新町西側自北14番東向	徳山・無量寺(R1) 寛政9年家督	[譜][註4]
内山家断	内山正景 中村弥吉規堅女	長男	④	内山 正温	清右衛門 梅吉 梅之丞 壹作 (妻善甫喜左衛門朝盈女)	徒士	20	9			（明治4年59歳 分限帳）	天保12年家督/扱心流柔術師範/嘉永3年譜録提出	徳山・無量寺(R1)	[譜][註1][註4][註5]
内山家断	内山林蔵正景 中村弥吉規堅女	二男	—	内山 由道	→河内由道	徒士	20	8~9				文政12年養子	上御弓丁 大迫田本正寺(H30)	[譜][註4]
内山家断	内山林蔵正景 中村弥吉親堅女	三男	—	内山 信行	→長野信行	徒士後下士上等 藩知事時代正権少属	20→5.7(M5)	9			（明治4年51歳 分限帳）	天保10年養子		[譜][註4]
内山家断	内山正温	嗣子	⑤	内山 正太郎	國雄 久米之進 正雄 内田五郎	中士下等/内務省/警保局 献功隊参謀	25→7.1(M5)	9	31	1845 1875	弘化2年9月24日 明治8年4月22日	徳山生まれ 池田屋事件負傷/奇兵隊・山崎隊・献功隊属し尽力		[註4][註8][註11][註16]
内山家断	内山正温		—	内山 建雄	左右七郎			9			（明治4年10歳 分限帳）			
内山家	内山作右衛門	嗣子	○	内山 武右衛門				—						[譜]
内山家	内山武右衛門 徳山村河村瀬左衛門某女	長男	①	内山 吉品	武兵衛 （＊娘山辺丹蔵嫁）	次一代蔵本付	15	9			（明治3年79歳 人員録）	安政4年出仕/元治元年譜録提出		[譜][註4] ＊[御在城日記文久3年]
内山家	内山吉品 徳山村宇賀長太夫女	長男	○	内山 吉重	和一郎			9						[譜]
内山家			○	内山 慎介		下士下等	15	9			（明治3年42歳 人員録）			[譜][註4]
内山家			○	内山 喜一郎			4.7(明治5年)	—			（明治4年1歳 分限帳）	当主病死につき家督		
	内山善右衛門忠吉	嗣子	○	内山 忠光	市左衛門			—					泉原共同内山家之墓あり	[譜]
	内山市左衛門忠光 光井村渡邉十郎右衛門女	長男	①	内山 一忠	平七 善右衛門 佐野七	持弓	13二扶持	7~8	82	1816	文化13年5月17日	寛政2年出仕/文化10年隠居	泉原共同内山家之墓あり	[譜][註4]
	徳山村原田友右衛門 初代一忠妹	＊二男	②	内山 忠聴	代八 佐五郎	持弓	13二扶持	~8	53	1822	文政5年6月14日	文化10年家督	泉原共同内山家之墓あり	[譜]

内山家	内山忠聰 原田紋左衛門直道女	長男	③	内山 忠明	清蔵	持弓	13二扶持	~8	29	1832	天保3年11月22日	泉原共同内山家之墓あり 文政5年家督/文政12年隠居		[譜]
	内山忠聰 原田紋左衛門直道女	＊二男	④	内山 忠峯	平七 蔵太	持弓	15	~9	53	1859	安政6年6月2日	泉原共同内山家之墓あり 文政12年家督		[譜]
	内山忠峯 杉浦種治時敏妹	長男	⑤	内山 忠告 ☆	代五郎 左埜七(墓碑) ＊左ノ七	持弓	切15銀三枚	9			安政6年家督	＊徳山村舞車	泉原共同墓地(H30)	[譜][註4] ＊[明治2年舞車画図安野保五郎]
			⑥	内山 造次		下士下等	15銀三枚→4.7	9		(明治4年20歳 分限帳)		明治3年譜録提出	泉原共同内山家之墓あり	[譜][註4]
			○	内山 雅之進	(内山造次弟)			9		(明治4年6歳 分限帳)			泉原共同内山家之墓あり	
			⑧	内山 信次				—				内山家之墓第八世信次建立	泉原共同内山家之墓あり	
内山家			①	内山 芳次郎		船手組	4.7(明治5年)	9		(明治4年58歳 分限帳)				
	内山芳次郎	嫡子	○	内山 政次郎				9		(明治4年25歳 分限帳)				
内山家			①	内山 時蔵		船手組	4.7(明治5年)	9		(明治4年55歳 分限帳)				
	内山時蔵	嫡子	○	内山 龍助				9		(明治4年27歳 分限帳)				
				内山 碕次郎	(内山時蔵弟)			9		(明治3年41歳 人員録)				
内山家			①	内山 権兵衛		船手組	4.7(明治5年)	9		(明治4年42歳 分限帳)				
	内山権兵衛	長男	○	内山 嘉吉				9		(明治4年18歳 分限帳)				
	内山権兵衛	二男	—	内山 金作				9		(明治4年14歳 分限帳)				
	内山権兵衛	三男	—	内山 猪之助				—		(明治4年4歳 分限帳)				
内山家			①	内山 杣七		河合組上等	4.36(明治5年)	9		(明治5年47歳 分限帳)		徳山村泉原		
	内山杣七	長男	○	内山 虎蔵				9		(明治5年15歳 分限帳)		徳山村泉原		
	内山杣七	二男	—	内山 百合次郎				9		(明治5年6歳 分限帳)		徳山村泉原		
	内山杣七	三男	—	内山 音吉				—		(明治5年3歳 分限帳)		徳山村泉原		
内山家			①	内山 亀次郎		駕籠	4.36(明治5年)	9		(明治5年40歳 分限帳)		徳山村西沖原		
	内山亀次郎	長男	○	内山 仙次郎				9		(明治5年15歳 分限帳)		徳山村西沖原		
	内山亀次郎	二男	—	内山 兎一				9		(明治5年13歳 分限帳)		徳山村西沖原		
	内山亀次郎	三男	—	内山 治三郎				9		(明治5年10歳 分限帳)		徳山村西沖原		
	内山亀次郎	四男	—	内山 松次郎				9		(明治5年8歳 分限帳)		徳山村西沖原		
	内山亀次郎	五男	—	内山 除一(市)				9		(明治5年6歳 分限帳)		徳山村西沖原		
内山家			①	内山 金蔵		船手組	3.35(明治5年)	9		(明治5年44歳 分限帳)		徳山村横浜		
内山家			①	内山 伊兵衛				9		(明治3年89歳 人員録)		徳山村横浜		
	内山伊兵衛	嗣子	②	内山 文七		船手組	3.35(明治5年)	9		(明治5年47歳 分限帳)		徳山村横浜		
	内山伊兵衛	嫡子	—	内山 豊吉				9		(明治5年45歳 分限帳)		徳山村横浜		
内山家			①	内山 惣助				9		(明治5年75歳 分限帳)		徳山村北山		
	内山惣助	嗣子	②	内山 東七		河合組下等	3.35(明治5年)	9		(明治5年41歳 分限帳)		徳山村北山		
	内山東七	嫡子	○	内山 嘉市				—		(明治5年2歳 分限帳)		徳山村北山		
	内山惣助	嫡子	○	内山 多吉				9		(明治5年33歳 分限帳)		徳山村北山		

内山家			①	内山 松次郎		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治5年)	9				徳山村北山		
											(明治5年20歳 分限帳)			
内山家			①	内山 友之助		藩士	1.8(明治5年)	9				生野屋村		
											(明治5年20歳 分限帳)			
			—	内山 喜兵衛	友之助兄			9				生野屋村		
											(明治5年29歳 分限帳)			
内山家			○	内山 善右衛門		都濃郡第14区副戸長 (明治4年住農)		9				久米村		[註4]
内海家	内海甚五左衛門忠則	長男	①	内海 忠政	六右衛門	細工人/檜皮	13二扶持	7	76			父忠則長府出生	大成寺共同墓地(H30)	[譜]
	徳山町釘屋長五郎女									1787	天明7年11月15日	明和4年出仕		
	内海忠政	長男	②	内海 忠道	伊左衛門	細工人/檜皮	13二扶持	7~8	77				大成寺共同墓地(H30)	[譜][註4]
	中村源右衛門章孝女									1826	文政9年8月21日	天明7年家督/文政8年隠居		
	内海忠道	長男	③	内海 直道	甚六 辰五郎	蔵本付	15	8~9	77				大成寺共同墓地(H30)	[譜]
	順正寺某女									1858	安政5年正月17日	文政8年家督/天保14年隠居		
	内海直道	長男	④	内海 忠栄	直左衛門 品之助 六左衛門 子直 静斎 静豊倉松忠栄居士	蔵本付	切15銀三枚	9	77		(明治4年62歳 分限帳)		大成寺共同墓地(H30)	[譜][註4]
	高木可朴正信女									1886	明治19年12月22日	天保14年家督/夫婦の墓・妻明治19年12月21日74歳没		
	内海忠栄	長男	⑤	内海 忠剛 ☆	惣右衛門 (妻小畠村社人佐伯周□女)	下士下等	15銀三枚→4.7	9					大成寺共同墓地(H30)	[譜][註1][註4]
	徳山村徳原常右衛門女										(明治4年39歳 分限帳)	明治5年制産社用掛/明治3年譜録提出		
				内海 承弼	内海忠剛 (忠栄の碑文誌)	初代徳山村会議員(M22年) 共栄社役員(明治26年)		9					大成寺共同墓地(H30)	[註1][註4][註14]
												墓地設置、岐陽尋常小学校改築、福川漁場等事業に尽力		
	内海直左衛門忠栄	二男	—	内海 恭 ☆	→藤村恭	徒士後下士上等	20→5.7(M4)	9	63	1837	天保8年3月15日	徳山・福田寺(R3)碑文大野直輔撰 兼﨑直輔書		[譜][註4](明治4年35歳 分限帳)
	徳原常右衛門女									1899	明治32年2月24日	安政4年養子/妻早川喜兵衛四女千子後妻大西庸衛門三女滝子		(明治3年譜録提出)
	内海忠剛	長男	○	内海 貫一郎				—						
											(明治4年6歳 分限帳)			
	内海忠剛	二男	—	内海 弼	弼馬	東京工科大採鉱冶金 福岡鉱山監督署監督官		—	32	1869	明治2年5月	徳山/東京		[徳友第17号]
										1900	明治33年4月16日	御徳海軍鉱区開坑事業中盲腸炎腹膜炎併発にて死去		(明治4年3歳 分限帳)
			⑦	内海 徳馨				—					内海家之墓建立(昭和7年3月)	
梅田家	長西	*	①	梅田 忠右衛門	→長西忠右衛門			9			(明治5年64歳 分限帳)	徳山村今宿		
										1872	*明治5年3月16日			*[安野家文書]
	梅田忠右衛門	嗣子	②	梅田 香平	米右衛門	河合組上等	4.36(明治5年)	9				徳山村今宿		
											(明治5年28歳 分限帳)			
梅田家			①	梅田 波兵衛		藩士	4.36(明治5年)	9				徳山村東浜崎町		
											(明治5年40歳 分限帳)			
	梅田波兵衛	嗣子	○	梅田 実蔵				—				徳山村東浜崎町		
											(明治5年13歳 分限帳)			
梅田家			○	梅田 勘兵衛	*花月休心信士			~5					*徳山・無量寺	
										1725	*享保10年10月27日			*[徳山市社寺文化財調査(S59)]
梅田家			○	梅田 恒蔵			1.8	9				富田村古市町		[徳山士族分限帳明治5年]
梅田家			○	梅田 治右衛門		町人/永代年寄格		~8				徳山本町		[註4]
												献納並び御賞美(享保～享和年間記載)		[御領町人御仕成]
梅田家			○	梅田 孫市				8					福田寺(R3)	[墓碑]
										1837	天保8年6月16日	妻・天保8年7月卒		
			○	梅田 源次郎				9					福田寺(R3)	[墓碑]
										1884	明治17年8月4日	妻きむ昭和14年3月12日卒/梅田惣一建立		
			○	梅田 多吉		教導職		—					福田寺(R3)	[墓碑]
										1905	明治38年4月21日	妻大正2年2月5日卒		
梅田屋			○	梅田屋 七郎左衛門		町人		3~5				徳山江田町		[谷野家譜録]
	梅田屋七郎左衛門	長男	—	梅田屋 與治兵衛	→谷野政方	徒士 町老格	切6現米20俵	5	32			油屋丁屋敷	徳山・八正寺(H30)	[譜]
	手廻小頭十右衛門女									1754	宝暦4年9月8日	宝暦2年養子		
	梅田屋七郎左衛門	嫡男	○	梅田屋 七兵衛	梅田屋與治兵衛弟	町人		5				徳山江田町		[譜]
	手廻小頭十右衛門女													
梅田屋			○	梅田屋 惣兵衛		町人	一代上下着用	8				徳山町		[註4]
												献納並び賞美一件(天保5年)		
梅地家断	梅地角兵衛親泰	嗣子	○	梅地 親成	庄三郎			—						[譜]
	梅地親成	嗣子	○	梅地 胤相	惣右衛門			—						[譜]
	梅地胤相	嗣子	○	梅地 相基	理右衛門			—						[譜]
	梅地理右衛門相基	長男	①	梅地 胤栄	理右衛門	伝来不仕	5	1						[譜][註4]
	某女									1628	寛永5年5月8日	奉公以前石州浪人元和年中出仕		
	梅地胤栄	長男	②	梅地 相孝	藤右衛門 七郎兵衛	陣僧	11	1						[譜][註4]
	江戸石川某女											寛永5年家督		

	梅地相孝 江戸三田松井某妹	長男	③	梅地 相英	藤右衛門 庄太郎	陣僧	11一扶持	3		1715	正徳5年			[譜]
梅地家	梅地藤右衛門相英 京都小川原某女	長男	①	梅地 相之	藤右衛門 友斎 塩右衛門 徳右衛門[註4]享保4年まで小川原姓	膳部	25二扶持	3~5	72	1745	延享2年7月12日	坂本善左衛門道知屋敷跡 東町東側自北2番(正徳5年)	元禄年中出仕元文5年隠居	[譜][註4]
	梅地藤右衛門相英 京都小河原某女	三男	—	梅地 新九郎	→生駒政吉	中小姓	37	5	68	1747	延享4年5月17日	正徳3年養子元文3年家督		[譜]
	梅地相英 京都小川原某女	五男	—	梅地 英貞	→①梅地英貞	新知別家/中小姓	29.59	3	61	1752	宝暦2年7月12日	飯田儀七屋敷跡 東町西側自北3番	宝永5年出仕	[譜]
	梅地相之 清水吉右衛門女	三男	②	梅地 相信	惣右衛門 仁三郎 九平治	膳部	35四扶持	5~7	73	1784	天明4年2月22日	福間与三右衛門屋敷跡 西町東側自北3番(寛延2年)	元文5年出仕天明2年隠居	[譜]
	梅地相之 清水吉右衛門女	四男	断絶	梅地 相貞	千十郎 洪安 (吉敷郡神職山田右兵衛養子離縁)			5				林本右衛門政布屋敷跡 東町自北7番(宝暦6年)		[譜]
	梅地相之 清水吉右衛門女	五男	断絶	梅地 相親	直七	藩士	二扶持	5						[譜]
	梅地洪安相貞 平野村工業属七郎右衛門女	＊二男	③	梅地 相欽	藤右衛門 相顕 小次郎 仁三郎	膳部	35四扶持	7~8	54	1808	文化5年	天明2年家督/文化5年隠居		[譜]
	梅地相欽 河内村清木七左衛門女	長男	④	梅地 相敬	惣右衛門 相友 友三郎 荘太郎	膳部	35四扶持	8	43	1833	天保4年8月29日	文化5年家督		[譜][註4]
	梅地相欽 河内村清木七左衛門女	二男	—	梅地 重清	→中川重清	中小姓	25	8				文化11年中川文太政範養子		[譜]
	梅地相欽 河内村清木七左衛門女	三男	—	梅地 政敦	→増野政敦	馬廻/両人役	50	8~9		(明治4年69歳 分限帳)		三番丁 文政3年10月15日増野政為養子		[譜][註16] (嘉永5年譜録提出)
	梅地相敬 宇田又右衛門直貢女	長男	⑤	梅地 相茂	良之助	膳部	35四扶持	9	20	1840	天保11年5月26日	天保5年家督		[譜]
	梅地相敬 宇田又右衛門直貢女	＊三男	⑥	梅地 相継	貫次	膳部後中士下等	同上後25十五俵	9		(明治3年42歳 人員録)		天保11年家督/嘉永2年譜録提出		[譜][註4]
	梅地相継	二男	⑦	梅地 亀之丞		藩士	11.3(明治5年)	9		(明治4年5歳 分限帳)		明治4年11月21日家督		
梅地家	豊島勝蔵	＊七男	○	梅地 十郎	(原田三郎弟)	徳山中学/福岡高/東京帝大 国策パルプ		—		1911	明治44年	糀町多田屋生・サンパウロ ブラジルサンパウロに移住		[府君原田三郎とその周辺]
梅地家	梅地相英 京都小川原某女	五男	①	梅地 英貞	英保 十内 藤十郎 大七 可済	中小姓	29.59	3	61	1752	宝暦2年7月12日	飯田儀七屋敷跡 東町西側自北3番	宝永5年出仕	[譜]
	梅地英貞 佐波郡宮市河村長右衛門女	長男	②	梅地 英宣	十内 小太郎 角兵衛	中小姓	29.59	~7	65	1785	天明5年3月4日	宝暦2年家督		[譜]
	桜井甚太夫馴政 熊谷勘右衛門豊直女	＊三男	③	梅地 英信	源吾 喜信 莫信 忠次郎 質	中小姓	29.59	7~8	67	1827	文政10年8月13日	天明5年家督/7代就馴公御納戸役[註9]		[譜][註4][註9]
	梅地英信 梅地英宣女	長男	④	梅地 英孝	喜真太 喜間太 百合熊 十内 精一軒	中小姓	29.59	8~9	68	1789 1856	寛政元年1月9日 安政3年4月10日	文政10年家督/神道無念流師範・学館指南役・武勇伝あり	徳山・八正寺 [註8]	[譜][註1][註5][註8][註11][註16]
	梅地英孝 小庄下村神職江波士佐正信女	長男	⑤	梅地 英	央 常之丞 志登美 士道[註16]	中小姓	25→10.2(M5)	9				三番丁 父天保10年咎隠居翌11年家督/佐幕派見島遠島		[譜][註1][註4][註8][註10][註16] (嘉永4年譜録提出)
	梅地英	長男	⑥	梅地 庸之丞		中士下等/陸軍少将	25/従四位	9	74	1852 1925	嘉永5年12月4日 大正14年6月5日	三番丁 献功隊		[註4][註10]
	梅地英	嫡子	—	梅地 香之丞	秀之進			9		(明治4年11歳 分限帳)				
梅地家			○	梅地 介		養蚕製糸技術習得者(明治18年) 養種製造業者(明治23年)		9						[註1][註4]
梅廼舎			○	梅廼舎 好也	→河野伊豫七	畳屋/狂歌師		7~9	78	1854	安永年間 嘉永7年9月18日	黒神直民、広島栗軒貞国師事/『おとけ歌心覚』『面影百首』他著	徳山・金剛寺[註8]	[註8][註11][註16] [都濃郡誌全]
梅本家			①	梅本 市兵衛				9		(明治5年59歳 分限帳)		梅本吉右衛門大迫田金剛寺無縁墓あり	大迫田金剛寺無縁墓(H30)	
	梅本市兵衛	嗣子	②	梅本 勇兵衛		河合組上等	4.36(明治5年)	9		(明治5年22歳 分限帳)		徳山村辻		
浦上家			①	浦上 多熊	(浦上三四郎弟)	河合組上等	3.35(明治5年)	9		(明治5年29歳 分限帳)		徳山村新町		
浦上家			①	浦上 三四郎	(浦上多熊兄)	藩士	1.8(明治5年)	9		(明治5年33歳 分限帳)		徳山村糀町		
浦川家			○	浦川 正左衛門		藩士(奈古屋隆芳家臣)		3頃				女某福間隆廉妻宝永4年7月9日卒釈貞崚信女		[福間家家譜及譜録]
浦島家			①	浦島 金吾		藩士	1.8(明治5年)	9		(明治5年25歳 分限帳)		大島		
瓜生家断			断絶	瓜生 勘右衛門		藩士	100	1						[註4]
恵周			○	恵周		興元寺伴僧		3~4				徳山藩改易時再興に奔走		[註1]
	榎宮藤右衛門 橋本町戸倉屋金右衛門女	嗣子	①	榎宮 貞章	宗右 一右 亀之助	茶道	現5二扶持	7~8				渡邉如仙屋敷跡 御弓丁横丁南側自西4番北向	安永9年出仕/寛政10年咎隠居	[譜]

榎宮家		＊	②	榎宮 貞利	可真 善五郎	陣僧	11	8	58					[譜][註4]
	山脇某女									1828	文政11年5月27日	寛政10年隠居		
	吉田市郎右衛門	＊三男	③	榎宮 直信	長左衛門 利三郎 貞義 長三 理衛門	祐筆	25(明治2年)	8~9						[譜][註4]
	徳山町山口屋女									(明治4年73歳 分限帳)		文政11年家督		
	榎宮直信	長男	④	榎宮 宗方	宗右衛門 貞光 栄斎 萬之進	中士下等	25→7.1(M4)	9						[譜][註4]
	榎宮貞利女									(明治4年49歳 分限帳)		明治3年譜録提出		
	榎宮宗方	長男	⑤	榎宮 太熊				9						
	富川惣右衛門女									(明治4年20歳 分限帳)				
榎宮家			①	榎宮 平一		政務局支配	3.35(明治4年)	9				徳山村今宿		
										(明治5年30歳 分限帳)				
榎本家断			断絶	榎本 五郎左衛門		家老(藩初)	300	1						[註1][註4]
												粟屋元相に次ぎ奈古屋、福間、榎本御抱え守り御用人(慶長9年)		
江原家断			断絶	江原 七左衛門		藩士	25	1						[註4]
戎屋			○	戎屋 直右衛門		櫨蝋板場職(～文化6年頃)		7~8				下松町		[註1][註4]
戎屋			○	戎屋 多七		町人		8~9						[註4]
												酢造運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		
海老名家断			断絶	海老名 清左衛門		藩士	15	1						[註4]
江見家			○	江見 次郎吉		藩士	1.8(明治4年)	9				福川村		
										(明治5年26歳 分限帳)				
恵美屋			○	恵美屋 弥助		櫨蝋板場職		9						[註4]
												運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		
江村家断	上林改め江村助兵衛内膳	嗣子	①	江村 伊織	左助	馬廻	300	1					大迫田本正寺江村家舎利塔	[譜][註4]
	某女											細川家在後浪人秀就公仕/元和年中萩より御供		
	上林改め江村助兵衛	嫡子	—	江村 安清	→①江村安清	新知別家/馬廻	200	1					大迫田本正寺(H30)	[譜][註1][註4][註8][註11]
	某女									1650	慶安3年9月12日	某年別家/島原の乱で活躍		
	初代江村伊織	長男	②	江村 伊織				1					大迫田本正寺江村家舎利塔	[譜]
	某女				(妻萩家来中曽三郎左衛門女)					1667	寛文7年正月17日	某年家督		
		嗣子	③	江村 藤左衛門	平七			1~3					大迫田本正寺江村家舎利塔	[譜]
										1694	元禄7年9月18日	元禄7年自害断絶		
江村家断	上林改め江村助兵衛	嫡子	①	江村 安清	初代五郎左衛門 金右衛門 直行 初代江村伊織弟 心覚安清信士	馬廻	200	1					大迫田本正寺(H30)	[譜][註1][註4][註8][註11]
	某女									1650	慶安3年9月12日	某年別家/寛永15年島原の乱で活躍禄高加増		
	江村安清	長男	②	江村 安利	二代目五郎左衛門 長右衛門 ＊玄誉心哲石塔			1~3					徳山・無量寺無縁墓群(R1)	[譜][註8]
	某女									1693	元禄6年4月12日	某年家督		＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	江村安清	二男	—	江村 新五兵衛	→①江村新五兵衛	新知別家		1~2					大迫田本正寺無縁墓(R1)	[譜]
	某女									1683	天和3年6月21日	某年別家		
	江村安利	長男	③	江村 平之丞	三代目五郎左衛門 (妻松岡休意女)	中小姓	銀七枚三扶持	1~3					大迫田本正寺江村家舎利塔	[譜]
	某女											元禄5年出仕		
	江村安利	二男	—	江村 長右衛門		新知別家/中小姓	25	1~3					大迫田本正寺江村家舎利塔	[譜]
	某女											延宝7年別家/元禄16年暇願		
	江村安利	三男	—	江村 壽清	→①江村壽清	新知別家/中小姓	25	3					大迫田本正寺江村家舎利塔	[譜][註8]
	某女									1697	元禄10年6月11日	元禄4年別家		
江村家断	江村安清	二男	①	江村 新五兵衛	初代新五兵衛 (妻富田村平野榎宮某女)			1~2					大迫田本正寺無縁墓(R1)	[譜]
	某女									1683	天和3年6月21日	某年別家		
	江村新五兵衛	長男	②	江村 忠利	二代目新五兵衛 江村壽清養子→江村忠利			2~5	70余				大迫田本正寺無縁墓(R1)	[譜]
	榎宮某女									1751	宝暦元年10月4日			
江村家	江村安利	三男	①	江村 壽清	馬野右衛門 十左衛門 (断絶後家督再興)	中小姓	25	3					大迫田本正寺江村家舎利塔	[譜][註8]
	某女									1697	元禄10年6月11日	元禄4年別家		
	江村新五兵衛	＊長男	②	江村 忠利	新五兵衛 弥八郎 理左衛門 路助	中小姓	25	3~5	70余			馬場本町自西4番	大迫田本正寺無縁墓(R1)	[譜][註4]
	榎宮某女									1751	宝暦元年10月4日	元禄10年家督/寛保2年隠居		
	江村忠利	三男	③	江村 忠清	忠八 忠房 忠晴 忠五郎	中小姓	25	5~7	52				大迫田本正寺江村家舎利塔	[譜]
	河松新五右衛門女									1771	明和8年11月19日	寛保2年家督/明和8年隠居		
	江村忠清	長男	④	江村 忠公	小助 路助 亀之進 右衛門	中小姓	25	7~8	73				大迫田本正寺江村家舎利塔	[譜]
	大向村長嶺平右衛門女									1824	文政7年4月5日	明和8年家督/文化4年隠居		
	江村忠清	二男	—	江村 忠虎	→青木熙	馬廻	50	7~8	53					[譜][註4]
	大向村長嶺平右衛門女									1810	文化7年12月10日	安永6年青木源蔵節養子		
	江村忠公	長男	⑤	江村 忠韶	韶 直次郎 襄山 忠行 伯諧 忠馨 新平 政次郎 竹渓 周洋	馬廻 目付役/大阪留守居役	50	8~9	69	1788	天明8年9月23日	一番丁	大迫田本正寺江村家舎利塔	[譜][註1][註4][註8][註11][註16]
	水津治兵衛正孝女									1856	安政3年12月2日	文化4年家督/祐綏神社石灯籠寄進		
	江村忠公	二男	—	江村 敬三郎	友三郎			8						[譜]
	水津治之清正孝女											文化11年鹿野洞泉院弟子		
	江村忠韶	長男	⑥	江村 忠純	純輔 純助 華陽 純一郎 伯顯	馬廻/西県令	50二扶持	9	61	1820	文政3年	一番丁	大迫田本正寺江村家舎利塔	[譜][註1][註4][註8][註11][註14]
	本城桓(紫巌)三女									1880	明治13年3月6日	安政4年家督/『瀟洒会』[文章会]同人[註1]		[註16](文久4年正月譜録提出)
	江村忠韶	二男	—	江村 清	→本城清	馬廻/代官 興譲館五代教授	50・従四位	9	41	1825	文政8年11月1日	勢屯・二番丁西側15番	徳山・大成寺墓地(H30)	[譜][註1][註4][註5][註8][註10]
	本城桓(紫巌)三女									1865	元治2年1月14日	天保13年12月18日養子/嘉永4年譜録提出/徳山殉難七士		[註11][註14][註16]

	江村忠韶 本城桓(紫巖)三女	三男	早逝	江村 敏三郎				9	8	1828 1835	文政11年 天保6年		大迫田本正寺江村家舎利塔	[譜]	
	江村忠韶 本城桓(紫巖)三女	四男	—	江村 彦之進	厚 季徳 織之助 政助 風月 酔顔	従四位/文学者		9	33	1832 1864	天保3年2月4日 元治元年8月12日	一番丁 安積艮斎門下/徳山略記編纂/学館訓導役/徳山殉難七士	大迫田本正寺(H30)	[譜][註1][註4][註5][註8][註9] [註10][註11][註14][註16]	
	岩崎巌貞長 今田誠司保光姉ノブ	＊	⑦	江村 忠精 ☆	詮次郎 万里	中士上等	50	9			（明治3年22歳 人員録）	中ノ丁 広島第11聯隊/第6代徳山町長(M41～T1)	江村家舎利塔建立	[註1][註4][註8][註10][註14] [有田民雄蔵画帳/翰墨一架]	
	江村忠精 中関生田某女		⑧	江村 忠一				—							
江村家			○	江村 竹吉	(妻あか明治4年12月14日生)	士族		9		1861	文久元年6月	徳山村507番地		「願届控東京毛利家文書」	
江村屋			○	江村屋 勝助		町人		8				富田新町 百姓一揆にて打ち壊される(天保2年)		[註4]	
江村屋			○	江村屋 清七		町人	上下着用	8				徳山本町 献納並び御賞美(享和、文化年間記載)		[註4] [御領町人御仕成]	
役家			○	役 赤城	義観 圓盛 松蔭 赤城子 エキセキジョウ[註11]	修験教学院中興五世		~7	59	1781	天明元年7月17日	遺稿『赤城詩集第一巻』		[註11][註16]	
役家	役赤城	嫡子	○	役 藍泉(観)	→島田藍泉 (えんのらんせん)教学院右京			7~8	59	1751 1809	宝暦元年 文化6年9月28日	教学院居住 鳴鳳館第二代教授/『覧泉集』他著書多数/幽蘭社	徳山・下田平 [註8]	[註1][註4][註5][註8][註9] [註11][註14][註16]	
役家			○	役 天然	→島田南村 役藍泉孫			9	81	1827 1907	文政10年11月8日諸説 明治40年9月2日	大成寺関龍和尚師事/詩文『崇蘭会』『瀟洒会』同人	東京芝・増上寺	[註1][註5][註8][註9][註11][註14] [註16]	
遠藤家			○	遠藤 丹後		家老		1				初代藩主就隆の当職		[註1]	
遠藤家	某氏 某女	嫡男	①	遠藤 正尊	惣左衛門 遠藤正忠兄[譜]	徒士	20	1		1657	明暦3年6月3日	東端丁東側自北1番西向 元和年中出仕		[譜]	
遠藤家	遠藤正尊 某女	長男	②	遠藤 正良	九右衛門 九郎左衛門	徒士	20	1	79	1676	延宝4年正月12日	某年家督		[譜][註4]	
遠藤家	遠藤正良 呉葉太左衛門女	長男	③	遠藤 正恒	與右衛門 貞右衛門 弁慶	中小姓/山代官(貞享2年)	25	1~5	98	1735	享保20年10月16日	某年家督/宝永2年隠居		[譜] [防長寺社由来]	
遠藤家	遠藤正恒 遠藤次郎左衛門正忠三女	長男	④	遠藤 正行	自的 十兵衛 與助	馬廻/医師外科	50	3~5	76	1743	寛保3年3月16日	元禄6年新知別家するも宝永2年家督/寛保3年隠居		[譜][註4]	
遠藤家	遠藤與右衛門正恒 遠藤次郎左衛門正忠三女	二男	—	遠藤 傳右衛門		浪人						身持不宣長男正行家督/浪人行方不明		[譜]	
遠藤家	遠藤與右衛門正恒 遠藤次郎左衛門正忠三女	三男	—	遠藤 重俊	→杉原重俊	馬廻	80	3~5		1737	元文2年3月25日	下間町西側自北3番東向 某年遠藤重受養子		[譜][註4]	
遠藤家	遠藤正行 伊藤市郎兵衛辰信女	長男	⑤	遠藤 守行	自謙 弁慶	馬廻/医師	50	5~7	64	1766	明和3年12月5日	寛保3年家督/明和3年隠居		[譜]	
遠藤家	遠藤守行 林與一兵衛郷政妹	長男	⑥	遠藤 好古	自的 與太郎 自伯	馬廻/医師	50	7~8	64	1799	寛政11年8月5日	明和3年家督/寛政2年隠居		[譜]	
遠藤家	遠藤好古 松岡惣左衛門政義女	長男	⑦	遠藤 俊古	自謙	馬廻/医師	50	~8	42	1811	文化8年正月4日	寛政2年家督		[譜][註1]	
遠藤家	富田村医師四熊俊方 某女	＊	中継	遠藤 貞方	周安 秀庵 周庵 天民 富田医師四熊東作弟	馬廻/医師	50	8				天保12年山本東菴屋敷跡 東町東側自北13番西向	文化8年家督同11年実家四熊家	[譜][註1][註4]	
遠藤家	遠藤俊古 原田三郎右衛門某女	＊長男	⑧	遠藤 正克	春岱 玄晋 直之丞 正衡 拙堂 妻光子歌人 光子妹堀田吉子歌人	馬廻/藩医	60	~9	不明		(明治初め没) （明治3年66歳 人員録）	三番丁居住 文政3年家督/徳山藩近代医学の祖/医学館初代蘭医学教授	泉原共同墓地(H30)	[譜][註1][註4][註5][註8][註9] [註11][註14]	
遠藤家	遠藤正克 松岡玄知崇女(光子)	長男	⑨	遠藤 貞一	良弼 貞一郎 希一 培園 孝蔵 蕃衛 儀右衛門 姓白井	中士上等/制産社社長 藩知事時代正権大参事	50	9	48	1841 1888	天保12年6月2日 明治21年6月15日	江戸藩邸没収時幽囚/英国留学/慶応2年11月18日家督	東京・青山墓地/碑文竹塢	[譜][註1][註4][註8][註11][註14] (明治3年譜録提出)	
遠藤家	遠藤正克 松岡玄知崇女(光子)	二男	—	遠藤 守一 ☆	→松岡緄☆ →久我四郎☆	中士/奇兵隊/山崎隊 陸軍歩兵少佐/従六位		9	37	1880	（明治3年27歳 人員録） 明治13年7月15日	安政5年正月松岡歓左衛門敬養子	泉原共同墓地(H30)	[譜][註4][註8]	
遠藤家			○	遠藤 千尋		徳山高等女学校教諭	従七位勲七等	—					泉原共同墓地(H30)	[有田民雄蔵画帳/翰墨一架]	
遠藤家	某氏 某女	嫡男	①	遠藤 正忠	治郎左衛門 平助 彦兵衛 遠藤正尊弟[譜]	中小姓	30	1~2	80余	1683	天和3年2月11日	萩より元和年中出仕/寛文年中須万代官役御咎暇断絶		[譜]	
遠藤家	某氏 某女	嫡女	—	遠藤 某女	遠藤正忠妹 増野恕庵良政妻泉相妙清信女			1		1645	正保2年4月20日	増野恕菴姉發性院(初代藩主就隆)乳母/恕菴就隆御診脈	＊徳山・福田寺	[譜] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]	
遠藤家	遠藤正忠 野上六左衛門弘長女	長男	断絶	遠藤 正重	又左衛門	浪人		1	30余	1664	寛文4年10月15日	父正忠咎家断絶により浪人		[譜]	
遠藤家	遠藤正重 渡部五右衛門女	長男	③	遠藤 正信	近助 彦兵衛 平助	中小姓後馬廻	30後50	3~4	66	1720	享保5年9月26日	東端町西側自北5番杉原萬七 元禄年中旗本西尾安芸守奉公/寶永7年2月再興		[譜][註4]	
遠藤家	遠藤正信 某女	長男	④	遠藤 将方	平助 浅之助 源太 孫左衛門	馬廻	50	4~7	86	1797	寛政9年正月8日	享保5年家督/天明6年隠居		[譜][註4]	
遠藤家	遠藤将方 相川清左衛門直葉女	長男	⑤	遠藤 温之	近助 浅之丞 代八	馬廻	50	7~8	77	1825	文政8年8月13日	天明6年家督/文政3年隠居		[譜]	
遠藤家	遠藤温之 坂本左内正芳女	長男	⑥	遠藤 将明	六兵衛 熊吉 又吉	馬廻	50	8	52	1833	天保4年7月29日	文政3年家督/文政9年隠居		[譜]	
遠藤家	遠藤将明 小川新助貞女	長男	⑦	遠藤 温保	孫作 恰	馬廻	50	8~9	51	1862	文久2年正月29日	一番丁 文政9年年家督/天保14年譜録提出		[譜][註4]	

	遠藤将明 三田尻村上治郎左衛門妹	＊二男	⑧	遠藤 温武	立馬 計之助	中士上等	50→14.1(M4)	9			（明治4年49歳 分限帳）	文久2年家督/文久2年譜録		[譜][註4]
	遠藤温武	長男	○	遠藤 運麿				9			（明治4年8歳 分限帳）			
	遠藤温武	二男	―	遠藤 猪輔				―			（明治4年3歳 分限帳）			
遠藤家断			断絶	遠藤 善左衛門尉		*奉行	25	1				*寛永17年棟札遠石八幡宮別宮再興		[註4] *[防長寺社由来]
	木屋源三兵衛隆公	嗣子	○	木屋 實公	因幡守			―						[譜]
	木屋實公	嗣子	○	木屋 章公	因幡守			―						[譜]
	木屋章公	嗣子	○	木屋 元公	新兵衛			―						[譜]
	木屋新兵衛元公 某女	二男	①	木屋 公信	善左衛門 (萩家来木屋七郎左衛門弟)	馬廻	100	1		1650	慶安3年6月24日	上東横丁南側自西2番 元和年中出仕		[譜][註4]
	木屋公信 某女	長男	②	木屋 澄	作左衛門	馬廻	100	1		1672	寛文12年5月28日	某年家督		[譜]
	木屋公澄 某女	長男	③	木屋 公棟	茂兵衛	馬廻	50	1~3		1698	元禄11年7月26日	某年家督		[譜]
	木屋公棟 某女	長男	④	木屋 維住	茂兵衛	馬廻	50	3		1714	正徳4年7月18日	元禄11年家督		[譜]
(木屋(ヨヤ)家) 大家(オオガ)家	木屋公住 某女	長男	⑤	大家 公忠	伊兵衛	馬廻	50	3		1718	享保3年12月13日	某年家督/享保年中大家改姓		[譜][註4]
	萩伊佐村田門甚兵衛 某女	＊三男	⑥	大家 公惟	伊右衛門	馬廻	50	3~7		1766	明和3年9月18日	某年家督		[譜]
	宗友右衛門正英	＊長男	⑦	大家 公春	弥右衛門/祐之丞	馬廻	50	5				享保12年養子/宝暦6年咎御暇		[譜]
	伊藤亮泰 種田善兵衛直治妹	＊三男	⑧	大家 公久	伊兵衛 松之助 小源治 左団治 公甫	馬廻	50	5~7		1789	寛政元年8月10日	宝暦6年家督		[譜]
	大家公久 浅田十蔵信茂女	長男	⑨	大家 公説	忠伍 儀八 義助 熊蔵 助四郎	馬廻	50	7~8	62	1837	天保8年正月4日	寛政元年家督/寛政9年咎隠居		[譜]
	大家公久 中村平太夫直行妹	＊	⑩	大家 忠良	又之進 安次郎 音次郎 良右衛門 久兵衛	馬廻	50	9	73	1855	安政2年正月4日	寛政9年家督/天保12年隠居/豊姫文化12年吉川監物興入御供		[譜][註4]
	藤井道之助常恭 杉原源吾有政妹	＊二男	⑪	大家 忠一	太平 勇五郎 作兵衛	馬廻	50	9			（明治4年57歳 分限帳）	中ノ丁 天保5年養子同12年家督		[譜][註4]
	大家忠一 大家忠良女	長男	⑫	大家 忠雅 ☆	保	中士上等	50→14.1(M4)	9			（明治4年33歳 分限帳）	明治3年譜録提出		[譜][註4]
	大家忠一 大家忠良女	二男	―	大家 実時 ☆	台次郎			9			（明治4年24歳 分限帳）			[譜][註4]
	大家忠一 大家忠良女	三男	―	大家 三郎				9			（明治4年19歳 分限帳）			[譜]
大坂屋			○	大坂屋 彌三右衛門		制産社蝋油方副司事		9						[註1][註4]
大嶋家			○	大嶋 権四郎		浪士		9				『有志詰問録』(元治元年事件)		[註4]
大田屋			○	大田屋 藤兵衛		酒造業		7				徳山村 酒造米高御届一件(徳山毛利文庫)		[註4]
	某女		①	大多和 忠明	七郎兵衛	持弓	15	1~3		1696	元禄9年6月6日	片側町自北4番東向 正保年中出仕		[譜]
	大多和忠明 萩三田尻松本某女	長男	②	大多和 忠政	弥兵衛	徒士	20	2~5	68	1726	享保11年11月5日	元禄9年家督		[譜][註4]
	大多和七郎兵衛忠明 萩三田尻松本某女	二男	―	大多和 忠矩	→大多和忠矩	新知別家/持弓	15	2~3	47	1714	正徳4年11月15日	東端町横町自西2番南向 元禄元年出仕		[譜]
	大多和忠政 棟居庄左衛門妹	長男	―	大多和 信親	→大多和信親	徒士	20	3~5	48	1747	延享4年11月16日	正徳5年家督/奈古村卒碑文寛政8年11月16日男大多和卓誌	徳山・泉原共同墓地(R2)	[譜][註4]
大多和家	大多和忠政 棟居庄左衛門妹	二男	③	大多和 忠清	喜左衛門 一甫	徒士	20	5~7	76	1781	安永10年正月4日	享保11年家督/宝暦12年隠居		[譜]
	大多和忠清 生野屋林武平治女	長男	④	大多和 忠之	甚右衛門 弥兵衛	中小姓/下代役	25	6~8	69	1807	文化4年正月19日	宝暦12年家督		[譜][註4]
	福谷新八道則 戸田村中村善左衛門女	＊長男	⑤	大多和 忠義	新吾	中小姓	25	8~9	32	1838	天保9年6月24日	寛政11年養子/文化4年家督		[譜][註4]
	鳥羽源兵衛重(陳)重 今田光當姉	＊	⑥	大多和 忠行	甚右衛門 直次郎	中小姓	25	8~9			（明治3年64歳 人員録）	天保3年家督/天保8年隠居		[譜]
	大多和忠行 大多和忠義女	長男	⑦	大多和 忠喬 ☆	左吉郎 忠毅 弥七	中小姓	25	9			（明治3年41歳 人員録）	西ノ丁 天保8年家督/嘉永2年譜録提出		[譜][註4]

大多和家断	大多和七郎兵衛忠明 萩三田尻松本某女	二男	①	大多和 忠矩	甚右衛門 甚八	持弓	15	2~3	47	1714	正徳4年11月15日	東端町横町自西2番南向 元禄元年出仕		[譜]
	大多和忠政 楠居庄左衛門妹	＊長男	②	大多和 信親	弥左衛門 鉄之助 左七 (大多和忠矩甥)	徒士	20	3~5	48	1747	延享4年11月16日	正徳5年家督/奈古村卒碑文寛政8年11月16日男大多和卓誌	徳山・泉原共同墓地(R2)	[譜][註4]
	大多和信親 四熊村井上権左衛門女	長男	③	大多和 卓	弥左衛門 鉄之助 七右衛門	徒士	20	5~8		1803	(行年41歳はありえない[譜]) 享和3年5月29日	寛延元年家督/天明8年咎隠居		[譜]
	大多和卓 宮原儀兵衛女	長男	断絶	大多和 脩	如助 亀之進 常之進	持弓	15	7~8		1820	文政3年	天明8年家督/文化12年譜録提出/文政2年欠落同3年断絶		[譜][註4]
	大多和脩 戸村弥八妹	長男	○	大多和 鉄之助				—						[譜]
	大多和脩 戸村弥八妹	二男	—	大多和 百合槌				—						[大多和新吾譜]
	大多和脩 戸村弥八妹	三男	—	大多和 増之進				—						[大多和新吾譜]
	大多和脩 戸村弥八妹	五男	—	大多和 利吉	(四男早世)			—						[大多和新吾譜]
大多和家			○	大多和 可也		都濃郡長(明治25年)		—						[註1]
大津家			①	大津 弥太郎				9			(明治5年21歳 分限帳)	大津島		
大波家			①	大波 由良衛				9			(明治5年33歳 分限帳)	大藤谷村		
大西家			○	大西 市兵衛				1				申聞次第元和7年(徳山毛利文庫)		[註4]
大西家	某女		①	大西 金右衛門		馬廻	50	1		1692	元禄5年9月10日	延宝年中出仕	江戸にて死去	[譜]
	箱嶋甚右衛門隆房 萩河村作左衛門女	＊三男	②	大西 金右衛門	貞之丞 嘉藤治	馬廻	50	3	41	1719	享保4年10月19日	元禄5年家督		[譜]
	二代目金右衛門 初代金右衛門女	長男	③	大西 貞之丞		馬廻	50	4~5	30?	1749	寛延2年正月17日	某年家督/病弱につき享保14年隠居		[譜]
	二代目金右衛門 初代金右衛門女	＊二男	④	大西 直時	軍蔵 長七	馬廻	50	5~7	64	1780	安永9年5月5日	享保14年家督/安永8年隠居		[譜]
	大西直時 久米村橋本源四郎女	長男	⑤	大西 直	丹治 金右衛門	馬廻	50	~8	55	1810	文化7年7月7日	安永8年家督		[譜][註4]
	大西直 河田左源治政陽妹	長男	⑥	大西 直教	富三郎 嘉藤治 熊吉	馬廻	50	8				文化7年9月朔日家督/天保4年10月隠居		[譜][註4]
	山本四郎左衛門正勝 山本忠左衛門正真女	＊四男	⑦	大西 直政	庸輔 居敬 直行 庸衛門 乙熊 市之丞	馬廻	50	8~9				西ノ丁 小笠原流礼方指南/天保5年5月15日家督	徳山・八正寺[註8]	[譜][註4][註5][註8]
	大西直政 平田村医師内山周岳継宣姉	長男	⑧	大西 揆一 ☆	政脩 龍馬 保教	中士上等	50→14.1(M4)	9			(明治4年26歳 分限帳)	小笠原礼式・大島流槍術出精付賞美/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	大西直政 平田村医師内山周岳継宣姉	三男	—	大西 兎雄	二男早世			9			(明治3年18歳 人員録)			[譜]
大野家断			断絶	大野 三太夫		藩士	100	1						[註4]
大野家断			○	大野 直金	九郎兵衛			1				初の御蔵本両人役に任命される(寛文3年)		[註14]
	水津三正 大野市正女	＊三男	断絶	大野 儀兵衛	(某年大野九郎兵衛直金養子家督) (本家大野太郎兵衛)	馬廻	150	1~3				入牢後遠島(正徳3年)/正徳2年儀兵衛揚り屋敷に杉原家		[譜][註4][註8][水津家譜録]
大野家			○	大野 直次	弥次兵衛 ＊超却院殿直心閑入居士			1~3		1698	元禄11年正月7日	女桜井雄度妻/＊妻丹性院殿洞室妙源大姉元禄9.11.28	徳山・福田寺(R4)	[桜井家譜録] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
			切腹	大野 直之	八之丞(妻粟屋隆方女百合元禄5.3.5卒) 了性院殿通心要玄/光雲院殿青柳妙山	漢学/武術(新陰流兵法) 新陰流兵法御執心及び目録各一巻→主君元次(元禄7年		1~3		1699	元禄12年8月12日切腹	延宝6年結婚/藩主元賢、的場に八之丞の兵法を聞する(貞享4年)	徳山・福田寺(R4)妻興元寺	[註1][註8][註16][毛利歴史資料目録] [徳山市社寺文化財調査(S59)]
	従5位下安芸守朝直	嗣子	○	大野 利直	紀伊守			—					累世之墓・興元寺隠居山	[譜]
	大野利直	嗣子	○	大野 隆直	備前守			—					累世之墓・興元寺隠居山	[譜]
	大野隆直	嗣子	○	大野 直政	兵庫助			—					累世之墓・興元寺隠居山	[譜]
	大島郡八代島大野直政 村上忠兵衛女	二男	①	大野 直廣	九太夫	馬廻	200	1	49	1641	寛永18年8月11日	勢屯西町自東3番 寛永年中出仕/奉公以前大島郡八代島住居	累世之墓・興元寺隠居山	[譜]
	大野直廣 富山清右衛門房良女	長男	②	大野 直宗	源兵衛 熊之助 直久	馬廻	100	1	39	1664	寛文4年4月27日	某年家督	累世之墓・興元寺隠居山	[譜]
	富山清右衛門常照 萩村上豊後守就次女	＊二男	③	大野 直昌	又右衛門 外記 松伴 源洞院殿松伴宗居士	馬廻	100	1~3		1713	正徳3年3月23日	某年家督/元禄14年隠居	徳山・興元寺(R2)	[譜][註4] [徳山市社寺文化財調査(S59)]
	八代島大野三郎左衛門直給 村上又兵衛女	＊三男	④	大野 直堅	又右衛門 三之丞	馬廻/両人役	130	3~5	79	1744	延享元年11月2日	宝永6年(1709)両人役又右衛門財政の窮状を訴える[註1]	累世之墓・興元寺隠居山	[譜][註1][註4]

大野家	大野直堅	長男	一	大野 忠兵衛	又市			3頃							[譜]
	三代直昌女											（詳細不明）			
	萩家来羽仁藤兵衛	＊三男	⑤	大野 直時	彦右衛門 喜平次	馬廻	130	5~7					累世之墓・興元寺隠居山		[譜]
	羽仁某女									1769	明和6年4月6日	享保19年家督/宝暦8年隠居			
	荘原為右衛門信行	＊二男	⑥	大野 直純	丹蔵	馬廻	130	6~7	54				累世之墓・興元寺隠居山		[譜][註4]
	亀谷小兵衛和之女									1782	天明2年8月10日	宝暦8年家督			
	大野直純	長男	⑦	大野 直寶	伴吾 右伝次	馬廻	130	7~8	59				累世之墓・興元寺隠居山		[譜]
	大野直時女									1810	文化7年3月12日	天明2年家督/後妻の墓碑本正寺			
	粟屋豊躬	＊四男	⑧	大野 直由	又平 啓之進 一重 波門 直安 梅之進 兼湛	馬廻	130	8	48				徳山・興元寺(R2)		[譜][註4]
	中川豊方女									1815	文化12年9月11日	文化7年家督			
	大野直由	嫡子	一	大野 直行	伴次郎			8							[譜]
	七代直寶三女											天保13年萩家来三戸覚人良厚養子			
	大野直寶	＊四男	⑨	大野 篤直	丹下 操 伴次 直庸	一代用人	130	8~9	45				徳山・興元寺(R2)		[譜]
	三木傳内景貞女									1849	嘉永2年9月19日	文化12年家督			
	大野篤直	長男	一	大野 直賀	→森蕃仲	用人	280	9				本丁			[譜]
	東藤太徳胤女											嘉永元年孫次郎跡家督/嘉永7年於山崎八幡宮騎射奉納			
	大野篤直	三男	⑩	大野 直亮 ☆	司馬允(助 子友 直輔 丹下 内蔵之丞 髭之助 観光院殿正徳橘陰大居士	馬廻後中士上等/正三位 山崎隊総督/英国留学	130後70→19.4 錦鶏間祗候	9	81	1841	天保12年正月2日	勢屯	徳山・興元寺隠居山(R3)		[譜][註1][註4][註10][註11][註14]
	東藤太徳胤女									1921	大正10年5月1日	造幣局長/詩文[文章会]同人[註1]/妻多美子明治38年7月没			[註16](文久4譜録提出/嘉永2家督)
	大野直亮	長男	⑪	大野 直枝	秀徳院殿直枝良知居士 (妻アヤノ昭和23年8月13日没)	東京帝国大学院 理学博士/植物学者	正六位	—	39	1875	明治8年5月4日	大阪生まれ東京	徳山・興元寺隠居山(R3)		[註8]
	今井似幽二女									1913	大正2年10月19日	広島高等師範学校、東北帝国大学等教授歴任			増田芳雄研究書物・論文あり
	大野直亮	二男	一	大野 守衛		東大卒/外交官 藤沢町長/初代市長	従三位	—	80	1879	明治12年3月1日	神奈川県藤沢市			[註8][註10]
	今井似幽二女									1958	昭和33年7月18日	『独領南洋諸島事情』著			
	大野直枝	長男	⑫	大野 直一郎				—	60						[20世紀初頭のライプチヒ 植物学者大野直枝のドイツ日記] 増田芳雄著
	大野あやの														
	大野直一郎	二男	一	大野 茂男		横浜市立大医学部教授		—							
	大野章子														
	大野直一郎	嫡子	一	大野 直哉				—					隠居山大野家之墓(R3)		
	大野章子											大野家之墓建立昭和46年3月(興元寺隠居山)			
大野家			○	大野 直義	市正(本家) (女水津三正嫁その三男→大野儀兵衛)										[譜]
	大野市正直義	二男	①	大野 直継	太左衛門 左助 主計 直紹 ＊金功院義山良忠居士	馬廻/目付(宝永3年)	80	1~3	73			上間丁西側自北1番	徳山・福田寺無縁墓(R3)		[譜][註4]
	萩嶋尾甚左衛門某女									1714	正徳4年6月8日	＊妻円珠院一峰妙心大姉宝永5.4.30福田寺無縁墓(R3)			＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	大野直継	長男	②	大野 直般	太左衛門 千太郎 浄雲斎 方吉 漆(大野湊85石[註4])	馬廻	80	3~7	80				徳山・福田寺[註8]		[譜][註1][註8]
	小野政右衛門女									1776	安永5年12月14日	正徳4年出仕/宝暦8年隠居/連歌師[註1]			
	大野直般	長男	③	大野 直富	太左衛門 権槌 左助 才治 武兵衛	馬廻	80	6~7	42						[譜]
	長浜五郎左衛門實重養女									1777	安永6年9月24日	宝暦8年家督			
	大野直富	長男	④	大野 直房	謙 貞之進 文吾 道蔵 六郎左衛門 縑	馬廻	80	7	33						[譜][註1]
	神代十左衛門常義女									1794	寛政6年10月16日	安永6年家督/連歌師[註1]妻弘化4年9月16日卒			
	大野直房	二男	⑤	大野 般欵	直徳 直勲 欵吾 永十郎 真次郎 允治	馬廻	80	8	24						[譜]
	神職黒神若狭直平女									1812	文化9年4月24日	寛政9年家督			
	大野直房	三男	一	大野 貞禮	敬吉			8							[譜]
	神職黒神若狭直平女											文化6年萩家来中村半兵衛養子後離縁			
	河合馴規	＊五男	⑥	大野 直定	賢太 宗用 宗致 房之助 才治 直治 直蔵 太右衛門 直徴 直五郎他	馬廻	80	8~9	59		(文化9年家督)		徳山・福田寺(R3)		[譜][註4]
	河合伴蔵糺女									1846	弘化3年7月8日	霊鑑院良道玄忠居士/妻涼雲院月泉貞影大姉天保3年6月16日卒			
	大野直定	長男	⑦	大野 直應 ☆	賢太 太熊 織之輔 太郎兵衛 瀧之助 太衛 雲潭 子醇(妻朝倉震陵二女)	馬廻後中士上等/藩校句読師 都濃郡11区戸長(明治4年)	80後50→14.1 従七位	9			(弘化3年家督)	中ノ丁	直應男徳山・福田寺(R4)		[譜][註1][註4][註5][註11]
	長浜岩太實慎姉										(明治4年52歳 分限帳)	中村敬宇同人社/日置流射術・大的師範/飯田竹塢墓碑文			(明治3年譜録提出)
	大野直定	二男	一	大野 直槌 ☆	→三宅親慥☆	馬廻後中士上等	75後50	9				二番丁東側自上7番浅海跡			[譜][註1][註4]
	長浜岩太實慎姉										(明治4年48歳 分限帳)	安政4年三宅家養子/大島流槍術//日置流射術			(文久4年譜録提出)
	大野直應	長男	早逝	大野 喜津馬	淨林還光童子(墓碑)			9	2				徳山・福田寺(R4)		
	朝倉震陵二女登志									1847	弘化4年6月2日	弘化4年5月29日(墓碑)			[朝倉家文書]
	大野直應	二男	早逝	大野 美之丞	洞外良仙童子(墓碑)			9					徳山・福田寺(R4)		
	朝倉震陵二女登志									1849	嘉永2年8月2日	嘉永2年7月29日(墓碑)			[朝倉家文書]
	大野直應	三男	⑧	大野 直歓 ☆	歓三郎[譜] 太津美			9							[譜][註4]
	朝倉震陵二女登志										(明治4年22歳 分限帳)				
大野家			○	大野 通光	卜意	医師(明和前後)		萩				熊毛郡室津海			[奈古屋維章譜録]
大野家			○	大野 太郎		戊辰役出兵		9							[註4]
												山崎隊日記・明治元年12月大小荷駄方付属			
大呑家断			断絶	大呑 十助		藩士	200	1							[註4]
大呑家			○	大呑 隆久	左近 ＊□誉源覚信士			1					＊徳山・無量寺		
										1656	明暦2年5月27日				＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	安芸国武家鍛冶業		○	三吉 與次兵衛		刀鍛冶/萬屋		8				徳山村佐渡町			[註1][註9]
												徳山の名工			
			○	萬屋 与一郎	大庭学僊兄(安野華嶺日記)			8~9							
大庭家															

大庭家	三吉与次兵衛	＊二男	○	大庭 学僊	百合吉 四郎 南江 王鶴 学仙 (洞春寺家老大庭佐兵衛養子)	絵師/萩士分(明治3年)		宗藩	80	1820	文政3年6月21日	徳山村生/東京/京都/下関	(下関客舎没)	[註1][註9][註11]
										1899	明治32年8月11日	原、小田海僊、朝倉南陵師事/遠石八幡宮に額絵奉納		
	大庭学僊	長男	○	大庭 寛一	貫一 (妹光子は画家高嶋北海の妻)	内務省/愛知県知事		宗藩	53	1864	元治元年			[註9][註10][註11]
										1916	大正5年10月	日韓併合時京城府任/(久保白船の父は学僊の甥〔註9〕)		
大林家			○	大林 音助	→戸田安貞	馬廻	十扶持	3~5	63					[譜][註1][註14]
										1754	宝暦4年6月2日	宗藩より追放、脱走、徳山藩再興最大級功労者五烈士		
大深家	奈古村		①	大深 信房	太郎左衛門 源兵衛	武具方/鍛冶師	15二扶持	1	80			外横町自西6番北向		[譜]
	某女									1639	寛永16年10月8日	某年家督隠居		
	大深信房	長男	②	大深 信光	惣兵衛 熊蔵	武具方/鍛冶師	15二扶持	1	82					[譜]
	某女									1662	寛文2年2月2日	某年家督隠居		
	大深信光	長男	③	大深 信之	八兵衛	武具方/鍛冶師	15二扶持	1~5	81					[譜][註4]
	奈古村大深藤右衛門女									1725	享保10年正月17日	某年家督隠居		
	大深信之	長男	④	大深 信行	惣兵衛	武具方/鍛冶師	15二扶持	5~7	74					[譜]
	末武村浅田喜右衛門女									1768	明和5年正月14日	某年家督/明和3年隠居		
	夜市中村次郎左衛門	＊	⑤	大深 行政	善六	武具方/鍛冶師	15二扶持	7~8	86					[譜]
	夜市善左衛門女									1816	文化13年9月27日	明和3年家督/文化5年隠居		
	大深行政	長男	⑥	大深 行光	金吾	武具方/鍛冶師	15二扶持	8	57					[譜][註4]
	月山重右衛門正重女									1835	天保6年7月19日	文化5年家督		
	大深行光	長男	⑦	大深 信次	惣吉 惣左衛門(士族人員録)	武具方/鍛冶師 後 武庫舎支配準士	15二扶持→4.7	8~9						[譜][註4]
	松井傳蔵則次女									(明治4年56歳 分限帳)		天保6年家督/明治3年譜録提出		
	大深信次	長男	○	大深 信吉 ☆	太五郎			9						[譜][註4]
	岩崎善兵衛敬之妹									(明治4年24歳 分限帳)				
	大深信次	二男	—	大深 勇之進				9						
	岩崎善兵衛敬之妹									(明治4年16歳 分限帳)				
	大深信次	三男	—	大深 百合蔵				9						
	岩崎善兵衛敬之妹									(明治4年12歳 分限帳)				
岡家			○	岡 孫兵衛				1						[註4]
												申聞次第元和7年(徳山毛利文庫)		
岡家断			断絶	岡 谷助		藩士	11	1						[註4]
岡家	岡宗通	二男	①	岡 宗智	五郎右衛門 久蔵	藩士	20	1	80			東端町西側自北13番		[譜][註4]
	某女									1637	寛永14年11月22日	奉公以前萩領次之間村浪人/元和年中出仕		
	岡宗智	長男	②	岡 宗之	五郎右衛門 勘之丞 太郎助	馬廻	50	~3	85			東中町西側自北14番(延宝5年)		[譜][註14]
	江村某女									1694	元禄7年5月10日	寛永15年家督/初の御蔵本両人役に任命(寛文3年)		
	岡宗之	三男	③	岡 宗増	武右衛門 傳次郎 (新知別家後家督)	馬廻	50	1~5	81					[譜]
	熊谷右衛門丞女									1730	享保15年4月28日	貞享元年家督/正徳4年隠居		
	岡宗増	長男	④	岡 常政	武右衛門 久七 五郎右衛門	馬廻	50	3~5	60					[譜][註4]
	宍戸彦左衛門右正女									1752	宝暦2年7月29日	正徳4年家督		
	岡常政	長男	⑤	岡 常直	逸八 久左衛門	馬廻	50	5~7						[譜]
	富田村岩崎某女											延享3年小姓仕官/宝暦2年家督/安永8年咎隠居		
	牧直良	＊二男	⑥	岡 常方	武七 勝之丞 左次郎 勘右衛門 三平 武左衛門[註4 1812年]	馬廻	50	7~8	64					[譜][註4]
	岡常政女									1824	文政7年6月10日	安永9年2月5日養子家督		
	岡武七常方	長男	—	岡 宗晋	→岡宗晋	馬廻	75	8~9	56					[譜][註4]
	岡逸八常直女									1844	弘化元年8月18日	文化元年岡智周養子家督		
	岡常方	二男	⑦	岡 常敞	厚茂 為之助	馬廻/大殿様小姓役	50	8~9				二番丁		[譜]
	岡常直女									(明治3年74歳 人員録)		文政7年家督/嘉永8年隠居		
	岡武左衛門常方	三男	—	岡 常則	→谷野常則	中小姓	25	8~9	49					[譜]
	岡逸八常直女									1850	嘉永3年10月26日	文政3年谷野方敬養子		
	岡常敞	長男	⑧	岡 宗郁	五兵衛 逸之助	馬廻後中士上等	50→14.1(M4)	9				二番丁		[譜][註4]
	羽仁傳蔵保定女									(明治4年45歳 分限帳)		嘉永8年家督/明治3年譜録提出		
	岡常敞	二男	—	岡 宗賀	→三吉族	中士上等 藩知事時代正権大属	70→19.4(M4)	9					一族大迫田本正寺	[譜][註4]
	大野丹下直庸妹									(明治4年37歳 分限帳)		嘉永7年7月27日三吉族古賁養子		
	岡常敞	三男	—	岡 顕端 ☆	珊之助 常雄 常端 →浅田顕瑞→林 顕	中士上等/毛利家職 山崎隊司令士	50	9	90	1848	嘉永元年11月2日	桜馬場外→三番丁		[譜][註4][註10][註16]
	高崎平太安章長女									1937	昭和12年5月29日	明治3年林正謹養子/河田佳蔵姉婿/明治3年譜録提出		
	岡常敞		—	岡 逞兵衛	(岡宗郁弟)			9				二番丁		
	高崎平太安章長女									(明治3年23歳 人員録)				
	岡常敞		—	岡 澄江	(岡宗郁弟)			9				二番丁		
	高崎平太安章長女									(明治3年20歳 人員録)				
	岡宗郁	長男	⑨	岡 真太郎				9				二番丁		
	遠藤春岱正衡女									(明治4年9歳 分限帳)				
	岡宗郁	二男	—	岡 虎雄	千□			9				二番丁		
	遠藤春岱正衡女									(明治4年6歳 分限帳)				
	岡宗之	三男	①	岡 宗増	武右衛門 傳次郎 (途中本家三代目家督)	中小姓	35	1~5	81			東中町西側自北14番		[譜]
	熊谷右衛門丞女									1730	享保15年4月28日	寛文初頭出仕/貞享元年本家家督		
	新見(坂)七右衛門直重	＊五男	②	岡 宗重	久米右衛門 宗房 三太郎 傳次郎 市之進 九助	馬廻	60	2~5	61			東端町西側自北13番		[譜][註4]
	富田村郷士山崎和泉忠房女									1733	享保18年5月21日	貞享元年家督		

岡家	岡宗重 近藤重久妹	四男	③	岡 宗行	傳右衛門 鼎	馬廻	60	5	21		1742 寛保2年12月13日	享保18年家督		[譜]
	岡宗重 近藤重久妹	＊五男	④	岡 房實	十蔵 道的 凌徳庵	馬廻	80	5~7	56		1788 天明8年6月14日	寛保3年家督/宝暦2年隠居		[譜]
	本城恒光 国冨清八忠亮女	＊三男	⑤	岡 景諄	七蔵 光貞 房栄 栄房 太仲 九兵衛 玄徳院岳巖日義居士	馬廻	75	5~8	70	1729 享保14年9月4日 1798 寛政10年正月4日		宝暦2年家督/寛政9年隠居	徳山・本正寺	[譜]
	岡景諄 玉井権左衛門女正敏妹	長男	⑥	岡 智周	房郷 午之助 傳治 右馬之丞	馬廻	75	7~8	36	1768 明和5年4月28日 1803 享和3年6月28日		寛政9年家督		[譜]
	岡景諄 玉井権左衛門女正敏妹	二男	—	岡 百合之進				7~8		1770 明和7年3月6日				[譜]
	岡景諄 下松町中嶋又左衛門女	三男	—	岡 栄助	→奈古屋方昌	馬廻 制作方御目付役(天保2年)	50	7~9	57		1839 天保10年7月6日	寛政8年奈古屋維貞養子		[譜][註4]
	岡武七常方 岡逸八常直女	＊長男	⑦	岡 宗晋	晋 常俊 熊之助 忠蔵	馬廻	75	8~9	56		1844 弘化元年8月18日	文化元年家督/天保12年隠居/祐綏神社石灯籠名前刻印		[譜][註4]
	岡宗晋 小川新助貞女	二男	⑧	岡 宗甫	宗儀 好雄 滋之助 與(与)一 七兵衛 平馬[註8][註16]	馬廻後中士上等 小笠原流騎射世話役	75後50	9	68		1884 明治17年5月23日	天保12年家督/森孫次郎の高弟、騎射名人『都濃郡誌』	市営泉原共同墓地(H30)	[譜][註1][註4][註5][註8][註16]
	岡宗甫 粟屋靱負壽温妹	長男	⑨	岡 義夫		藩士	75(明治2年)	9		（明治3年19歳 人員録）		明治3年譜録提出	市営泉原共同墓地(H30)	[譜][註4]
			○	岡 関夫				—					市営泉原共同墓地(H30)	
			○	岡 孝雄				—	68	1872 逆算 1939 昭和14年5月18日			市営泉原共同墓地(H30)	
			○	岡 嘉幸				—		1952 昭和27年8月26日			市営泉原共同墓地(H30)	
			○	岡 満雄				—				岡家之墓建立(H7)		
岡家			○	岡 常睦 ☆	延也			9						[註4]
岡家	岡宗之 熊谷右衛門之丞女	二男	①	岡 宗運	権八 門弥	中小姓	35	1~2	60余	1683 天和3年9月23日		神代家屋敷跡 東町西側自北12番	万治2年出仕	[譜]
	新見七右衛門直重 某女	＊三男	②	岡 勝之	門兵衛 勘之丞 (岡紋兵衛宝永4年家来分限帳)	中小姓	35	2~3	37	1705 宝永2年10月21日		延宝7年養子/天和3年家督		[譜]
	岡勝之 坪井三右衛門友行女	長男	③	岡 勝直	儀平太 万吉 弥左衛門 吉郎左衛門	中小姓	35	3~5	60余	1754 宝暦4年8月21日		宝永3年家督		[譜]
	岡勝之 坪井三右衛門友行女	二男	—	岡 勝周	→①岡勝周	新知別家/中小姓	25	3~5		1730 享保15年9月2日		正徳6年別家		[譜]
	岡勝直 坪井三右衛門友道女	長男	④	岡 直義	権右衛門 雄右衛門 弥太郎	中小姓	35	5~7	53	1793 寛政5年6月26日		宝暦4年家督		[譜]
	岡直義 西村某女	長男	⑤	岡 直道	栄之助	中小姓	35	7~9	54	1839 天保10年正月12日		寛政5年家督/文化10年咎隠居		[譜][註4]
	浅田祐次郎信正 増見伊左衛門道英女	＊三男	⑥	岡 直皓	左源太 金次郎	中小姓	35	8		1833 天保4年8月14日		文化11年家督		[譜]
	岡直皓 入澤義雅女	長男	⑦	岡 直愛 ☆	貞之進 策治 輔吉 作之助 (妻入澤清太夫義彦女)	馬廻後中士下等	50→10.2(M4)	8~9		（明治4年45歳 分限帳）		西ノ丁(量之輔) 天保6年家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	岡直皓 入澤義雅女	＊二男	—	岡 常忠	→藤井常盈☆	中小姓	25	9		（明治4年43歳 分限帳）		弘化4年藤井常貞養子		[譜]
	岡直愛	嫡子	○	岡 三子太郎				—		（明治4年2歳 分限帳）				
岡家断	岡勝之 坪井三右衛門友行女	二男	①	岡 勝周	三郎右衛門 権作 勝重	中小姓/江戸番手	25	3~5		1730 享保15年9月2日		正徳6年別家		[譜]
	新見昌之 山縣九郎兵衛女	＊二男	②	岡 勝宴	権八 善左衛門 勘右衛門 権之進 門弥	中小姓/江戸番手		5~6		1759 宝暦9年7月24日		享保15年家督		[譜]
	藤井弥一右衛門常郷 新見喜右衛門昌之女	＊二男	③	岡 某	権八 弥一郎			6				宝暦10年7月3日家督/某年持方不宜永暇断絶		[譜]
岡家			○	岡 範正	→飯田範正	中小姓/連歌宗匠 小笠原流礼方指南	25	7~8	61	1802 享和2年9月18日		下六番町西側自南2番 就隆、元次の詩文歌類編集［註1]『連歌小補抄』著	本正寺(R2)碑文黒神景美	[譜][註1][註5][註8][註11][註14]
岡家			○	岡 継政	次郎右衛門	持弓		~3	62	1709 宝永6年3月2日		奉公以前御領須磨村農民		[譜]
	岡継政 某女	嫡子	①	岡 直政	儀左衛門 彦六 彦兵衛 次郎左衛門	祐筆	20	3~5	65	1746 延享3年7月朔日		西下町西側自北2番 奉公以前御領須磨村農民/元禄11年出仕		[譜][註4]
	岡継政 某女	三男	—	岡 光直	→④岡光直	藩士	15	5				享保8年7月13日岡兼久家督		[譜][註4]
	時重幾右衛門 某女	＊三男	②	岡 維顕	正右衛門 直顕 左七 平右衛門	祐筆	20	5~7	55	1777 安永6年6月2日		元文2年養子/延享3年家督		[譜]
	須万村竹下玄達敬之	＊三男	③	岡 敬和	伴次郎 常顕 八十熊	祐筆	20	7~8				安永5年養子同6年家督		[譜]

	岡敬和 岡維顕女	長男	④	岡 敬明	勝作 万作	祐筆	20二扶持	8~9	67		1861 文久元年5月3日	文化8年11月15日家督		[譜][註4]
	杉浦権左衛門保之 伊藤弥五郎督悦女	＊三男	⑤	岡 直温	杢兵衛 直貞 量祐 岡山酔谷[註1] →岡山杢兵衛/杉浦直温	中小姓/画家	20二扶持	9				嘉永元年8月20日家督		[譜][註1][註4] [御在城日記文久3年]
岡家断	兼久以前不明		③	岡 兼久	彦兵衛			~5						[譜]
	岡次郎右衛門継政	＊三男	④	岡 光直	小七 直政弟	藩士	15	5				享保8年7月13日家督		[譜][註4]
	柳以孝 徳地村白井権六妹	長男	⑤	岡 清恒				5				享保13年12月22日養子		[譜]
岡家	岡喜右衛門	嗣子	○	岡 喜代助				—				御家微賤被召仕		[譜]
	岡喜代助	嗣子	○	岡 浦七				—				御家微賤被召仕		[譜]
	岡浦七	嗣子	○	岡 源右衛門				—				御家微賤被召仕		[譜]
	岡源右衛門 徳山村片山又右衛門女	長男	①	岡 光當	忠七	次一代小膳部	切15	9			(明治4年74歳 分限帳)	嘉永5年出仕		[譜][註4]
	岡光富 徳山村戸倉三左衛門女	長男	②	岡 光亨 ☆	幾三郎	小膳部準士	15→4.7(M4)	9			(明治4年32歳 分限帳)	明治3年譜録提出		[譜][註4]
岡家			①	岡 喜左衛門		政務局支配	1.8	9			(明治5年53歳 分限帳)	徳山村北山		
	岡喜左衛門	嫡子	○	岡 嘉市		藩士	3.35(明治4年)	9			(明治5年21歳 分限帳)	徳山村北山		
	岡喜左衛門	三男	—	岡 仙次郎				9			(明治5年12歳 分限帳)	徳山村北山		
岡家			—	西村 利右衛門	→西村利右衛門	大年寄 代々生蝋製造/農業		8~9				奈古村 御借銀方惣高並已巳暮利且御払辻[徳山毛利文庫]		[註4][註10]
			○	岡 吉輔	妻西村利右衛門二女ナカ	酒造業		宗藩				阿武郡福井下村 妻ナカ[1854－]		
	西村利右衛門	＊五男	○	岡 十郎	→西村十郎 (妻好川治郎姉ムツ[1875－])	慶応義塾/家業/県会議員 東洋捕鯨社長/日本捕鯨の父		—	54	1870 1923	明治3年6月29日 大正12年1月8日	奈古村 岡吉輔養子/社章利旗印「一〇」/捕鯨船第一長州丸		
岡家			○	岡 郁三		藩士/寺小屋		9				徳山村北山 寺小屋明治元年 明治5年男18女9(読書算術習字)		[註1][註5] [徳山市教育の歩み]
岡木家断			断絶	岡木 伝左衛門		藩士	20	1						[註4]
岡田家			①	岡田 直左衛門		武庫舎支配準士	13一.五扶持→4.7	9			(明治5年43歳 分限帳)	徳山村新町		[註4]
岡田家			○	岡田 幾三郎		久米譲羽村米改良組頭取 (明治19年)		9				久米譲羽村		[註4]
小方家断			断絶	小方 与三兵衛		藩士	150	1						[註4]
小方家			○	小方 孫左衛門	＊梅渓清芳居士			1		1669	＊寛文9年7月6日		＊興元寺	＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
小方家			○	小方 隆久	藤右衛門 ＊天叟雲外居士			1~2		1689	＊元禄2年7月22日		＊興元寺	＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
小方家			○	小方 与兵衛				1頃						[奈古屋家譜録]
	奈古屋元忠 神代源太郎重廣女	二男	○	小方 (隆冬)	奈古屋(隆冬 四郎兵衛 宮寿)			1頃				某年小方与兵衛養子		[奈古屋家譜録]
小方家			○	小方 武兵衛		商民		8~9 宗藩				上関室津 武兵衛女天保14年正月13日早川敬吉嫁		[早川家譜録]
小方家			○	小方 市右衛門		庄屋		宗藩				上関室津		
	栗屋村温品良左衛門	＊二男	○	小方 謙九郎	横山謙吉 弘徳 栗山 (妻は市右衛門長女ツヤ)	第二奇兵隊参謀 回漕業/汽船宿		9 宗藩	79	1835 1913	天保6年7月27日 大正2年9月12日	栗屋村・上関室津 長岡外史の実父/村会議員/上関四階楼建築	室津日和山・顕彰碑あり	[註4][註11] [有志詰問録]
	小方謙九郎(謙吉時代) 堀トキ(一時野村)	長男	—	長岡 外史	→長岡外史	陸軍中将/衆議院議員		9 宗藩	77	1858 1933	安政5年5月13日 昭和8年4月21日	末武村・東京 スキーの元祖/日本の航空機パイオニア		
	岡部六郎宣忠	嗣子	○	岡部 宣経	石見守			—						[譜]
	岡部宣経	嗣子	○	岡部 鎮種	佐渡守			—						[譜]
	岡部鎮種	嗣子	○	岡部 統増	忠右衛門			宗藩						[譜]
	岡部忠右衛門統増 某女	二男	①	岡部 宗信	権右衛門	馬廻	150	1~2	74	1683	天和3年5月25日	馬場町自西3番(某年) 萩より寛永年中出仕/天和3年隠居		[譜]

岡部家	岡部宗信 某女	長男	②	岡部 利重	伊右衛門 靄千代	馬廻	150	2~3	74	1716	正徳6年2月28日	天和3年家督/宝永年中隠居		[譜]
	岡部宗信 某女	二男	—	岡部 政明	→①岡部政明→稲垣政明	新知別家/馬廻	50	2~5	82	1727	享保12年3月22日	某年新知別家		[譜]
	岡部宗信 某女	三男	—	岡部 信糺	→①岡部信糺	新知別家/馬廻	100	2~5				某年新知別家享保10年暇願某年断絶		[譜]
	岡部利重 某女	長男	③	岡部 忠重	権右衛門 権九郎	馬廻	150	3~5	75	1749	寛延2年9月29日	宝永年中家督/寛延2年隠居		[譜][註4]
	河内吉兵衛昌次 某女	＊長男	④	岡部 昌範	伊右衛門 幾之丞	馬廻	150	5~6	63	1763	宝暦13年12月5日	寛延2年家督/法蔵院十文字槍師範［註1 延享元年］		[譜][註1]
	岡部昌範 岡部忠重女	長男	⑤	岡部 忠恕	権右衛門 吉之丞 道祖之進	馬廻	150	6~7	59	1786	天明6年9月2日	法蔵院流十文字槍術指南（天明5年～6年）		[譜][註1][註5]
	岡部忠恕 堀田弥一右衛門正敷女	長男	⑥	岡部 壽澄	伊右衛門 才亀 澄清	一代用人	150	7~8	54	1823	文政6年5月22日	桜馬場（文政4年） 法蔵院流十文字槍術指南（寛政10年～文化5年）		[譜][註4][註5]
	岡部忠恕 堀田弥一右衛門正敷女	二男	—	岡部 豊文	八郎 萩家来楢崎一之丞豊久養子			宗藩				寛政7年萩家来楢崎豊久養子		[譜]
	岡部澄澄 飯田正號四女	長男	⑦	岡部 蕃計	権右衛門 亀之進 初之進 務 忠計 祝門 篤計 弥之 務人	一代用人	150	8~9		1864	＊元治元年2月20日	小幡禎屋敷跡上本丁自北3番（天保12年） 文政6年家督/百姓一揆の折下松町を警戒［註1天保2年］		[譜][註1][註16] ＊[御在城日記文久4年]
	岡部壽澄	六男	—	岡部 仲衛		別家/中小姓	三扶持銀三	8~9				天保7年仕官		[譜]
	飯田某 飯田某女	＊	⑧	岡部 忠温 ☆	譲衛門 清之進 清次 仲衛 孫一	馬廻	150	9		（明治3年59歳 人員録）		安政3年蕃計隠居跡家督/元治元年譜録提出		[譜][註4]
	岡部忠温 箱嶋甚右衛門蕃章妹	長男	⑨	岡部 好美		中士上等	70→19.4(M4)	9		（明治4年18歳 分限帳）				
	岡部忠温 箱嶋甚右衛門蕃章妹	二男	—	岡部 保雄				—		（明治4年9歳 分限帳）				
（稲垣家） 岡部家	岡部宗信 某女	二男	①	岡部 政明	六左衛門 →稲垣政明	馬廻	50	2~5	82	1727	享保12年3月22日	某年新知別家		[譜]
	岡部政明 某女	長男	断絶	岡部 忠政	六七 林勘七 →稲垣忠政	享保2年還付の節暇願 知行没収寛延元年断絶		3~5				徳山藩再興最大級功労者五烈士/無方流槍術師範（延享元年）		[譜][註1]
			再興	岡部 台助		中士下等	25→7.1(M4)	9		（明治4年64歳 分限帳）		再興		[註4]
	岡部台助	嗣子	○	岡部 菱人	（やとり）			9		（明治4年28歳 分限帳）				
岡部家断	岡部宗信 某女	三男	①	岡部 信糺	儀左衛門 又右衛門	馬廻	100	2~5				某年新知別家享保10年暇願某年断絶		[譜]
	岡部信糺 某女	長男	断絶	岡部 忠乗	又右衛門 権之助 権之丞	中小姓	五扶持	5				享保10年暇願某年断絶		[譜]
岡村家	徳山村辻岡村郷右衛門	嗣子	○	岡村 吉左衛門				—						[譜]
	岡村吉左衛門	嗣子	○	岡村 吉右衛門				—						[譜]
	岡村吉右衛門	嗣子	○	岡村 喜兵衛				—						[譜]
	岡村喜兵衛 浅田治兵衛女	二男	①	岡村 信正	谷助	検断頭/算用役（天保5年）	15一.五扶持	8~9	80	1849	嘉永2年4月2日			[譜][註4]
	難波某 徳原勘兵衛養女	＊	退身	岡村 信通	平作 巳之吉 （信正養子）			9						[譜]
	岡村信正	嫡男	—	岡村 信治	壮之進 (堅田家来山縣源治兵衛盛信養子)			9				安政2年6月養子		[譜]
	藤岡盛恒 平田村村田與三左衛門女	＊二男	②	岡村 信幸	多右衛門 益之進	蔵本付後下士下等	15→4.7(M4)	9		（明治4年41歳 分限帳）		弘化4年11月20日養子家督/明治3年譜録提出		[譜][註4]
	岡村信幸	嫡子	○	岡村 蔵太郎				9		（明治4年8歳 分限帳）				
	岡村信幸	嫡子	—	岡村 弥三吉				—		（明治3年2歳 人員録）				
岡村家			○	岡村 初衛		山崎隊	2.7(明治4年)	9		（明治5年26歳 分限帳）		夜市村		[註4] [山崎隊日記]
岡村家			○	岡村 雅之進		歌人/明月会会員								[清韻集/矢嶋作郎]
岡村家			○	岡村 靳	佐治衛門 （本城幾馬妻留実父）	滋賀郡膳所藩本多家家臣		—						
岡村家			①	岡村 悌作		河合組下等		9		（明治3年25歳 人員録）				
岡村家			○	岡村 金作		藩士	1.8(明治4年)	9		（明治5年35歳 分限帳）		徳山村辻		

岡村家			○	岡村 清助				9				徳山村辻		
											(明治5年11歳 分限帳)			
岡村家			○	岡村 強恕	寶山徳珠居士			—					福田寺(R3)	[墓碑]
										1908	明治41年12月16日	妻・貞室妙操大姉明治41年10月3日卒		
			○	岡村 宗吉	南山徳壽居士			—					福田寺(R3)	[墓碑]
												妻・寂室貞定大姉卒年不明		
岡本屋			○	岡本屋 清兵衛		商法会所手代(明治4年) 御用商人		9						[註1][註4]
岡山家	杉浦権左衛門	*	○	岡山 杢兵衛	→岡直温/杉浦直温	中小姓/画家	20二扶持	9						[譜][註1][註4]
	伊藤弥五郎督悦女											岡山酔谷[註1]/嘉永元年8月20日家督		[御在城日記文久3年]
岡山家			○	岡山 九郎治	岡山杢兵衛(岡直温)か	中士下等	25→7.1(M4)	9						[譜][註4]
											(明治4年53歳 分限帳)	明治3年譜録提出		
	岡山九郎治	嫡子	—	岡山 寛一郎				—						
											(明治4年3歳 分限帳)			
岡山家			○	岡山 清左衛門	岡山寛一郎養育	農民		9				須万村		
											(明治3年55歳 人員録)			[御在城日記文久3年]
	岡山清左衛門	嫡子	○	岡山 要蔵				9						
											(明治3年28歳 人員録)			
	岡山要蔵	嫡子	○	岡山 為喜				9						
											(明治3年7歳 人員録)			
岡山家			○	岡山 酔谷	→岡直温	中小姓/画家	20二扶持	8~9						[註1]
岡山家			①	岡山 兎右衛門		河合組下等	3.35(明治4年)	9				徳山村辻		
											(明治5年36歳 分限帳)			
小川家	市川善右衛門(小周防)	嫡子	①	小川 金昌	善右衛門	蔵本付	15	1~5					累代之墓・北山共同墓地	[譜]
	徳山村北山伊藤某女									1729	享保14年2月24日	奉公以前都濃郡小周防村明暦年中出仕		
	小川善右衛門金昌	長男	—	小川 以孝	→柳以孝	徒士	20	5	66					[譜]
	末武村橋本三郎左衛門妹									1750	寛延3年8月16日	享保11年柳曽七孝好養子		
	小川金昌	二男	—	小川 芳近	→①小川芳近	新知別家/持弓	15	3~5	47			西新町西側自北13番東向新地	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4]
	末武村橋本三郎左衛門妹									1735	享保20年4月26日	正徳4年出仕		
	小川金昌	三男	②	小川 金房	善右衛門 善七 (妻四熊養庵女)	蔵本付	15	5				濱崎新丁屋敷(宝暦2年)	累代之墓・北山共同墓地	[譜]
	末武村橋本三郎左衛門妹									1757	宝暦7年5月3日	享保14年家督/徳山藩改易時萩出仕		
	富田村真覚寺	*二男	③	小川 金保	弥右衛門	蔵本付	15	5~6					累代之墓・北山共同墓地	[譜]
	富田村森本三左衛門女									1760	宝暦10年4月29日	宝暦7年家督		
	徳山村村川吉助	*二男	④	小川 金重	善右衛門 武兵衛	蔵本付	15	6~7						[譜]
	矢櫃村三右衛門女											宝暦10年家督/明和7年二代金房妻と折り合わず絶縁		
	藤林忠兵衛	*	⑤	小川 金亮	貫蔵	蔵本付	15	7~8	48				累代之墓・北山共同墓地	[譜]
	花河原村渡辺與三女									1798	寛政10年4月1日	明和7年家督		
	小川金亮	長男	⑥	小川 義秀	雄蔵	蔵本付	15	8	16			金伴へ山本彦右衛門屋敷跡	累代之墓・北山共同墓地	[譜]
	玉井孫八盛明女									1798	寛政10年9月25日	西新町東側自北三番西向	寛政10年4月家督	
	小川金亮	二男	⑦	小川 金伴	官兵衛 才助 孫次郎	蔵本付	15	8~9	71	1786	天明6年	新丁	累代之墓・北山共同墓地	[譜][註4]
	玉井孫八盛明女									1856	安政3年12月27日	寛政10年10月家督/遠石八幡宮に石灯籠奉納		
	中村弥吉規堅	*長男	⑧	小川 金義	金蔵 亀齢 官蔵 孝達 與左(右)衛門 右兵衛	中小姓	25	9	60	1814	文化11年	新丁	北山共同墓地(H30)	[譜][註4][註11][註16]
	佐藤勘左衛門喜之女									1873	明治6年3月14日	安政4年家督/俳諧和歌を嗜んだ/文久4年譜録提出		
	桜井雄俊	*二男	⑨⑪	小川 官介 ☆	惟孝 友衛 慎独斎 子友 塩(暨)浦 (妻大正2年3月22日没75歳)	中小姓後中士下等/献功隊 初代徳山村会議員(M22)	25→10.2(M4)	9	74	1837	天保8年5月27日	新丁	北山共同墓地(H30)	[譜][註1][註4][註11][註14][註16]
	福根孝右衛門常至二女									1910	明治43年6月13日	安政5年養子/学館寮長/金融機関公共社設立委員/明月会会員		[清韻集]
	小川官介	長男	⑩	小川 嘉雄		中小姓	25	9	26	1861	文久元年4月8日	新丁		
	小川リウ(里宇)									1886	明治19年2月16日	早世の為、10代官介が再び家督を継ぐ		
	小川官介	二男	⑫	小川 清次	蔵之丞 榴堂	国立銀行役員		9	69	1863	文久3年9月20日	新丁		
	小川金義長女リウ(里宇)									1931	昭和16年	他家より戻り家督を継ぐ		[有田民雄蔵画帳/翰墨一架]
	小川清次	長男	⑬	小川 亨		京都帝国大学/理学博士		—	77	1893	明治26年6月5日	徳山生まれ/東京/台湾他		
	村井市郎長女タカ									1969	昭和44年4月3日	大阪工業試験所/徳山海軍燃料廠/台湾天然瓦斯研究所		
	小川清次	二男	—	小川 巴				—		1899	明治32年2月24日		小川家之墓建立北山墓地(H30)	
	村井市郎長女タカ													
	小川清次	三男	—	小川 茂				—		1901	明治34年12月28日			
	村井市郎長女タカ													
	小川亨	長男	⑭	小川 亮		東京大学卒/徳山市長 児玉源太郎顕彰会会長(2016)		—	96	1924	大正13年5月12日	弥生町3-4-1		
	平生町井上岩太郎二女潤子									2019	平成31年1月16日	自治庁/岡山県副知事/1979年より徳山市長を5期		
	小川亨	二男	—	小川 堯	暁			—						
	平生町井上岩太郎二女潤子													
	小川亨	三男	—	小川 宣		回天館長/郷土史会長		—	82	1930	昭和5年4月	弥生町3-4	北山共同墓地(H30)	
	平生町井上岩太郎二女潤子									2011	平成23年3月10日	山口大学卒/著書『周南風土記』『語り継ぐ回天』など		
	小川亨	四男	—	小川 晶				—						
	平生町井上岩太郎二女潤子									2019	平成31年			
	小川金昌	二男	①	小川 芳近	紋六 芳軒實如真浄居士	持弓	15	3~5	47			西新町西側自北13番東向新地	徳山・福田寺(R3)	[譜][註4]
	末武村橋本三郎左衛門妹									1735	享保20年4月26日	正徳4年出仕		

小川家	小川芳近 萩家来渡邉範次女	長男	②	小川 近忠	庄太郎 新右衛門 紋左衛門 英軒義抱常心居士	持弓	15	5~6	37	1765	明和2年11月22日	吉屋長左衛門屋敷跡 西新町西側自北5番東向	徳山・福田寺(R3) 享保20年家督	[譜]
	小川近忠 和田三郎兵衛盛光女	長男	③	小川 貞	新助 道平 幹夫 忠恕 九八郎 虎蔵 瓊斎 瓊園 妻覚照院賢輪智明大姉元治元年卒	組外馬廻/評定役 蔵本記録役始(天明4年)	50	7~8	67	1762 1828	宝暦12年11月7日 文政11年正月27日	新丁 明和3年家督/本城紫巌・服部南郭(江戸)師事/遺稿文集15巻	徳山・福田寺(R3)	[譜][註1][註3][註4][註8][註11] [註16]
	小川新助貞 桜井宇右衛門雄好女	長男	④	小川 謙	道平 健吉 謙吉 乾山 益卿 妻不昧院妙覚貞性大姉明治12年卒	馬廻/鳴鳳館五代教授	75	8~9	49	1809 1857	文化6年7月23日 安政4年2月4(5)日	新丁(大向村蟄居) 文政11年家督/学館に釈菜の制/著書多数/詩文崇蘭会	徳山・福田寺(R3)	[譜][註1][註4][註5][註8][註11] [註14][註16]
	小川新助貞 桜井宇右衛門雄好女	二男	—	小川 聯	→桜井篤連	一代用人	200	8~9	38	1811 1848	文化8年7月25日 嘉永元年8月6日	天保3年養子/天保9年代官役を廃し以前の郡代役に任命	徳山・福田寺(R3)碑文あり	[譜][註14][註16]
	小川謙乾山 神本郡平惟貞女	長男	早逝	小川 虎太郎	眞珠慧光童子			9	3	1840	天保11年3月27日		徳山・福田寺(R3)	
	小川謙乾山 神本郡平惟貞女	二男	⑤	小川 浚	潜蔵 逸熊 徹之助 良馬 明卿 良輔 逸堂(妻明治12年10月14日卒33)	馬廻後中士上等	75後50→14.1	9	62	(明治4年32歳 分限帳) 1901	明治34年9月28日	新丁 嘉永3年家督再興/詩文『文章会』同人[註1]/士族授産尽力	徳山・福田寺(R3)	[譜][註1][註4][註11][註16] (明治3年譜録提出)
	小川謙乾山	嫡子	—	小川 次人				9		(明治4年23歳 分限帳)				
	小川潜蔵浚 京都江村氏(墓碑)	嫡子	⑥	小川 篤之輔	篤弼[註16]			9	—	(明治4年2歳 分限帳)				[註16]
小川家			○	小川 実 ☆	昱之丞			9						[註4]
小川家			○	小川 永義	金右衛門			7		1787	天明7年12月7日		徳山・無量寺(R5)夫婦墓	[墓碑]
小川家	三田尻村 某女		①	小川 氏具	瀬左衛門 五郎左衛門	徒士	20	5~6	68	1764	明和元年9月25日	西新丁西側自北8番東向 享保19年出仕/宝暦6年隠居		[譜]
	小川氏具 佐波郡真尾村小池閑左衛門女	長男	②	小川 佳具	浅右衛門 小平太 小右衛門	徒士	20	5~7	57	1788	天明8年2月25日	宝暦6年家督		[譜]
	小川儀右衛門佳具 久米村高橋七郎右衛門女	長男	③	小川 基具	源太 七郎 柳助	徒士 徳山遠石両浦徒目附他	20	7~9	82	1844	弘化元年10月24日	天明8年家督/天保9年隠居/妻松樹鶴仙貞壽大姉		[譜][註4]
	小川儀右衛門佳具 久米村高橋七郎右衛門女	二男	—	小川 貞具	→野田記貞	徒士	20	7~8	55	1822	文政5年3月29日	寛政2年野田記丈養子同5年家督		[譜]
	埜(野)田綱助記貞 野田記丈女	＊長男	死亡	小川 晴具	瀬兵衛 小源太 村之助			8		1825	文政8年5月16日	文化3年12月13日養子		[譜]
	河野代八通明 松原源吾有政妹	＊二男	④	小川 基孚	松泉 茂介 辨次	徒士後下士上等/画家 春木南溟(江戸)師事	20→5.7(M4)	8~9	71	(明治4年64歳 分限帳) 1878	明治11年11月25日	文政9年養子天保9年家督/文久元年元功公養子祝儀使役長府へ	徳山・福田寺(R5)	[譜][註1][註4][註11] (元治元年譜録提出)
	小川基孚 井上源内信友女	長男	⑤	小川 基肇 ☆	暢蔵 丈之介 長蔵 悌之介			9		(明治4年24歳 分限帳)				[譜][註4]
	小川基孚 井上源内信友女	二男	—	小川 基俊 ☆	→河野通好	下士下等/献功隊 陸軍中将	15→4.7(M4) 正四位	9	69	1850 1918	嘉永3年9月20日 大正7年3月18日	児玉文庫設立申請M35/戊辰戦争、西南役、日清日露従軍	徳山慶万墓地 [註8]	[譜][註4][註8][註10][註14]
	小川基孚 井上源内信友女	三男	—	小川 保三				9		(明治4年16歳 分限帳)				
	小川基孚 井上源内信友女	四男	—	小川 敬蔵				9		(明治4年13歳 分限帳)				
			⑦	小川 晴基				—				昭和10年9月小川家之墓建立	徳山・福田寺(R5)	
小川家			①	小川 小兵衛				9		(明治5年69歳 分限帳)				
	小川小兵衛	嗣子	②	小川 善内		河合組下等	3.35(明治4年)	9		(明治5年39歳 分限帳)		徳山村一ノ井手		
	小川善内	長男	○	小川 信治郎				9		(明治5年16歳 分限帳)				
	小川善内	二男	—	小川 新三郎				9		(明治5年10歳 分限帳)				
小川家			①	小川 勝左衛門		厩組	3.35(明治4年)	9		(明治5年46歳 分限帳)		戸田村		
小川家			①	小川 孫兵衛		政務局支配(人員録)	帯刀(中山家文書)	9		(明治3年45歳 人員録)		富田平野町		[中山家文書明治3年]
	小川孫兵衛	長男	○	小川 嘉十郎				9		(明治3年12歳 人員録)				
	小川孫兵衛	二男	—	小川 半治郎				9		(明治3年9歳 人員録)				
小川家			○	小川 文吉	(妻玉井嘉吉女とら/嗣子政雄)			—				富田平野町		[玉井家略系図/玉井伸昌]
小川家断			断絶	小川 七左衛門		藩士	20	1						[註4]
小川屋			○	小川屋 助左衛門	(助左衛門女中村惣左衛門嫁)	町人		7頃				富田平野町 助左衛門女中村惣左衛門嫁長男中村平助直政		[中村家譜録]
			○	小川屋 喜平		町人 櫨蝋板場職(～文化6年頃)		7~8				富田平野町		[註1][註4]

小川屋			○	小川(屋) 権兵衛		町人 産物吟味方用掛(天保2年)		8~				富田平野町 百姓一揆にて打ち壊される/藩の財政を利用して半紙大阪へ		[註1][註4][註14]
			○	小川屋 権兵衛		富田・林開作(安政2年) (小川屋開作/平野沖開作)		~9				開作地に平野紙園社(富田平野)		[註1][註4]
小川屋			○	小川屋 十右衛門		町人		7~9				富田村 酒場運上銀取立御算用一紙(嘉永2年)		[註4]
奥田家	奥田左衛門佐頼春	嗣子	○	奥田 豊政	大内蔵			—				丹州中矢代之庄奥田村居住二付奥田姓		[譜]
	奥田豊政	嗣子	○	奥田 頼重	権右衛門尉			—						[譜]
	奥田頼重	嗣子	○	奥田 道忠	又右衛門尉			—				大阪陣真田幸村組属し功名有		[譜]
	奥田道忠 京都山本金兵衛女	五男	①	奥田 政村	如雲 太郎兵衛 ＊安誉乗雲居士宝永3年8月16日奥田氏	茶道	七扶持 銀二枚拝領	1~3	75	1706	宝永3年8月26日	東中町東側自北3番 奉公以前松平播磨守小姓/慶安2年出仕某年隠居	＊徳山・無量寺	[譜] ＊[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	奥田政村 大阪山本武兵衛女	二男	②	奥田 政胤	儀(義)太夫 儀右衛門	中小姓/元姫様都合役	40 銀一枚拝領	1~5	88	1742	寛保2年9月7日	延宝元年家督/享保19年隠居	徳山・無量寺(R1)	[譜][註4]
	奥田政村 大阪山本武兵衛女	三男	—	奥田 某				1頃				某年紀州家来矢森喜左衛門養子		[譜]
	奥田政胤 遠藤與右衛門正恒女	長男	③	奥田 政有	十兵衛 多七 儀左衛門	中小姓	40	5~7				享保19年家督/明和6年隠居		[譜]
	奥田政有 国冨清八忠亮女	三男	④	奥田 政美	代右衛門 政次 儀太夫	中小姓 大阪目附役/両人役	40	7~8	84	1816	文化13年9月18日	明和6年家督/享和2年隠居	徳山・無量寺(R1)	[譜]
	奥田政美 国冨文助彦章妹	二男	⑤	奥田 恵政	源三郎 房治郎	中小姓	40	8	34	1816	文化13年9月19日	享和2年家督		[譜][註4]
	水津宰正令 山田仁右衛門正明女	＊二男	退身	奥田 正哲	哲 美信 哲三郎 文平	中小姓/大殿様小姓 大阪蔵屋敷目附役	25	8~9				文化13年家督/弘化3年咎退身		[譜]
	箱嶋正右衛門鎮直 大西金右衛門直女	＊二男	⑥	奥田 直政	陽之丞 隼太	中小姓	25	9	47	1855	安政2年10月8日	弘化4年10月15日家督		[譜]
	長穂村町田善十郎 切山村河村七郎左衛門女	＊三男	⑦	奥田 義民	蘭雪 耕太夫 乗介 山下泰明実弟 (妻富田村社人渡邉直衛直忠女)	中小姓/画家	25	9	63 [註14]	1832 1892	＊天保3年 旧歴明治25年11月19日	(安政3年家督) 柳田雲屋、山本琴石(津和野藩)師事/元治元年譜録提出	夫婦墓/福田寺(R3)	[譜][註1][註4][註8][註9][註14] ＊[UAG美術家研究所]
			不明	奥田 有年介	清風軒灑誉蘭雪居士 (上記同一人物か年令合致)	中士下等	25→10.2(M4)	9			(明治4年42歳 分限帳)	二番丁		[註4]
			—	奥田 政子	清心院浄室良範大姉			9		1906	明治39年10月21日	於姫路亡(墓碑に刻印)/蘭雪と並び建立	福田寺(R3)	[墓碑]
	奥田有年介	嗣子	○	奥田 荒熊				—			(明治4年7歳 分限帳)			
奥田家			○	奥田 為熊		姫路第九旅団司令部		—						[徳友]
奥田家			○	奥田 源七郎		體術指南役		8				長沼柔石時代		[註16]
奥田家			○	奥田 道有	稲濤	医師	正六位	—	72	1928	昭和3年4月	長崎生/三番丁 明治22年県の招きで県病院院長/明治38年徳山開業		[翰墨一架 有吉鼠弟著]
		＊	○	奥田 頼介	(妻奥田道有長女芳流)	京都帝国大/医師		—		1882	明治15年6月12日	秋田/徳山本丁6429 山口高校卒/大正4年6月徳山開業		[人物名鑑/公論社]
	奥田頼介 奥田道有長女芳流	三男	○	奥田 秋夫		大阪高等医学専門学校 医師/奥田医院		—				三番町 ＊徳中39期/徳山医師会病院4代目会長		＊[徳山中学物語]
小倉家	某女		①	小倉 貞好	葉右衛門 助右衛門 次郎右衛門[註4]	徒士	20	5	55	1735	享保20年9月8日	奉公以前御家徹賤被召仕福川村農民/享保17年出仕		[譜][註4]
	小倉貞好 福川村福田金右衛門女	長男	②	小倉 貞恒	仁兵衛 澤右衛門	徒士	20	5~7	94	1799	寛政11年2月14日	享保20年家督/安永3年隠居		[譜]
	小倉貞恒 萩三吉平左衛門妹	長男	③	小倉 貞重	澤右衛門	徒士	20	7	26	1777	安永6年10月8日	安永3年家督/『宮ノ洲開発地石室覚』著		[譜]
	夜市村山本清右衛門 某女	＊二男	④	小倉 貞之	治郎右衛門 紋治 冨之 和兵衛 心空浄覚居士	徒士	20	7~8	74	1830	天保元年正月29日	東間ノ丁自北9番西向井上跡 安永7年家督/妻花林法眞大姉文政4年4月26日卒	福田寺(R3)	[譜]
	福川村某 某女	＊	⑤	小倉 貞光	甚兵衛 知光 赤次郎 福川村又右衛門弟 壽山圓清居士	徒士	20	8~9	60	1838	天保9年8月8日卒[墓] 天保9年8月12日	貞光文化12年隠居付家督/妻心月智清大姉天保元年9月6日卒	福田寺(R3)	[譜]
	小倉貞光	長男	早世	小倉 貞知	勘助	徒士	三扶持	8		1828	文政11年10月29日			[譜]
	西村勘左衛門正唯 浅田某女	＊二男	⑥	小倉 貞信	為次郎 孫左衛門 孫右衛門	徒士後下士上等	20→5.7(M4)	9			(明治4年61歳 分限帳)	二番丁 天保9年家督/元治元年江戸藩邸没収時幽囚		[譜][註4][註16] (文久3年譜録提出)
		嗣子	○	小倉 要助				9			(明治4年22歳 分限帳)			
			○	小倉 貞	義嶽貞忠居士			9		1879	明治12年10月13日	妻・花室妙容大姉	福田寺(R3)	[墓碑]
			○	小倉 健一	實弘院覚外傳真居士			9		1892	明治25年4月9日	妻・華弘院翠顔貞容大姉明治20年8月16日卒	福田寺(R3)	[墓碑]

小倉家			①	小倉 新吉		藩士	1.8(明治4年)	9				下松町		
											(明治4年 分限帳)			
尾越家断			断絶	尾越 四郎左衛門		藩士	100	1						[註4]
尾越家	河合戸太夫宗勝	＊二男	○	尾越 忠七	→有福郷長	馬廻/医業	150	3~5	69			横本町南側自東1番北向享保12年		[譜]
	三吉道伯玄丹女									1746	延享3年5月23日	平賀郷益某年隠居=付家督/元文5年隠居		
尾越家	有福郷敏	長男	○	尾越 蕃輔 ☆	→有福郷愷☆	正権大参事	25	9						[譜][註1][註4]
	今田操保光妹										(明治3年26歳 人員録)	制産社庶務係(明治初頭)/京都府権大書記官		[児玉源太郎/長田昇著]
尾越家			○	尾越 悌輔		徳山町長(大正6~10)		—				徳山村272番屋敷		[註4]
					＊妻タカ安政6年2月28日生/二女ツル明治25年7月30日生							＊明治30年赤坂区溜池霊南坂寄留徳山へ転居		＊[願届控東京毛利家文書]
尾崎家			①	尾崎 耕二		山崎隊	1.8(明治4年)	9				福川町		[註4]
											(明治5年22歳 分限帳)			[山崎隊日記]
尾崎家			○	尾崎 寿人		町方医		9						[註1]
小沢家			○	小沢 茂七郎	翰斎張芝	俳人/町人 大阪取引人[註8]		9						[註1][註8][註9]
												七草吟社三代目/原田曲斎10周忌『其馨集』刊行		
小沢家			○	小沢 松三郎		徳山の紳商		9						[註1]
												共栄社創立のひとり(明治17年)		
小田家断	小田某		①	小田 純貞	→小野家小田純貞	徒士	20	1	80					[譜]
	某女									1676	延宝4年5月5日	元和年中萩より御供/延宝4年隠居		
	小田(オダ)純貞→小野	二男	断絶	小田 清兵衛	又左衛門 (オダとコダは別姓とあり 以下区別つかず)	徒士	20	1～5						[註4]
	内藤隆重女											享保14年暇後不明		
小田家			萩藩	小田 作右衛門		萩藩御陸目付		萩藩						[註4]
												益田右衛門介、国司信濃切腹の際出勤		
小田家	赤間関紺屋小田家		○	小田 仙右衛門		染工		—				下関新地		[註11]
														[UAG美術家研究所]
	富海廻船業河内屋	＊嫡子	○	小田 海僊	南豊 良平 るい えい 王瀛 巨海 百谷 百穀	萩藩御用絵師(南画家)		萩藩	78	1785	天明5年	富海生まれ/京都	大徳寺黄梅院	[註1][註11]
										1862	文久2年8月24日	頼山陽と九州遊学/大庭学僊、京都にて海僊に師事		[UAG美術家研究所]
		＊	○	小田 梅僊	廣包 左近 容 乾	絵師		—	61					[註11]
										1892	明治25年1月6日			
	小田梅僊	嫡子	○	小田 百川	旭 秋陽	絵師		—	24			赤間関生まれ/京都		[註11]
										1832	天保3年6月29日			
小田家	三井村萩家来小田二郎右衛門	二男	①	小田 陳定	九兵衛 傳右衛門 信斎 (山縣二郎兵衛正則女)	中小姓	25	2～5	89			鐘楼町西側自北3番		[譜][註4]
	萩家来吉原傳左衛門女									1753	宝暦3年7月29日	延宝8年出仕/延享3年隠居		
	萩家来佐方八郎左衛門	＊末子	②	小田 重方	儀右衛門 藤九郎 太郎左衛門	中小姓	25	5～7	72					[譜]
	萩草壁吉右衛門妹									1779	安永8年3月10日	延享3年家督/明和7年隠居		
	小田重方	長男	③	小田 陳房	九郎右衛門 和平治	中小姓	25	7～8	72					[譜]
	小田陳定女									1802	享和2年11月5日	明和7年家督/寛政8年隠居		
	小田陳房	長男	—	小田 陳好	九兵衛	中小姓		7						[譜]
	神代八郎兵衛良房女									1793	寛政5年	安永7年於江戸出仕後病死		
	小田陳房	二男	—	小田 勝之進		無量寺弟子		7						[譜]
	神代八郎兵衛良房女											安永3年弟子願		
	小田陳房	三男	—	小田 文之進		常祷院弟子		7						[譜]
	神代八郎兵衛良房女											安永6年弟子願		
	小田陳房	四男	④	小田 陳連	連 熊蔵	馬廻	50	7~8	50		(文政9年隠居)			[譜][註4]
	神代八郎兵衛良房女									1829	文政12年2月10日	寛政5年陳好死亡二付寛政5年4月9日嫡子願同8年家督		
	小田陳連	長男	⑤	小田 陳剛	勘(劼)衛門 都筑 直之進 信剛	組外馬廻後中士上等	50→14.1(M4)	8～9	84	(明治4年65歳分限帳)		鐘楼堂丁	徳山・無量寺 [註8]	[譜][註1][註4][註5][註8][註16]
	桜井儀兵衛雄教女									1890	明治23年[註1]	梅地喜間太門人/無念流剣術師範/撃剣授方(明治3年)		(明治3年譜録提出)
	小田陳連	二男	—	小田 陳芳	芳九郎 (萩家来前原忠助助正養子)			宗藩						[譜]
	桜井儀兵衛雄教女											天保3年萩家来前原忠助助正養子		
	小田陳連	四男	—	小田 八十槌	→今津信彬	組外馬廻後中士上等	50	8~9				三番丁		[譜][註4]
	桜井儀兵衛雄教女										(明治4年49歳 分限帳)	天保4年今津定助信庸養子		
	小田陳剛	二男	⑥	小田 陳克 ☆	岩雄 齋種	徳山中学剣道教諭 (明治33年)		9						[譜][註4][註8][註16]
	福根基右衛門常時女										(明治4年28歳 分限帳)	文久3年堺町御門警衛/撃剣会開催[註8]		
小田家断			断絶	小田 仁右衛門	小田陳定の甥	徒士	20	不明						[註4]
												[註4][御蔵本日記よもやま小話・吉積]		
小田家			①	小田 武兵衛		岩崎幾太郎組上等	4.7(明治4年)	9				徳山村今宿		
											(明治5年51歳 分限帳)			
	小田武兵衛	嫡子	○	小田 岩吉				9				徳山村今宿		
											(明治5年18歳 分限帳)			
	小田武兵衛	嫡子	—	小田 秀蔵				9				徳山村今宿		
											(明治5年9歳 分限帳)			
小田家			①	小田 小野作		岩崎幾太郎組上等	4.36(明治4年)	9				徳山村今宿		
											(明治5年21歳 分限帳)			
小田家			①	小田 賢治		河合組上等	4.36(明治4年)	9				徳山村今宿		
											(明治5年21歳 分限帳)			

小田家			①	小田 幸吉		藩士	1.8(明治4年)	9				四熊村		
										（明治4年 分限帳）				
小田家			○	小田 好五郎	小田院義岳良勇居士	山崎隊		9	24			四熊村	四熊播磨墓地/建咲院/永源山	
										1866	慶応2年2月14日	慶応2年2月14日割腹		[菊川のむかしむかし]
小田家			○	小田 十郎右衛門		奈古村庄屋(安政)		9				奈古村		
落合家			①	落合 雄助		岩崎幾太郎組下等	3.35(明治4年)	9				徳山村今宿		
										（明治5年22歳 分限帳）				
落合家			萩藩	落合 卯之助		萩藩御陸目付		萩藩						[註4]
												益田右衛門介、国司信濃切腹の際出勤		
落合家			①	落合 友七		政務局支配	1.8(明治4年)	9				徳山村今宿		
										（明治5年62歳 分限帳）				
	落合友七	嫡子	○	落合 嘉市		藩士	1.8(明治4年)	9				徳山村今宿		
										（明治5年21歳 分限帳）				
小貫家断	小貫貫兵衛則方	嗣子	○	小貫 則行	久左衛門			—						[譜]
	小貫則行	嗣子	○	小貫 則純	作兵衛			—						[譜]
	小貫則純	嗣子	○	小貫 則道	久兵衛 釋思心信士/妻友誉壽玄信女			—		久兵衛の墓碑より			徳山・泉原共同墓地(R4)	[譜]
										1679	延宝7年12月24日	久兵衛夫婦墓(朝倉家墓所付近)妻延宝5年4月29日卒		
	小貫則道	長男	①	小貫 則吉	久兵衛	中小姓(福間彦兵衛推挙)	五扶持	1	70				大迫田金剛寺一族あり	[譜][註4]
	某女									1691	元禄4年12月24日	奉公以前江戸高木主水巴仕官後浪人/寛文年中出仕		
	小貫則吉	長男	②	小貫 則明	久兵衛 久太郎 乗明	中小姓	25	3～5	73			宗友右衛門屋敷跡	大迫田金剛寺(H30)	[譜]
	福田清右衛門章明									1754	宝暦4年8月27日	東中町東側自北11番	元禄5年家督/宝暦2年隠居	
	小野政右衛門貞次	＊二男	③	小貫 則應	唯七 久左衛門 治右衛門	中小姓	25	5～8	73				金剛寺	[譜]
	栗屋村藤井忠左衛門女									1801	享和元年8月22日	寛延元年養子/宝暦2年家督		
	水木師行	＊三男	死去	小貫 貢行	貢 (水木家より養子)			7	18					[譜]
	小野源左衛門女									1787	天明7年7月3日	安永6年養子/天明7年死去		
	朝倉南陵光世	＊二男	④	小貫 言訓	→朝倉喜次郎	中小姓	25	8~9	65	1789	寛政元年	二番丁		[譜][註4]
	朝倉友信女				義順院釈道圓居士					1853	嘉永6年9月21日	寛政12年2月15日養子/享和元年家督/嘉永2年譜録提出		[宗林軒様御控物抜書]
	小貫言訓	長男	⑤	小貫 言標	玖一郎 (妻須万村商民国広新平)			9						[譜]
	渡邉溥女											母心明院釈箒操妙貞大姉安政6年10月13日卒61歳		[宗林軒遺書拾集]
	小貫言訓	二男	—	小貫 光直	又吉			8~9	23				泉原共同墓地(R4)	[譜]
	渡邉溥女				→朝倉光直					1841	天保12年4月8日	天保6年縁組(朝倉直逞震陵文久4年譜録提出)		[朝倉家文書]
	小貫言訓	三男	—	小貫 言行	太作			9						[譜]
	渡邉溥女													
	小貫言訓	五男	断絶	小貫 丈次郎	嘉吉 洞教信士			9					金剛寺祖父唯七墓に葬	[宗林軒遺書拾集]
	渡邉溥女									1862	文久2年8月25日	盗人乱心にて小貫家断絶		
（小田家） 小野家	小田某		①	小田 純貞	又左衛門	徒士	20	1	80					[譜]
	某女									1676	延宝4年5月5日	元和年中萩より御供/延宝4年隠居		
	小田純貞	長男	②	小野 兼貞	政右衛門 仁右衛門 八右衛門	徒士	20	1~3	65			東中町西側自北3番東向		[譜]
	内藤市郎右衛門隆重女									1707	宝永4年9月3日	延宝4年家督/宝永4年隠居		
	小田純貞	二男	—	小野 清兵衛	又左衛門	新知別家/徒士	20	1~5						[譜]
	内藤市郎右衛門隆重女											某年新知別家/享保14年暇		
	萩領某村藤井清左衛門	＊二男	③	小野 直貞	伊左衛門	徒士	20	3~5	57					[譜]
	某女									1732	享保17年9月26日	宝永4年家督/享保17年隠居		
	小野直貞	長男	④	小野 信貞	政右衛門 只七 貞次	徒士	20	5~6				藤井可水屋敷跡		[譜]
	和田村堀伴右衛門女											東端町西側自北3番東向	享保17年家督/宝暦10年隠居	
	小野信貞	長男	⑤	小野 包清	伊左衛門	徒士/算用役(安永4年)	20	6~8	69？					[譜][註4]
	栗屋村藤井忠左衛門女									1801	享和元年5月2日	宝暦10年家督/寛政12年隠居		
	小野信貞	二男	—	小野 則應	→小貫則應	中小姓	25	6~8	73？				金剛寺	[譜]
	栗屋村藤井忠左衛門女									1801	享和元年8月22日	寛延元年小貫則吉養子		
	小野信貞	三男	—	小野 貞治		無量寺弟子(某年)		不明						[譜]
	栗屋村藤井忠左衛門女													
	小野伊左衛門包清	長男	⑥	小野 運貞	伊助 兼仲 弥三郎	徒士	20	7~9	73					[譜][註4]
	東豊井村武居清兵衛女									1840	天保11年12月5日	寛政12年家督/天保9年隠居		
	小野伊左衛門包清	二男	—	小野 正貞	→勝屋正貞	徒士/代官下代	20	7~9	71				徳山・福田寺(R3)	[譜][註4]
	東豊井村武居清兵衛女									1839	天保10年10月26日	安永9年5月7日勝屋正奥跡養子/天明元年家督		[田畠向諸願控]
	小野伊左衛門包清	三男	—	小野 源三郎	萩領久米村医師秋本松伯に養子			宗藩						[譜]
	東豊井村武居清兵衛女											寛政8年7月5日養子		
	小野直貞	四男	—	小野 信貞	四郎			7						[譜]
	和田村堀伴右衛門女											寛政2年小貫則應養子後離縁		
	小野運貞	長男	—	小野 貞包	源左衛門 弥三郎 小野慎太郎叔父(分限帳)			9						[譜]
	西豊井武居新助女									（明治4年65歳 分限帳）				
	勝屋孝左衛門正貞	＊五男	⑦	小野 包茂	唯七 佐吉 (妻山代中津井市右衛門女)	徒士	20	9				一番丁		[譜][註3][註4]
	来巻村宮田四郎左衛門女											天保9年養子/文久3年京都御参内行列御冠箱持手[註3]		

		嗣子	⑧	小野 槙太郎		下士上等	20→5.7(M4)	9						[譜][註4]
										(明治4年29歳 分限帳)		明治9年萩の乱捕縛/明治3年譜録提出		
	小野槙太郎	嫡子	○	小野 小一郎	小太郎			9						
										(明治4年5歳 分限帳)				
小野家			○	小野 甚五左衛門		畔頭	切米5 永代苗字帯刀	8~9				奈古村		[中山家文書天保11年]
尾上家			①	尾上 耕左衛門		河合組上等	4.36(明治4年)	9				徳山村夕顔町		
										(明治5年37歳 分限帳)				
尾上家			①	尾上 安吉		箱	4.36(明治4年)	9				徳山村順庵丁		
										(明治5年34歳 分限帳)				
	尾上安吉	長男	○	尾上 芳次郎	好次郎			9				徳山村順庵丁		
										(明治5年6歳 分限帳)				
	尾上安吉	二男	—	尾上 恒吉				—				徳山村順庵丁		
										(明治5年2歳 分限帳)				
尾上家			①	尾上 金治郎		河合組下等	3.35(明治4年)	9				徳山村代々小路		
										(明治5年22歳 分限帳)				
(塩谷家) 小幡家	杉小次郎元正死後 杉家断絶	＊	○	杉 元重	民部太輔 藝州廿日市城主			—						[譜]
	杉元重	二男	○	塩谷 元常	助右衛門尉		十扶持	長府						[譜]
												長府秀元公仕官		
	塩谷元常	二男	①	小幡 隆勝	源右衛門 常勝 半三郎	一代家老	300	1	87			上本町東側自北3番	特定できず本正寺無縁墓(H30)	[譜][註4]
	桂民部太輔廣繁女									1684	貞享元年五月晦日	秀元公小姓後暇浪人/胴着小袖拝領御判物あり		
	高須三郎兵衛元陣	＊二男	②	小幡 隆常	治部右衛門 半三郎 次左衛門 六郎右衛門 彦右衛門 常顕	用人	300	1~3	77				妻大迫田本正寺無縁墓(H30)	[譜]
	某女									1711	正徳元年11月12日	延宝年中隆勝代役/元禄11年隠居/小袖硯脇差拝領御判物あり		
	小幡隆常	長男	③	小幡 隆金	源右衛門 常金 伊勢福 半右衛門	用人	300	2~3	57				特定できず本正寺無縁墓(H30)	[譜]
	鳥羽右京隆直女									1717	享保2年6月27日	元禄11年家督/御判物あり/小袖拝領		
	小幡治隆常	二男	—	小幡 常貞	→増野常貞	馬廻/両人役	100	3~5	78				妻宝永2.6.25福田寺	[譜][註1]
	鳥羽右京隆直女									1744	延享元年2月6日	某年増野忠左衛門勝重養子		[徳山市社寺文化財調査(S59)]
	小幡隆常	三男	—	小幡 達玄	喜兵衛			宗藩						[譜]
	鳥羽右京隆直女											某年萩家来浦五兵衛就信養子		
	小幡隆常	四男	—	小幡 忠直	→本多忠直	馬廻	150	3~5	54				大迫田本正寺(H30)	[譜][註4]
	鳥羽右京隆直女									1726	享保11年12月8日	元禄4年8月3日本多政清実子幼少付家督		
	小幡隆常	五男	—	小幡 行興	→中嶋行興			3						[譜]
	鳥羽右京隆直女											某年中嶋市兵衛行高養子		
	小幡隆金	長男	④	小幡 次金	内記 金直 要人 左仲	一代家老/当職	300	3~7	76			妻と母大迫田本正寺無縁墓、次金は金剛寺無縁墓(H30)		[譜][註1]
	富山清右衛門隆明女									1770	明和7年7月14日	享保2年家督宝暦8年隠居/御判物あり/帯上下銀子他多々拝領		
	小幡隆金	二男	—	小幡 郷政	→林郷政	馬廻	150	5	42				徳山・無量寺(H30)	[譜]
	富山久太夫隆明女									1742	寛保3年11月19日	正徳5年小姓出仕/享保元年林与一兵衛次章養子		
	小幡次金	長男	⑤	小幡 豊慶	一格 金慶 熊千代 半右衛門 (妻小幡宗三親雨四女)	御居間都合役	譜録記載なし	5~7	54			東中町東側自北3番	大迫田金剛寺(H30)	[譜]
	黒川久太夫種常女									1779	安永8年正月23日	宝暦8年家督/御判物あり/小袖拝領		
	小幡次金	二男	—	小幡 金慶	巴門 六郎 (妻生田知純女、後妻飯田信房女)	新知別家/中小姓	30	5~7				坂本左内屋敷跡勢屯西町東1番		[譜]
	黒川久太夫種常女											寛延元年出仕/天明元年江戸欠落、断絶		
	小幡次金	三男	—	小幡 金貞	→本多金貞→⑦小幡馴布	馬廻	150	7						[譜]
	黒川久太夫種常女											明和元年正月24日本多忠躬跡養子/安永9年8月実家へ		
	粟屋内蔵次當	＊三男	⑥	小幡 馴命	采女 勝之進 織江	中小姓組御頭	譜録記載なし	7	34				特定できず金剛寺無縁墓(H30)	[譜]
	三吉宗三親雨女									1780	安永9年2月6日	安永8年家督/御判物あり/小袖拝領		
	小幡次金	＊三男	⑦	小幡 馴布	金貞 彦右衛門 小四郎 隼人 (一時本多忠躬養子中継)	中小姓組御頭	譜録記載なし	7					大迫田金剛寺無縁墓(H30)	[譜]
	黒川久太夫種常女									(天明3年5月25日隠居)		安永9年家督天明3年隠居/江戸記録所勤務病気辞職/御判物有		
	小幡馴布	長男	⑧	小幡 馴俊	主悦 金房 多喜之丞 才助 (妻粟屋豊章女)	中小姓組御頭	譜録記載なし	7					大迫田金剛寺(H30)	[譜]
	堀田弥一右衛門正敷女									1791	寛政3年8月	天明3年家督/御判物あり/江戸記録所勤務		
	小幡馴布	二男	—	小幡 金政	左仲 市次郎 豊次郎		譜録記載なし	7						[譜]
	堀田弥一右衛門正敷女											譜録名前以外記載なし		
	林正純	＊長男	⑨	小幡 修禮	武助 正敏 富五郎 民五郎 小平次 馴迪(廸) 九皐(斎)	鳴鳳館学監/一代家老[註4]	300[註4]	7~8					徳山・福田寺(R3)	[譜][註1][註4][註11]
	長沼権右衛門貞直女									1824	文政7年	亀井南冥師事/妻熊谷直利妹/文化5年譜録提出		
		同一？	○	小幡 禎		用人	300	8				本丁(文政4年)		[註4][註16]
												天保2年百姓一揆の際、取締側に名前あり[註4]		
			○	塩谷 元禎				8~9						
										(明治3年70歳 人員録)				
			○	小幡(塩屋) 寿恵	一格			8~9						[譜]
	箱嶋鎮直	三男	—	小幡 裕	俊蔵 宣吉 孫六 新六 牧 小太郎 (小幡一格寿恵養子後離縁)			9						[箱嶋家譜録]
	松岡要助政典女											嘉永4年小幡一格跡相続人養子後離縁[箱嶋家譜録]		
	三吉武平保璋	＊四男	○	塩屋 潔☆	清之丞 (塩屋一格寿恵の養子)	中小姓後中士上等	35後50	9						[三吉家譜録][註4]
	牧将剛三女									(明治3年34歳 人員録)		安政5年10月24日塩屋一格寿恵養子/小幡修禮末裔[註4]		
小幡家			○	小幡 斎宮		藩主就馴・広鎮当職		7~8						[註1]

御座家	御座掃部助某	嗣子	○	御座 豊後守				—						[譜]
	御座豊後守	嗣子	○	御座 就貴	嘉兵衛			—						[譜]
	御座嘉兵衛就貴 宍戸十郎兵衛元圓養女	五男	①	御座 貴信	平九郎	中小姓	25	1~5		1726	享保11年10月22日	上間町東側自北1番 萩より就隆公御代出仕		[譜][註4]
	増野意伯良方 弘六兵衛定久女	＊三男	②	御座 貴矩	平左衛門	中小姓	25	~5		1731	享保16年6月17日	享保11年家督		[譜]
	萩家来蔵田彌兵衛 増野長伯良春女	＊	③	御座 政貴	忠太 納仲 貴範 八郎 辨治	馬廻	50	5~6	49	1763	宝暦13年12月16日	宝暦初め出仕同12年家督		[譜]
	御座政貴 増野某女	四男	④	御座 辨治		馬廻	50	6	4	1764	明和元年8月29日	早世		[譜]
	福間良清 萩家来村上一郎右衛門女	＊三男	⑤	御座 政行	平治郎 才蔵 丹彌 代五郎	中小姓	25	7~8	67	1815	文化12年9月2日	明和元年御座弁治跡家督/徳水院釈仁誉政行居士		[譜][註4]
	棟居園右衛門満親 田村傳八正昌女	＊二男	死去	御座 貴章	辨治 子羽 (長男貴熙先山直恒の養子に)	鳴鳳館助訓		7~8		1813	文化10年11月20日	天明8年養子/章死後妻水津宰正令女は実家へ		[譜][註16]
	御座貴章 水津宰正令女	長男	—	御座 貴熙	→先山直温	馬廻	50	8~9	70	(明治4年62歳 分限帳) 1877	明治10年 [註11]	文政7年先山純太直恒養子		[譜][註11]
	池田専喜 庄原一郎兵衛信勝女	＊	退身	御座 貴敏	忠太 栄 (井上之祐育池田徹次郎祐秀弟)	中小姓	25	8				文化10年養子同12年家督/文政12年3月7日咎退身		[譜]
	切山村河村七郎左衛門 山田村坪井武右衛門女	＊二男	⑥	御座 貴琛	顕蔵 又蔵 白亀(士族人員録)	中小姓/易学[註16]	25	8~9		(明治4年73歳 分限帳)		西ノ丁 天保元年12月24日家督/詩文『崇蘭会』同人 [註1]		[譜][註1][註4][註16] (元治元年譜録提出)
	御座貴琛 井上音次郎此行女	長男	—	御座 宣敬	孚久一朗 禎吉郎 (精作兄幹介 士族人員録)			9		(明治3年33歳 人員録)		西ノ丁		[譜]
	御座貴琛 桜井雄俊女	二男	⑦	御座 雄貞	真素三郎 精作(士族人員録)	中士下等	25→10.2(M4)	9		(明治4年23歳 分限帳)		西ノ丁		[譜][註4]
	御座貴琛 桜井雄俊女	三男	—	御座 驥間五郎	精作弟衷(中)治(士族人員録)			9		(明治4年19歳 分限帳)		西ノ丁		[譜]
御座家			不明	御座 子相				8頃				亀井南冥師事		[註16]
御座家	山路庄太夫 上村中村太郎兵衛女	嫡子	①	御座 季満	利右衛門 林雪 吉右衛門 平右衛門	徒士	20	2~5	80	1751	宝暦元年10月14日	貞享4年出仕		[譜][註4]
	御座季満 富田村善甫太郎右衛門女	長男	②	御座 達季	善右衛門 喜平治	徒士	20	5~7	75	1786	天明6年10月14日	宝暦元年家督/安永3年隠居		[譜]
	御座達季 夜市村山本彌兵衛女	長男	③	御座 之季	重(十)七 右平治	徒士 五ケ村算用役(安永~寛政)	20	7~8				安永2年御雇出仕同3年家督/文化5年隠居		[譜][註4]
	御座之季 東豊井村山本荘兵衛女	長男	④	御座 之光	儀左衛門 善之丞 充房 善右衛門	徒士 五ケ村算用役(天保元年)	20	8				文化5年家督		[譜][註4]
	御座之光 平野町小川清七女	長男	⑤	御座 之義	源兵衛 喜作	徒士後下士上等	20→5.7(M4)	8~9		(明治4年65歳 分限帳)		文政12年江戸御雇/嘉永2年家督/文久2年譜録提出		[譜][註4]
	御座之光 種田直右衛門直房女	嫡子	—	御座 儀七郎				9		(明治3年43歳 人員録)				
	御座之光 種田直右衛門直房女	三男	—	御座 光久	信之進 (徳佐医師片山玄随養子)			宗藩				天保11年片山玄随養子		[譜]
	御座之義 萩家来松野信之助信義女	長男	⑥	御座 之任 ☆	惣四郎			9		1842 (明治4年30歳 分限帳)	天保13年3月25日			[譜][註4]
尾村家断			断絶	尾村 杢之丞		藩士	20	1						[註4]
尾本家			○	尾本 善左衛門	尾本善左衛門尉藤原信次	冶工		1~2				佐波郡勝間浦(三田尻) 城下時鐘改鋳(延宝7～)/岩屋寺(延宝6)釣鐘		[註8] [防長寺社由来]
			○	尾本 清左衛門	尾本清左衛門尉藤原信次	冶工		2~4				防府三田尻 中山観音堂(元禄2)光円寺(元禄14)上村保安寺(享保5)釣鐘		[防長寺社由来]
阿米(孝女)	徳山町人金左衛門 河内村農家茂左衛門女	嫡子	—	阿米	法名慈順	病身の父親の孝養に一生を捧ぐ	藩主より褒賞	8~9	62	1791 1852	寛政3年 嘉永5年3月4日	徳山橋本町生まれ ＊藩主の命により碑建立。本城斐伝、安積艮斎撰、中村春秀書	徳応寺/阿米像(速玉町)	[註1][註9][註11] ＊万延元年
			—	阿米父母	父浄諦信士/天保3年2月27日卒68 母妙専信女/寛政7年5月朔日卒			7~8					徳応寺/阿米像(速玉町)	

徳山藩家臣&徳山藩を支えた人たちとその一族

各家はアイウエオ順。
徳山藩家臣以外にも徳山藩に関わりがある人々、また、その子孫等姻族を記載している。
「続柄」は「嫡子」「嫡男」は実子。「嗣子」は家督を継いだ者であるが、実父母、養子、続柄等が不明な場合に記した。養子の場合、続柄に＊と記入し、実父母を記入した。
「嫡子」「嫡男」は実子の意味であるが、『士族人員録(人員録)』、『旧士族分限帳(分限帳)』による場合はこれに限らない。
『士族人員録』、『旧士族分限帳』による続柄は、実子、養子、嫡子省略(例・長男が早逝すれば二男を長男にする)等、必ずしも正確ではない。
『士族人員録』、『旧士族分限帳』、『徳山医師会史』による家督順は、出自が不明の為、便宜上①、②…と記している。
「退身」「中継」「断絶」「永暇」は中には同意味の場合もあるが原則、各家譜録の記載に従った。

「順」の項の〇数字は徳山藩士として家督を継いだ順(藩に提出)で、必ずしも一族の家督順ではない。
「姓名」の名前の後の☆印は慶応元年～4年『徳山藩有志血盟書』に血判した藩士である。総勢230名（変名、養子等により重複あり）。
「字・幼名・号他」の項の→は養子で別の項に説明がある場合に記した。逆の場合は→は記してない。その場合は実父から旧名で検索してほしいが、藩士以外は不明の場合が多い。
「字・幼名・号他」の項の→は養子以外に変名、改名等でも別の項に記した。
「断絶」とは様々な理由で藩士ではなくなったことをさし、必ずしも一族が途絶えたことではない。また「再興」は主に藩士に再度召し抱えられたことである。
「給禄」の洋数字は石数、漢数字はその他の禄である。また、位階等叙勲も記している場合がある。
「藩主」の数字は仕えた藩主の歴代数である。但し、生没年により境目は不明瞭な部分がある。
「享年」年令は主に毛利家譜録記載に拠る為、数え年にて記載した。
「生、没年月日」確認の為、年令から逆算して記した場合がある。西暦は単純に和暦に合わせている。（旧暦はずれがあり西暦が違う場合がある）和暦は原則、改元の月日を基準にしている。
「生、没年月日」の項に、分限帳等で年齢が記してある場合（）で当時の年令を記した。
「墓地」の項の（）は墓碑の最新確認年度である。
各家譜録の記載に明らかな間違いや、当時の提出者により差異があった場合、当方の判断により訂正した。
□は不明文字。
記入事項が多い場合は、必ずしも決められた項目に記していない。
一部御存命の方を記載しているが、承諾を得たものである。

出典

［譜］『徳山毛利家譜録』を基本に下記資料から追補
［註1］『徳山市史 上』 徳山市史編纂委員会　昭和59年1月31日発行
［註2］『徳山市史 下』 徳山市史編纂委員会　昭和60年3月30日発行
［註3］『徳山市史史料 上』 徳山市史編纂委員会　昭和39年11月30日発行
［註4］『徳山市史史料 中』 徳山市史編纂委員会　昭和41年3月3日発行
［註5］『徳山市史史料 下』 徳山市史編纂委員会　昭和43年3月20日発行
［註6］『下松市史 通史編』 下松市史編纂委員会　平成元年11月3日発行
［註7］『新南陽市史』 新南陽市史編纂委員会　昭和60年11月1日発行
［註8］『徳山名士墳墓掃苔録』 兼崎茂樹著　大正8年6月発行
［註9］『徳山の文化に貢献せし人々』 梅原芳堂著　昭和40年3月1日発行
［註10］『防長人物百年史』 末弘錦江　昭和42年1月1日再版発行
［註11］『増補 近世防長人名辞典』 吉田祥朔　昭和151年6月1日発行
［註12］『近代防長人物史 天地人』 井関九郎著　大正6年12月25日発行
［註13］『徳山医師会史』
［註14］『徳山市史年表』 徳山市史編纂委員会　昭和44年12月25日発行
［註15］『増補 防長人物誌』 近藤清石　昭和59年6月25日発行
［註16］『橙堂遺稿補遺』 兼崎茂樹著　大正6年8月15日発行
『都濃郡誌 全』 山口県都濃郡役所　大正13年5月25日発行
士士其他人員録　明治3年
士族人員録　中士第一～第四　明治3年
士族人員録　下士第一～第三　及び在職中　明治3年
準士人員録　附上士家来　明治3年
士族人員録　御船手組　明治3年
士族人員録　河合組上等及び下等　明治3年
士族人員録　岩崎幾太郎組上等及び下等　明治3年
士族人員録　卒族外、御手廻組、御厩組及び、政務局支配　明治3年
旧徳山士族分限帳　明治4年、5年
各家家譜及び徳山毛利家各種文書（山口県文書館蔵）
その他、参考した文献は『 』［ ］＊で記した。